

# 第2期岡山県障害者計画(仮称)策定に係る

## アンケート調査

### 結果報告書

#### 【概要版】

(素稿)

平成 年 月

岡山県

# 目 次

I	調査のあらまし	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
3	報告書を見る際の注意点	1
II	調査対象の属性	2
1	身体障害のある方へのアンケート調査	2
2	知的障害のある方へのアンケート調査	4
3	精神保健福祉に関する調査（在宅者調査）	5
4	精神保健福祉に関する調査（入院患者調査）	7
5	第2期岡山県障害者計画（仮称）策定に関する県民意識調査	9
III	身体障害のある方へのアンケート調査結果	10
1	住宅	10
2	同居家族	12
3	介護・介助の状況	13
4	将来の暮らし	14
5	身の回りのこと	17
6	外出	18
7	運動・スポーツや芸術文化活動	22
8	昼間過ごす場所	24
9	障害のある子どもが暮らしやすくなるために必要なこと	28
10	就労	29
11	収入	34
12	相談	36

13	情報の入手方法	39
14	コミュニケーション支援	41
15	インターネット・電子メールの利用	44
16	地域生活	45
17	災害時の対応	46
18	行政サービス等への要望	49
19	人権問題	51
20	自由意見	52
IV	知的障害のある方へのアンケート調査結果	58
1	住宅	58
2	同居家族	58
3	介護・介助の状況	60
4	将来の暮らし	51
5	身の回りのこと	64
6	外出	65
7	運動・スポーツや芸術文化活動	68
8	昼間過ごす場所	70
9	障害のある子どもが暮らしやすくなるために必要なこと	74
10	就労	75
11	収入	80
12	相談	82
13	情報の入手方法	85
14	コミュニケーション支援	87
15	インターネット・電子メールの利用	90
16	地域生活	91
17	災害時の対応	92
18	行政サービス等への要望	94

19	人権問題	96
20	自由意見	97
V	精神保健福祉に関する調査（在宅者調査）結果	102
1	住宅	102
2	同居家族	102
3	介護・介助の状況	103
4	将来の暮らし	104
5	地域で生活する上で必要なこと	108
6	就労	109
7	収入	114
8	昼間過ごす場所	116
9	運動・スポーツや芸術文化活動	118
10	インターネット・電子メールの利用	120
11	地域生活	121
12	夜間や休日における診察の経験	123
13	暮らしやすくするために必要なこと	124
14	人権問題	125
15	自由意見	126
VI	精神保健福祉に関する調査（入院患者調査）結果	128
1	住宅	128
2	同居家族	128
3	退院の意向	129
4	退院後の暮らし	131
5	退院後に地域で生活する上で必要なこと	133
6	退院後に昼間過ごしたい場所	134
7	暮らしやすくするために必要なこと	135
8	人権問題	136

9	自由意見	137
VII	第2期岡山県障害者計画（仮称）策定に関する県民意識調査結果	139
1	「共生社会」又は「ノーマライゼーション」	139
2	「障害者週間」	140
3	障害のある人とのふれあい	143
4	障害のある人に対する差別	145
5	障害者基本法・障害者計画	146
6	発達障害への理解	147
7	「障害者権利条約」採択の認知度	148
8	障害者のための配慮や工夫	149
9	民間団体が行う活動に対する希望	151
10	行政の施策	152
11	5年前と比べた障害者施策の進捗状況	153



# I 調査のあらまし

## 1 調査の目的

この調査は、第2期岡山県障害者計画（仮称）の策定に当たり、障害のある人を対象に生活実態や支援ニーズ等を調査分析し、必要な施策及び数値目標を定める際の基礎資料とすることを目的として実施した。

また、併せて、一般県民を対象に障害や障害のある人に対する意識調査を実施した。

## 2 調査の概要

(1) 調査地域 : 岡山県全域

(2) 調査対象 :

調査種別	調査数	回収数	回収率
①身体障害のある方へのアンケート調査	1,200	498	41.5%
②知的障害のある方へのアンケート調査	1,000	318	31.8%
③精神保健福祉に関する調査（在宅者調査）	300	78	26.0%
④精神保健福祉に関する調査（入院患者調査）	300	158	52.7%
⑤第2期岡山県障害者計画（仮称）策定に関する県民意識調査	800	299	37.4%

(3) 調査方法 : ①～④ 団体、施設、病院等を通じて配付－郵送回収

⑤ 郵送配布－郵送回収

(4) 調査期間 : 平成22年3月

## 3 報告書をみる際の注意点

(1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。

(2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがある。

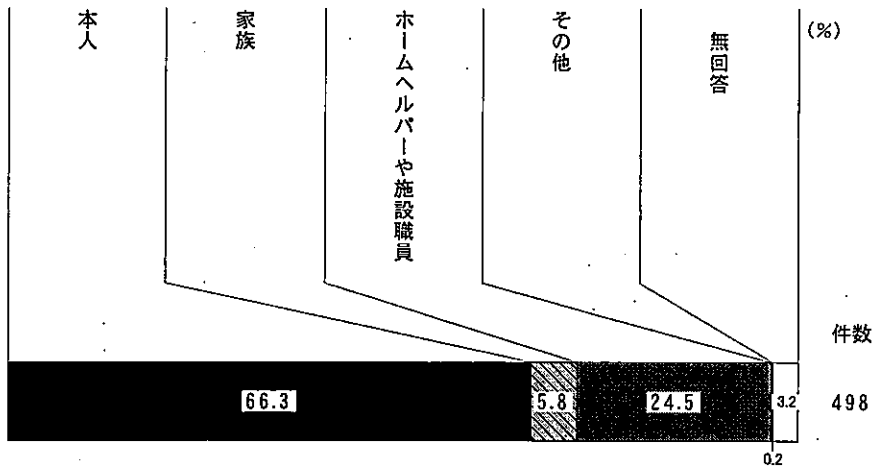
(3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。

(4) クロス集計は、全体の回答数が100件以上の設問について行った。

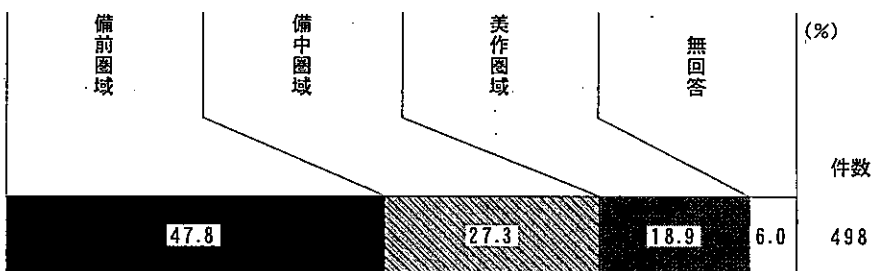
## II 調査対象の属性

### 1 身体障害のある方へのアンケート調査

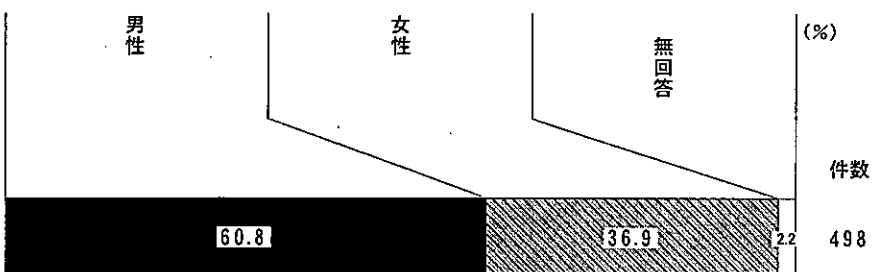
#### (1) アンケート記入者(問1)



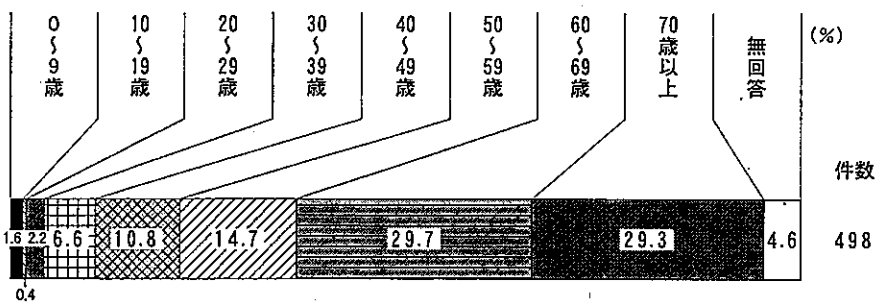
#### (2) 居住市町村(問2)



#### (3) 性別(問3)

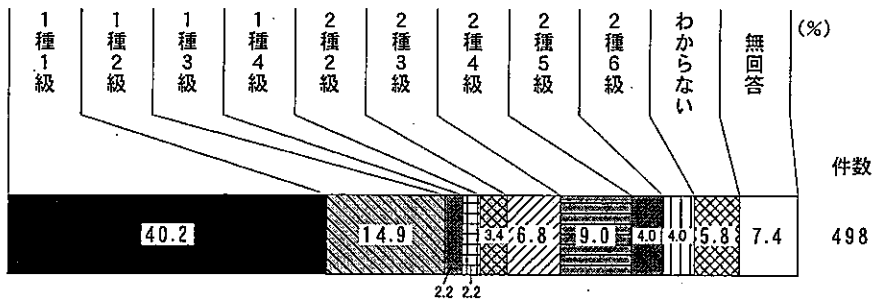


#### (4) 年齢(問4)

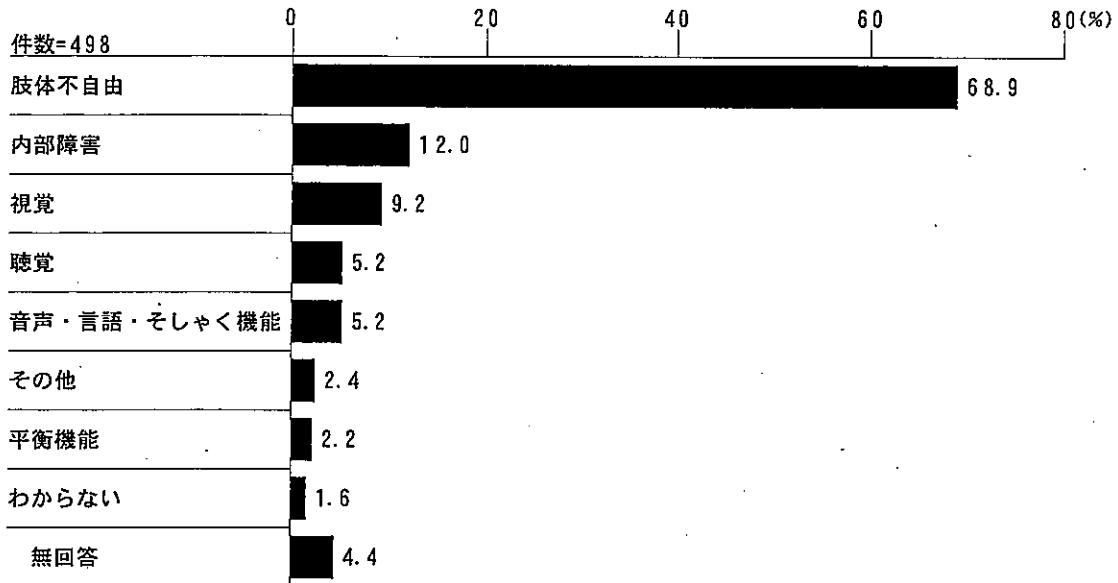




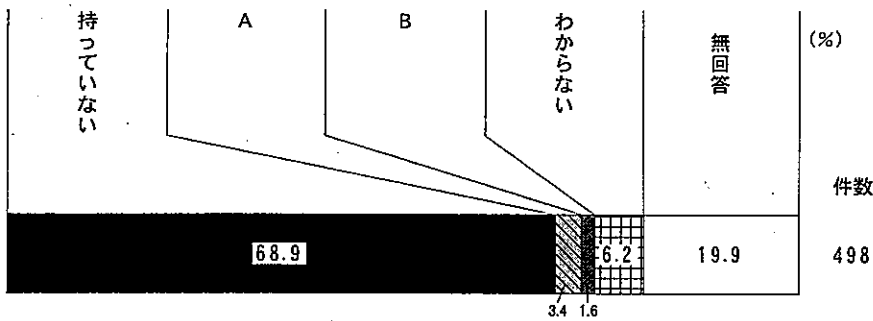
(5)身体障害者手帳等級(問5)



(6)障害部位(問6)

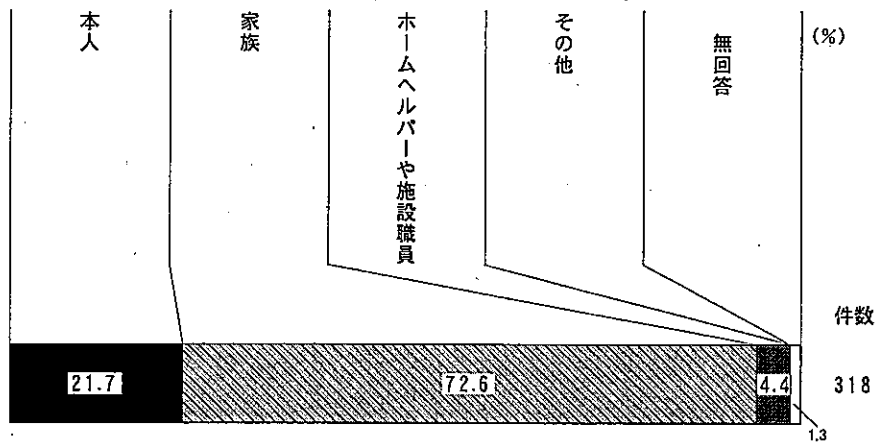


(7)療育手帳の有無(問7)



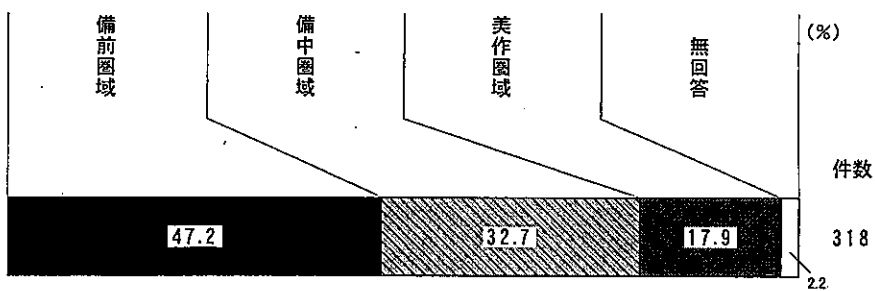
## 2 知的障害のある方へのアンケート調査

### (1) アンケート記入者(問1)

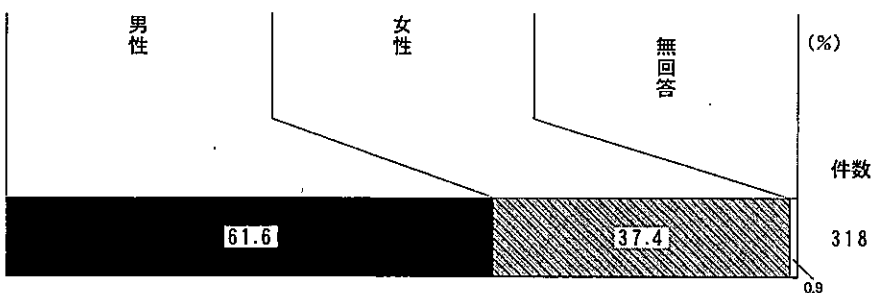


### (2) 居住市町村(問2)

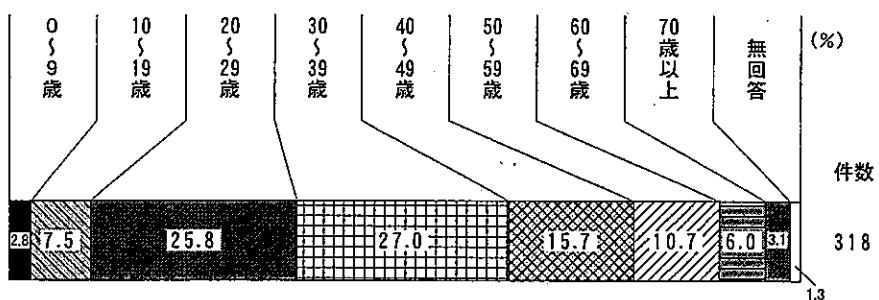
【圏域別】



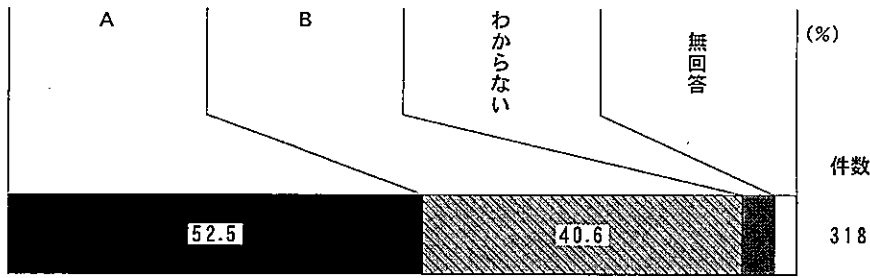
### (3) 性別(問3)



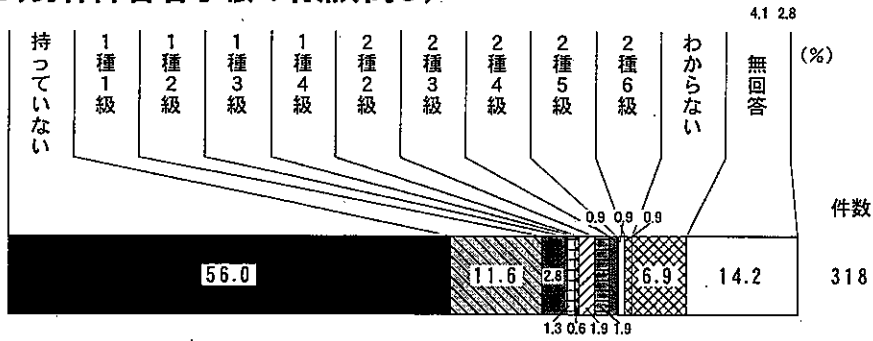
### (4) 年齢(問4)



(5)療育手帳判定(問5)



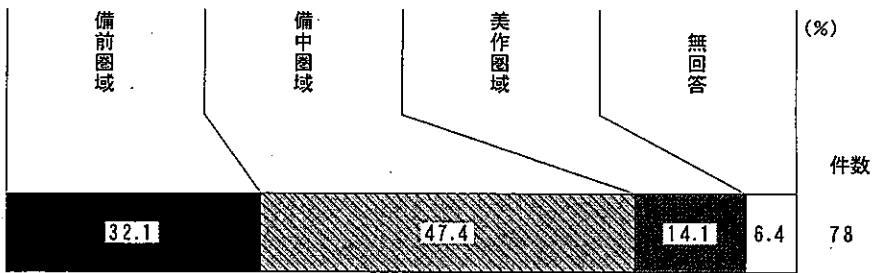
(6)身体障害者手帳の有無(問6)



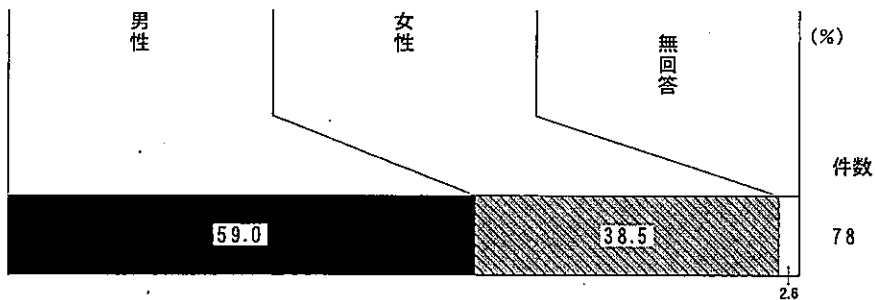
3 精神保健福祉に関する調査(在宅者調査)

(1)居住市町村(問 18)

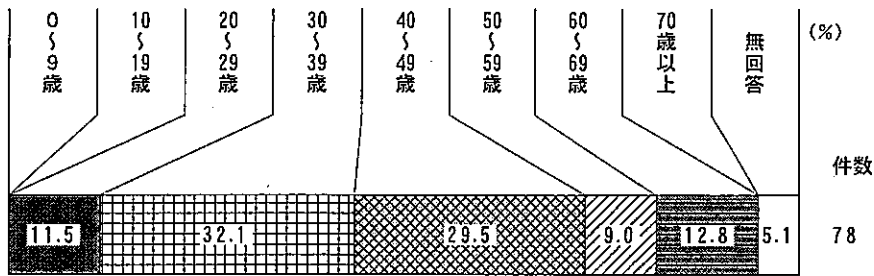
【圏域別】



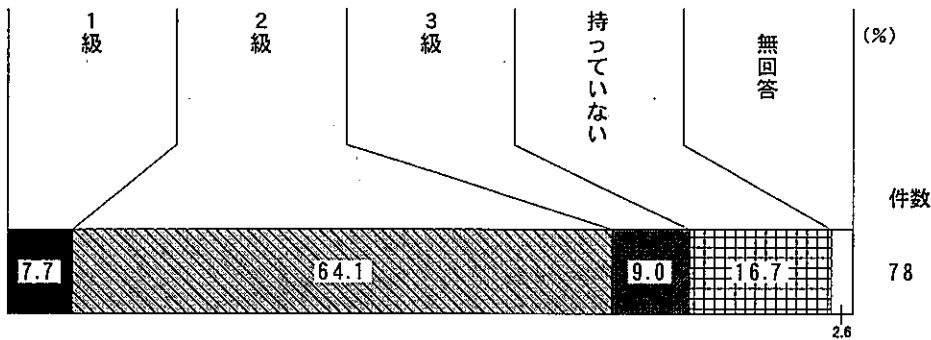
(2)性別(問 19)



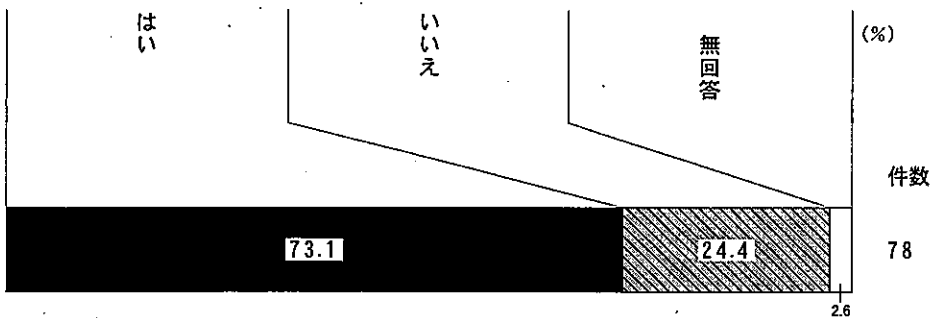
(3)年齢(問 20)



(4)精神保健福祉手帳等級(問 21)



(5)入院経験の有無(問 22)



入院回数

入院回数	割合 (%)
1～2回	49.1
3～5回	29.8
6～10回	8.8
10回以上	5.3
無回答	7.0
<b>全体</b>	<b>57</b>

(6)前回の入院期間・退院期間(問 23)

入院期間

入院期間	割合 (%)
6か月未満	57.9
6か月～1年未満	14.0
1年以上	19.3
無回答	8.8
<b>全体</b>	<b>57</b>

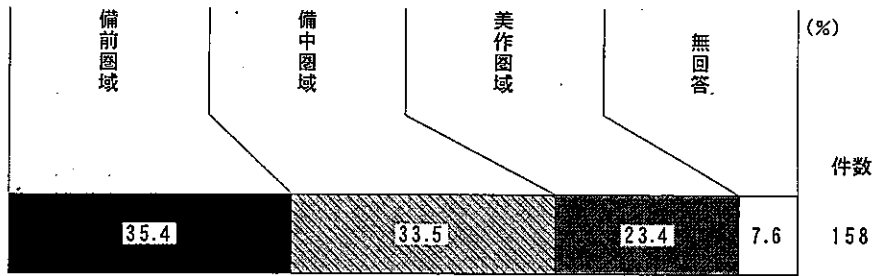
退院後の経過

退院後の経過	割合 (%)
3年未満	24.6
3～5年未満	19.3
5～10年未満	17.5
10年以上	21.1
無回答	17.5
<b>全体</b>	<b>57</b>

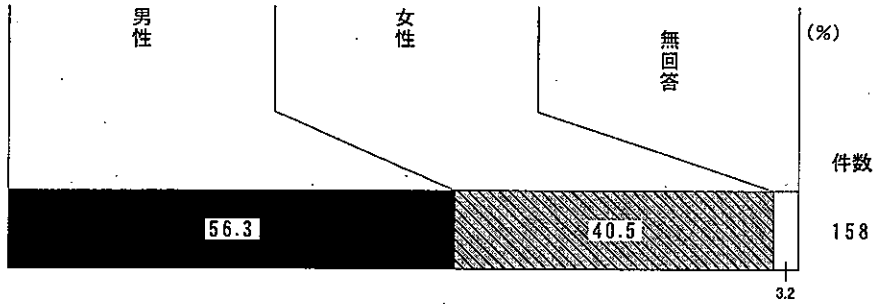
#### 4 精神保健福祉に関する調査(入院患者調査)

##### (1)居住市町村(問 11)

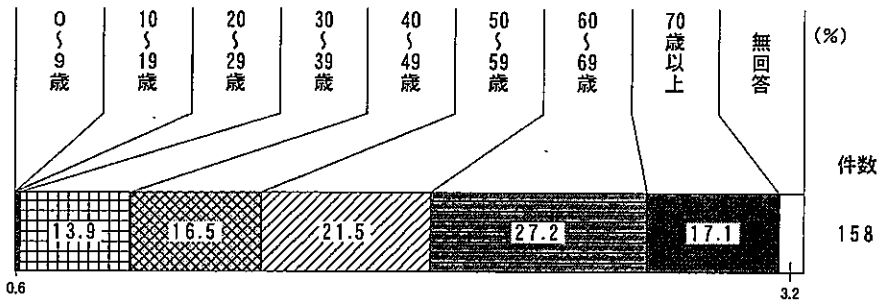
【圏域別】



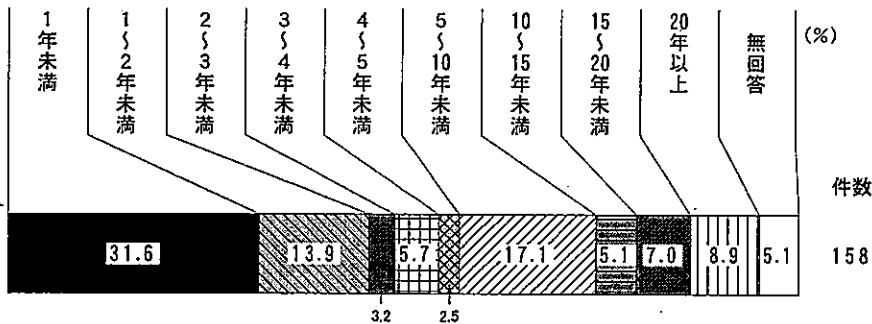
##### (2)性別(問 12)



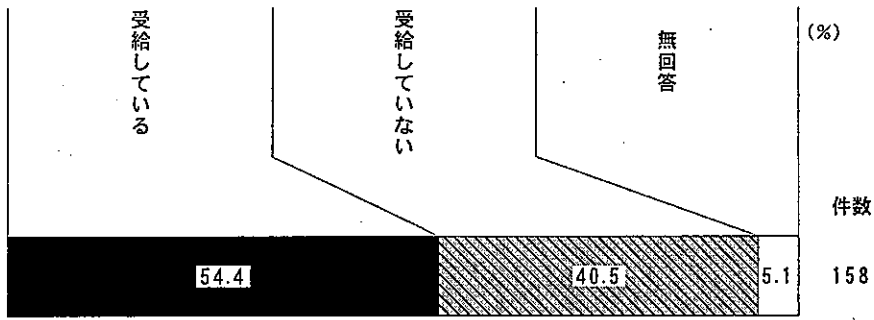
##### (3)年齢(問 13)



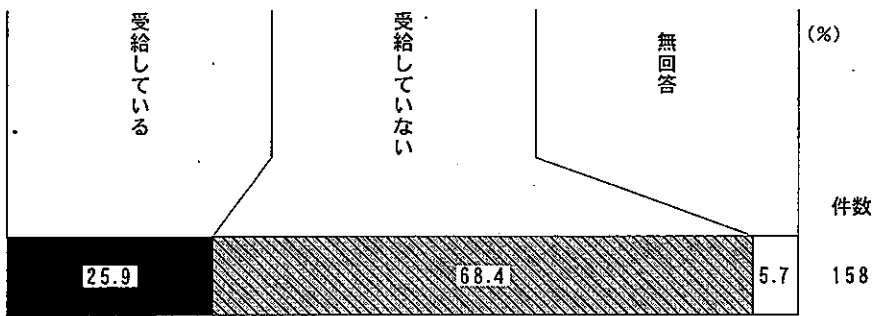
##### (4)入院期間(問 14)



(5)障害年金の受給状況(問 15)

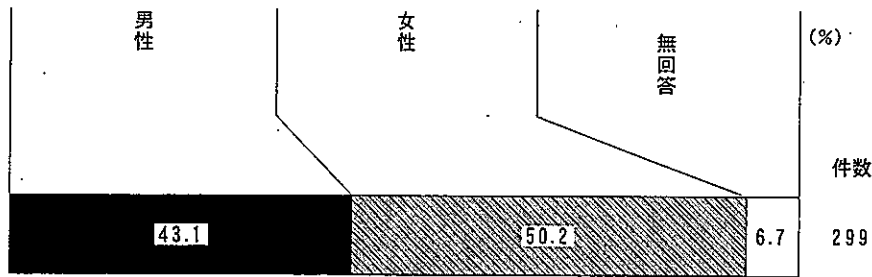


(6)生活保護の需給状況(問 16)

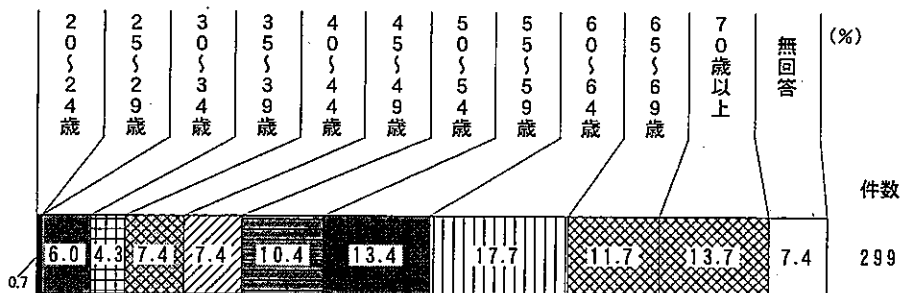


## 5 第2期岡山県障害者計画(仮称)策定に関する県民意識調査

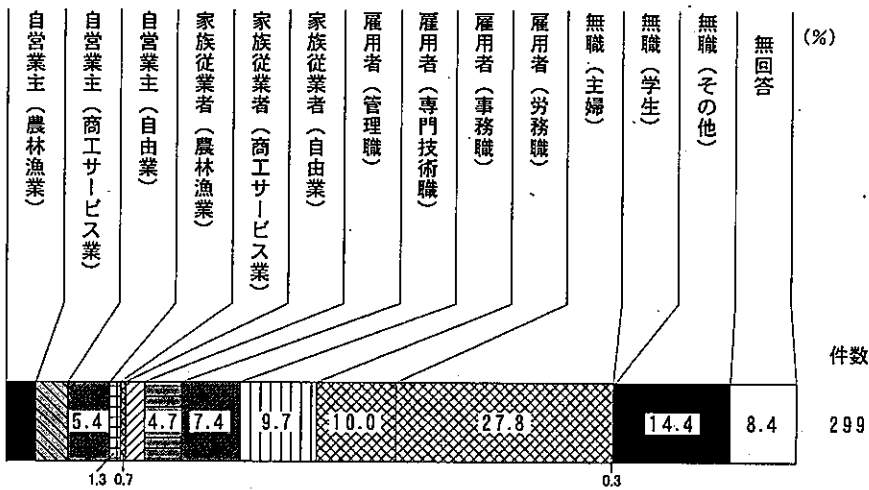
### (1)性別



### (2)年齢



### (3)職業



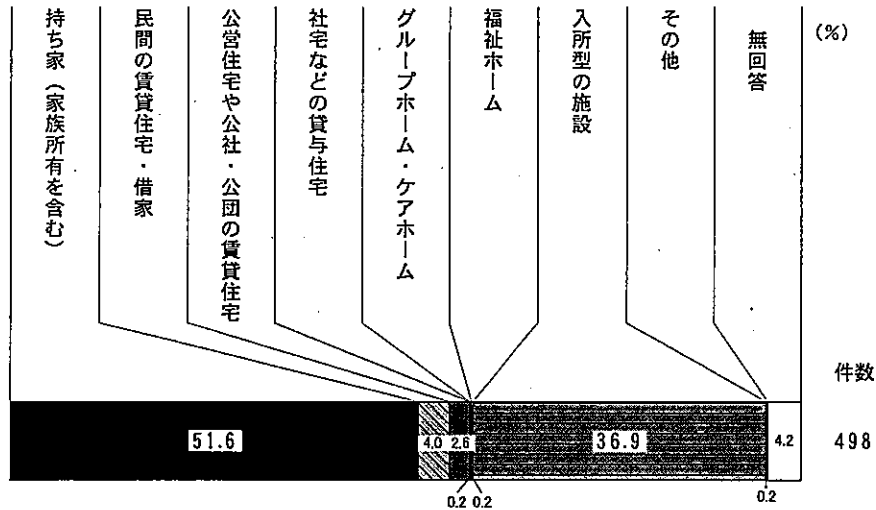
### Ⅲ 身体障害のある方へのアンケート調査結果

#### 1 住宅

##### (1)住宅形態

問8 あなたがお住まいの住宅などについておたずねします。

(1) あなたがお住まいの住宅などは、次のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○印)



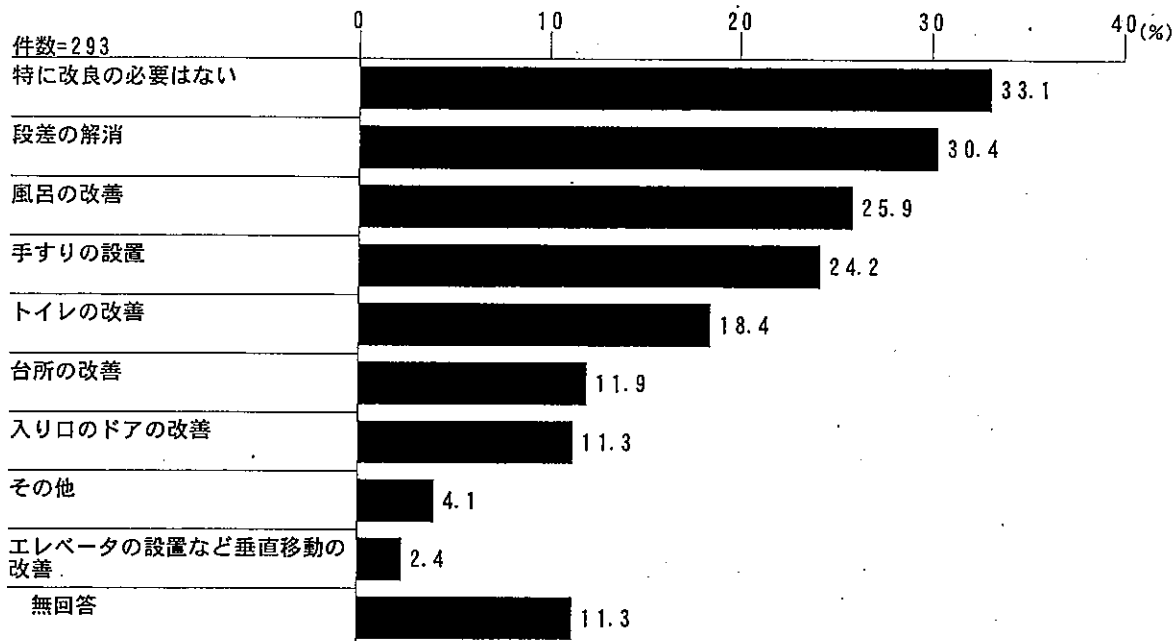
住宅の形態は、「持ち家 (家族所有を含む)」51.6%、「入所型の施設」36.9%でほとんどを占めており、他には「民間の賃貸住宅・借家」4.0%、「公営住宅や公社・公団の賃貸住宅」2.6%などとなっている。



## (2)住宅で改良が必要な箇所

問8 あなたがお住まいの住宅などについておたずねします。

(2) あなたがお住まいの住宅で、改良が必要なところがありますか。なお、この問いは、「入所型の施設」でくらしている方は、お答えいただくなく結構です。(あてはまる番号すべてに○印)

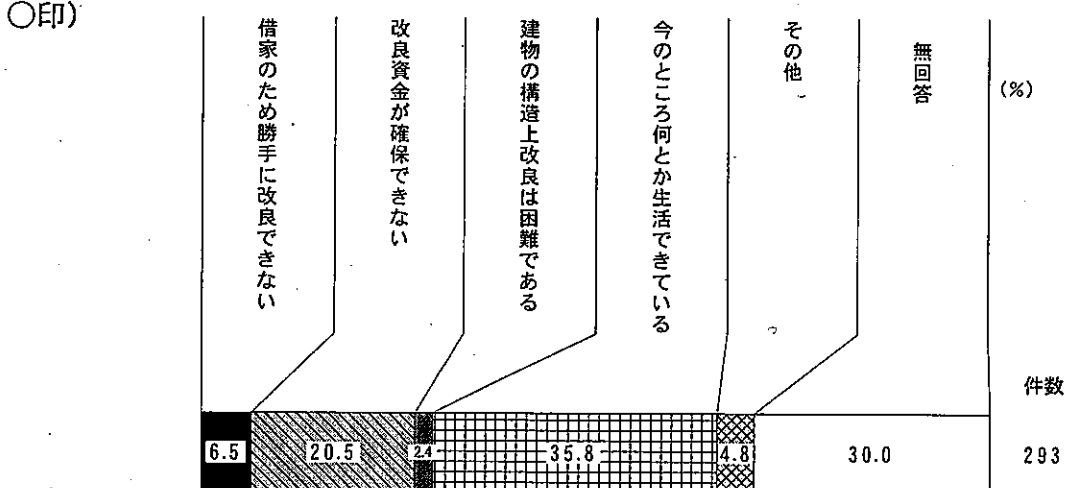


住宅で改良が必要な箇所は、「段差の解消」が30.4%と最も多く、以下「風呂の改善」25.9%、「手すりの設置」24.2%、「トイレの改善」18.4%などとなっている。

## (3)改良したくてもできない理由

問8 あなたがお住まいの住宅などについておたずねします。

(3) 改良したくてもできない理由は、次のうちどれですか。なお、この問いは、「入所型の施設」でくらしている方は、お答えいただくなく結構です。(もっともあてはまる番号1つに○印)



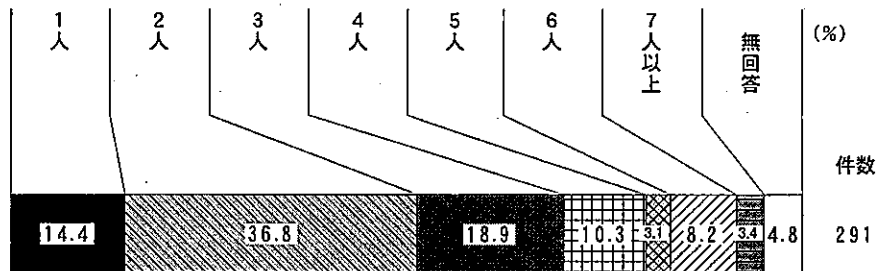
住宅を改良したくてもできない理由は、「今のところ何とか生活できている」が35.8%と最も多いものの、「改良資金が確保できない」20.5%、「借家のため勝手に改良できない」6.5%などの理由があがっている。

## 2 同居家族

### (1)同居人数

問9 あなたと同居されているご家族などについておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただかなくて結構です。

(1) あなたと同居されている方は、あなたを含めて何人ですか。(あてはまる番号1つに○印)

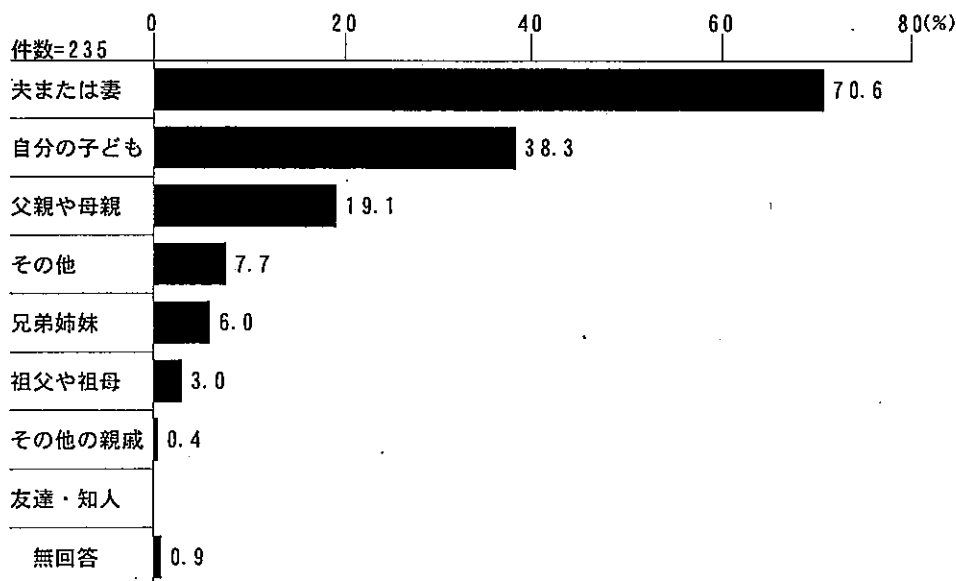


対象者自身を含めた同居家族の人数は、「2人」36.8%、「3人」18.9%、「4人」10.3%などとなっており、「1人」は14.4%となっている。

### (2)同居家族

問9 あなたと同居されているご家族などについておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただかなくて結構です。

(2) あなたは、どなたと同居されていますか。なお、この問いは、「1人」でくらしている方は、お答えいただかなくて結構です。(あてはまる番号すべてに○印)



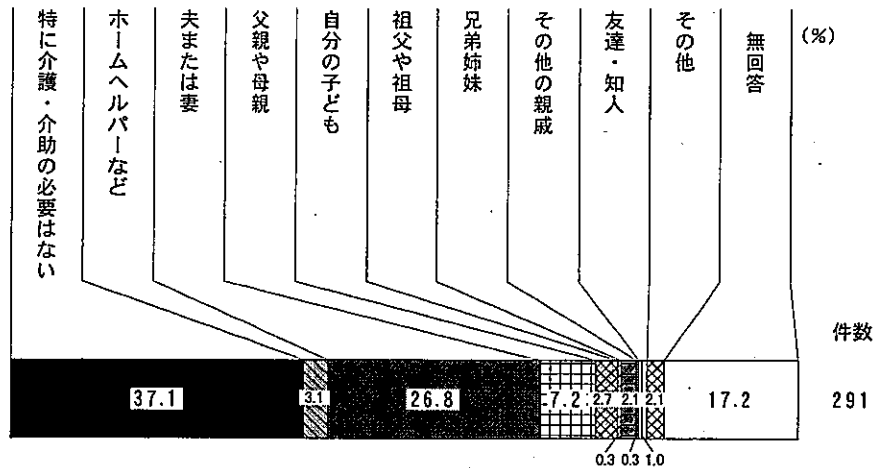
同居家族は「夫または妻」が70.6%と最も多く、以下「自分の子ども」38.3%、「父親や母親」19.1%、「兄弟姉妹」6.0%、「祖父や祖母」3.0%などとなっている。

### 3 介護・介助の状況

#### (1) 主な介護・介助者

問 10 あなたを主に介護・介助している方についておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただくなくて結構です。

(1) あなたを主に介護・介助しているのはどなたですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

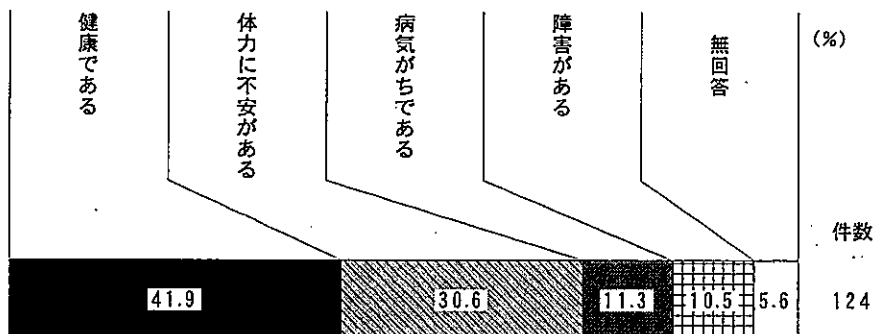


主な介護・介助者は「夫または妻」が26.8%と最も多く、以下「父親や母親」7.2%、「ホームヘルパーなど」3.1%、「自分の子ども」2.7%などとなっており、「特に介護・介助の必要はない」が37.1%となっている。

#### (2) 主な介護・介助者の健康状態

問 10 あなたを主に介護・介助している方についておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただくなくて結構です。

(2) あなたを主に介護・介助している方の健康状態はいかがですか。なお、この問いは、「特に介護・介助の必要はない」「ホームヘルパーなどが主に介護・介助している」方は、お答えいただくなくて結構です。(もっともあてはまる番号1つに○印)



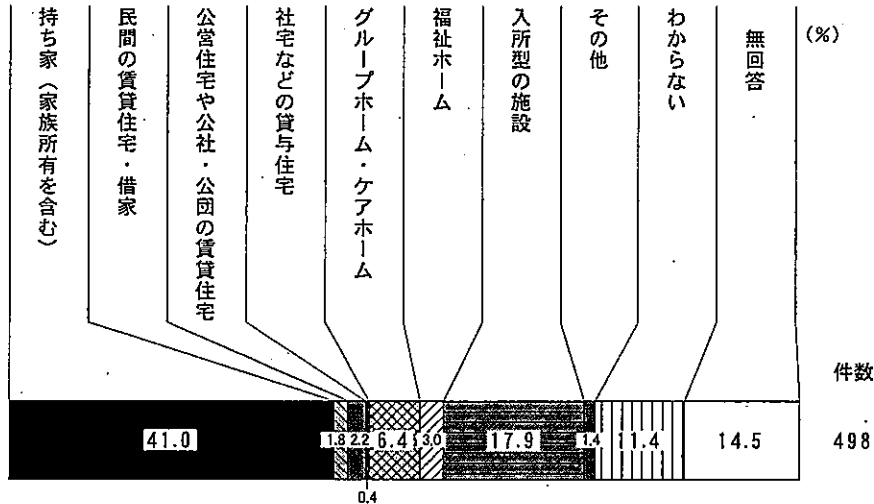
主な介護・介助者の健康状態は、「健康である」41.9%、「体力に不安がある」30.6%、「病気がちである」11.3%、「障害がある」10.5%となっている。

## 4 将来の暮らし

### (1) 住宅形態の希望

問 11 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(1) あなたは将来、どんな住宅に住みたいですか。(もっともあてはまる番号 1 に○印)

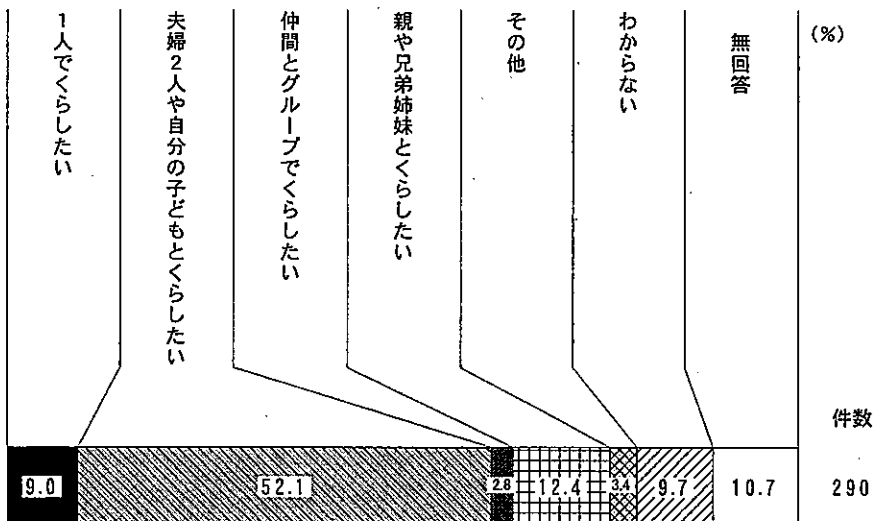


将来住みたい住宅は、「持ち家(家族所有を含む)」が41.0%と最も多く、以下「入所型の施設」17.9%、「グループホーム・ケアホーム」6.4%、「福祉ホーム」3.0%などとなっている。

### (2) 将来の暮らし方

問 11 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(2) あなたは将来、誰とくらしたいですか。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしたい方は、お答えいただくなくて結構です。(もっともあてはまる番号 1 に○印)

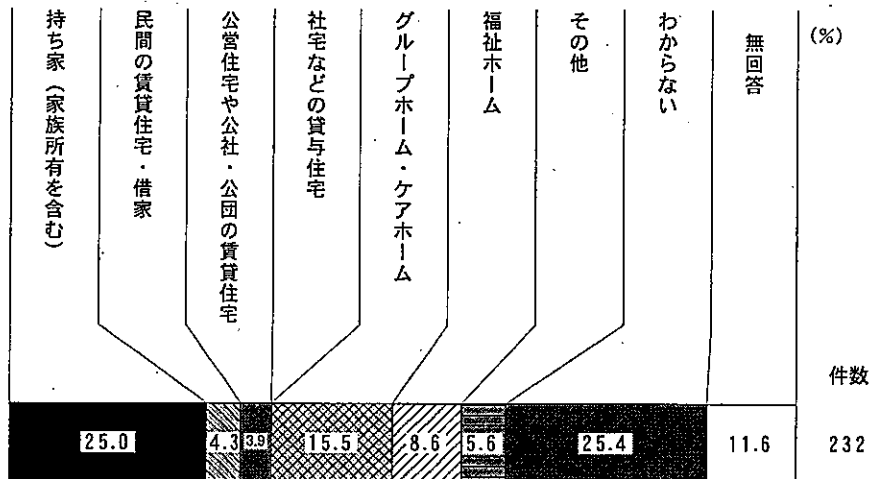


将来は「夫婦2人や自分の子どもとくらしたい」が52.1%と最も多く、以下「親や兄弟姉妹とくらしたい」12.4%、「1人でくらしたい」9.0%、「仲間とグループでくらしたい」2.8%などとなっている。

### (3)独立して生活するのに必要な住宅

問 11 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(3) 現在、「親・兄弟姉妹」とくらしている方や、「入所型の施設」でくらしている方におたずねします。あなたが将来、親・兄弟姉妹や入所型の施設から独立して生活するとすれば、どんな住宅が必要ですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

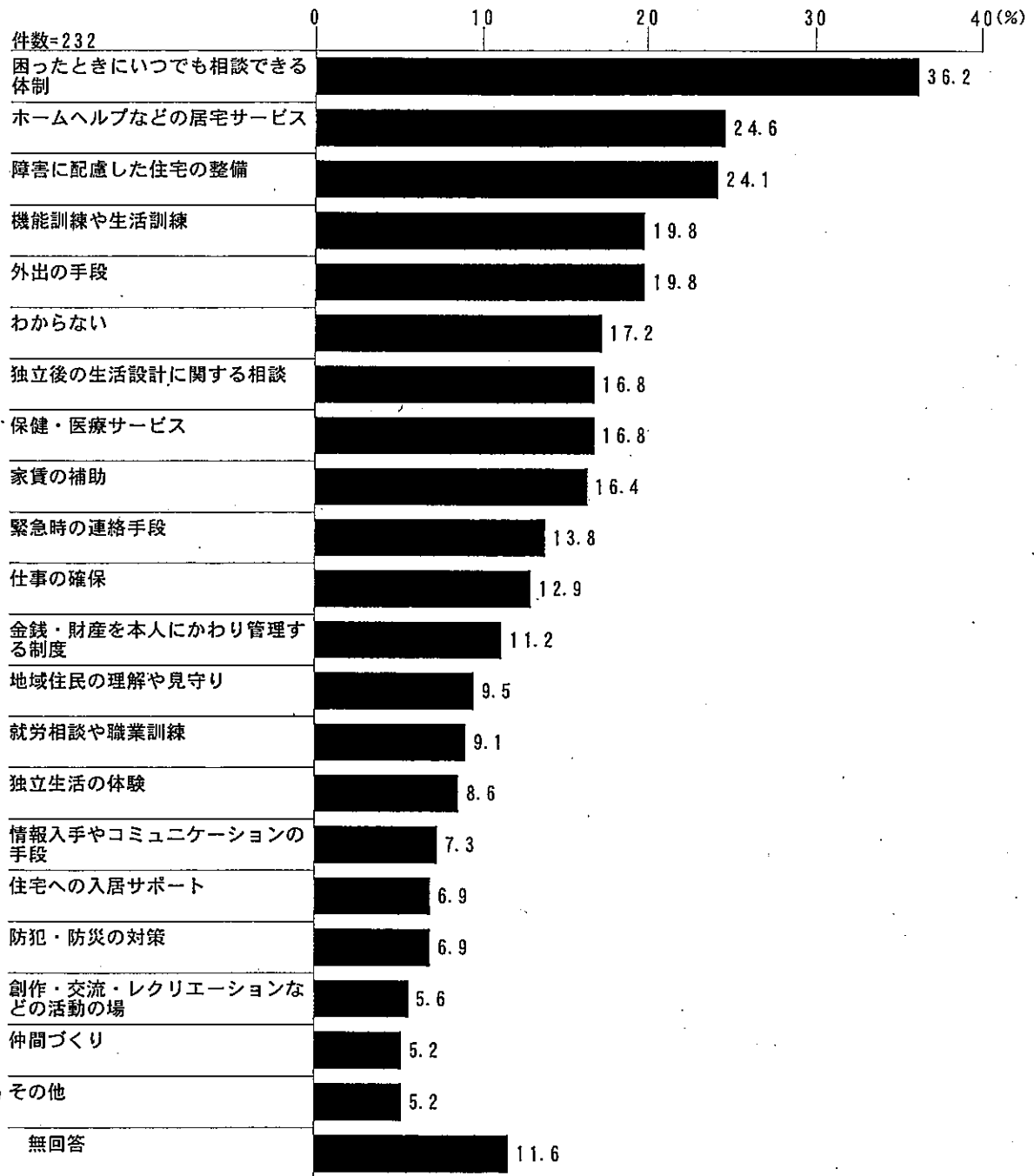


親・兄弟姉妹と暮らしている方や入所型の施設で暮らしている方が、独立して生活するために必要な住宅は、「持ち家(家族所有を含む)」が25.0%と最も多く、以下「グループホーム・ケアホーム」15.5%、「福祉ホーム」8.6%などとなっている。

(4)独立して生活するのに必要なこと

問 11 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(4) 現在、「親・兄弟姉妹」とくらしている方や「入所型の施設」でくらしている方におたずねします。あなたが将来、親・兄弟姉妹や入所型の施設から独立して生活するとすれば、どんなことが必要ですか。(もっともあてはまる番号5つまでに○印)

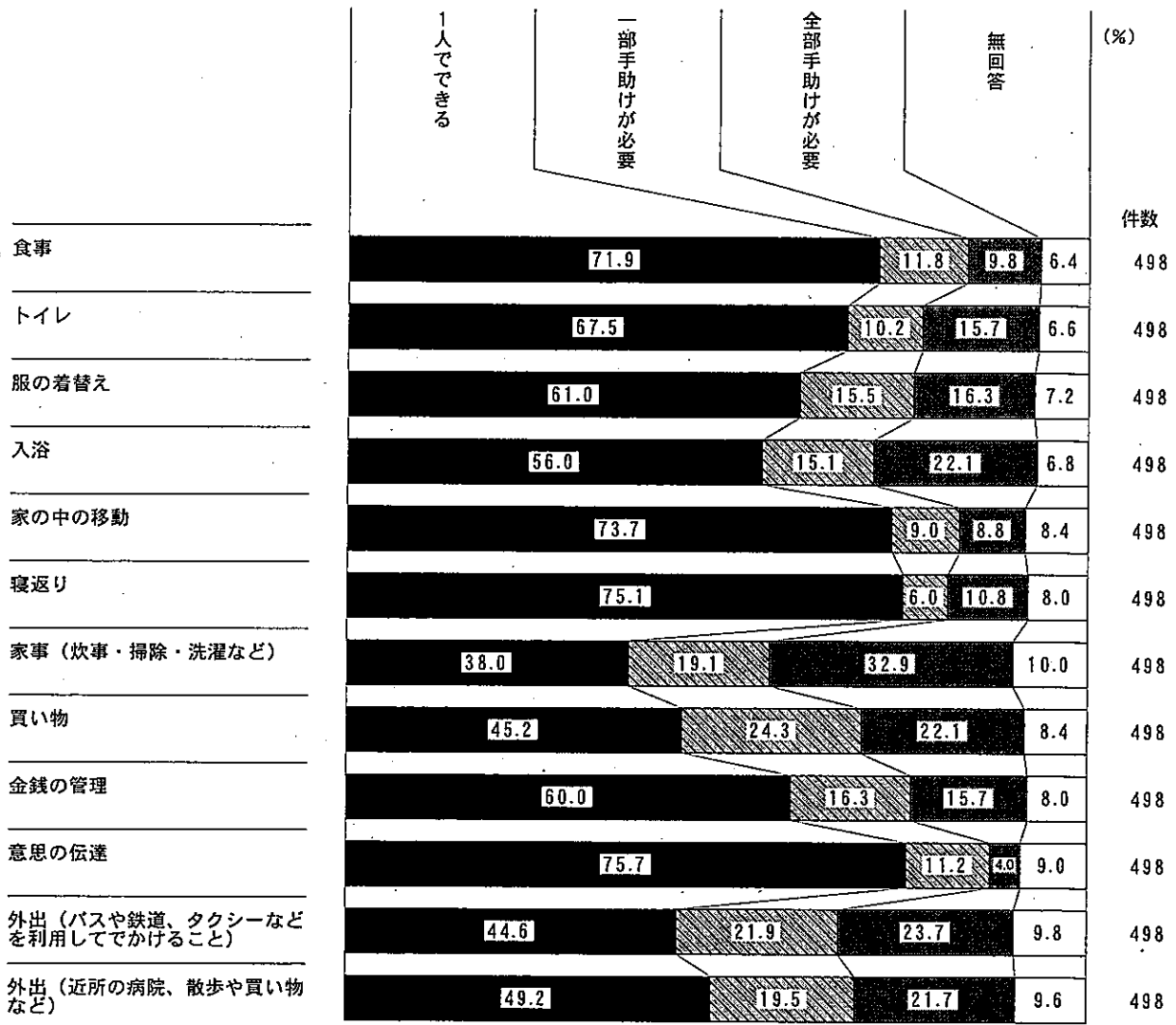


親・兄弟姉妹と暮らしている方や入所型の施設で暮らしている方が、独立して生活するために必要なことは、「困った時に相談できる体制」が36.2%と最も多く、以下「ホームヘルプなどの居宅サービス」24.6%、「障害に配慮した住宅の整備」24.1%、「機能訓練や生活訓練」19.8%、「外出の手段」19.8%などとなっている。

## 5 身の回りのこと

問 12 あなたは、身の回りのこと・家事・外出などを、どうされていますか。

(「食事」から「外出」までそれぞれについて、もっともあてはまる番号1つに○印)



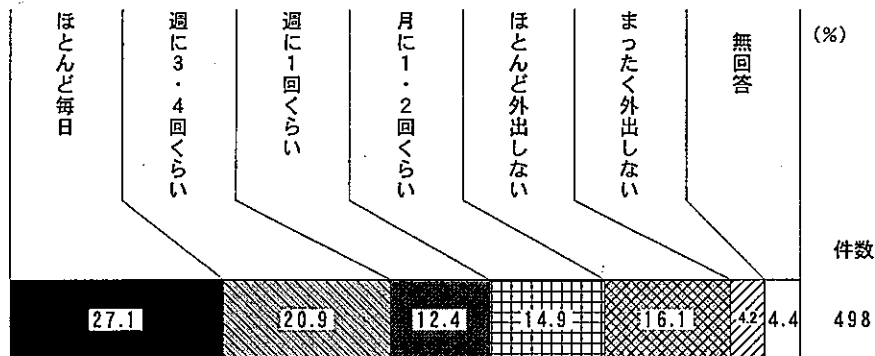
身の回りのこと・家事・外出などの動作について、「一部手助けが必要」または「全部手助けが必要」の割合が高い動作は、「家事 (炊事・掃除・洗濯など)」「買い物」「外出 (バスや鉄道、タクシーなどを利用してでかけること)」「外出 (近所の病院、散歩や買い物など)」「入浴」「金銭の管理」「服の着替え」「トイレ」「食事」などの順となっている。

## 6 外出

### (1)外出頻度

問 13 あなたの外出の回数・目的・方法などについておたずねします。

(1) あなたは、1週間にどれくらい外出していますか。(もっともあてはまる番号 **1つ** に○印)

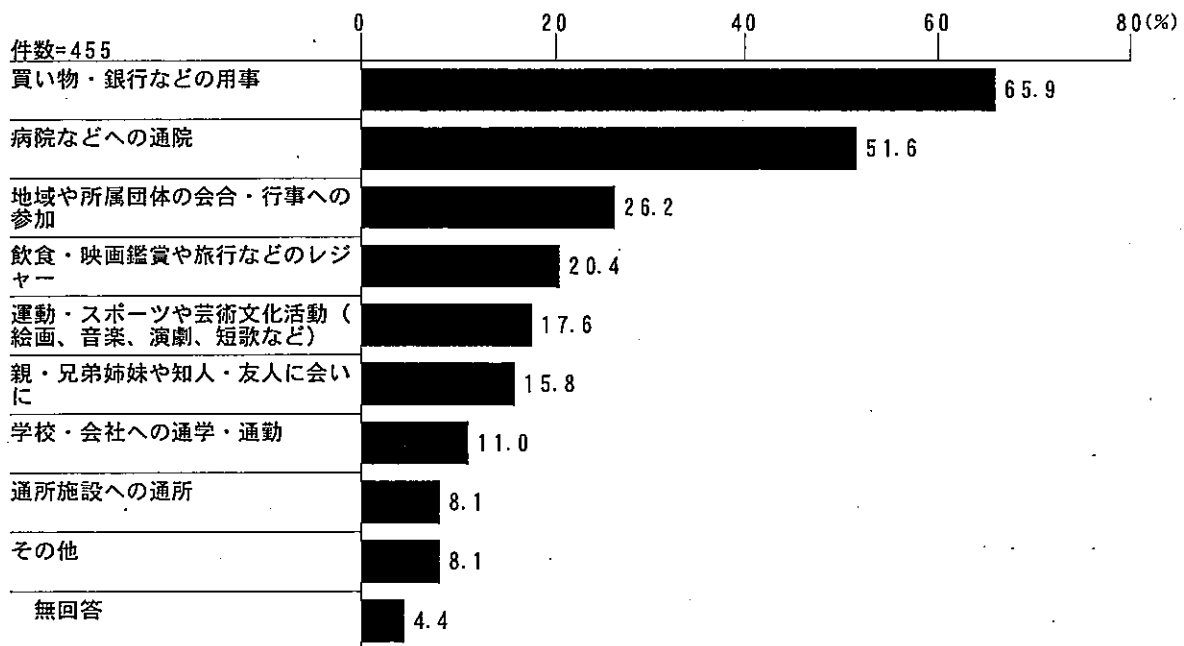


外出頻度は「ほとんど毎日」27.1%、「週に3・4回くらい」20.9%、「週に1回くらい」12.4%、「月に1・2回くらい」14.9%となっており、一方で「ほとんど外出しない」16.1%、「まったく外出しない」4.2%となっている。

### (2)外出目的

問 13 あなたの外出の回数・目的・方法などについておたずねします。

(2) あなたの主な外出の目的は何ですか。なお、この問いは、「まったく外出しない」方はお答えいただくなくて結構です。(もっともあてはまる番号 **3つまで** に○印)



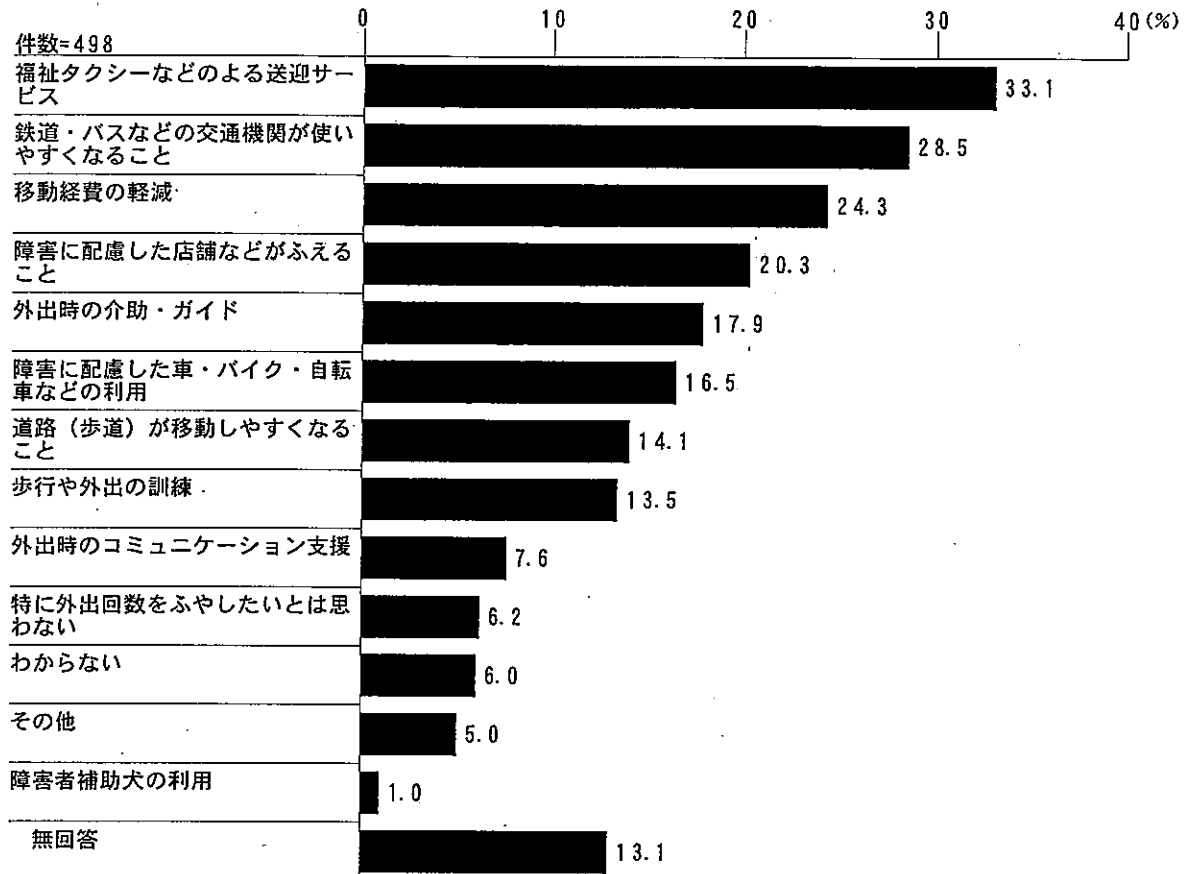
主な外出目的は「買い物・銀行などの用事」65.9%、「病院などへの通院」51.6%が突出しており、以下「地域や所属団体の会合・行事への参加」26.2%、「飲食・映画鑑賞や旅行などのレジャー」20.4%、「運動・スポーツや芸術文化活動(絵画、音楽、演劇、短歌など)」17.6%、「親・兄弟姉妹や知人・友人に会いに」15.8%などとなっている。



### (3)外出するために必要なこと

問 13 あなたの外出の回数・目的・方法などについておたずねします。

(3) あなたが今後、外出回数をふやすためには、どんなことが必要ですか。また、「まったく外出しない」方は、外出するためには、どんなことが必要ですか。(もっともあてはまる番号  つまでに○印)

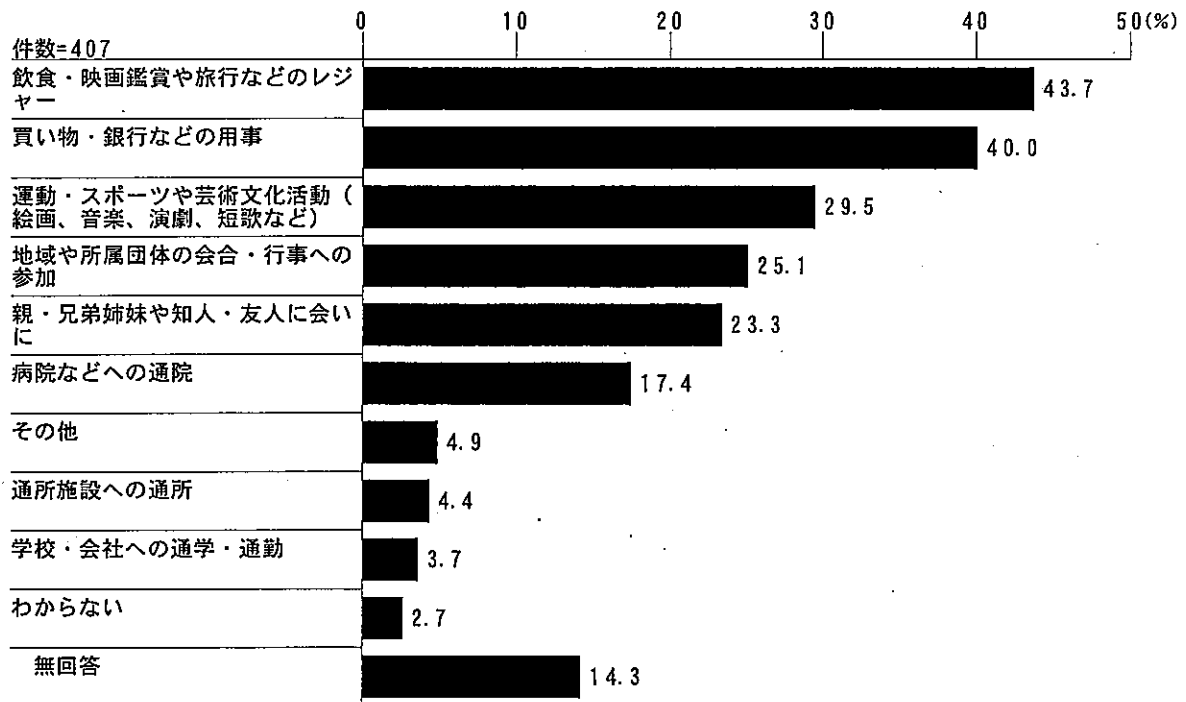


外出するために必要なことは、「福祉タクシーなどによる送迎サービス」が 33.1%と最も多く、以下「鉄道・バスなどの交通機関が使いやすくなること」28.5%、「移動経費の軽減」24.3%、「障害に配慮した店舗などがふえること」20.3%、「外出時の介助・ガイド」17.9%、「障害に配慮した車・バイク・自転車などの利用」16.5%などとなっている。

#### (4)外出時にしてみたいこと

問 13 あなたの外出の回数・目的・方法などについておたずねします。

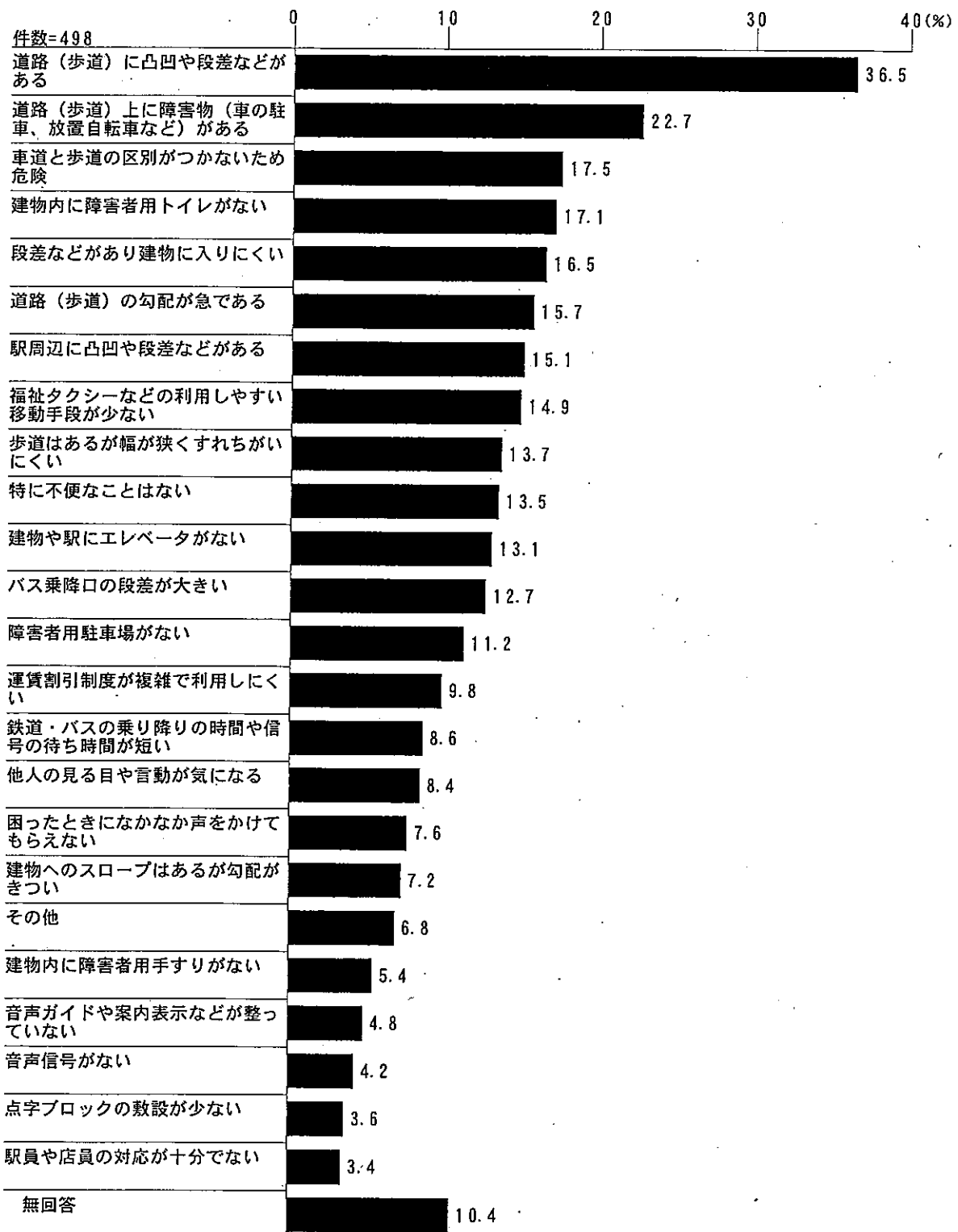
(4) あなたは今後、外出回数をふやしてどんなことをしてみたいですか。また、「まったく外出しない方」は外出してどんなことをしてみたいですか。なお、この問いは、「特に外出回数をふやしたいとは思わない・特に外出したいとは思わない」方は、お答えいただかなくて結構です。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)



外出回数をふやしてしてみたいこと、または外出時にしてみたいことは、「飲食・映画鑑賞や旅行などのレジャー」43.7%、「買い物・銀行などの用事」40.0%が突出しており、以下「運動・スポーツや芸術文化活動 (絵画、音楽、演劇、短歌など)」29.5%、「地域や所属団体の会合・行事への参加」25.1%、「親・兄弟姉妹や知人・友人に会いに」23.3%、「病院などへの通院」17.4%などとなっている。

## (5)外出時に困ること

問 14 あなたは外出時にどんなことでお困りですか。(もっともあてはまる番号5つまでに○印)



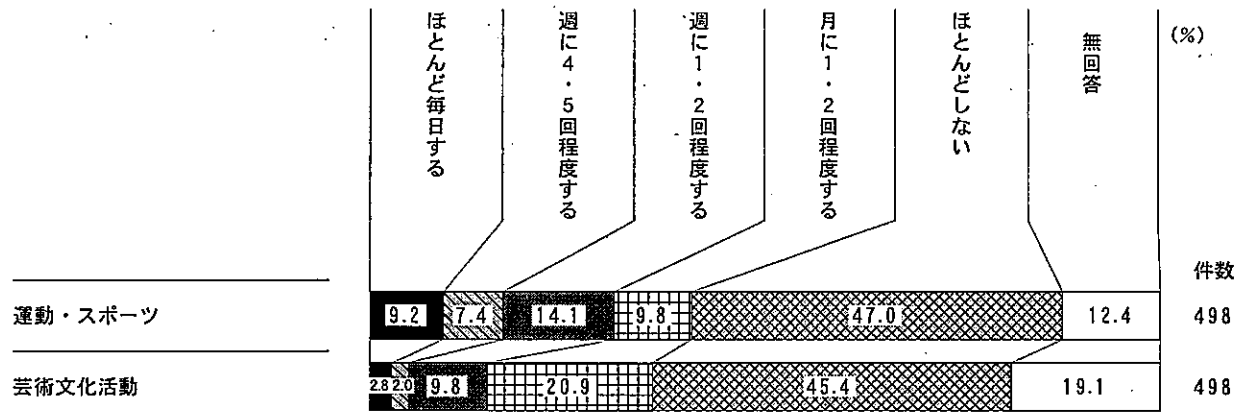
外出時に困ることは、「道路(歩道)に凸凹や段差などがある」が36.5%と最も多く、以下「道路(歩道)上に障害物(車の駐車、放置自転車など)がある」22.7%、「車道と歩道の区別がつかないため危険」17.5%、「建物内に障害者用トイレがない」17.1%、「段差などがあり建物に入りにくい」16.5%などとなっている。

## 7 運動・スポーツや芸術文化活動

### (1)活動頻度

問 15 運動・スポーツや芸術文化活動（絵画・音楽・演劇・短歌など）についておたずねします。

(1) あなたは、運動・スポーツや芸術文化活動をどのくらい行いますか。（「運動・スポーツ」「芸術文化活動」それぞれについて、もっともあてはまる番号1つに○印）



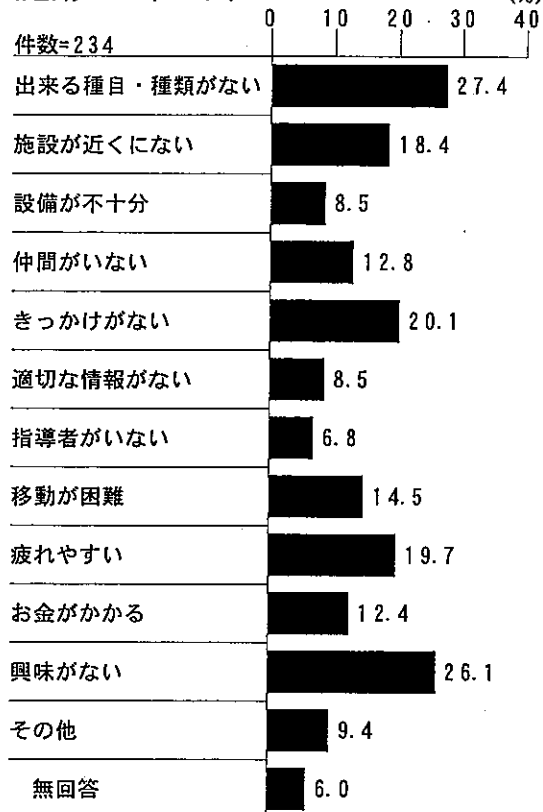
活動頻度について、運動・スポーツは「ほとんど毎日する」9.2%、「週に4・5回程度する」7.4%、「週に1・2回程度する」14.1%、芸術文化活動は「ほとんど毎日する」2.8%、「週に4・5回程度する」2.0%、「週に1・2回程度する」9.8%と、運動・スポーツの方が頻度が高くなっている。

## (2)活動しない理由

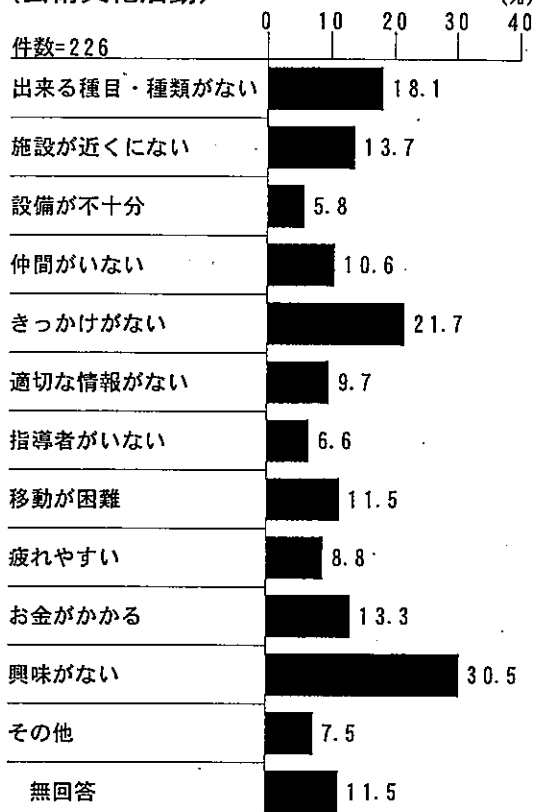
問 15 運動・スポーツや芸術文化活動（絵画・音楽・演劇・短歌など）についておたずねします。

(2) 運動・スポーツや芸術文化活動を「ほとんどしない」方におたずねします。あなたが、運動・スポーツや芸術文化活動をしない理由は何ですか。（「運動・スポーツ」「芸術文化活動」それぞれについて、もっともあてはまる番号3つまでに○印）

### (運動・スポーツ)



### (芸術文化活動)



運動・スポーツをしない理由は、「出来る種目・種類がない」27.4%、「興味がない」26.1%、「きっかけがない」20.1%、「疲れやすい」19.7%、「施設が近くにない」18.4%などの理由が多くなっている。

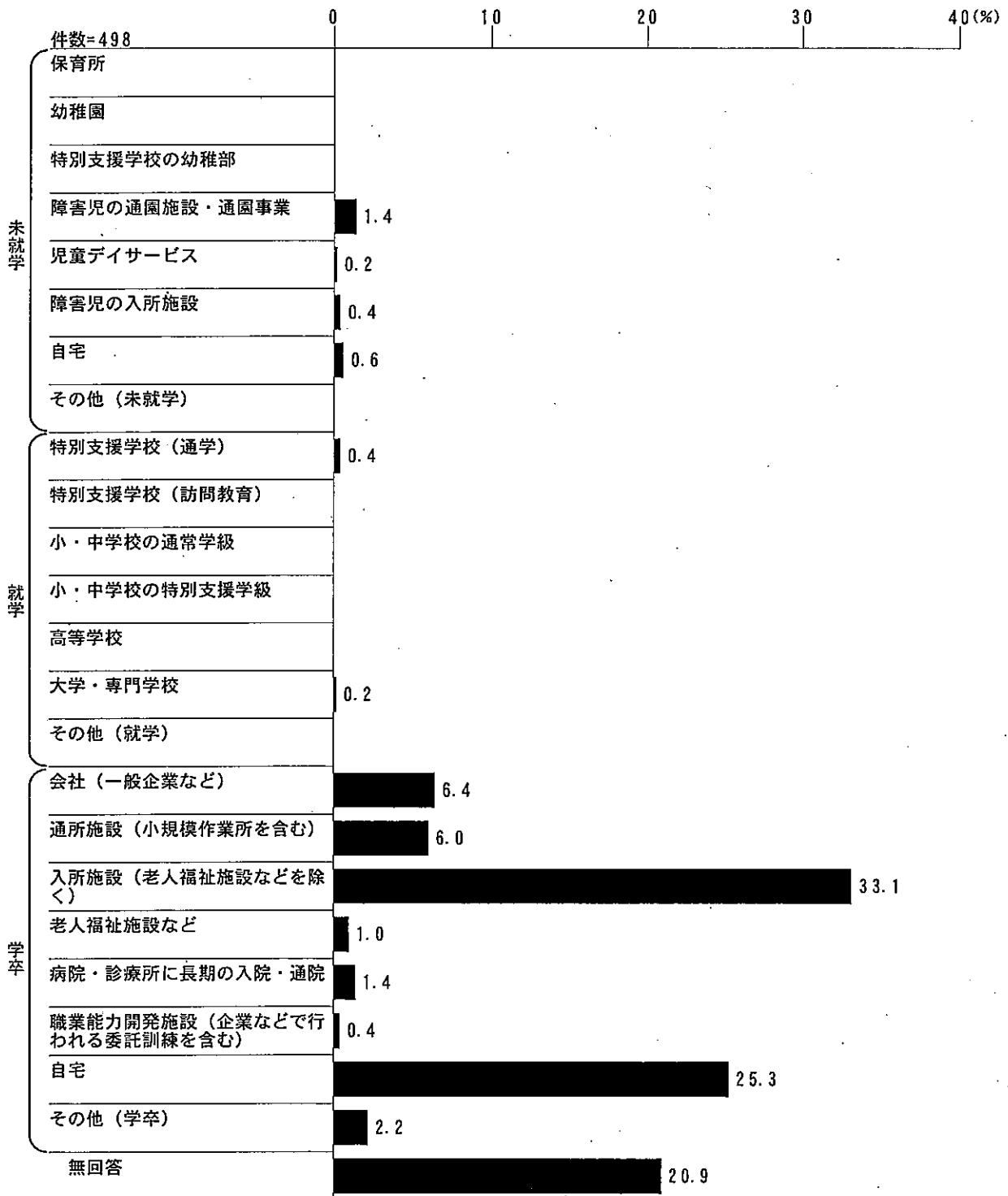
芸術文化活動をしない理由は、「興味がない」30.5%、「きっかけがない」21.7%、「出来る種目・種類がない」18.1%などの理由が多くなっている。

## 8 昼間過ごす場所

### (1)現在の状況

問 16 あなたが、昼間を主に過ごす場所についておたずねします。

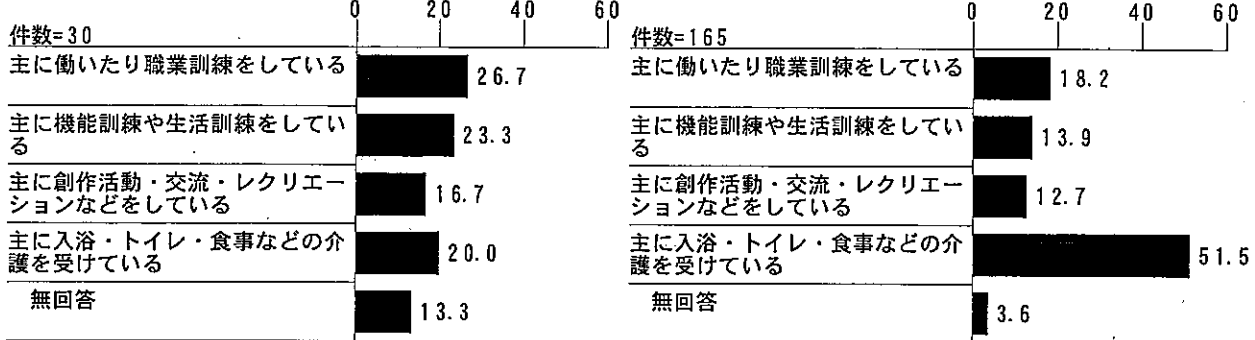
(1) あなたは、昼間を主にどこで過ごしていますか。「未就学（学校へ通う前）の方」「学校に通っている方」「学校を卒業している方」の中から、あなたにあてはまる設問についてお答えください。（もっともあてはまる番号 1 つに○印）



※通所施設・入所施設では主にどんな活動をされていますか。

(通所施設)

(%) (入所施設)



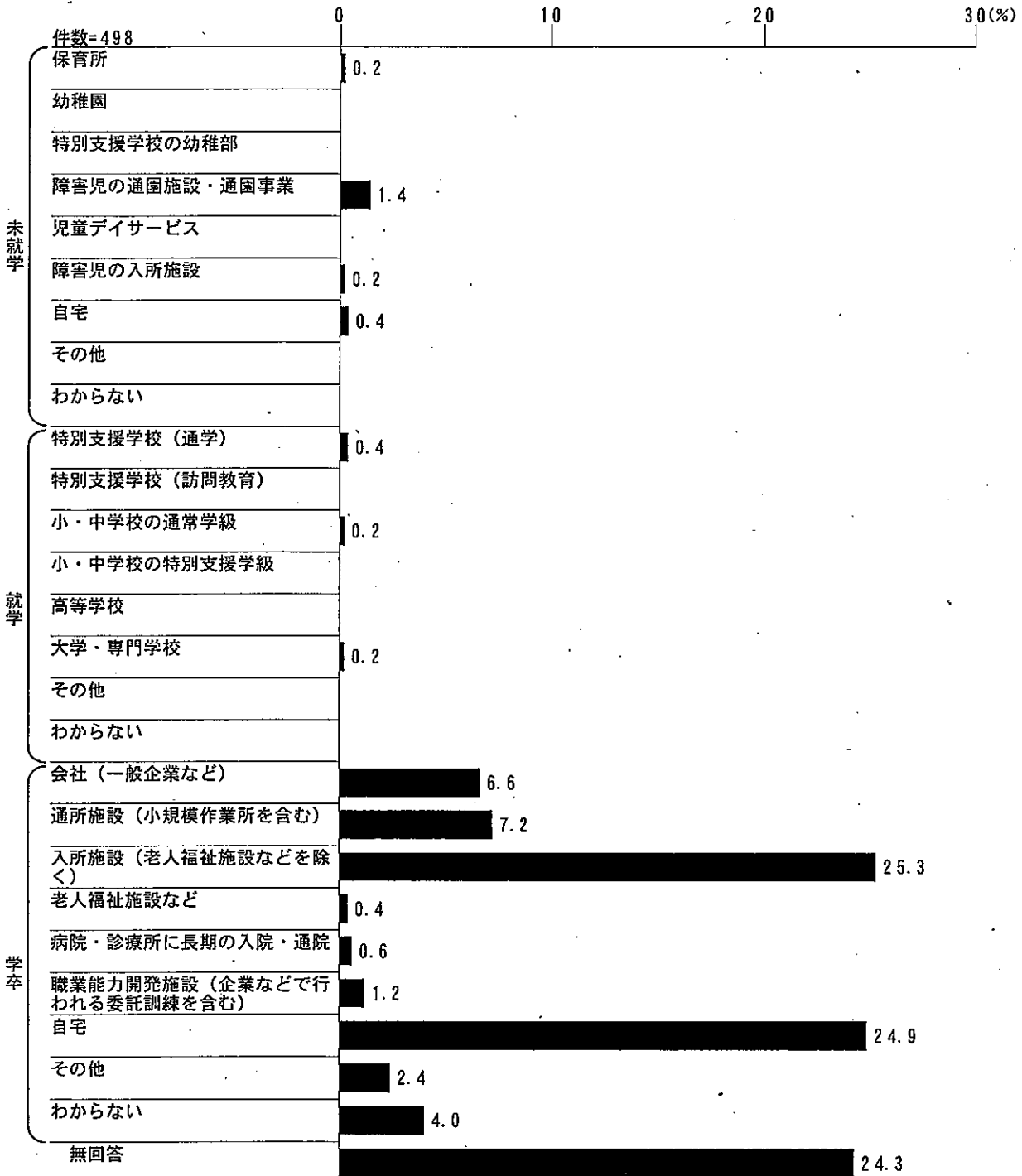
昼間を主に過ごす場所は、未就学では「障害児の通園施設・通園事業」など、就学では「特別支援学校（通学）」など、学卒では「入所施設（老人福祉施設などを除く）」33.1%、「自宅」25.3%、「会社（一般企業など）」6.4%、「通所施設（小規模作業所を含む）」6.0%などとなっている。

通所施設や入所施設の活動内容は、各種訓練やレクリエーション、介護など多岐にわたっている。

## (2)将来の希望

問 16 あなたが、昼間を主に過ごす場所についておたずねします。

(2) あなたは、昼間を主にどこで過ごしたいと思いますか。「未就学(学校へ通う前)の方」「学校へ通っている方」「学校を卒業している方」の中から、あなたにあてはまる設問についてお答えください。(もっともあてはまる番号 1 つに○印)

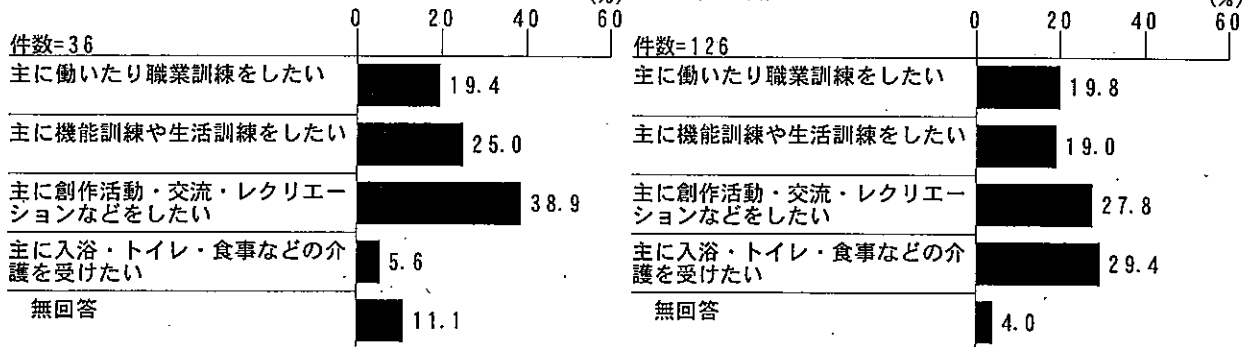




※通所施設・入所施設では主にどんな活動をしたいですか。

(通所施設)

(入所施設)



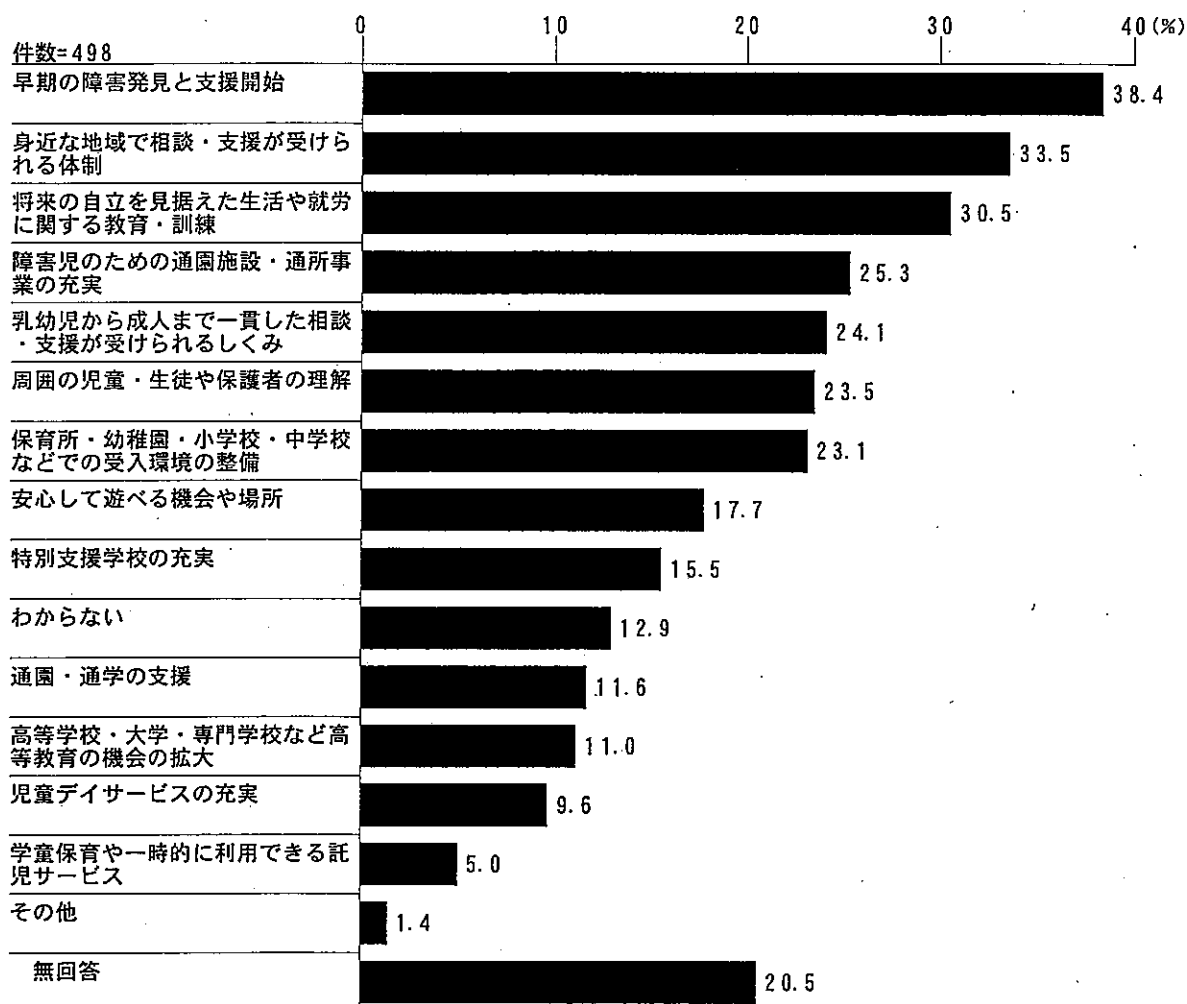
昼間を主に過ごしたい場所は、未就学では「障害児の通園施設・通園事業」など、就学では「特別支援学校（通学）」など、学卒では「入所施設（老人福祉施設などを除く）」25.3%、「自宅」24.9%、「通所施設（小規模作業所を含む）」7.2%、「会社（一般企業など）」6.6%などとなっている。

通所施設や入所施設で希望する活動内容は、現在の状況より「入浴・トイレ・食事などの介護」の割合が低くなっている。

## 9 障害のある子どもたちが暮らしやすくなるために必要なこと

問 17 障害のある子どもたちが暮らしやすくなるためには、どんなことが必要だと思いますか。

(もっともあてはまる番号5つまでに○印)



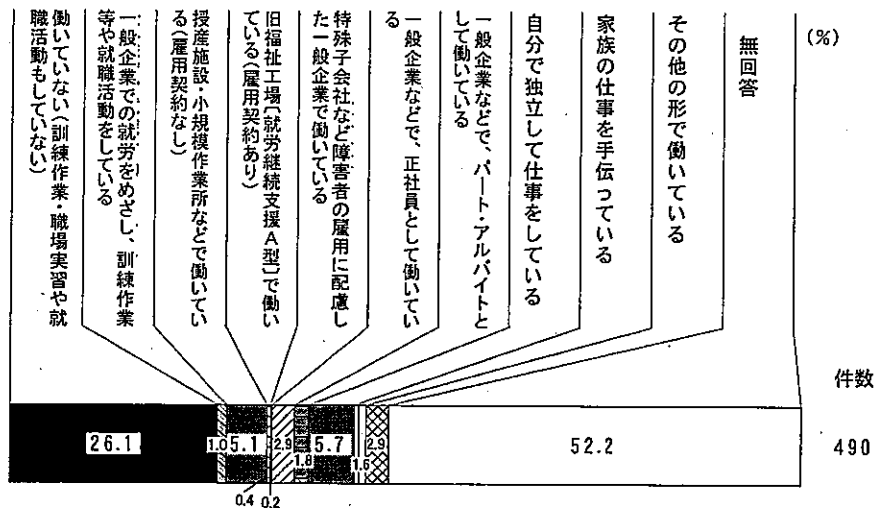
障害のある子どもたちが暮らしやすくなるために必要なことは、「早期の障害発見と支援開始」が38.4%と最も多く、以下「身近な地域で相談・支援が受けられる体制」33.5%、「将来の自立を見据えた生活や就労に関する教育・訓練」30.5%、「障害児のための通園施設・通所事業の充実」25.3%、「乳幼児から成人まで一貫した相談・支援が受けられるしくみ」24.1%、「周囲の児童・生徒や保護者の理解」23.5%、「保育所・幼稚園・小学校・中学校などでの受入環境の整備」23.1%などとなっている。

## 10 就労

### (1)現在の就労形態

問 18 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについておたずねします。

(1) あなたは現在働いていますか。働いている場合はどんな形で働いていますか。（あてはまる番号1つに○印）

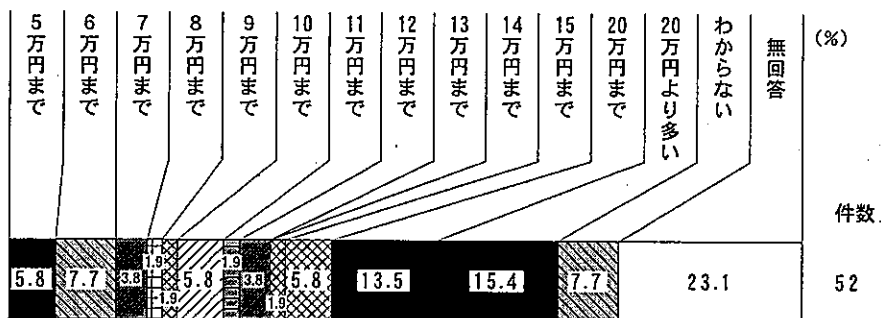


現在の就労形態は、「働いていない（訓練作業・職場実習や就職活動もしていない）」が26.1%と最も多く、以下「自分で独立して仕事をしている」5.7%、「授産施設・小規模作業所などで働いている（雇用契約なし）」5.1%などとなっている。

### (2)1か月の給料

問 18 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについておたずねします。

(2) 「特例子会社など障害者の雇用に配慮した一般企業で働いている」方、「一般企業などで正社員又はパート・アルバイトとして働いている」方、「自分で独立して仕事をしている」方におたずねします。1か月の給料（税引き前）は、どれくらいですか。（あてはまる番号1つに○印）

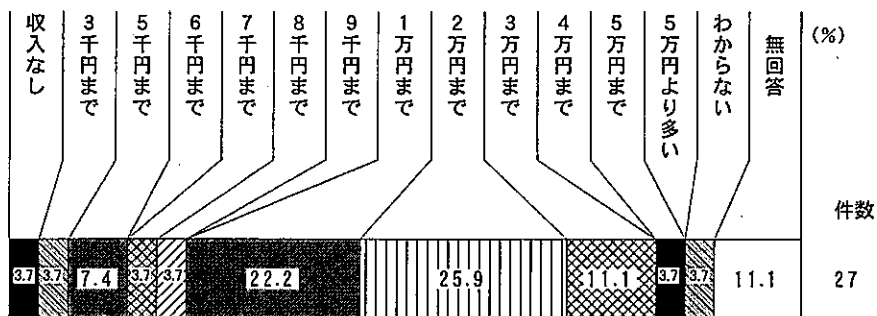


一般企業で働いている方や独立して仕事をしている方の1か月の給料は、「20万円より多い」15.4%、「20万円まで」13.5%が多いものの、15万円以下で約4割を占めている。

(3)1か月の工賃

問 18 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについておたずねします。

(3) 「授産施設・小規模作業所・地域活動支援センターなど」「旧福祉工場〔就労継続支援A型〕」で働いている方におたずねします。1か月の工賃（税引き前）は、どれくらいですか。（あてはまる番号1つに○印）

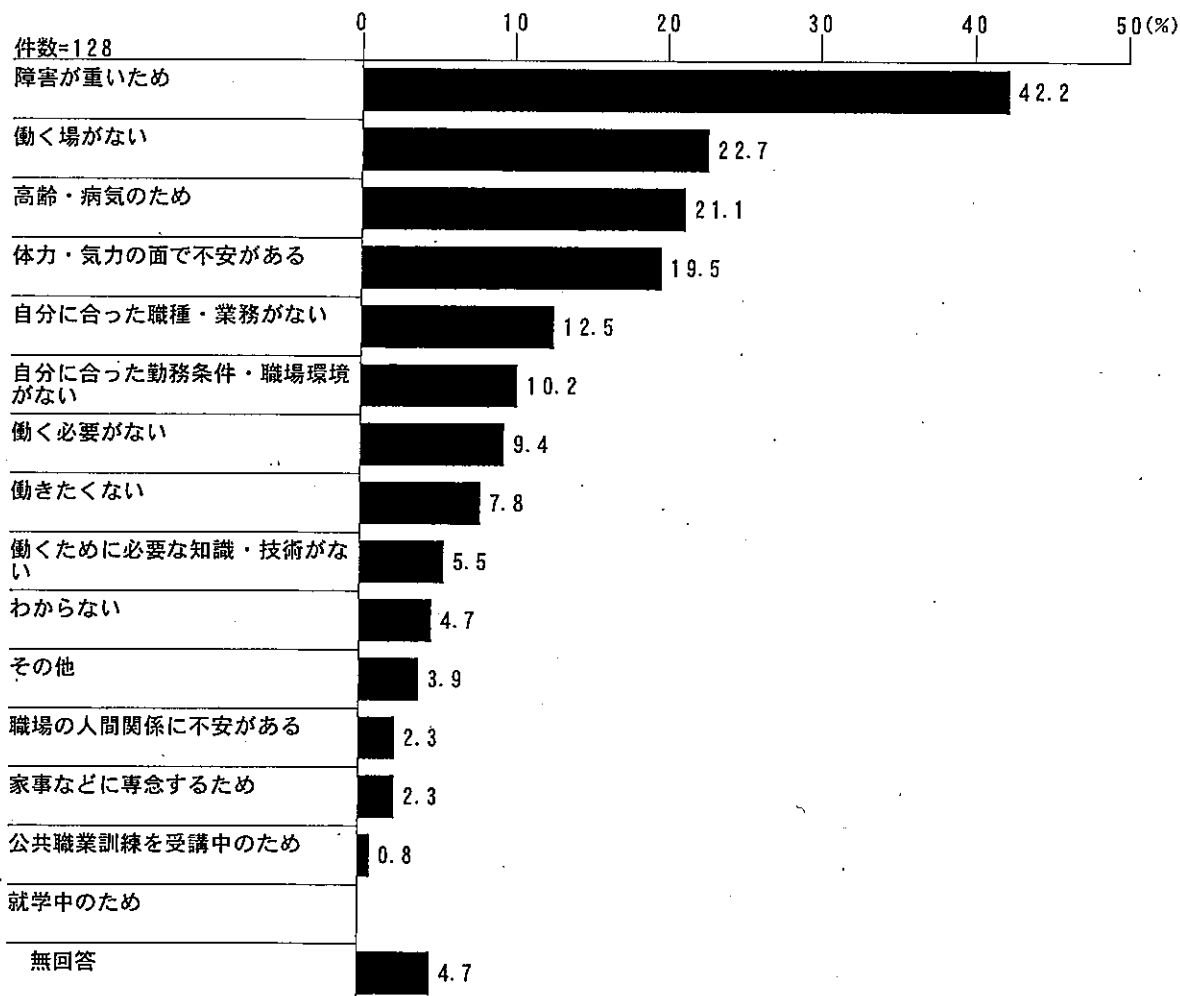


授産施設・小規模作業所・地域活動支援センターや旧福祉工場（就労継続支援A型）で働いている方の1か月の工賃は、「2万円まで」25.9%、「1万円まで」22.2%が多くなっている。

#### (4)働いていない理由

問 18 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについておたずねします。

(4) 現在働いていない方におたずねします。働いていない理由は、次のうちどれですか。（もっともあてはまる番号3つまでに○印）

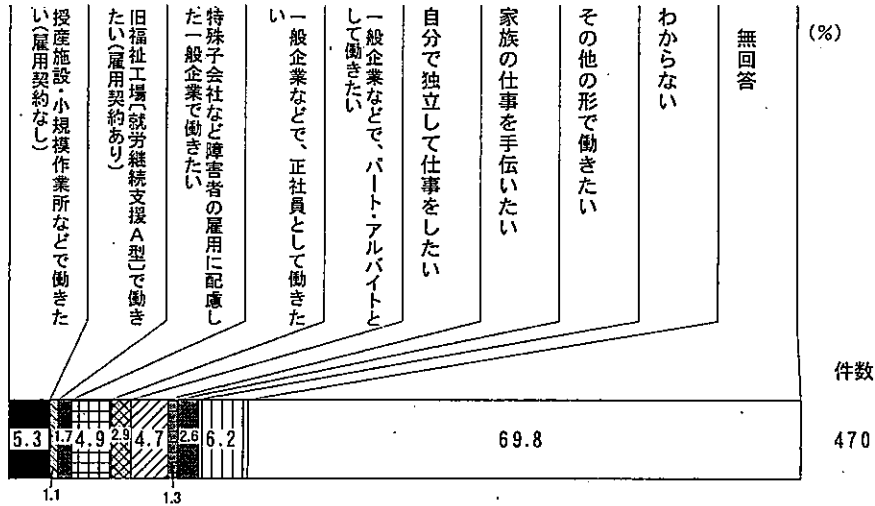


現在働いていない方のその理由は、「障害が重いため」が42.2%と最も多く、以下「働く場がない」22.7%、「高齢・病気のため」21.1%、「体力・気力の面で不安がある」19.5%、「自分に合った職種・業務がない」12.5%、「自分に合った勤務条件・職場環境がない」10.2%などとなっている。

(5)就労形態の希望

問 19 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについて、あなたの今後のご希望をおたずねします。なお、この問いは、「働く必要がない」方・「働きたくない」方は、お答えいただくなくて結構です。

(1) あなたは今後、どのような形で働きたい〔または、働き続けたい〕ですか。（もっともあてはまる番号1つに○印）

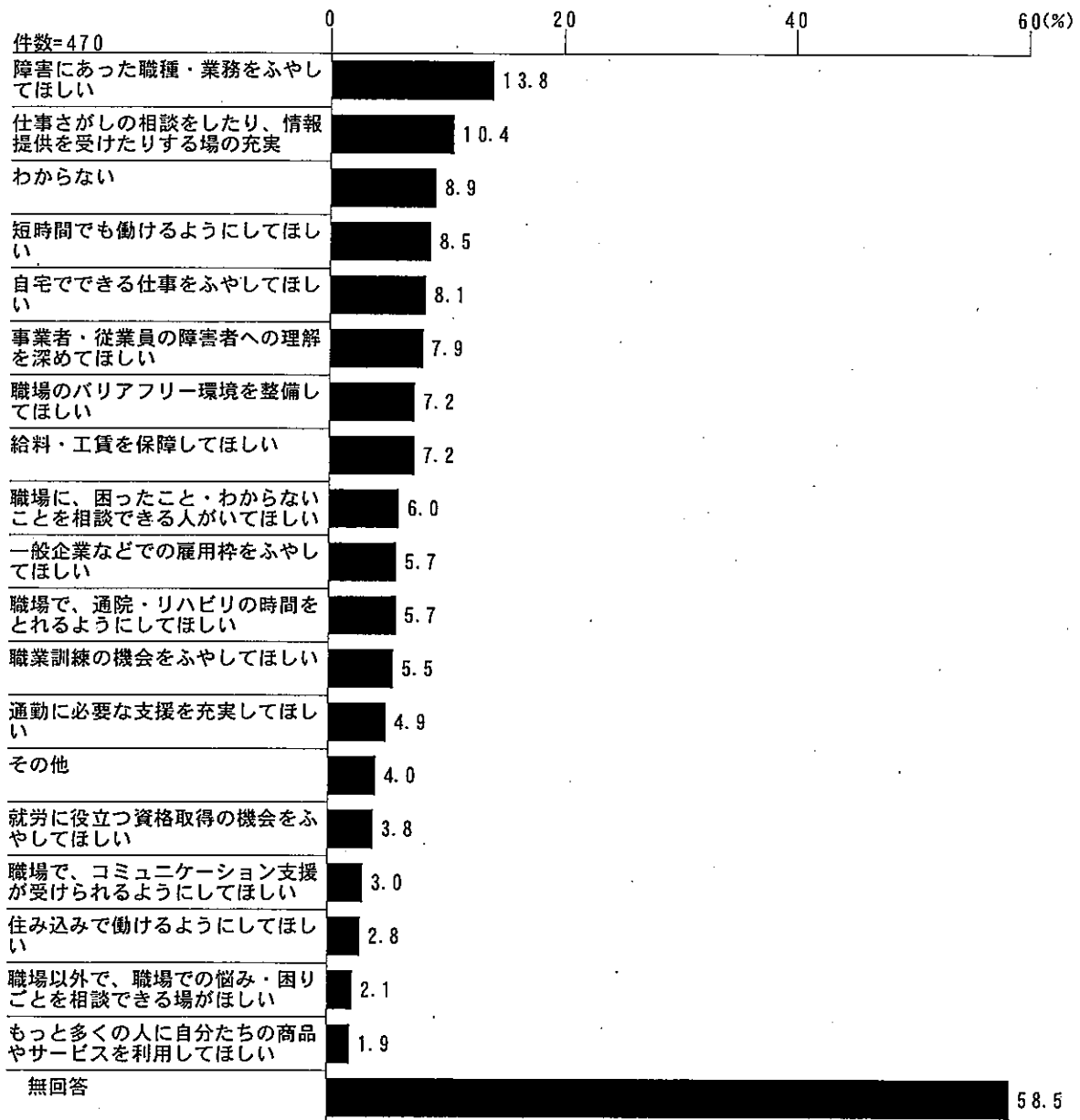


今後の就労形態の希望は、「授産施設・小規模作業所などで働きたい（雇用契約なし）」5.3%、「一般企業などで、正社員として働きたい」4.9%、「自分で独立して仕事をしたい」4.7%などとなっている。

## (6)働くために必要なこと

問 19 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについて、あなたの今後のご希望をおたずねします。なお、この問いは、「働く必要がない」方・「働きたくない」方は、お答えいただかなくて結構です。

(2) あなたが今後、働き始めるためには「または、もっとたくさん働くためには」、どんなことが必要ですか。（もっともあてはまる番号5つまでに○印）



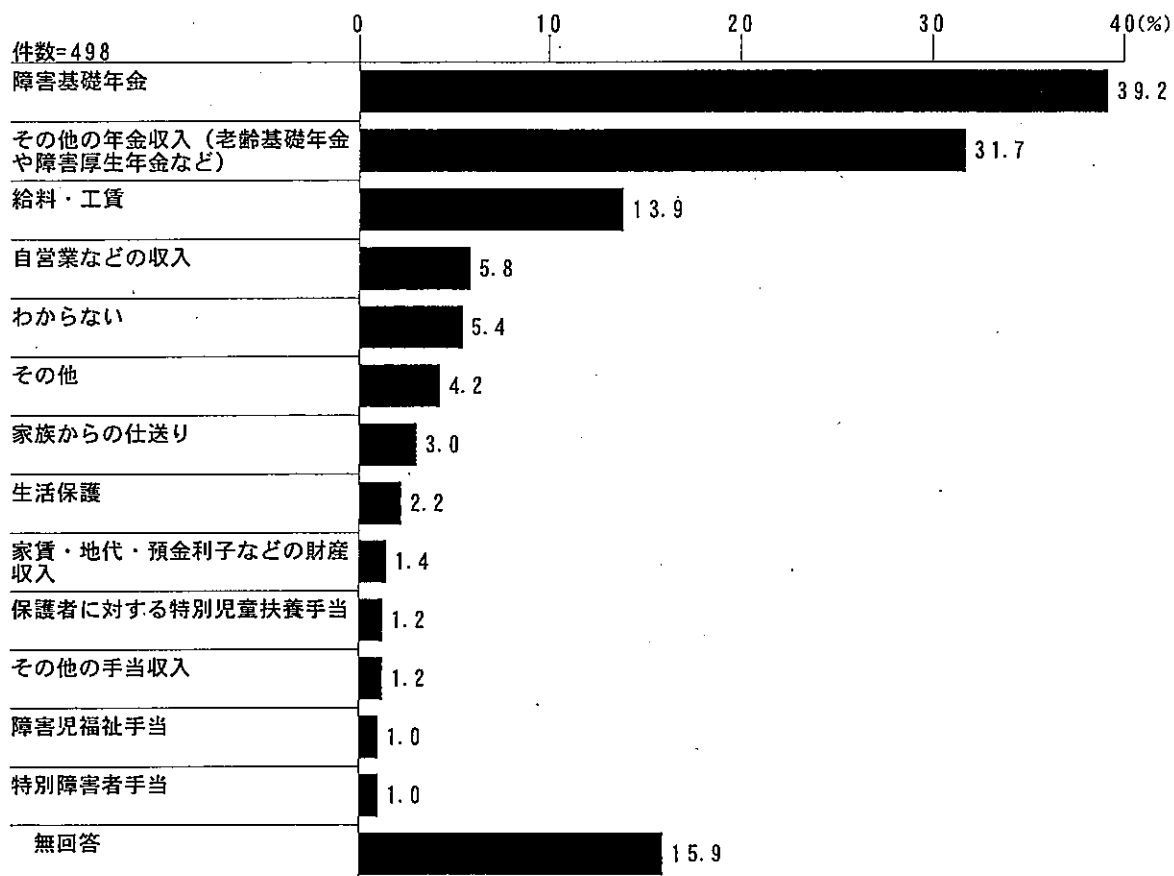
働くために必要なこととして、「障害にあった職種・業務をふやしてほしい」が13.8%と最も多く、以下「仕事さがしの相談をしたり、情報提供を受けたりする場の充実」10.4%、「短時間でも働けるようにしてほしい」8.5%、「自宅でできる仕事をふやしてほしい」8.1%、「事業者・従業員の障害者への理解を深めてほしい」7.9%などとなっている。

## 11 収入

### (1)収入の内訳

問 20 あなたご自身の収入についておたずねします。

(1) あなたご自身の収入の内訳は、次のうちどれにあたりますか。(あてはまる番号<sup>すべて</sup>に○印)



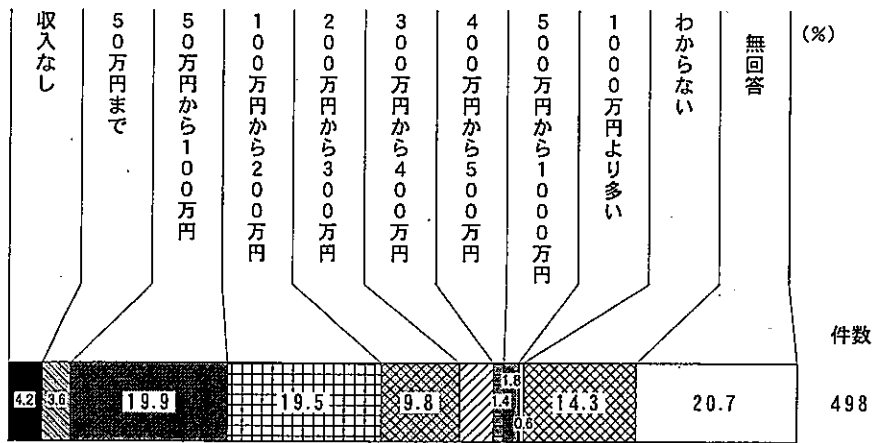
対象者自身の収入の内訳は、「障害基礎年金」39.2%、「その他の年金収入（老齢基礎年金や障害厚生年金など）」31.7%が突出して多く、以下「給料・工賃」13.9%、「自営業などの収入」5.8%などとなっている。



(2)年間収入

問 20 あなたご自身の収入についておたずねします。

(2) あなたご自身の年間収入（税引き前）は、給料・工賃や年金・手当を含めて、およそどれくらいですか。（もっともあてはまる番号 **1つ** に○印）



給料・工賃や年金・手当を含めた年間収入は、「50万円から100万円」19.9%、「100万円から200万円」19.5%で約4割を占めている。

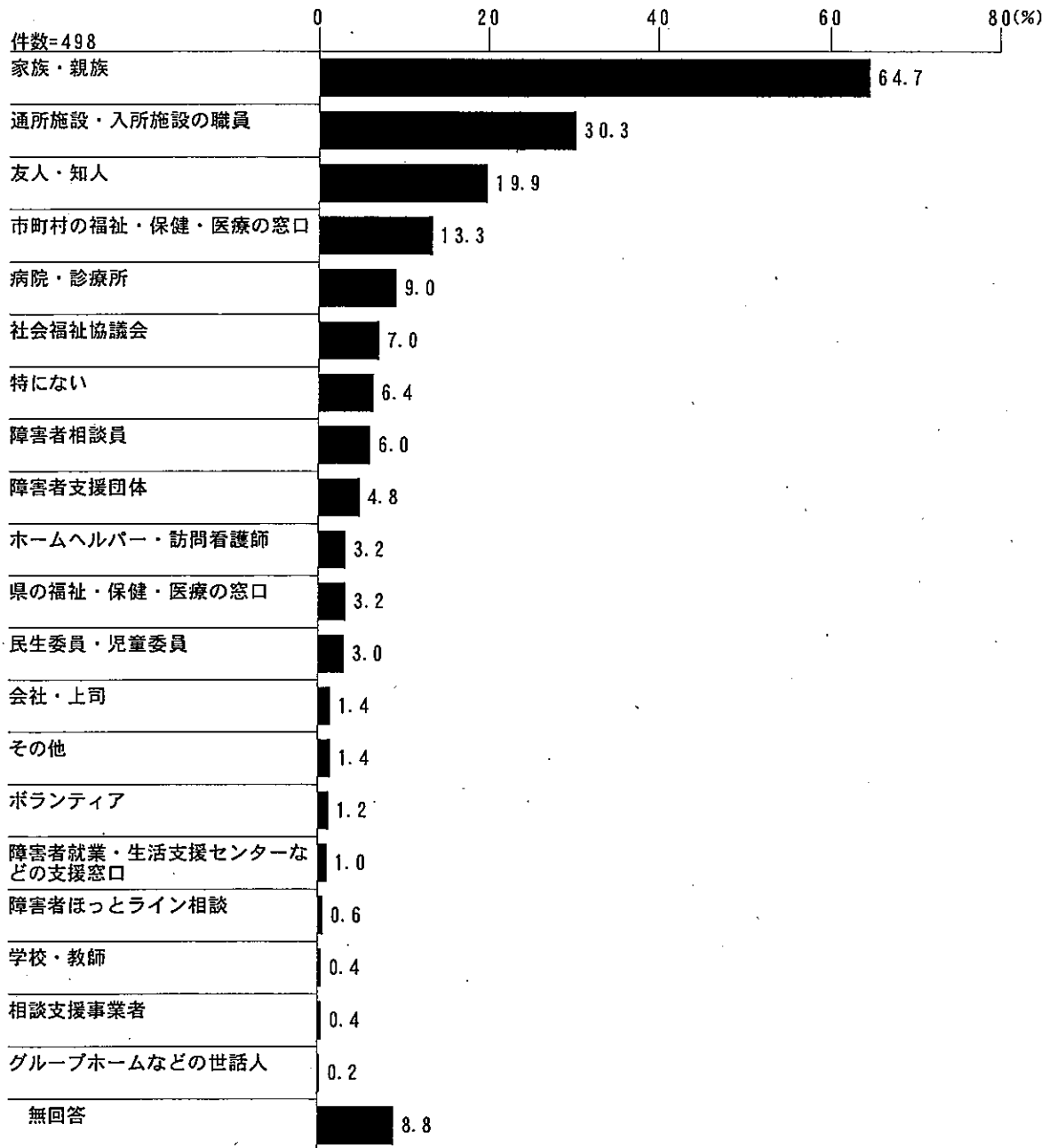
## 12 相談

### (1) 主な相談先

問 21 あなたが困ったときの相談についておたずねします。

(1) あなたが困ったときの主な相談先は、次のうちどこですか。(もっともあてはまる番号 3 つま

で○印)

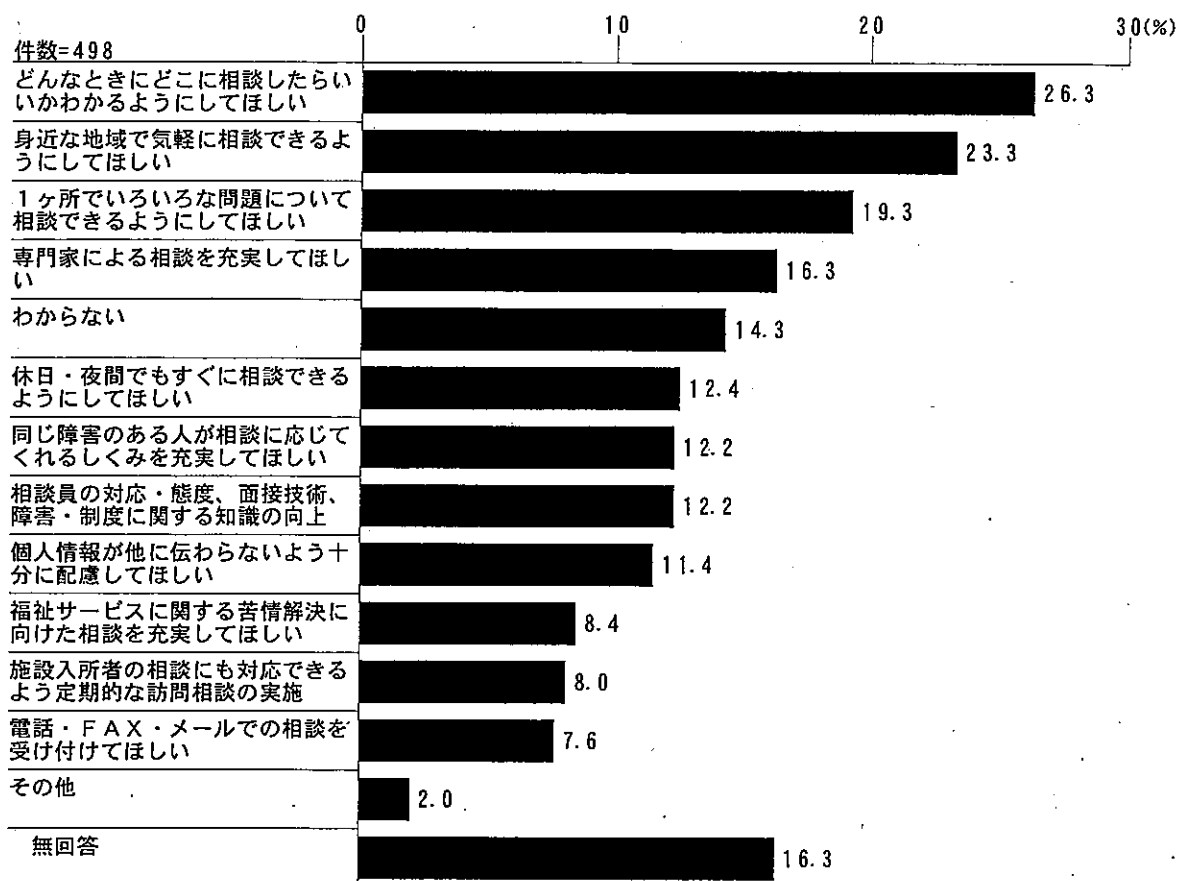


困ったときの主な相談先は、「家族・親族」が64.7%と最も多く、以下「通所施設・入所施設の職員」30.3%、「友人・知人」19.9%、「市町村の福祉・保健・医療の窓口」13.3%、「病院・診療所」9.0%などとなっている。

## (2)福祉・生活に関する相談の希望

問 21 あなたが困ったときの相談についておたずねします。

(2) あなたは、福祉・生活に関する相談に、どんなことを希望しますか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)

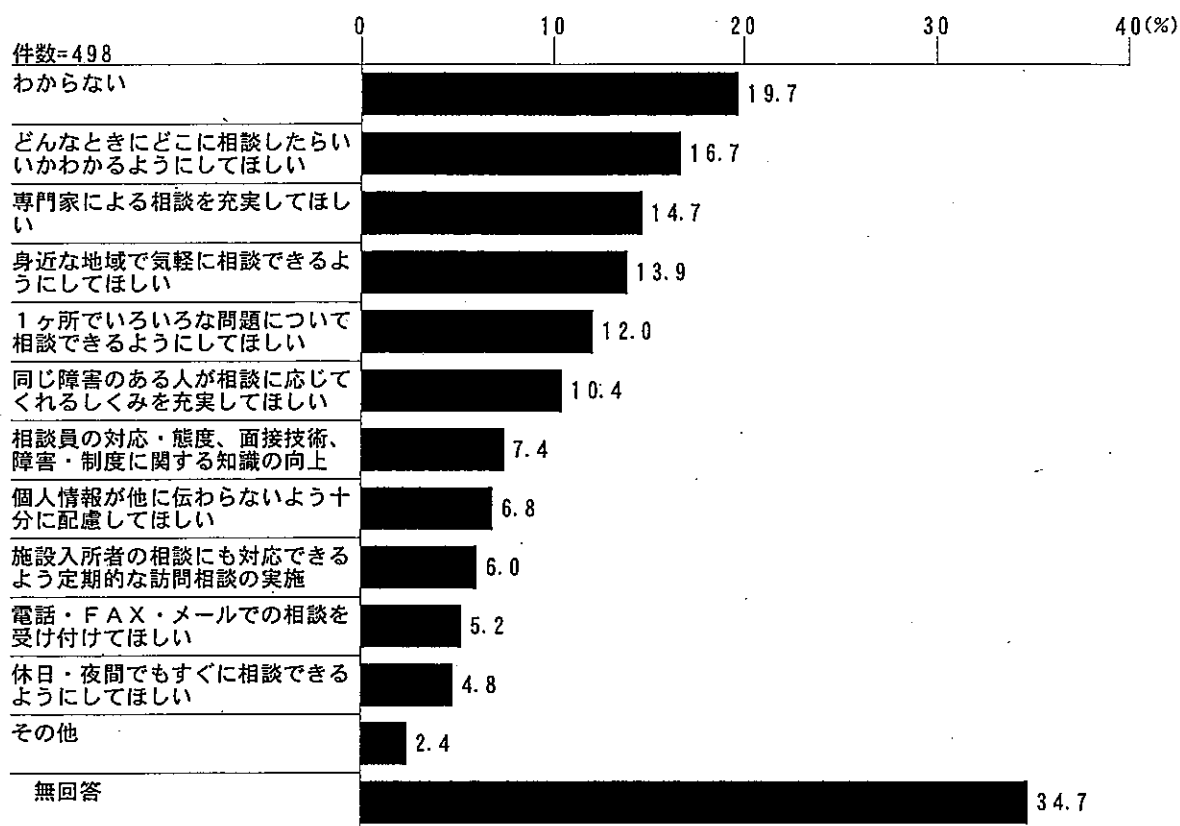


福祉・生活に関する相談の希望は、「どんなときにどこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」が26.3%と最も多く、以下「身近な地域で気軽に相談できるようにしてほしい」23.3%、「1ヶ所でいろいろな問題について相談できるようにしてほしい」19.3%、「専門家による相談を充実してほしい」16.3%などとなっている。

### (3)就労・就業に関する相談の希望

問 21 あなたが困ったときの相談についておたずねします。

(3) あなたは、就労・就業に関する相談に、どんなことを希望しますか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)



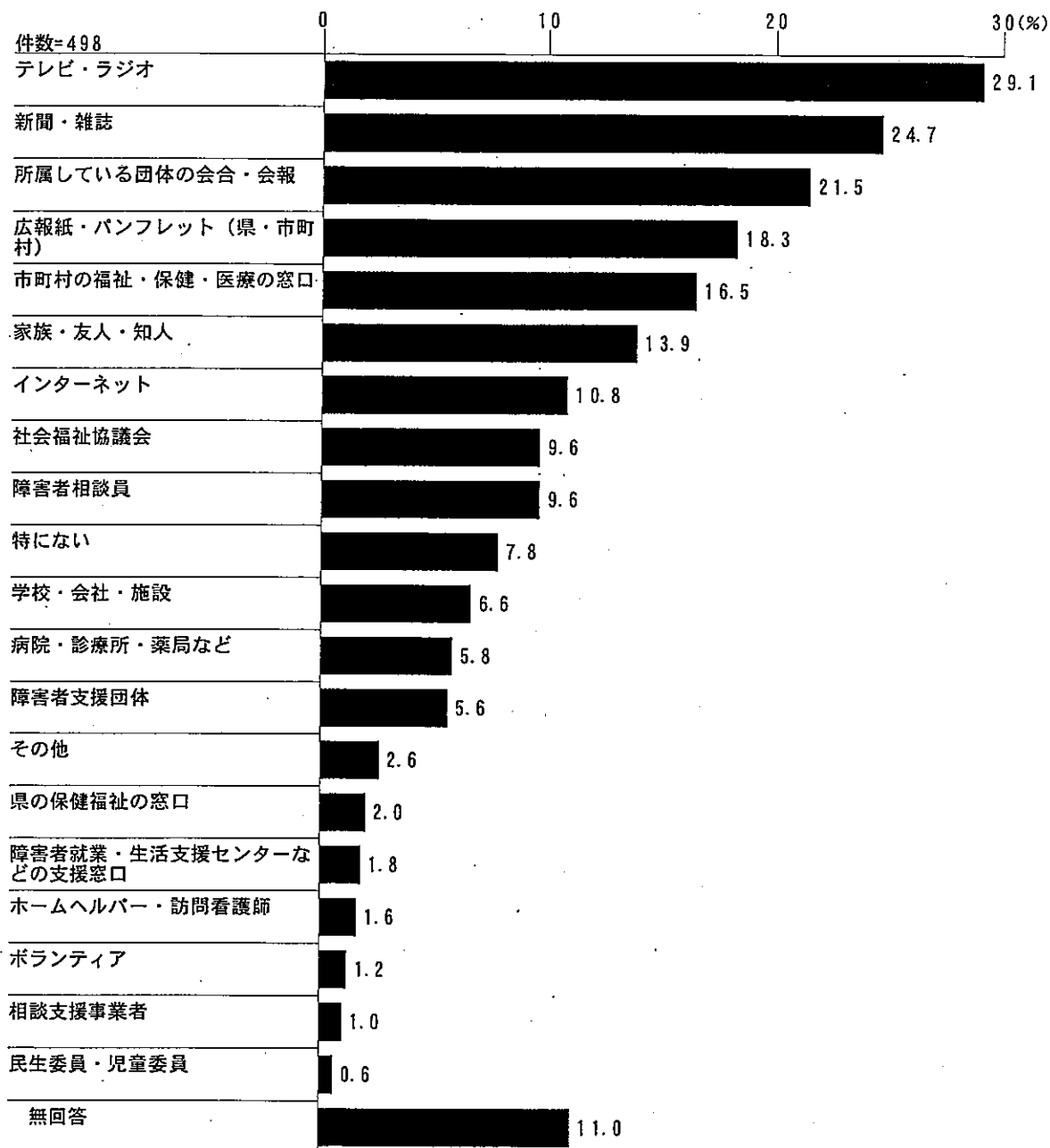
就労・就業に関する相談の希望は、「どんなときにどこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」が16.7%と最も多く、以下「専門家による相談を充実してほしい」14.7%、「身近な地域で気軽に相談できるようにしてほしい」13.9%、「1ヶ所でいろいろな問題について相談できるようにしてほしい」12.0%、「同じ障害のある人が相談に応じてくれるしくみを充実してほしい」10.4%などとなっている。

### 13 情報の入手方法

#### (1)情報の入手先

問 22 情報の入手方法についておたずねします。

(1) あなたは、福祉サービスなどに関する情報を、主にどこから得ていますか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)

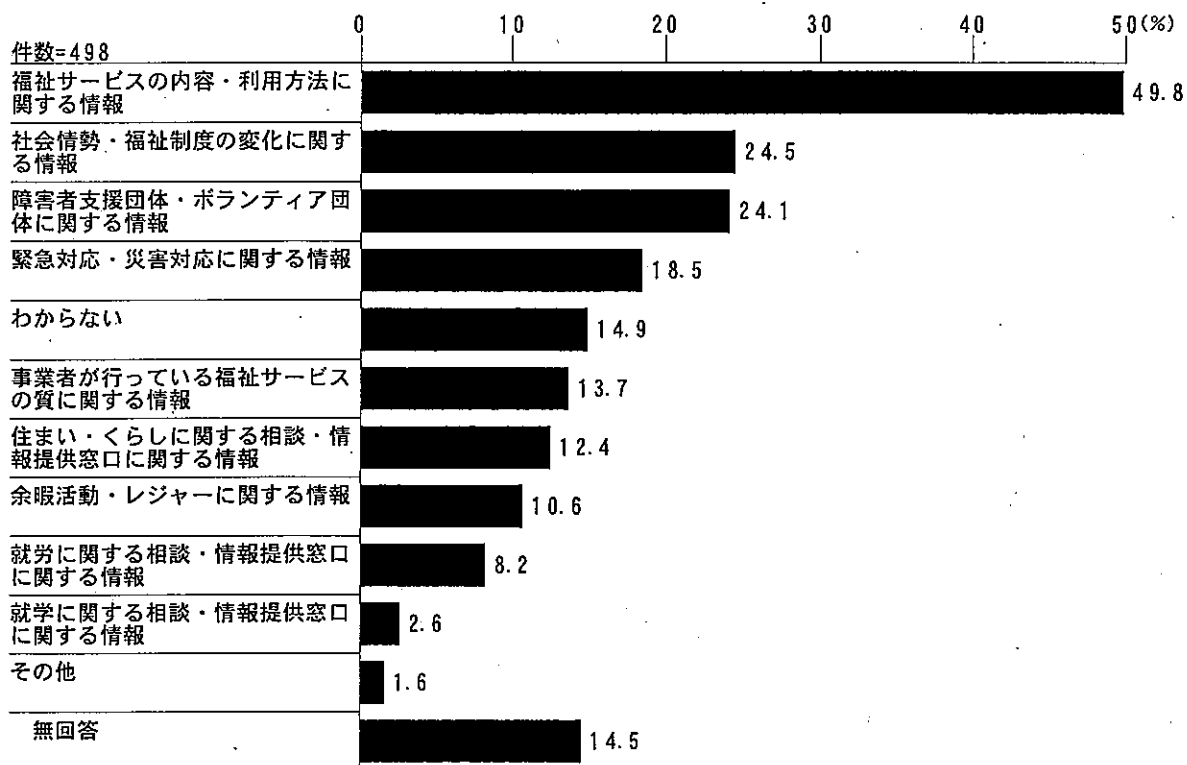


福祉サービスなどに関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオ」29.1%、「新聞・雑誌」24.7%、「所属している団体の会合・会報」21.5%、「広報紙・パンフレット(県・市町村)」18.3%、「市町村の福祉・保健・医療の窓口」16.5%、「家族・友人・知人」13.9%、「インターネット」10.8%、「社会福祉協議会」9.6%、「障害者相談員」9.6%などとなっている。

## (2) 今後充実してほしい情報

問 22 情報の入手方法についておたずねします。

(2) あなたにとって、今後充実してほしい情報は、次のうちどれですか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)



今後充実してほしい情報は、「福祉サービスの内容・利用方法に関する情報」が 49.8%と最も多く、以下「社会情勢・福祉制度の変化に関する情報」24.5%、「障害者支援団体・ボランティア団体に関する情報」24.1%、「緊急対応・災害対応に関する情報」18.5%などとなっている。

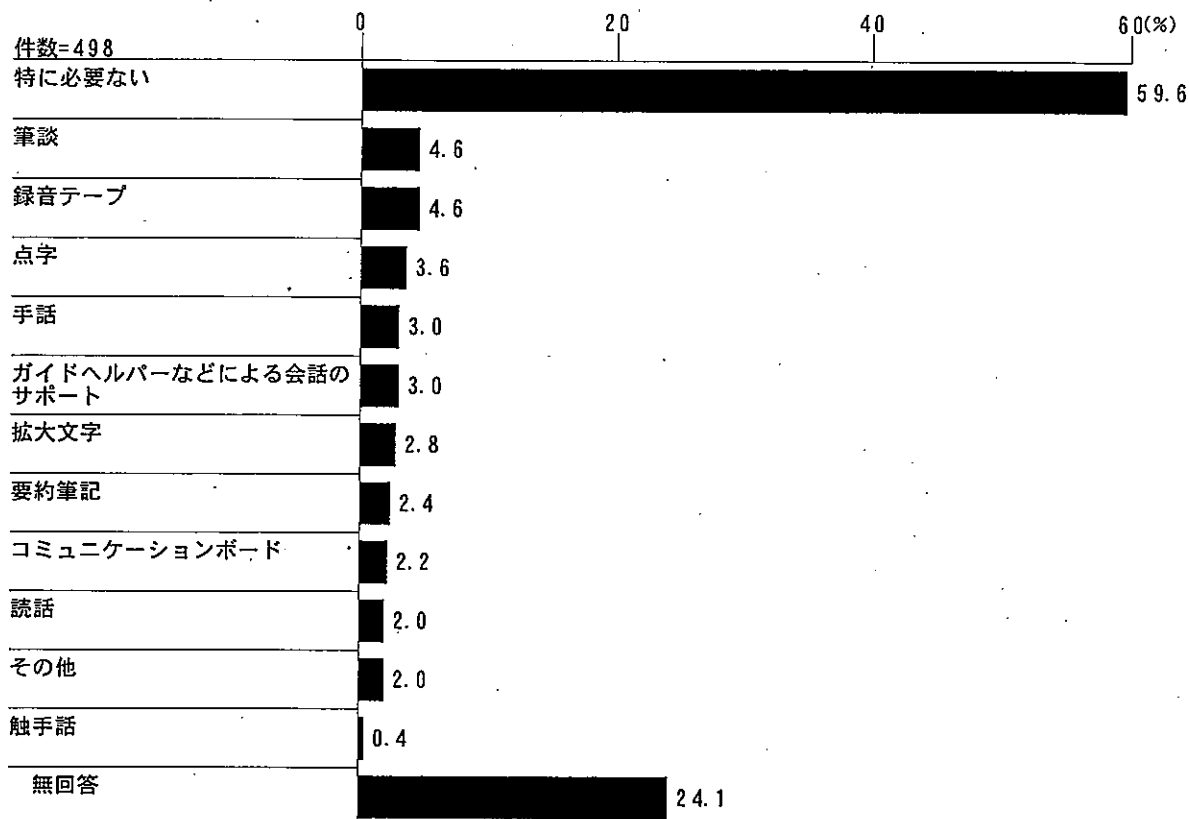
## 14 コミュニケーション支援

### (1) 必要なコミュニケーション支援

問 23 コミュニケーション（意思疎通）支援についておたずねします。

(1) あなたに必要なコミュニケーション支援は、次のうちどれですか。（あてはまる番号

すべてに○印)

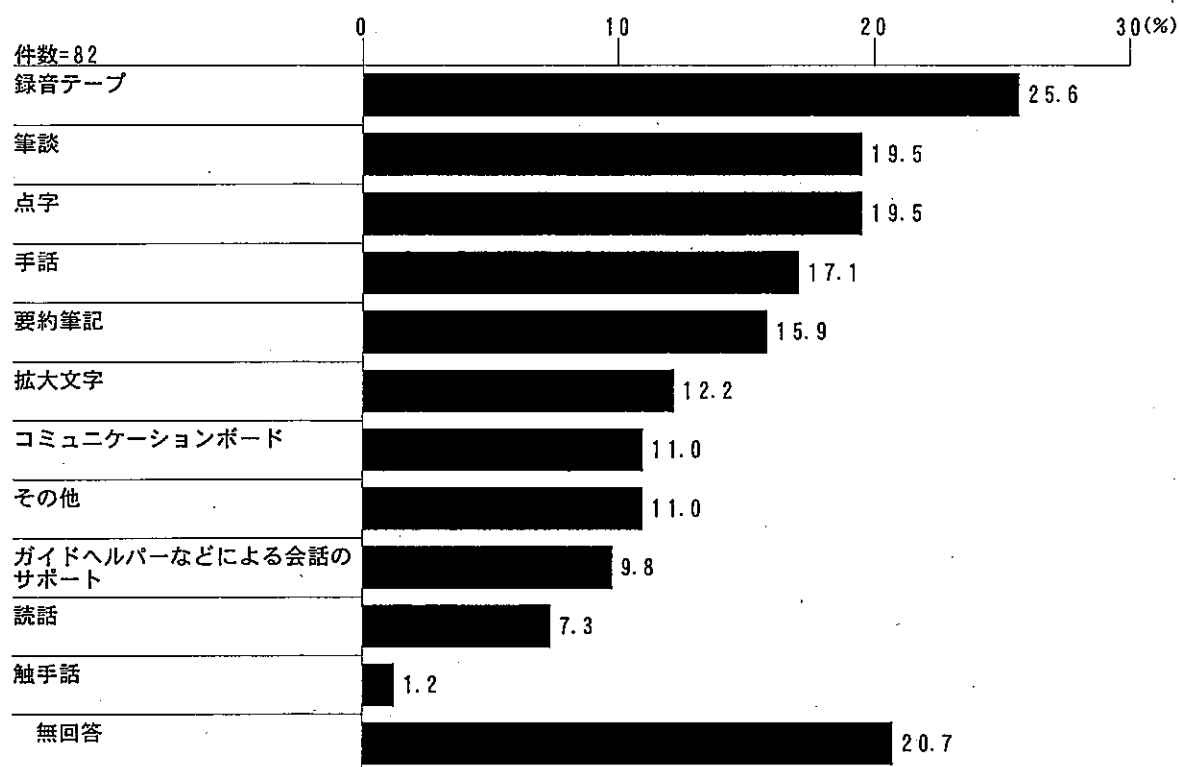


必要なコミュニケーション支援は、「特に必要がない」が59.6%を占めているものの、「筆談」4.6%、「録音テープ」4.6%、「点字」3.6%、「手話」3.0%、「ガイドヘルパーなどによる会話のサポート」3.0%などがあがっている。

## (2) 利用したことのあるコミュニケーション支援

問 23 コミュニケーション（意思疎通）支援についておたずねします。

(2) コミュニケーション支援が必要な方におたずねします。過去1年間に利用したことがあるコミュニケーション支援は、次のうちどれですか。（あてはまる番号すべてに○印）



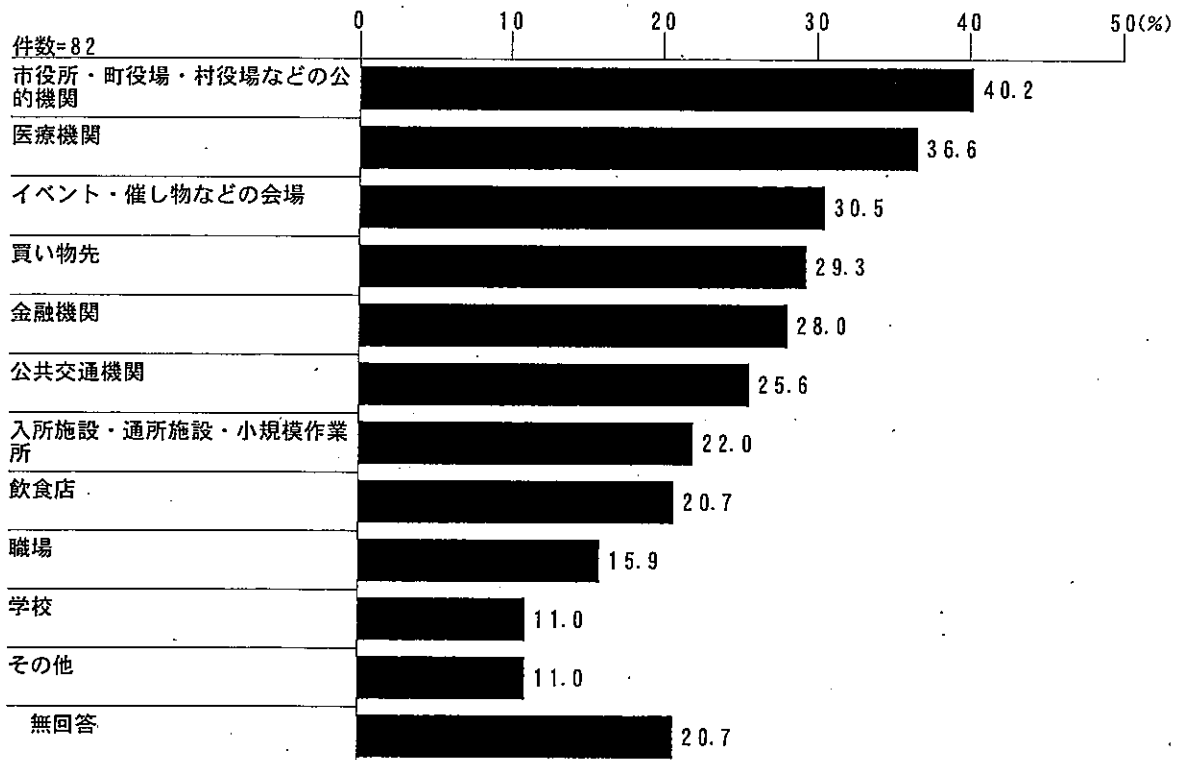
コミュニケーション支援が必要な方が利用したことがあるサービスは、「録音テープ」が 25.6%と最も多く、以下「筆談」19.5%、「点字」19.5%、「手話」17.1%、「要約筆記」15.9%、「拡大文字」12.2%、「コミュニケーションボード」11.0%などとなっている。



### (3)コミュニケーション支援を必要とする場所

問 23 コミュニケーション（意思疎通）支援についておたずねします。

(3) コミュニケーション支援が必要な方におたずねします。あなたがコミュニケーション支援を必要とする主な場所は、次のうちどれですか。（あてはまる番号すべてに○印）



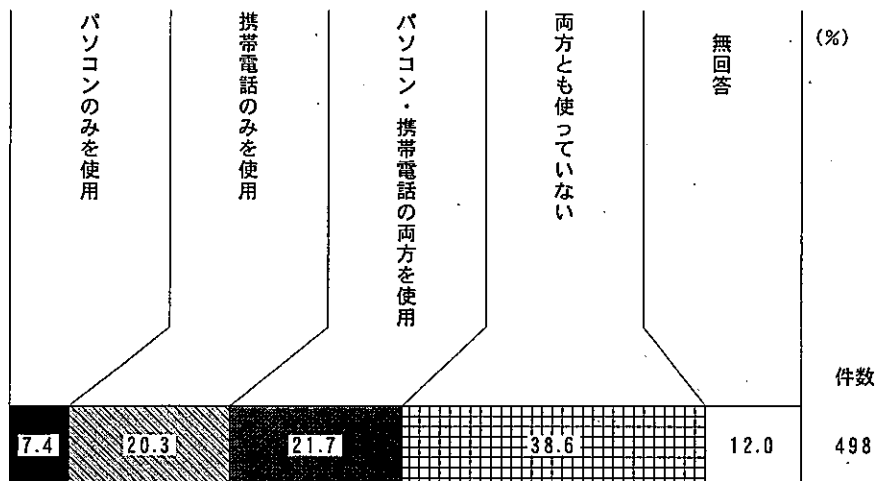
コミュニケーション支援を必要とする主な場所は、「市役所・町役場・村役場などの公的機関」が40.2%と最も多く、以下「医療機関」36.6%、「イベント・催し物などの会場」30.5%、「買い物先」29.3%、「金融機関」28.0%、「公共交通機関」25.6%などとなっている。

## 15 インターネット・電子メールの利用

### (1) パソコン・携帯電話の使用状況

問 24 パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの利用についておたずねします。

(1) あなたは、パソコン・携帯電話を使用していますか。(あてはまる番号1つに○印)

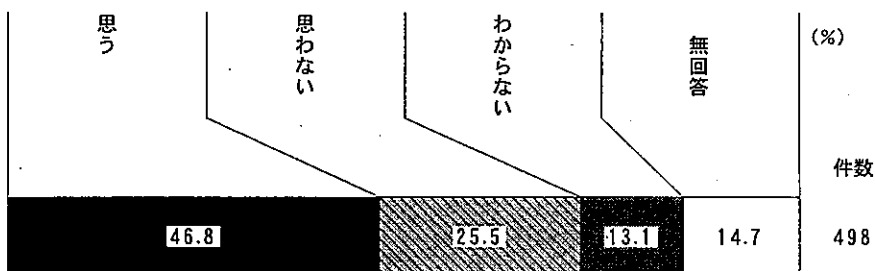


パソコン・携帯電話の使用状況は、「パソコンのみを使用」7.4%、「携帯電話のみを使用」20.3%、「パソコン・携帯電話の両方を使用」21.7%となっており、「両方とも使っていない」は38.6%となっている。

### (2) パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの活用意向

問 24 パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの利用についておたずねします。

(2) あなたは今後、パソコン・携帯電話を利用したインターネットや電子メールなどを活用してみたいと思いますか。(もっともあてはまる番号1つに○印)



パソコン・携帯電話を利用したインターネットや電子メールなどを活用したいと「思う」が46.8%、「思わない」が25.5%となっている。

### (3)インターネット・電子メールの活用にあたって受けている支援

問 24 パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの利用についておたずねします。

(3) パソコン・携帯電話を利用したインターネット・電子メールなどを活用されている方におたずねします。あなたはインターネットや電子メールの活用にあたり、何らかの支援を受けていますか。(あてはまる番号すべてに○印)

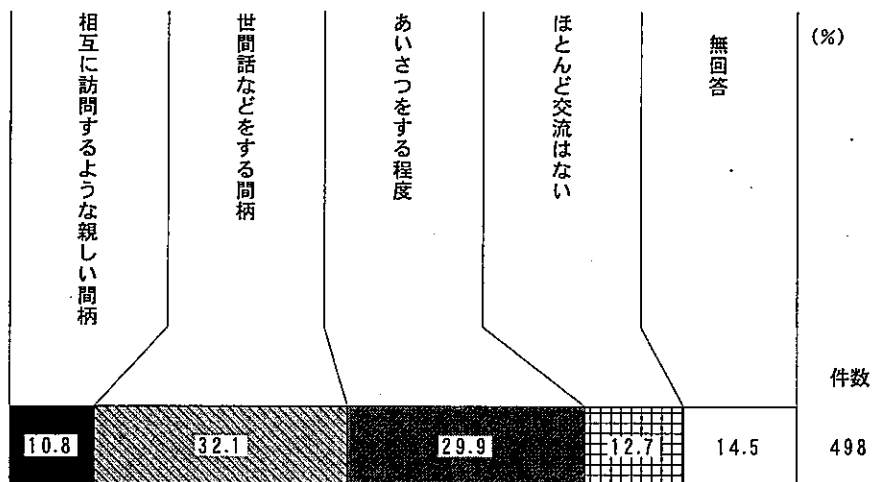


インターネットや電子メールの活用にあたって受けている支援は、「特に利用していない」が 52.0% を占めているものの、「パソコンボランティアを利用している」5.7%、「パソコン教室に通っている」4.9%、「ITサポートセンターを利用している」4.1%などがあがっている。

## 16 地域生活

### (1)近所づきあいの程度

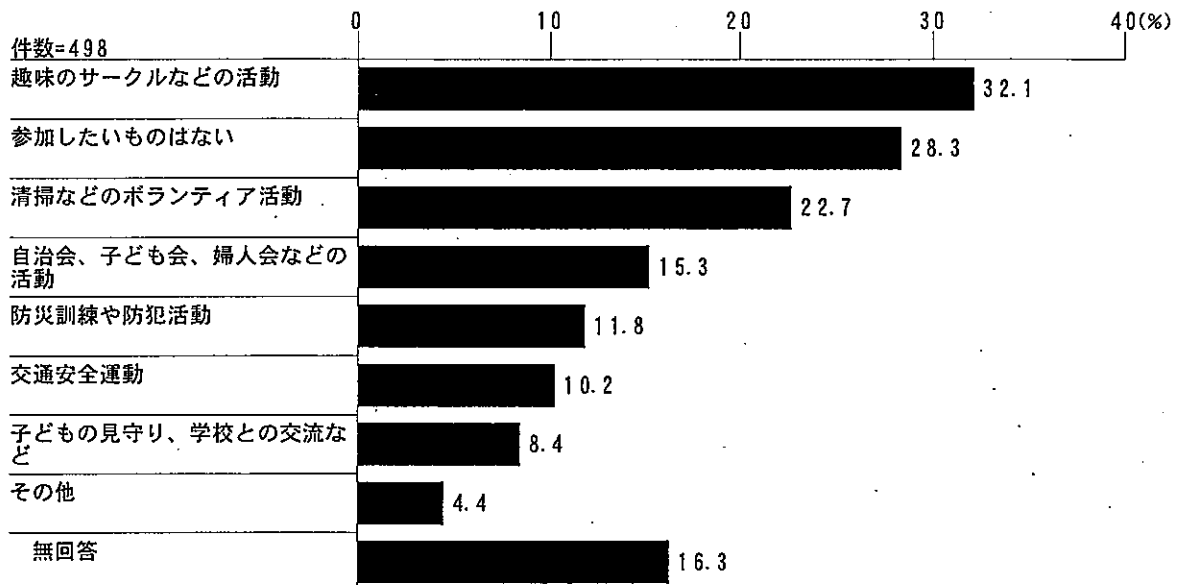
問 25 あなたの近所づきあい（向こう3軒両どなり程度。施設などに入所されている方は周囲の入所者の方とのつきあい）はどの程度ですか。（もっともあてはまる番号1つに○印）



近所づきあいの程度は、「世間話などをする間柄」32.1%、「あいさつをする程度」29.9%で約6割を占めている。

## (2)地域活動への参加意向

問 26 あなたは今後、地域で行う行事や活動などで参加してみたい（参加したことのあるものを含む）と思うものはありますか。（あてはまる番号すべてに○印）



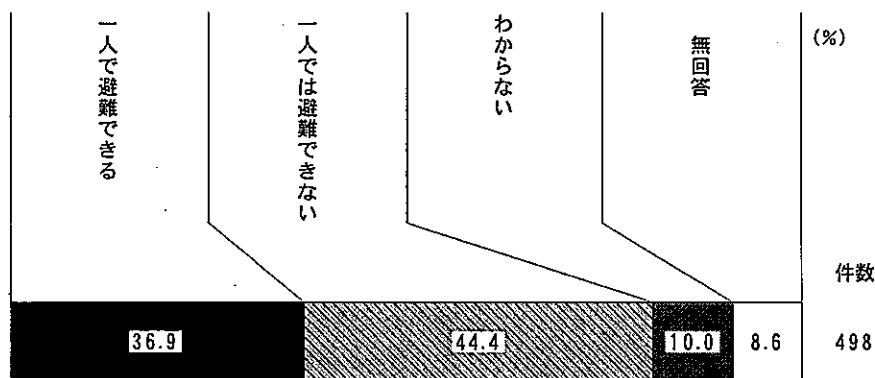
参加してみたい地域活動として、「趣味のサークルなどの活動」が 32.1%と最も多く、以下「清掃などのボランティア活動」22.7%、「自治会、子ども会、婦人会などの活動」15.3%、「防災訓練や防犯活動」11.8%、「交通安全運動」10.2%などとなっている。

## 17 災害時の対応

### (1)避難

問 27 災害が発生したときのことについておたずねします。

(1) あなたは、火事・地震・台風などの災害が発生したときに、一人で避難できますか。（あてはまる番号1つに○印）



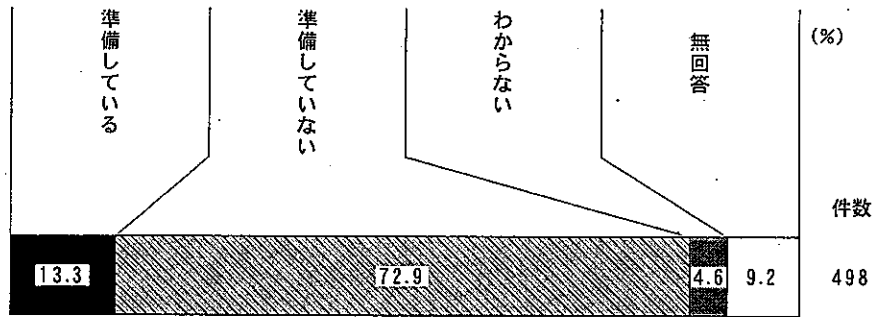
火事・地震・台風などの災害が発生したときに「一人で避難できる」が 36.9%、「一人では避難できない」が 44.4%となっている。

## (2)非常持ち出し品の準備

問 27 災害が発生したときのことについておたずねします。

(2) あなたは、災害の発生に備えて、医薬品や装具などの非常持ち出し品の準備をしていますか。

(あてはまる番号1つに○印)

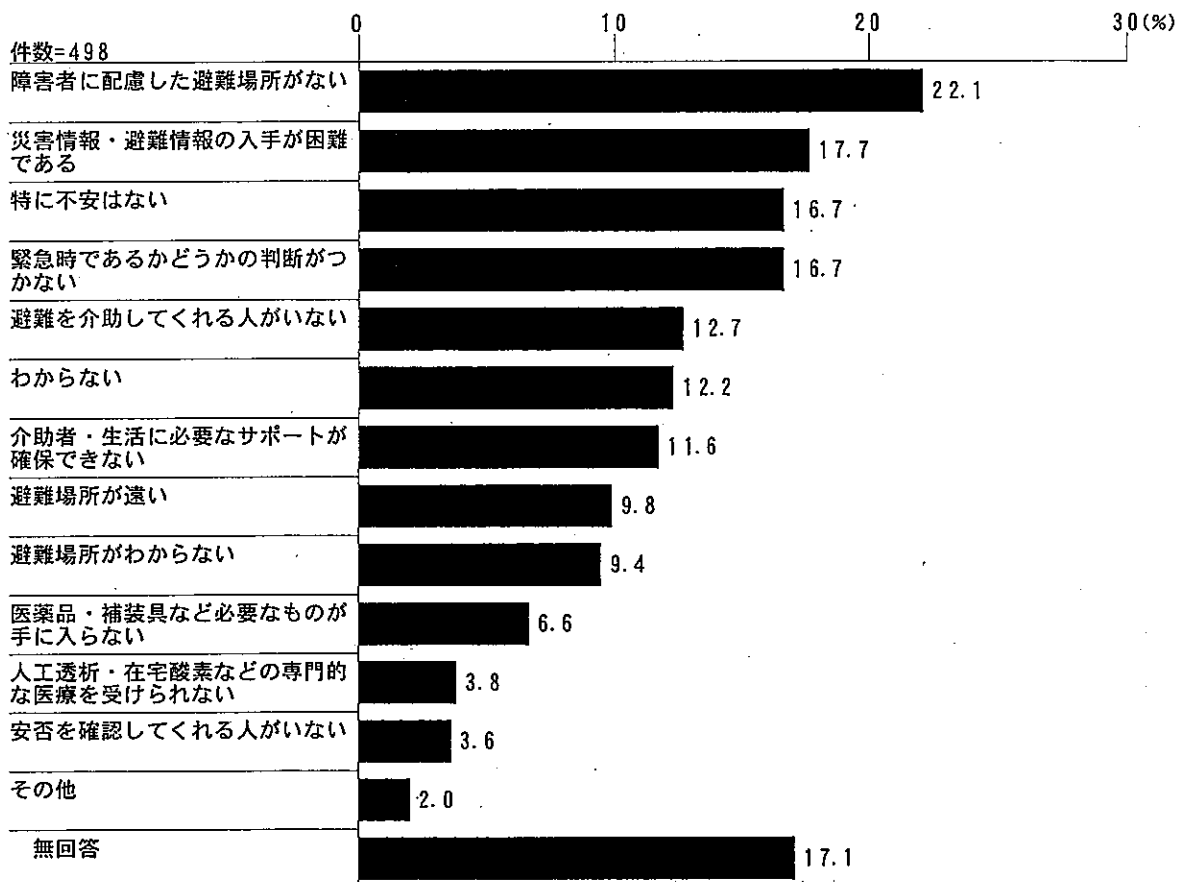


災害の発生に備えて、非常持ち出し品を「準備している」が13.3%、「準備していない」が72.9%となっている。

### (3)災害時の不安

問 27 災害が発生したときのことについておたずねします。

(3) 災害が発生したとき、あなたは何が不安ですか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)

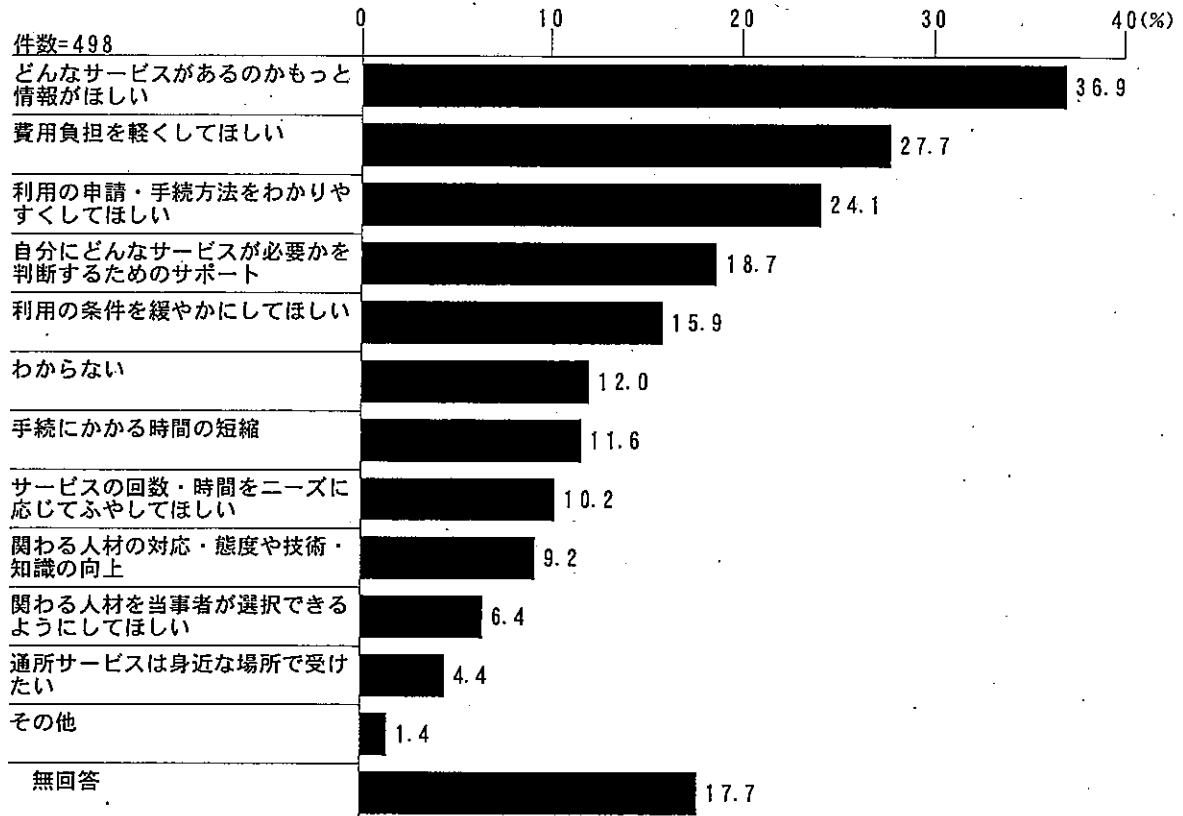


災害が発生した際の不安は、「障害者に配慮した避難場所がない」が22.1%と最も多く、以下「災害情報・避難情報の入手が困難である」17.7%、「緊急時であるかどうかの判断がつかない」16.7%、「避難を介助してくれる人がいない」12.7%、「介助者・生活に必要なサポートが確保できない」11.6%などとなっている。

## 18 行政サービス等への要望

### (1) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

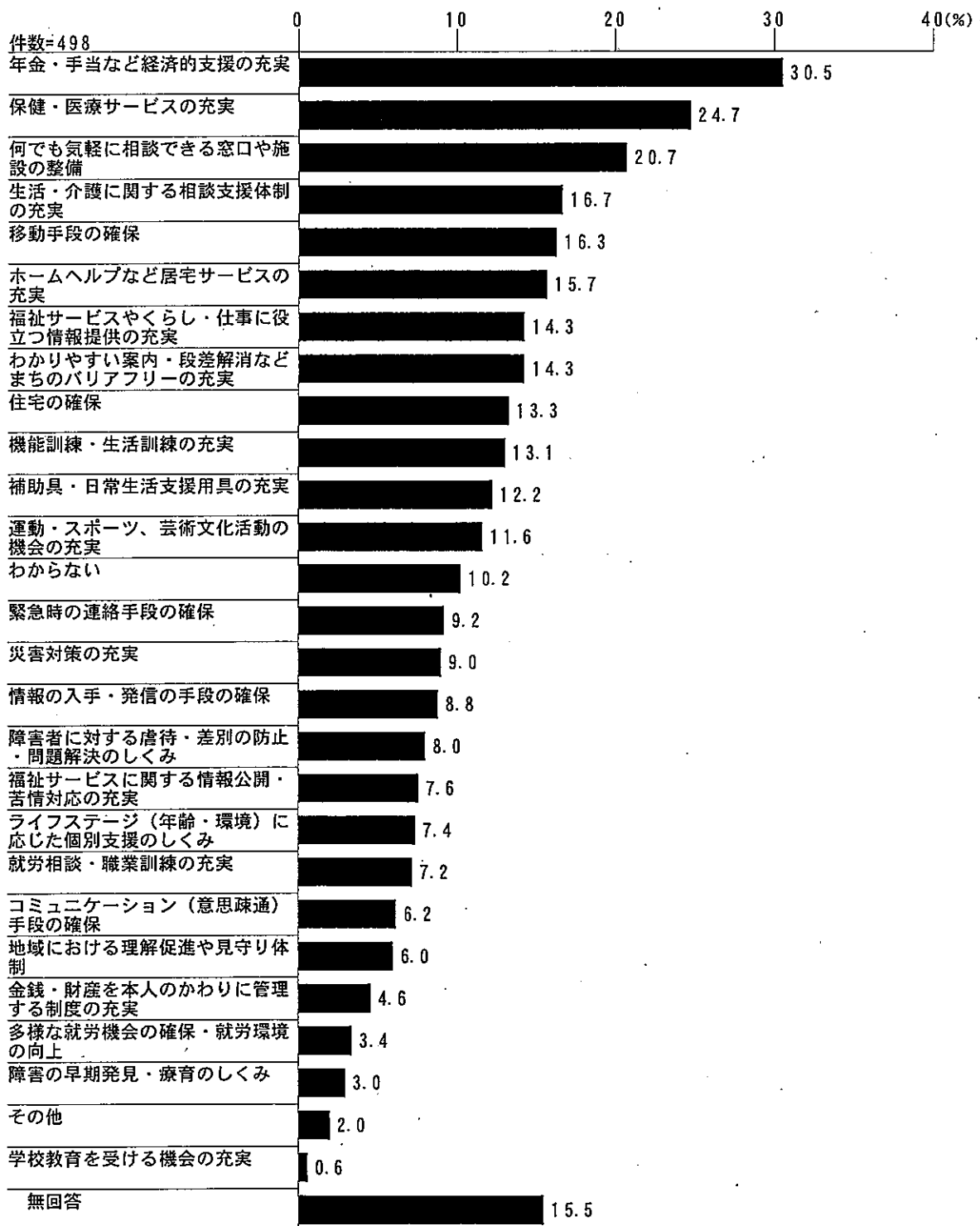
問 28 福祉サービスがもっと利用しやすくなるために、どんなことが必要だと思いますか。ただし、介護保険のサービスについては除きます。（もっともあてはまる番号3つまでに○印）



「情報がほしい」が 36.9%と最も多く、以下「費用負担を軽くしてほしい」27.7%、「利用の申請・手続方法をわかりやすくしてほしい」24.1%、「自分にどんなサービスが必要かを判断するためのサポート」18.7%、「利用の条件を緩やかにしてほしい」15.9%などとなっている。

## (2)暮らしやすくするために必要なこと

問 29 あなたが将来もっと暮らしやすくなるために、どんなことが必要だと思いますか。(もともとはあてはまる番号5つまでに○印)

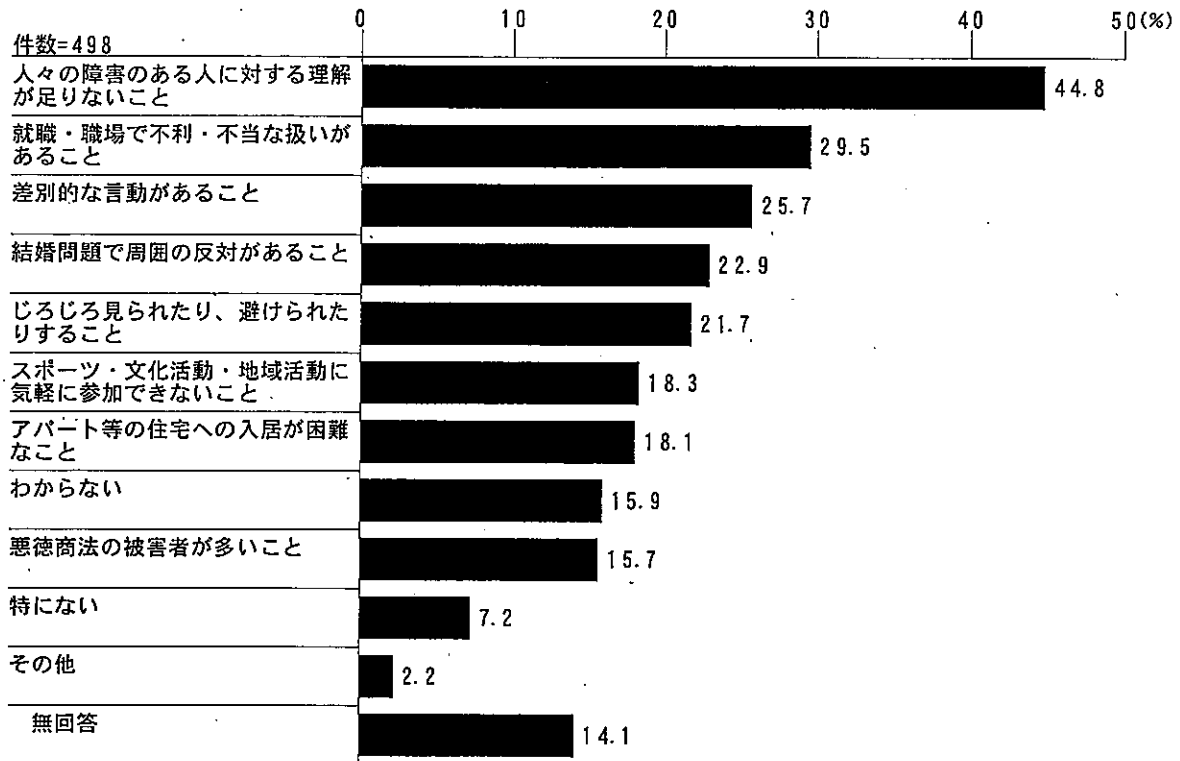


将来暮らしやすくなるために必要なこととして、「年金・手当など経済的支援の充実」が30.5%と最も多く、以下「保健・医療サービスの充実」24.7%、「何でも気軽に相談できる窓口や施設の整備」20.7%、「生活・介護に関する相談支援体制の充実」16.7%、「移動手段の確保」16.3%、「ホームヘルプなど居宅サービスの充実」15.7%などとなっている。



## 19 人権問題

問 30 あなたは、障害のある人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。  
 (あてはまる番号すべてに○印)



障害のある人に対する人権問題で起きていることとして、「人々の障害のある人に対する理解が足りないこと」が 44.8%と最も多く、以下「就職・職場で不利・不当な扱いがあること」29.5%、「差別的な言動があること」25.7%、「結婚問題で周囲の反対があること」22.9%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」21.7%などとなっている。

## 20 自由意見

問 31 あなたが今後希望するサービスやご意見・ご要望がありましたら、次の欄にご記入ください

<b>【制度・サービスの見直しや支援体制の充実】</b>
障害者自立支援法を一日も早く撤廃してほしい。
ユニバーサルデザインが基本であること。誰もが便利でかつよく気軽に利用でき、助け合い、思いやり、明るく楽しい環境が必要だと思います。
子供のカーシート枠を作って欲しい。必要です。通園施設の充実。
日本全国で券を出せばサポートできるシステムがほしいです。
障害年金を必要としているのに、何らかの事情で認められない場合、他に何か方法を考えてほしい。生活が苦しいと心にゆとりがなくなる。離婚が成立していなくとも別居期間が長い場合、市営住宅への入居を認めてほしい。
手足のひどい障害者や車椅子生活の若い人達、セックスするのに健常者のようにいかない人間として、健常者と同等に喜び合えることが大切。子供が欲しくてもどうにも困難。障害の状況にあった体位や方法をタブーではなく指導してあげるべきです。障害者の性生活のマニュアルを作成してPR すべきです。
障害者で自立(事業で)している人は多くいると思う。その人に対する支援制度が少ないと思います。
私自身今何も出来ない状態ではないけど、これから先手足の筋肉が衰え家事全般ができなくなるのが目に見えてわかります。その為ホームヘルパーのお世話にならなければ生活が成り立たないと思うので、居宅サービスが簡単に申請かつ低コストでお願いしたいです。
障害者年金受給の年齢制限の配慮及び発病後の受給期間延長のお願いについて。
車の ETC カードを駐車場にも対応できるようにしたい。高速道路だけではもったいない。
まだ小さくてよく分からないが、この先まずは訓練に療育を受けて少しでも社会で上手に生きていけるよう支援いただきたいです。この先、親が死んでからこの子はどうなるのか心配です。
公共のサービス等利用するに当たってプラスになることばかりあるとは思いません。提供する人は回りの事情、環境をよく把握し何が足りないのか考えてほしいです。
私は下肢に障害があり電動の車椅子で移動が可能ですが、バッテリーが高価であり、充電が長時間をもたない事を不安に感じております。これが解消されればと思っております。
もう少し介助するのに丁寧にしてほしい。
歩いていける所での自由に対話や雑談が出来る場所が各地にあればいいのではないのでしょうか。たとえば、コンビニのような集会所で市の職員が常時介護士のような状態にいること。
<b>【移動手段の確保、充実】</b>
私は車を運転して移動しています。ある病院でシンボルマークのついた障害者専用駐車場に車を止めようとしたところ、ここは車椅子利用者だけなので停めないでほしいと言われました。私は下肢障害で松葉杖を使用しています。一般の駐車場から受付まで遠いのでシンボルマークがついたところにも私達のような車椅子ではない歩行の難しい人にも遠慮なく停めれるようにしていただきたいと思っています。何のためのシンボルマークかと思うときもあります。私は子供のとき(8歳)ポリオにかかりましたが普通の学校に行き、洋裁学校にも行きました。子供の頃はいじめられることもなく、またバス通学も致しましたが、バスの運転手さんにも親切にいただきました。大人になってからのほうが大変でした。教育も大事、モラルも大事だと思います。これは健常者の方々をお願いするしかありませんが、また障害者も考える時期にきているのではないかとつねづね思っています。
知らないところへの単独歩行が課題です。安心して外出ができるには以下のことを希望します。点字ブロックの更なる充実、盲導犬ロボットの開発、道路を貫通している農業用水への転落防止用の柵の設置、何度も転落したことがあります。落ちたところ

<p>は市役所に相談すれば柵が設置されました。点検してもらい、該当するところには設置を望みます。</p>
<p>医療支援、病院無料とする。交通手段現在半額ですが、20%負担とする。</p>
<p>高速道路割引制度は一車のみでは外出機会が制限されるのでどの車にも使えるようにしてほしい。もっと外出機会が増えます。</p>
<p>送迎サービス等の格安。リハビリ等への出向き回数増等。</p>
<p>お墓にお参りする時、長い上りの階段が呼吸が切れて何回も休みながらお参りするのですが、下までは車で行けますがその所より上です。</p>
<p>車椅子で外出する手助けがほしい。</p>
<p>駐車場の数を増やしてほしい。道路へ短時間駐車できるようにしてほしい。</p>
<p>病院、デパート、スーパー等に車の乗り降りの介助をしてくれる人が必要。</p>
<p>見た目普通の為、各種割引を受けるとき何となく後ろへ退く。それと乗り物によって割引が様々なも臍に落ちない。JRは一人だと100km以上は割引するも、それ以下は割引なしというもおかしいと思う。近いところだから何とか一人でも出かけているのだから、むしろ近いほど割引引いてくれてもよいのではと思う。(付き添いがいれば二人半額なのに)。それと、車の割引も車指定なので手帳を持っている私を急いで病院に連れて行っても割引はなし。指定の車に乗れない場合もあるのに分からない。</p>
<p>施設の身障用の車が貸し出しできるように、施設の車でボランティアで買物やコンサートや食事や旅行に行けるようにしてほしい。福祉タクシーは金がかかりすぎる。施設の寮母が少ない為、やってもらえない。学校の費用がいらなくなるのだったら、施設の費用が少しでも安くなるか、もらう年金を上げてください。出て行っても普通の店は身障用のトイレがないところが多い。福祉タクシーへ乗る場合利用者にかかる金を国が負担してほしい。ぜひお願いします。元気でいける時に少しでも多くあちこち行きたいです。</p>
<p>JRの運賃をもう少し短い距離で割り引いてほしい。</p>
<p><b>【安心して生活できる年金額の確保など各種の経済的支援】</b></p>
<p>これから先、年金生活になると収入も減少し、障害年金ももらえなくなると生きていけない。家の改修もできない。金額が高すぎる。福祉にもっと力を入れてください。不正に生活保護をもらったり税金を払ってない人(自分が車に乗っていない、でも娘達の名義にして使用しているようにしている)。全等級の人の医療費の軽減。</p>
<p>現時点では一人でもどうにか身の回りのことができています。これからのことを考えると、どうしても人の手をお借りしつつ生きていくこととなります。財産も預貯金もなきに等しいわが身を思うと、年金に頼る生活です。それでも命ある限り前向きに生活したいので、高齢者がお互いに助け合って何か出来ることはさせていただきつつ暮らしたいと思っています。3~5人程で小さなホームを見つけ共同生活するのが夢です。足りないところは補い合って生活できる世の中になればいいのにと思う。</p>
<p>聴覚障害者なので両用補聴器をしているが、ボランティア代表として市の役員会に出席するが、各委員の話が半分くらいしか解らないので対等に話ができない。高価な補聴器をしているので、補聴器の寿命が短いので購入する時の助成を特に望んでいます。</p>
<p>国に対して要望、聴覚障害の認定基準を50デシベルからにしてほしい。幼少時手帳がなくて支援が受けられず、自費で補聴器を買い換えた。50デシベル以上だと補聴器は必要。30デシベルからでもつけないと社会生活をやっていけないと思う。アメリカを見習ってほしい。</p>
<p>年金をもっと増やしてもらいたい。負担をもっと軽くしてもらいたい。</p>
<p>福祉サービスに対し費用負担を軽くしてほしい。</p>
<p>年金の支給額をもっと上げてほしい。そうすれば余暇活動や趣味の充実を図れる。</p>
<p>経済的な不安をなくすようにしてほしい。</p>

脊椎カリエスによる呼吸障害で21年から在宅酸素になりました。酸素のリース料は保険適用で3割負担で4万3千円月々支払っています。通院もし、薬代も入ります。地域により市が全額負担しているところもある。岡山は外出時のポンペカーター(それも1回のみ)1台だけ。今のところなんとか私は支払いをしています、したくてもその費用支払いができない、在宅酸素にしたくても出来ない人がいます。なんとか支援してあげていただきたい。

#### 【バリアフリーの充実】

各市町村に障害者が利用しやすい公共の小型バスを。車椅子で使用できるトイレの増設(洋式トイレ)。公共の建物場所で音声によるドアの開け閉めを知らせる等ありますが、障害者自身が社会に出て行かないと皆様に障害に対する理解がえられない。障害とはどんなものかわからないことは理解しようもない。障害者自身も色々の地域活動に参加してもらいたい。

駅、高速道パーキングエリアの婦人便所、障害者用便所の増設、障害もさることながら、脳障害の大小便は我慢ができないので、失敗することが多く、外出を見合わせるが多い。計画時の設置指数が問題あるように考えるので、国土交通省へ働きかけ修正すべき。男便所を利用する女性の姿は屈辱的な風景である。このあたりに障害者軽視が隠れていないか、障害者便所を女性が利用するのは良いが障害者も不便なことがあるのだ。このあたりの意見を集約してほしい。

窓口をひとまとめにしてほしい(児相、保健所、相談センターなど)。障害者でも加入できる保険制度(障害以外の医療、入院等)。専用エレベータの増設、特にJRはキャリアを持った方が優先で車椅子の利用者にキャリアを当てたり怖いし危険。子供用の車椅子だと一般的によく目にする車椅子とは違うのでベビーカーと間違われやすいので理解がないと思われる。自由に利用できるトイレはどうかと思う。もう少し利用の制限がほしい。1ヶ所にしかない場合はとても困ります。学校の選択を緩和してほしい。通園施設、児童デイサービス等の配置。管理責任者の異動によって対応がかわるので困ります。

信号に音声と点字ブロックをつけていただきたいです。

町全体のバリアフリーを進めて欲しい。

災害情報をわかりやすくしてほしい。障害者のスロープを整備して欲しい。

信号機が見えにくい為音響式信号機を増設してほしい。街中に公衆トイレが少ない、又は分かりにくい。

オストメイト対応トイレの充実。座して用がたせること。洗浄ホースが短いので上記の姿勢では用事ができないのが大半である。

#### 【行政の障害者施策について】

障害としているが何故「害」なのか？県の姿勢を問う。

今回のアンケートが実施、分析だけに終わるのではなく、その分析結果がいかされ、福祉制度の充実、福祉サービスの量や質の向上がなされることを期待します。

障害者自身の意見を県の障害者施策に聞いてほしい。

「人権を過剰に主張しないこと」。弱者に対する理解が生まれるような学校教育をすること。「障がい者」とは表示しないこと、「障害」で可。障害者福祉行政予算を大幅増とすること。

この度のアンケートに答えさせていただきましたが、ゆくゆくは少子高齢化が少子少齢化となり国の基盤が揺らぐ様なことになるのが心配です。知恵と経験のある方々は市民の中にも沢山いらっしゃいます。行政任せでは社会の充実は到底不可能でしょう。志ある有志の声を聞く機会が少ない昨今ですがどうか良識ある施策をお願いします。

本音で回答していますので、今後の障害者福祉に生かしてください。

#### 【障害のある人に対する理解】

歩道の点字ブロックの上に自転車を置いて視覚障害者が非常に困っている。なお、障害者専用駐車場等について、健常者にもっとPRして理解をしてもらうことが大切である。

労務、公務災害による障害者と、自己責任、病気、先天的などによる障害者福祉制度との装具等補助給付に品質の差がある。職場の同僚から馬鹿にされ差別される。弱いものカッコよくない障害者を蔑む言語や態度があり、進んだ社会教育が望まれる。

差別がひどい。

<p>内部障害(心臓)は外から見た場合何の障害もあるように見えない。したがって電車の乗車、駐車場にうまく対応できないし、健常者が理解しにくい。したがって我慢するしかない。何か外からわかる方法を考えて広報してもらいたい。ケガをすると血が止まらない。大変疲れやすい。</p>
<p><b>【グループホーム、ケアホーム等の施設の増設】</b></p>
<p>各種障害者が施設への入所の不足。障害者自立支援法の改正(負担の軽減)。障害者の就職について会社等への就職の数を増やす法律の実現が早期に導入すべきだと思う。障害者に対する理解の教育の必要。</p>
<p>入所施設での災害時に避難できる人員が足りない。年金が低すぎる。食費などの支出が多すぎる。今後暮らしたい場(在宅、施設など)を自分の意思で選びたい。</p>
<p>身体障害者のグループホームを増やしてほしい。</p>
<p>入所型施設を増やしてほしい。</p>
<p>福祉の建物(ホテルの障害者用に改築した部屋)などの増加。</p>
<p><b>【情報の入手、発信手段の確保】</b></p>
<p>待っているだけでは情報は入ってこないというのが実感です。自分が何が分からないのかさえ分からないという状態の中で、とにかく知人(同じように障害のある子をもつ親)との情報交換が頼りでした。もっと早く知っていればと思うことも多々ありました。少しずつ知識が増えればあとは何とかできます。とにかく最初の「何の知識もない」「知り合いもない」「分からないことが分からない」状態の時に、情報が入ってくるシステムが欲しかったです。どうしたらいいか教えてくれる人が欲しかったです。</p>
<p>身障の会は任意団体のため団体間の運営上の問題がある。上部団体もあるが、関連がどうなのか、どうなっているのか、現在の身障の会がどのような実態で運営されているのか、自分の勉強不足を思い知ったところです。情報を得る手段から探す必要性を感じています。身障関係の情報がほしいです。</p>
<p>現状でもよいが、広報活動、文書による報告は身体障害者には特に必要(移動困難なため)。文書による広報活動が重要である。役所との連絡書に身体障害者は特に不便を感じている。連絡不十分の感あり。障害者が安心して地域での生活ができるように役所の主導的立場に依頼したい。</p>
<p>わかりやすく情報がほしい。</p>
<p><b>【医療サービスの充実】</b></p>
<p>日中一時支援や児童デイサービスの利用できる日数が市町村により差がかなりあり、倉敷は少なすぎます(通園施設を利用している場合)。手続が県だったり市だったり面倒。日にちがかかりすぎる。今、通園を利用していますが、職員の先生を増やしてほしい(利用者が増えているのに先生の数が分からない。先生達の手が足りていない)。乳幼児医療の小学6年まで無料化を早くしてほしい(入院だけではなく通院も)。もっと利用しやすいサービス、障害者も住みやすい町、地域の活動にも参加しやすくなってほしい。</p>
<p>福祉の分野に市場主義が持ち込まれ、自己負担が増えて医療等の福祉サービスレベルがますます貧弱化している。自治体は福祉の貧弱化を防ぎ、サービスレベルを充実させるために心血を注ぐべきだ。</p>
<p>後期高齢者の医療費を軽減してほしい。</p>
<p><b>【福祉従事者増員】</b></p>
<p>職員を増やしてほしい。</p>
<p>ボランティア活動をもっと増やしてほしい。また、一般の人がそういった活動に参加してもらいたい。</p>
<p><b>【気軽に相談できる窓口や施設の整備】</b></p>
<p>障害に応じた相談体制を充実させてほしい。視覚障害者として移動支援等、代筆代読サービスを充実させてほしい。</p>
<p>相談しやすい場所がほしい。</p>

【その他】
地方公共団体から各種身体障害者団体への助成金がありますが、各種障害者団体の個人加入者は障害の種類、程度にかなりの差があることもあり、要望もそれぞれ違うことなど、会員のみなさんに有効な使い方をするのは難しいのが現状だと思われ ます。その中で、東備ろうあ協会は年会費2000円で各種講演会、勉強会を企画し、費用個人負担で、年間数回程各種行事を 行っています。すなわち、会員がかなりの費用負担をし、有効な活動をしていると考えます。つまり、本当に活動して必要など ろに助成金がでていないと強く感じます。この協会にもなんらかの助成金が受けられるように善処を求めます。
自宅から駅まで遠い。バス便を増やしてほしい。歩行が困難になるときを考えると心配である。
視覚障害者の生活独自のバリアを配慮した福祉サービスを望みます。特に他の障害の方々を見習った高齢者福祉を統合する ことは絶対にやめていただきたい。
現在の町内で住みたいのですが過疎なので買物が思うようにできない、運ぶのに苦勞があり、車に乗せていても家に持ち運び が大変。バリアフリーは古い家でなかなか経済的に手すりや車椅子は家の中で使いにくいので杖や松葉杖を使用すると買物を 家の中に持って入るのに大変。補装具で良い方の足の股関節が悪くなってこけそうで不安で自家用車は使用しているが、買物 を運び込むのになかなか大変で手が持てず神経痛があり困っている。
内容が重複しているように感じ、答えるのに疲れる。もう少し簡単にしてほしい。
絵に描いた餅ではなく、状況に応じた理解する心、適切に対応できる力を備えて、共存できるよう願う。
今の生活が続くように願っています。
家族との和解を推進させる為に専門家による充実を講じてほしい(弁護士を含む)。
恵まれた家族に囲まれ、自分のことはできるので上手に生きてみたいです。
身体障害者手帳が2級第1種であるが、国の年金は1級であるがなぜ身体障害者手帳と年金は同一でないのか。
私もすぐ78歳になります。後期高齢者の仲間になります。3年ほど前から身体障害者の世話をしております。比較的高齢者の 人の入会はあるのですが、若い人の障害者の入会がなかなかありません。どうしたら入会してもらえ、一緒に活動してもらえ るか、いつも考えております。
現在、年齢74歳男性ですが、妻が74歳で足腰が悪いので、これから夫婦とも障害者になるとどうなるかと思う。施設入所ど ちらの状態の時点を思うと不安を持っている。
人という字はお互いに助け合っていくという字。一人では生活できないと字で表現していますね。親という字も同じ、木の上から 見ているのが親。皆様の力を借りてこれから生きていきます。皆様の力をよろしくお願い申し上げます。
私は今、小規模作業所で働いています。1ヶ月の給料が使用料として引かれます。これって変ですね。働いているのに何故金を 払わなければならないのか。それと1時間の金も安すぎる。もう少しもらいたい。普通1時間700円なのにその半分ももらえ ない。もっと金を上げてほしい。私は透析をしているので一般の会社では断られているものの最低でも600円くらいほしい。
外出の機会を増やしてほしい。
質問量が多すぎる。また質問内容が難しいです。
食事の味をもっとよくしてほしい。
内容が難しく理解ができませんでした。
障害者と健常者の区別をしてほしい。
もう少し外出をしたい。
民生委員の人は来られても健康状態聞くのみで何の仕事をしているのか分かりません。どんな内容の仕事をしているのか知 りたいです。役所の方も申請せねば受付されないの、自分の状態を分かってもらうにはそこまで出かけないと駄目なので時間 がかかってしまうことも。法律や規則が知らぬ間に変わっていても分からなくて、遅れて申請して損したらお金は戻らないのはど うしてかなと思う。

目の不自由な者も行動が楽になる社会を望みます。
お祭りに参加したい。
お世話になっております。大変失礼ですが、記入しておりまして次々と記入するのが億劫になり途中でやめて申し訳ありません。もう少し簡易に記入できるようにお願いしたいです。
咽頭摘出を受け声を失った人は岡山にも新声会があります。食道発声を会得された方が後輩たちにボランティアで指導しています。高齢等の理由で食道発声できない人は電気人工咽頭機を使えば会話可能です。岡山新声会は毎週午後1時から2時まで発声訓練事業が行われています。
赤磐市でも地区により異なりますが、区内の障害者福祉連合会に加入されていない障害者が多く、会合するのはいつも同じメンバーで年々減少してきている。特に若い方たちは少なく、年の多い人ばかりです。原因は入会しても何のメリットもないという人が多いからです。役員が障害者のおられるお宅を回っても3割程度入会がよいほうです。また障害者の宅でさえ把握できません。本当の原因は何か…？
私は極度の弱視です。アンケートの回答もヘルパーのお世話になり大変苦労しました。もう少し大きい文字でお願いしたいです。視覚障害者にとって移動がバリアです。移動支援の充実をお願いします。又、文字の読み書きが不自由なので、代筆代読のサービスがあればよいと思います。

今後希望するサービスなどを自由意見としてたずねたところ、大別して、「制度・サービスの見直しや支援体制の充実」、「移動手段の確保、支援」、「安心して生活できる年金額の確保などの各種補助金支援」、「バリアフリーの充実」などを求める意見が多かった。

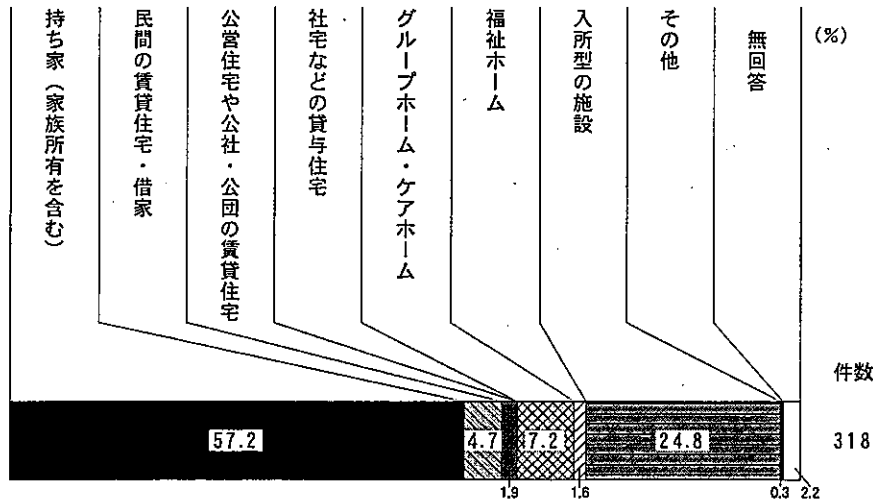
(注) 具体的な個人名、施設名等が記入されている場合は、一般的な名称に置き換えています。

## IV 知的障害のある方へのアンケート調査結果

### 1 住宅

#### (1)住宅形態

問7 あなたがお住まいの住宅などは、次のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○印)



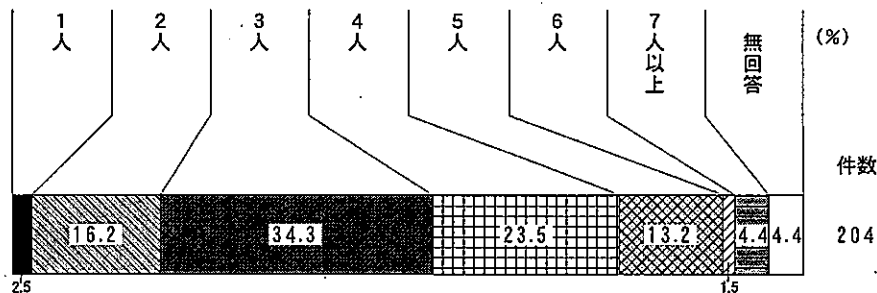
住宅の形態は、「持ち家 (家族所有を含む)」57.2%、「入所型の施設」24.8%でほとんどを占めており、他には「グループホーム・ケアホーム」7.2%、「民間の賃貸住宅・借家」4.7%などとなっている。

### 2 同居家族

#### (1)同居人数

問8 あなたと同居されているご家族などについておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただくなくて結構です。

(1) あなたと同居されている方は、あなたを含めて何人ですか。(あてはまる番号1つに○印)



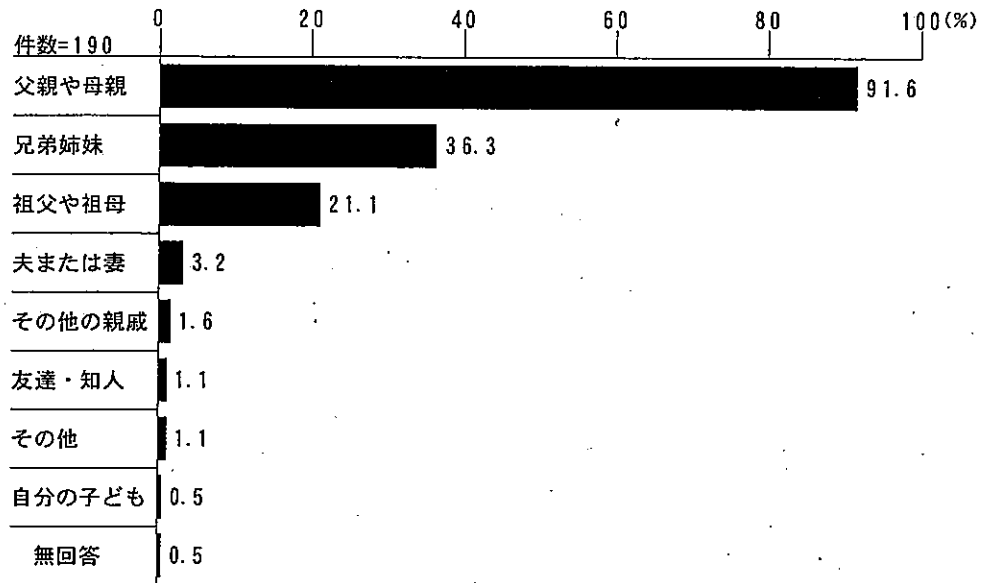
対象者自身を含めた同居家族の人数は、「2人」16.2%、「3人」34.3%、「4人」23.5%などとなっており、「1人」は2.5%となっている。



## (2)同居家族

問8 あなたと同居されているご家族などについておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただくなくて結構です。

(2) あなたは、どなたと同居されていますか。なお、この問いは、「1人」でくらしている方は、お答えいただくなくて結構です。(あてはまる番号すべてに○印)



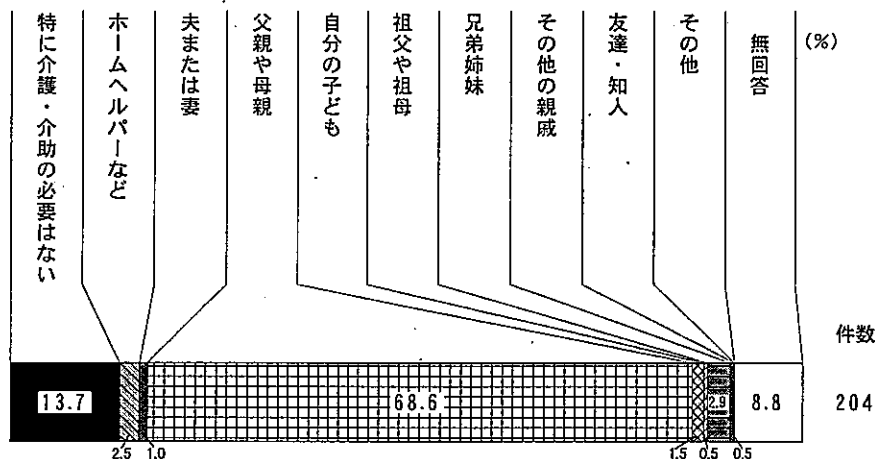
同居家族は「父親や母親」が91.6%と最も多く、以下「兄弟姉妹」36.3%、「祖父や祖母」21.1%、「夫または妻」3.2%などとなっている。

### 3 介護・介助の状況

#### (1) 主な介護・介助者

問9 あなたを主に介護・介助している方についておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただくなくて結構です。

(1) あなたを主に介護・介助しているのはどなたですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

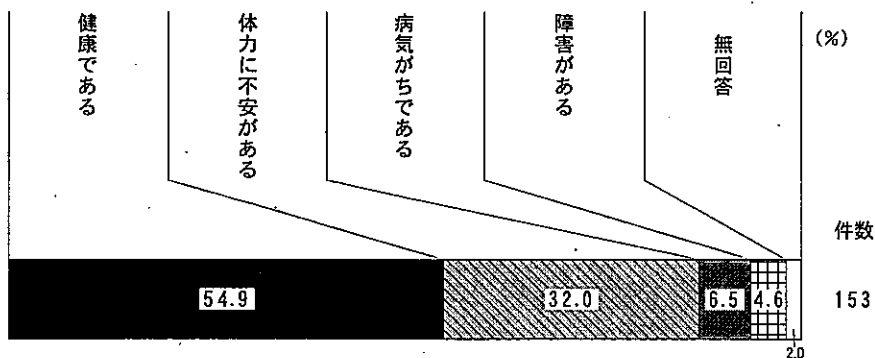


主な介護・介助者は「父親や母親」が68.6%と最も多く、以下「兄弟姉妹」2.9%、「ホームヘルパーなど」2.5%などとなっており、「特に介護・介助の必要はない」が13.7%となっている。

#### (2) 主な介護・介助者の健康状態

問9 あなたを主に介護・介助している方についておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただくなくて結構です。

(2) あなたを主に介護・介助している方の健康状態はいかがですか。なお、この問いは、「特に介護・介助の必要はない」「ホームヘルパーなどが主に介護・介助している」方は、お答えいただくなくて結構です。(もっともあてはまる番号1つに○印)



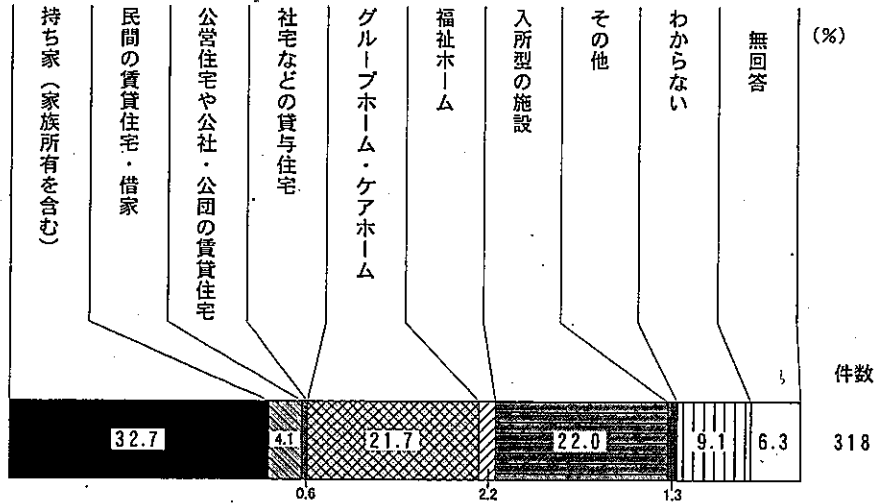
主な介護・介助者の健康状態は、「健康である」54.9%、「体力に不安がある」32.0%、「病気がちである」6.5%、「障害がある」4.6%となっている。

## 4 将来の暮らし

### (1) 住宅形態の希望

問 10 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(1) あなたは将来、どんな住宅に住みたいですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

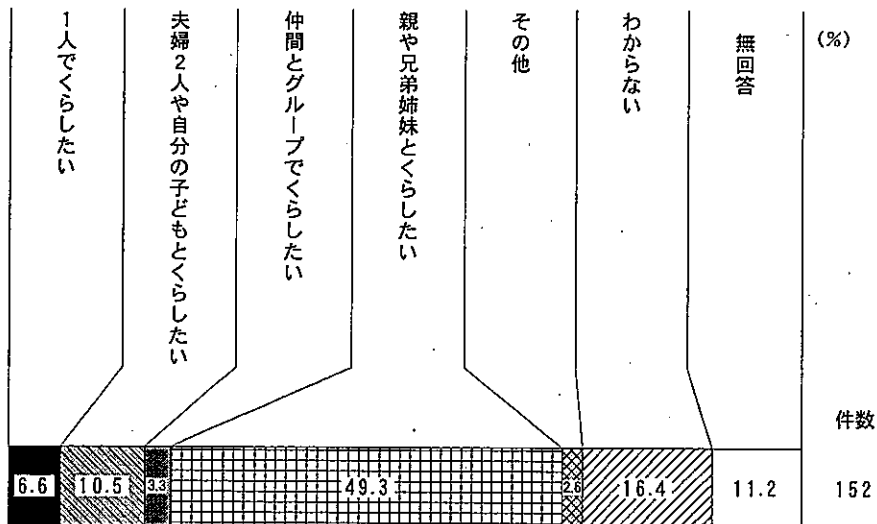


将来住みたい住宅は、「持ち家(家族所有を含む)」が32.7%と最も多く、以下「入所型の施設」22.0%、「グループホーム・ケアホーム」21.7%、「民間の賃貸住宅・借家」4.1%などとなっている。

### (2) 将来の暮らし方

問 10 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(2) あなたは将来、誰とくらしたいですか。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしたい方は、お答えいただく必要はございません。(もっともあてはまる番号1つに○印)

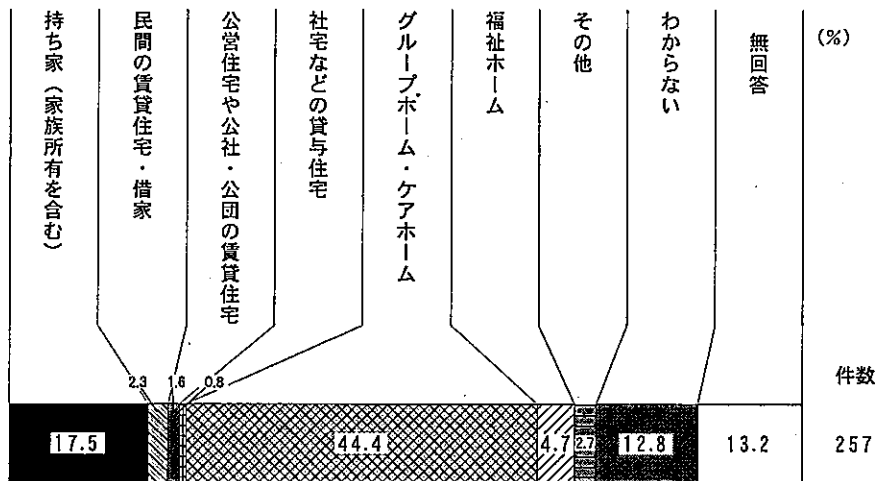


将来は「親や兄弟姉妹とくらしたい」が49.8%と最も多く、以下「夫婦2人や自分の子どもとくらしたい」が10.5%、「1人でくらしたい」6.6%、「仲間とグループでくらしたい」3.3%などとなっている。

### (3)独立して生活するのに必要な住宅

問 10 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(3) 現在、「親・兄弟姉妹」とくらしている方や、「入所型の施設」でくらしている方におたずねします。あなたが将来、親・兄弟姉妹や入所型の施設から独立して生活するとすれば、どんな住宅が必要ですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

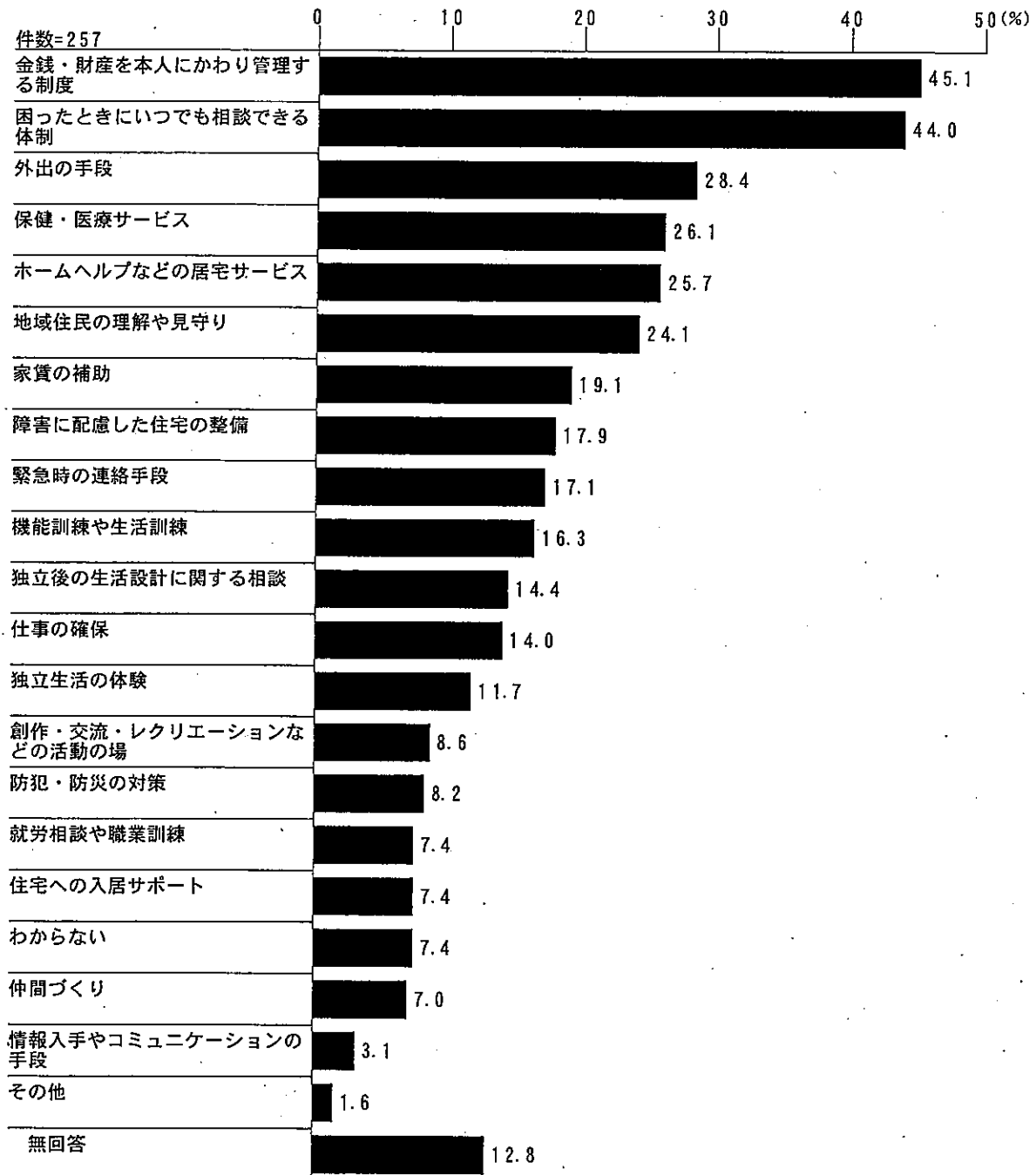


親・兄弟姉妹と暮らしている方や入所型の施設で暮らしている方が、独立して生活するために必要な住宅は、「グループホーム・ケアホーム」が44.4%と最も多く、以下「持ち家(家族所有を含む)」17.5%、「福祉ホーム」4.7%などとなっている。

#### (4) 独立して生活するのに必要なこと

問 10 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(4) 現在、「親・兄弟姉妹」とくらししている方や「入所型の施設」でくらししている方におたずねします。あなたが将来、親・兄弟姉妹や入所型の施設から独立して生活するとすれば、どんなことが必要ですか。(もっともあてはまる番号5つまでに○印)

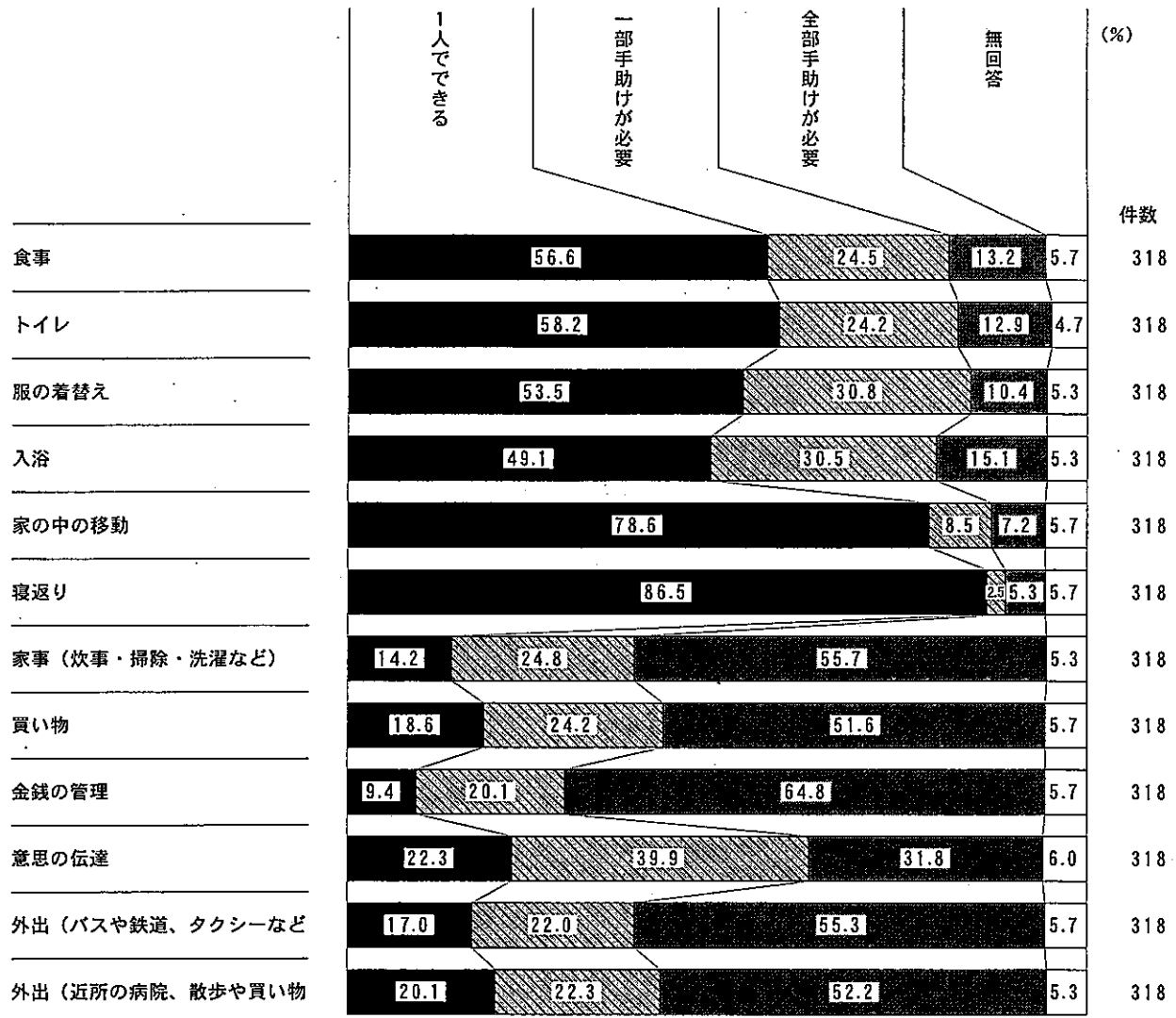


親・兄弟姉妹と暮らしている方や入所型の施設で暮らしている方が、独立して生活するために必要なことは、「金銭・財産を本人に代わり管理する制度」が45.1%と最も多く、以下「困ったときにいつでも相談できる体制」44.0%、「外出の手段」28.4%、「保健・医療サービス」26.1%、「ホームヘルプなどの居宅サービス」25.7%などとなっている。

## 5 身の回りのこと

問 11 あなたは、身の回りのこと・家事・外出などを、どうされていますか。

(「食事」から「外出」までそれぞれについて、もっともあてはまる番号1つに○印)



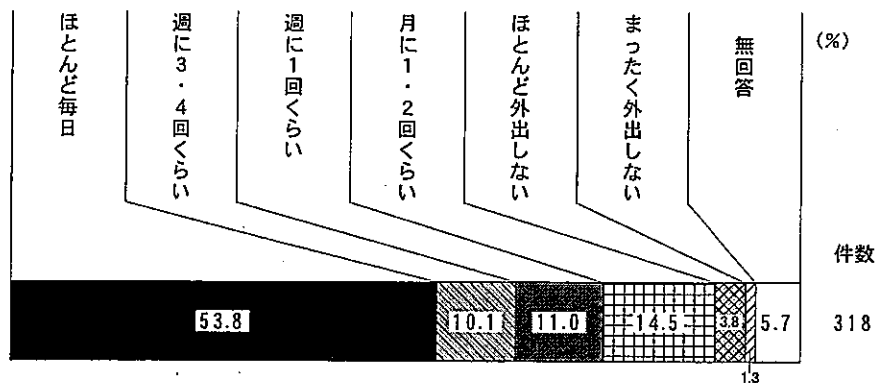
身の回りのこと・家事・外出などの動作について、「一部手助けが必要」または「全部手助けが必要」の割合が高い動作は、「金銭の管理」「家事 (炊事・掃除・洗濯など)」「外出 (バスや鉄道、タクシーなどを利用してでかけること)」「買い物」「外出 (近所の病院、散歩や買い物など)」「意思の伝達」「入浴」「服の着替え」「食事」などの順となっている。

## 6 外出

### (1)外出頻度

問 12 あなたの外出の回数・目的・方法などについておたずねします。

(1) あなたは、1週間にどれくらい外出していますか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

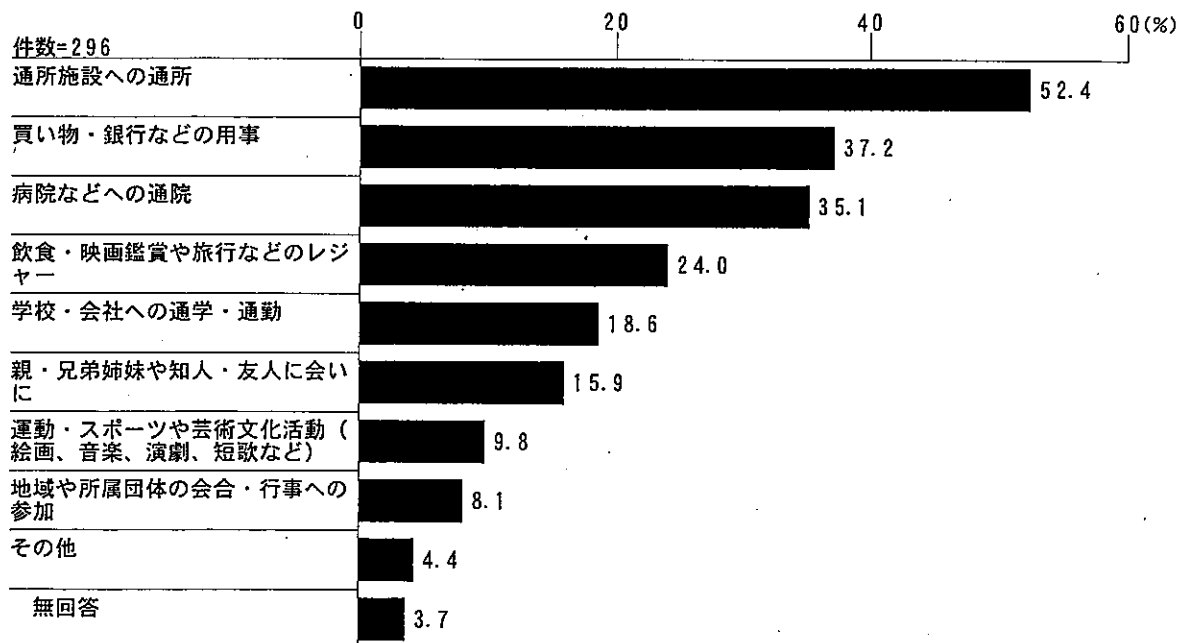


外出頻度は「ほとんど毎日」53.8%、「週に3・4回くらい」10.1%、「週に1回くらい」11.0%、「月に1・2回くらい」14.5%となっており、一方で「ほとんど外出しない」3.8%、「まったく外出しない」1.3%となっている。

### (2)外出目的

問 12 あなたの外出の回数・目的・方法などについておたずねします。

(2) あなたの主な外出の目的は何ですか。なお、この問いは、「まったく外出しない」方はお答えいただくなくて結構です。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)

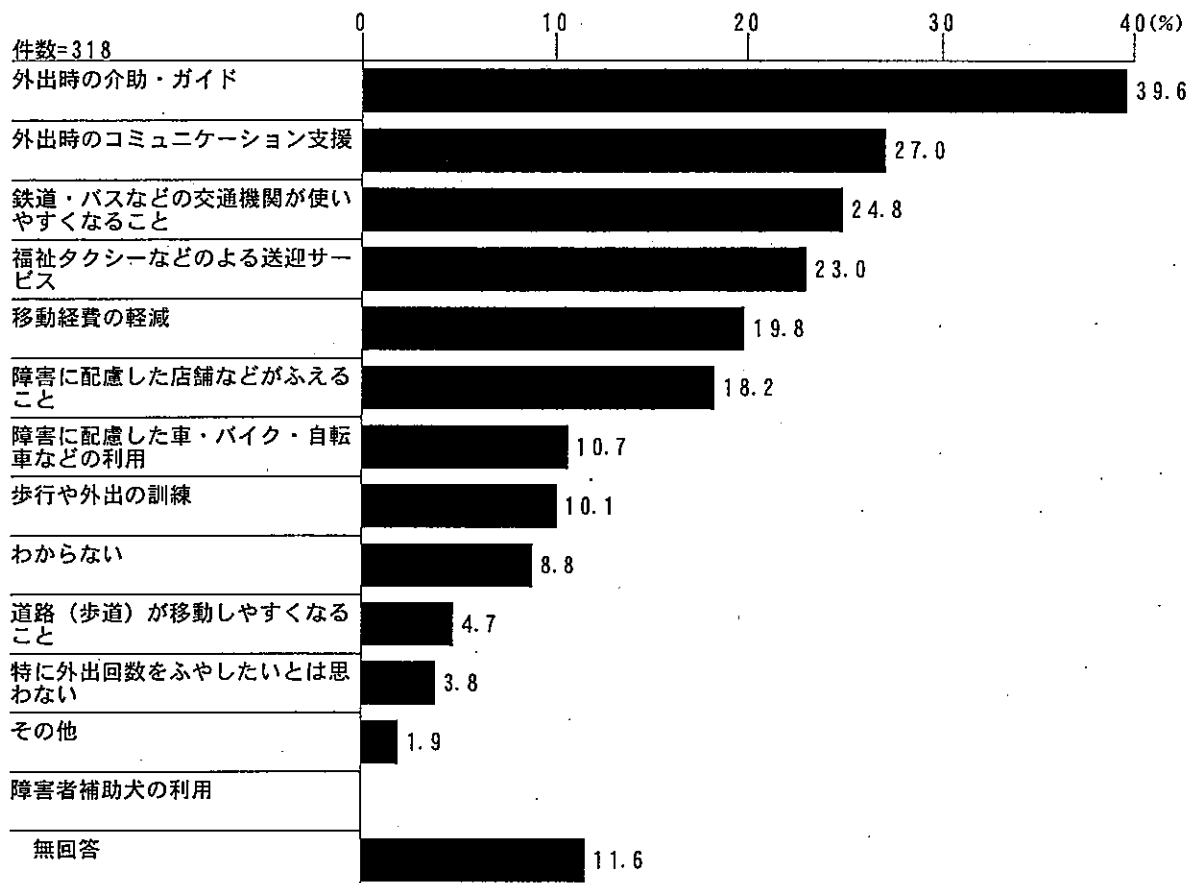


主な外出目的は「通所施設への通所」52.4%が突出しており、以下「買い物・銀行などの用事」37.2%、「病院などへの通院」35.1%、「飲食・映画鑑賞や旅行などのレジャー」24.0%、「学校・会社への通学・通勤」18.6%、「親・兄弟姉妹や知人・友人に会いに」15.9%などとなっている。

### (3)外出するために必要なこと

問 12 あなたの外出の回数・目的・方法などについておたずねします。

(3) あなたが今後、外出回数をふやすためには、どんなことが必要ですか。また、「まったく外出しない」方は、外出するためには、どんなことが必要ですか。(もっともあてはまる番号 **3** つまで)に○印)



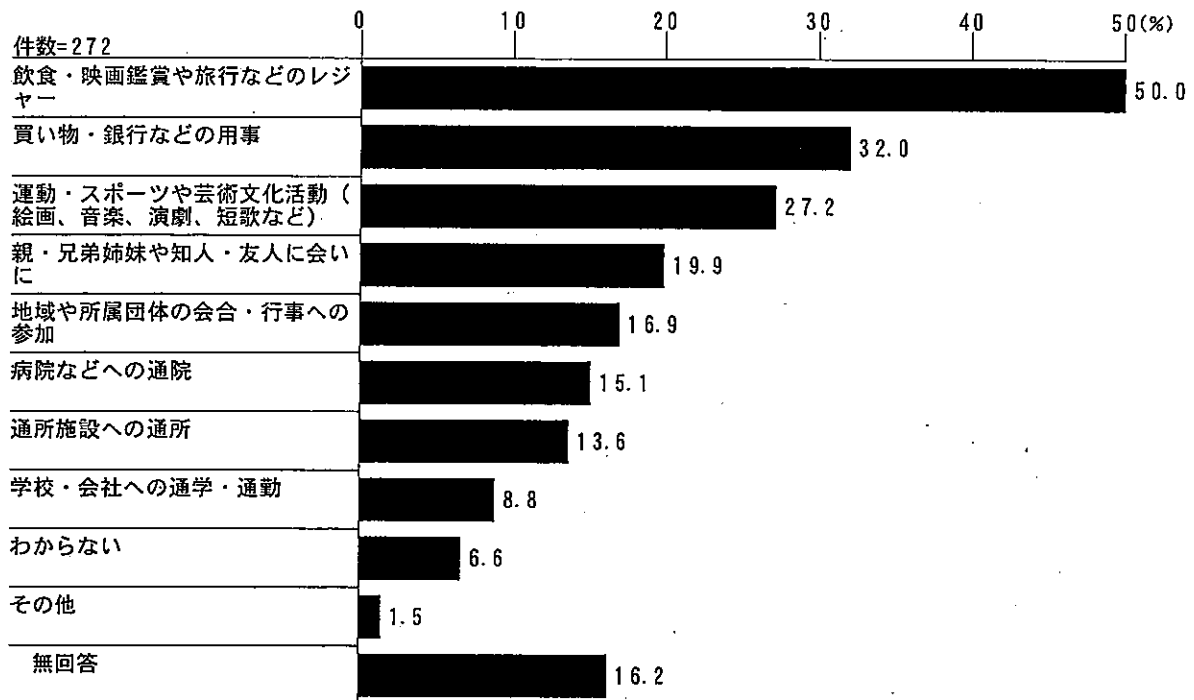
外出するために必要なことは、「外出時の介助・ガイド」が 39.6%と最も多く、以下「外出時のコミュニケーション支援」27.0%、「鉄道・バスなどの交通機関が使いやすくなること」24.8%、「福祉タクシーなどの送迎サービス」23.0%、「移動経費の軽減」19.8%、「障害に配慮した店舗などがふえること」18.2%などとなっている。



#### (4)外出時にしてみたいこと

問 12 あなたの外出の回数・目的・方法などについておたずねします。

(4) あなたは今後、外出回数をふやしてどんなことをしてみたいですか。また、「まったく外出しない方」は外出してどんなことをしてみたいですか。なお、この問いは、「特に外出回数をふやしたいとは思わない・特に外出したいとは思わない」方は、お答えいただくなくて結構です。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)



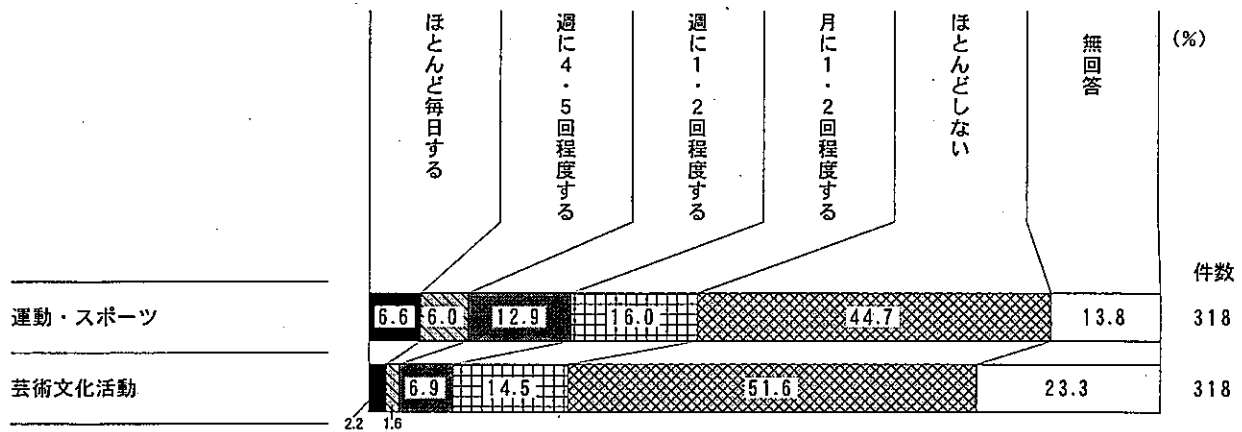
外出回数をふやしてしてみたいこと、または外出時にしてみたいことは、「飲食・映画鑑賞や旅行などのレジャー」50.0%が突出しており、以下「買い物・銀行などの用事」32.0%、「運動・スポーツや芸術文化活動(絵画、音楽、演劇、短歌など)」27.2%、「親・兄弟姉妹や知人・友人に会いに」19.9%、「地域や所属団体の会合・行事への参加」16.9%、「病院などへの通院」15.1%などとなっている。

## 7 運動・スポーツや芸術文化活動

### (1)活動頻度

問 13 運動・スポーツや芸術文化活動（絵画・音楽・演劇・短歌など）についておたずねします。

(1) あなたは、運動・スポーツや芸術文化活動をどのくらい行いますか。（「運動・スポーツ」「芸術文化活動」それぞれについて、もっともあてはまる番号  に○印）



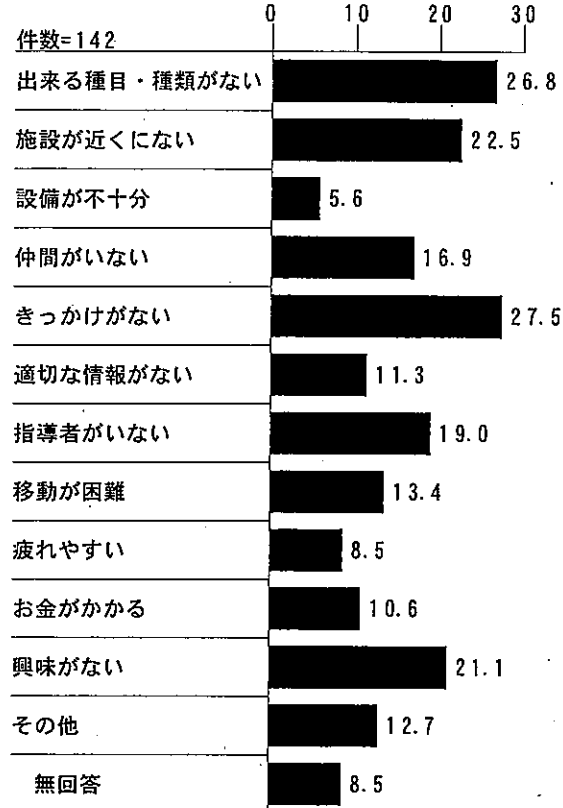
活動頻度について、運動・スポーツは「ほとんど毎日する」6.6%、「週に4・5回程度する」6.0%、「週に1・2回程度する」12.9%、芸術文化活動は「ほとんど毎日する」2.2%、「週に4・5回程度する」1.6%、「週に1・2回程度する」6.9%と、運動・スポーツの方が頻度が高くなっている。

## (2)活動しない理由

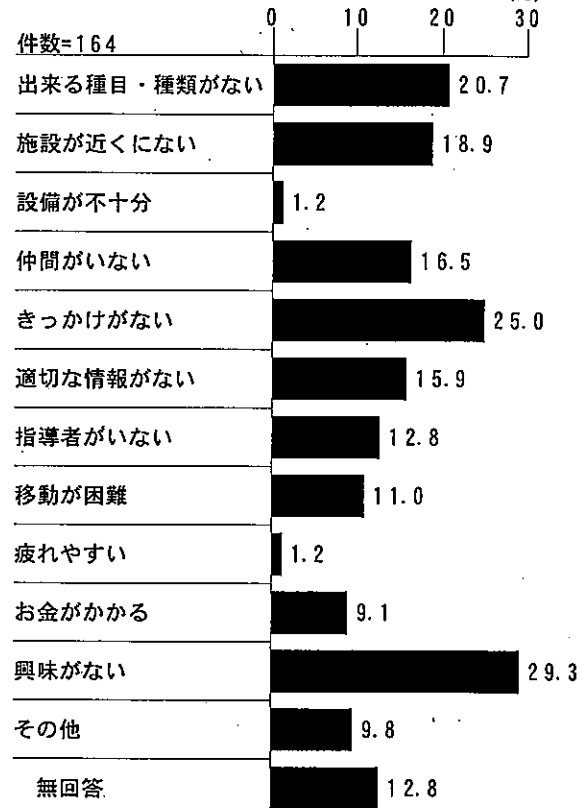
問 13 運動・スポーツや芸術文化活動（絵画・音楽・演劇・短歌など）についておたずねします。

(2) 運動・スポーツや芸術文化活動を「ほとんどしない」方におたずねします。あなたが、運動・スポーツや芸術文化活動をしない理由は何ですか。（「運動・スポーツ」「芸術文化活動」それぞれについて、もっともあてはまる番号3つまでに○印）

### (運動・スポーツ)



### (芸術文化活動)



運動・スポーツをしない理由は、「きっかけがない」27.5%、「出来る種目・種類がない」26.8%、「施設が近くにない」22.5%、「興味がない」21.1%、「指導者がいない」19.0%などの理由が多くなっている。

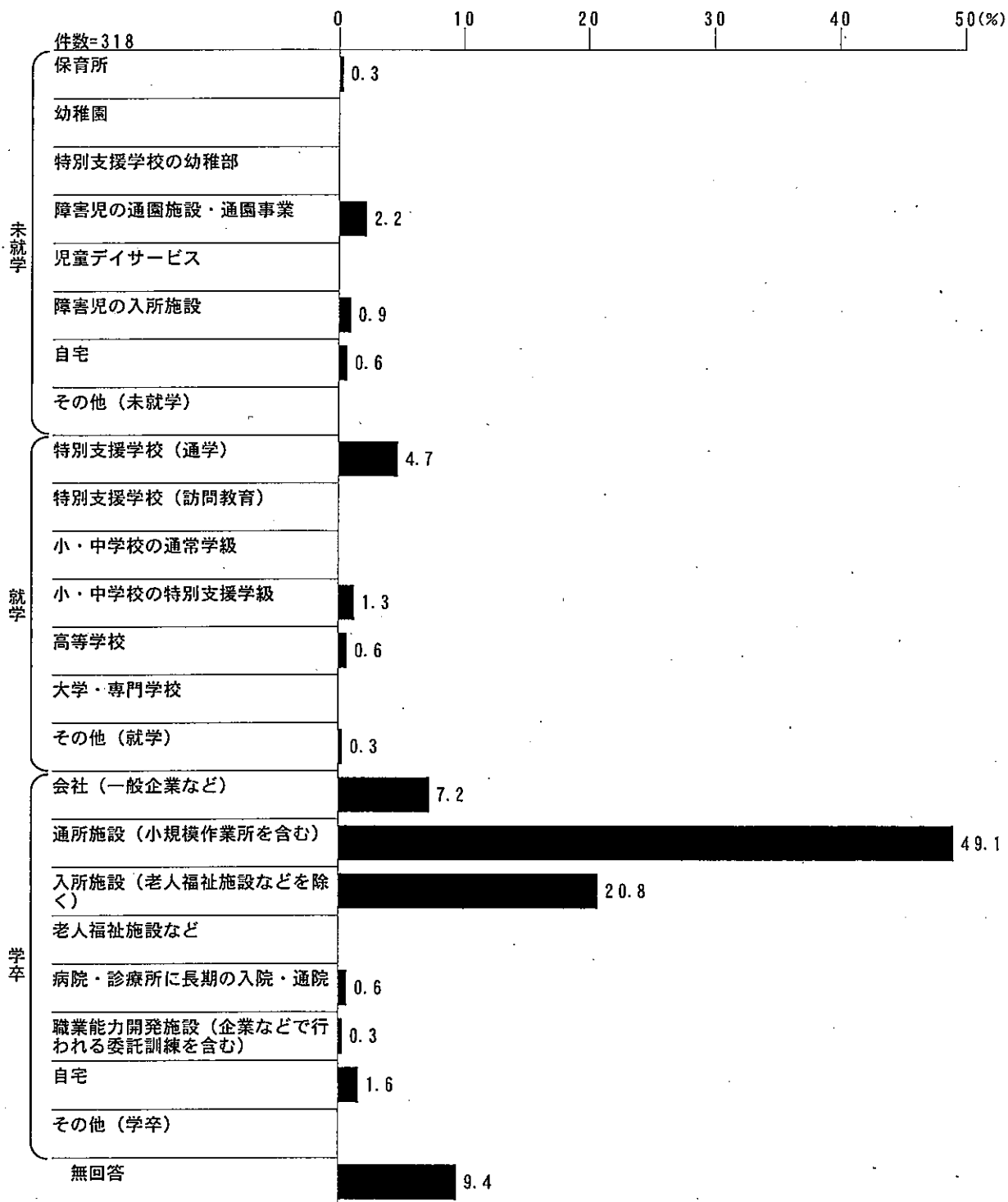
芸術文化活動をしない理由は、「興味がない」29.3%、「きっかけがない」25.0%、「出来る種目・種類がない」20.7%などの理由が多くなっている。

## 8 昼間過ごす場所

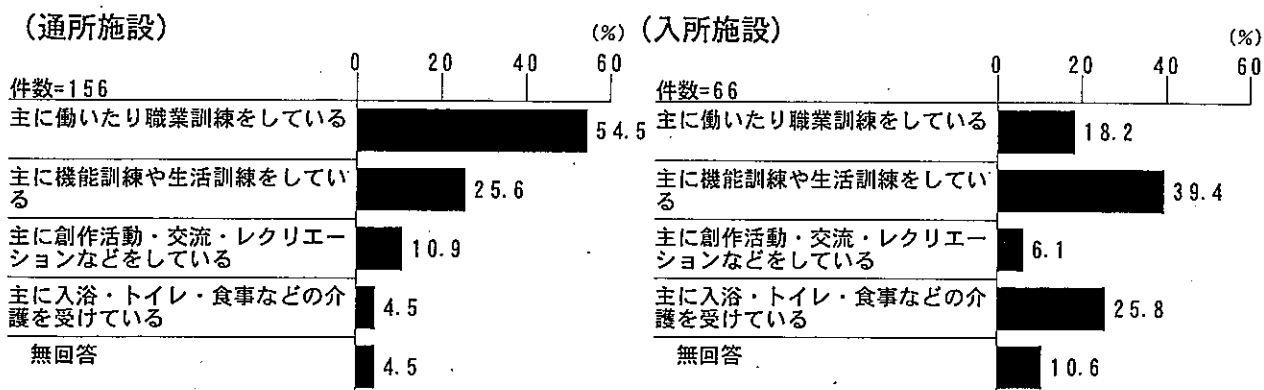
### (1)現在の状況

問 14 あなたが、昼間を主に過ごす場所についておたずねします。

(1) あなたは、昼間を主にどこで過ごしていますか。「未就学（学校へ通う前）の方」「学校に通っている方」「学校を卒業している方」の中から、あなたにあてはまる設問についてお答えください。（もっともあてはまる番号 1 つに○印）



※通所施設・入所施設では主にどんな活動をされていますか。



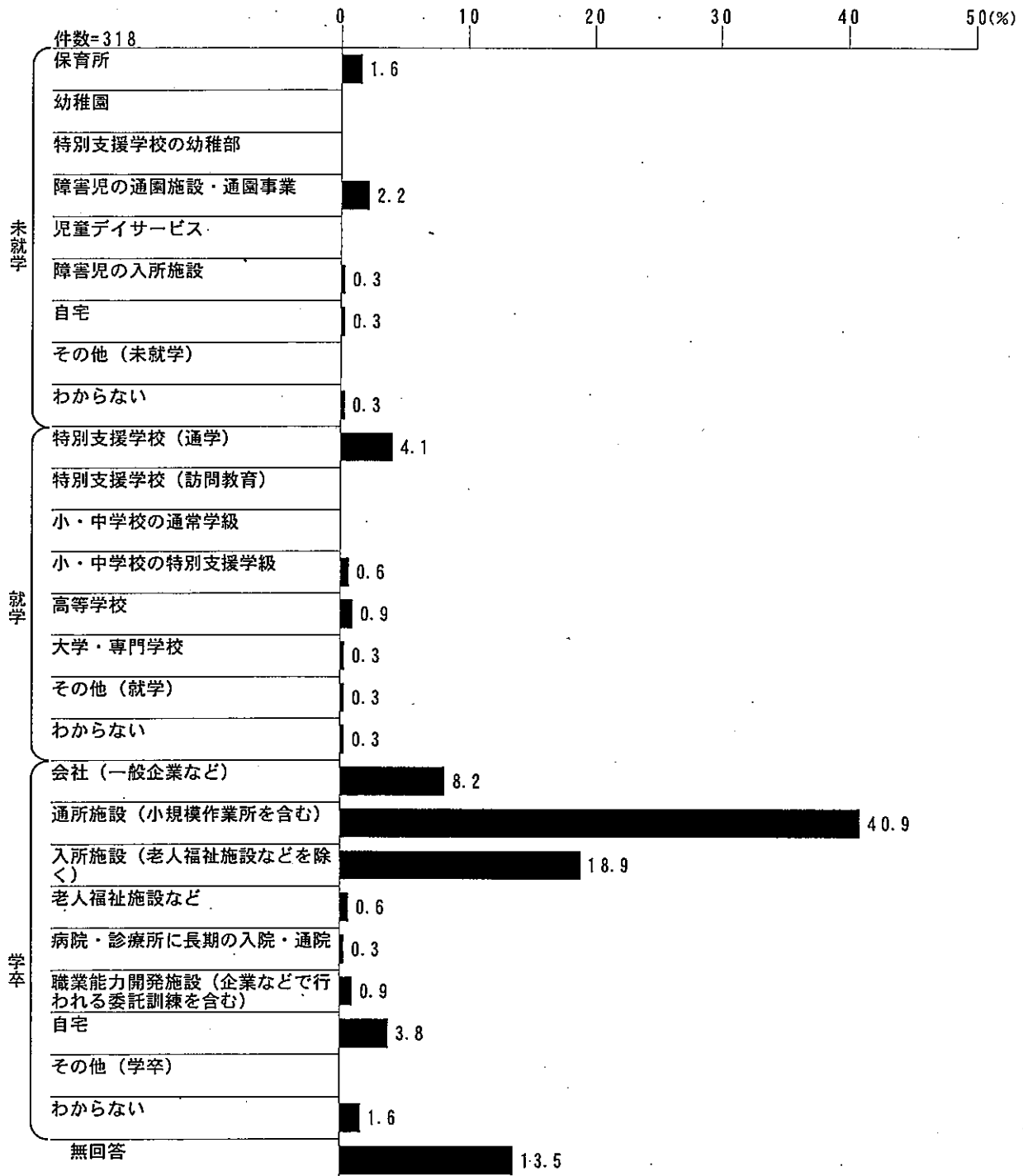
昼間を主に過ごす場所は、未就学では「障害児の通園施設・通園事業」など、就学では「特別支援学校（通学）」など、学卒では「通所施設（小規模作業所を含む）」49.1%、「入所施設（老人福祉施設などを除く）」20.8%、「会社（一般企業など）」7.2%、「自宅」1.6%などとなっている。

通所施設や入所施設の活動内容は、各種訓練やレクリエーション、介護など多岐にわたっている。

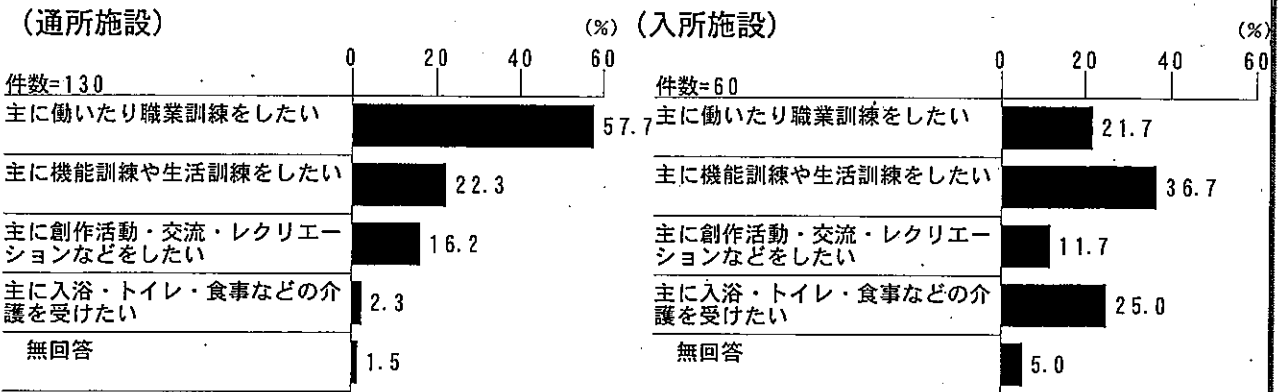
## (2) 将来の希望

問 14 あなたが、昼間を主に過ごす場所についておたずねします。

(2) あなたは、昼間を主にどこで過ごしたいと思いますか。「未就学 (学校へ通う前)の方」「学校へ通っている方」「学校を卒業している方」の中から、あなたにあてはまる設問についてお答えください。(もっともあてはまる番号 **1つ** に○印)



※通所施設・入所施設では主にどんな活動をしたいですか。



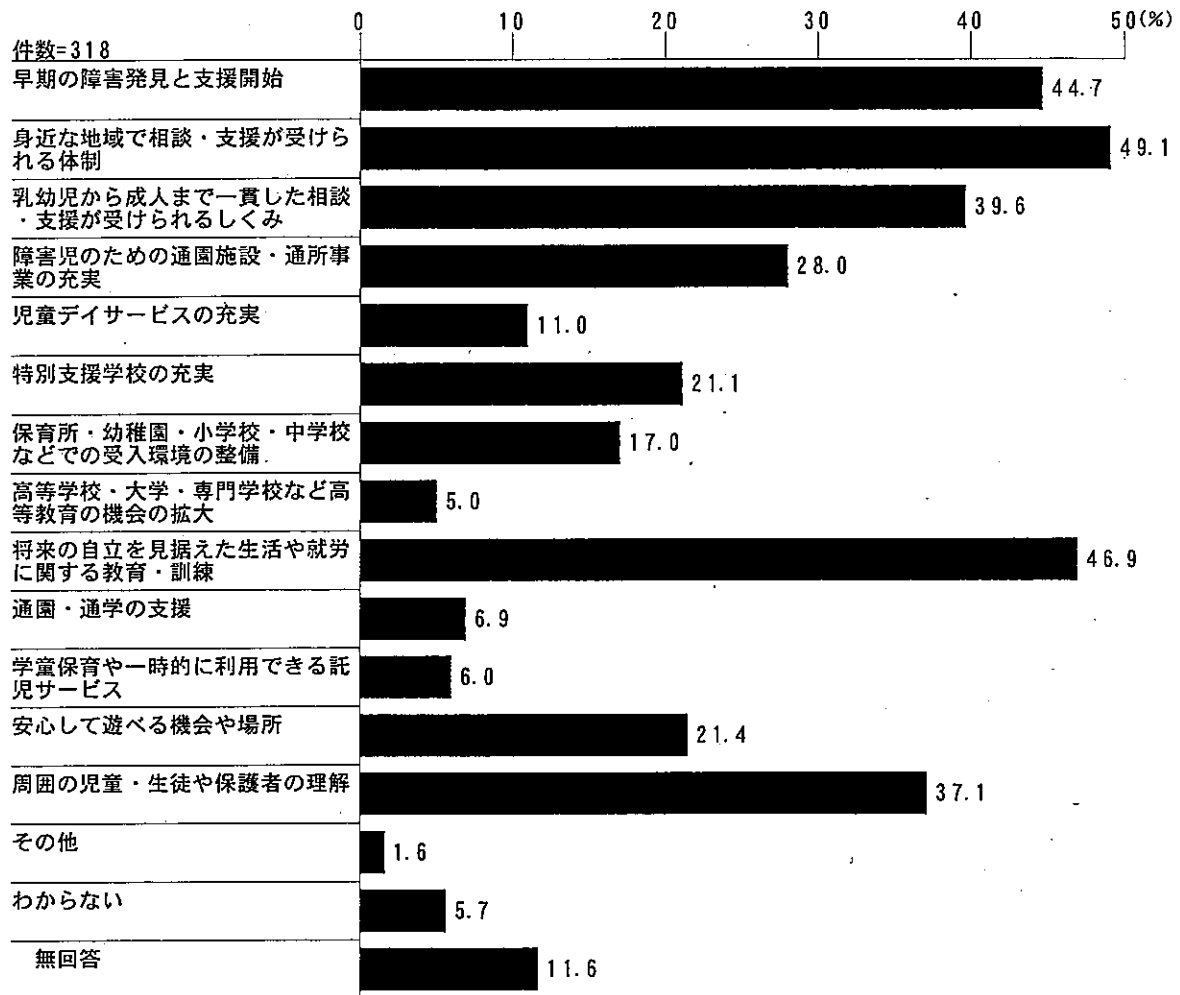
昼間を主に過ごしたい場所は、未就学では「障害児の通園施設・通園事業」など、就学では「特別支援学校（通学）」など、学卒では「通所施設（小規模作業所を含む）」40.9%、「入所施設（老人福祉施設などを除く）」18.9%「会社（一般企業など）」8.2%、「自宅」3.8%などとなっている。

通所施設や入所施設で希望する活動内容は、現在の状況とほぼ同じ傾向にある。

## 9 障害のある子どもたちが暮らしやすくなるために必要なこと

問 15 障害のある子どもたちが暮らしやすくなるためには、どんなことが必要だと思いますか。

(もっともあてはまる番号5つまでに○印)



障害のある子どもたちが暮らしやすくなるために必要なことは、「身近な地域で相談・支援が受けられる体制」が49.1%と最も多く、以下、「将来の自立を見据えた生活や就労に関する教育・訓練」46.9%、「早期の障害発見と支援開始」44.7%、「乳幼児から成人まで一貫した相談・支援が受けられるしくみ」39.6%、「周囲の児童・生徒や保護者の理解」37.1%、「障害児のための通園施設・通所事業の充実」28.0%、「安心して遊べる機会や場所」21.4%などとなっている。

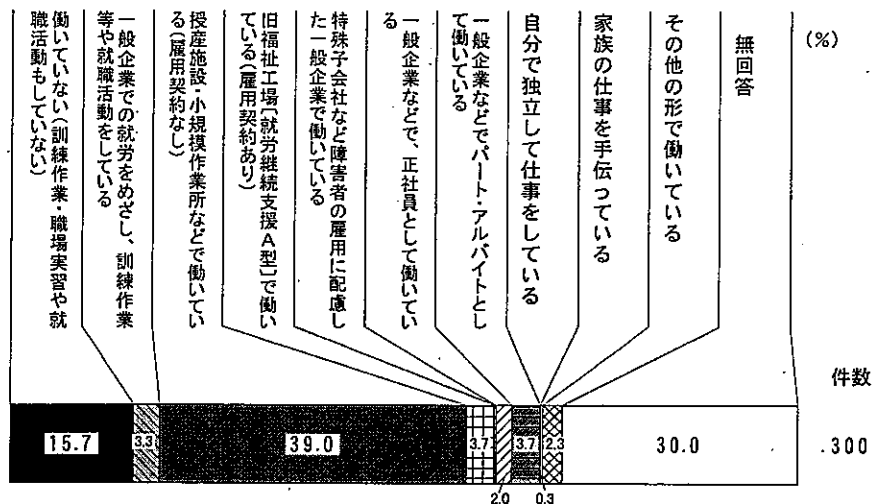


## 10 就労

### (1)現在の就労形態

問 16 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについておたずねします。

(1) あなたは現在働いていますか。働いている場合はどんな形で働いていますか。（あてはまる番号1つに○印）

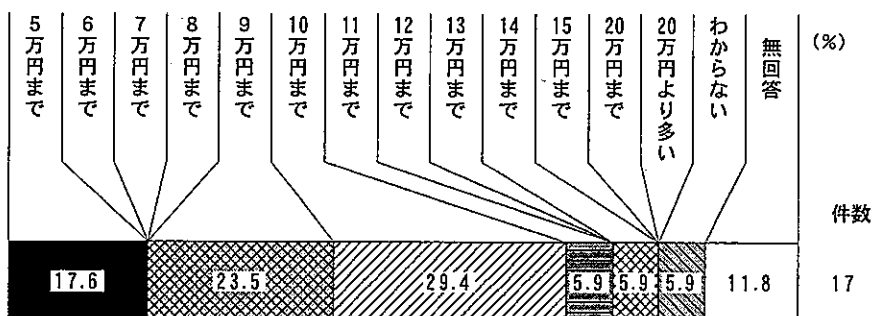


現在の就労形態は、「授産施設・小規模作業所などで働いている（雇用契約なし）」が39.0%と最も多く、以下「働いていない（訓練作業・職場実習や就職活動もしていない）」が15.7%、「旧福祉工場（就労継続支援A型）で働いている（雇用契約あり）」3.7%、「一般企業などで、パート・アルバイトとして働いている」3.7%などとなっている。

### (2)1か月の給料

問 16 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについておたずねします。

(2) 「特例子会社など障害者の雇用に配慮した一般企業で働いている」方、「一般企業などで正社員又はパート・アルバイトとして働いている」方、「自分で独立して仕事をしている」方におたずねします。1か月の給料（税引き前）は、どれくらいですか。（あてはまる番号1つに○印）

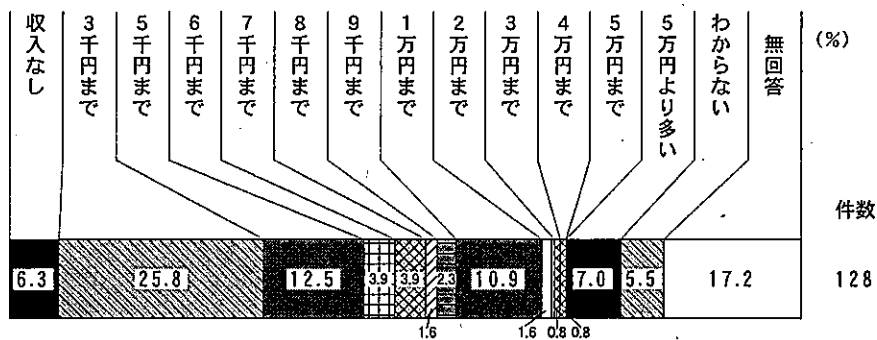


一般企業で働いている方や独立して仕事をしている方の1か月の給料は、「10万円まで」29.4%、「9万円まで」23.5%、「5万円まで」17.6%が多く、10万円以下で約7割、15万円以下で8割を越えている。

(3)1か月の工賃

問 16. 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについておたずねします。

(3) 「授産施設・小規模作業所・地域活動支援センターなど」「旧福祉工場〔就労継続支援A型〕」で働いている方におたずねします。1か月の工賃（税引き前）は、どれくらいですか。（あてはまる番号1つに○印）

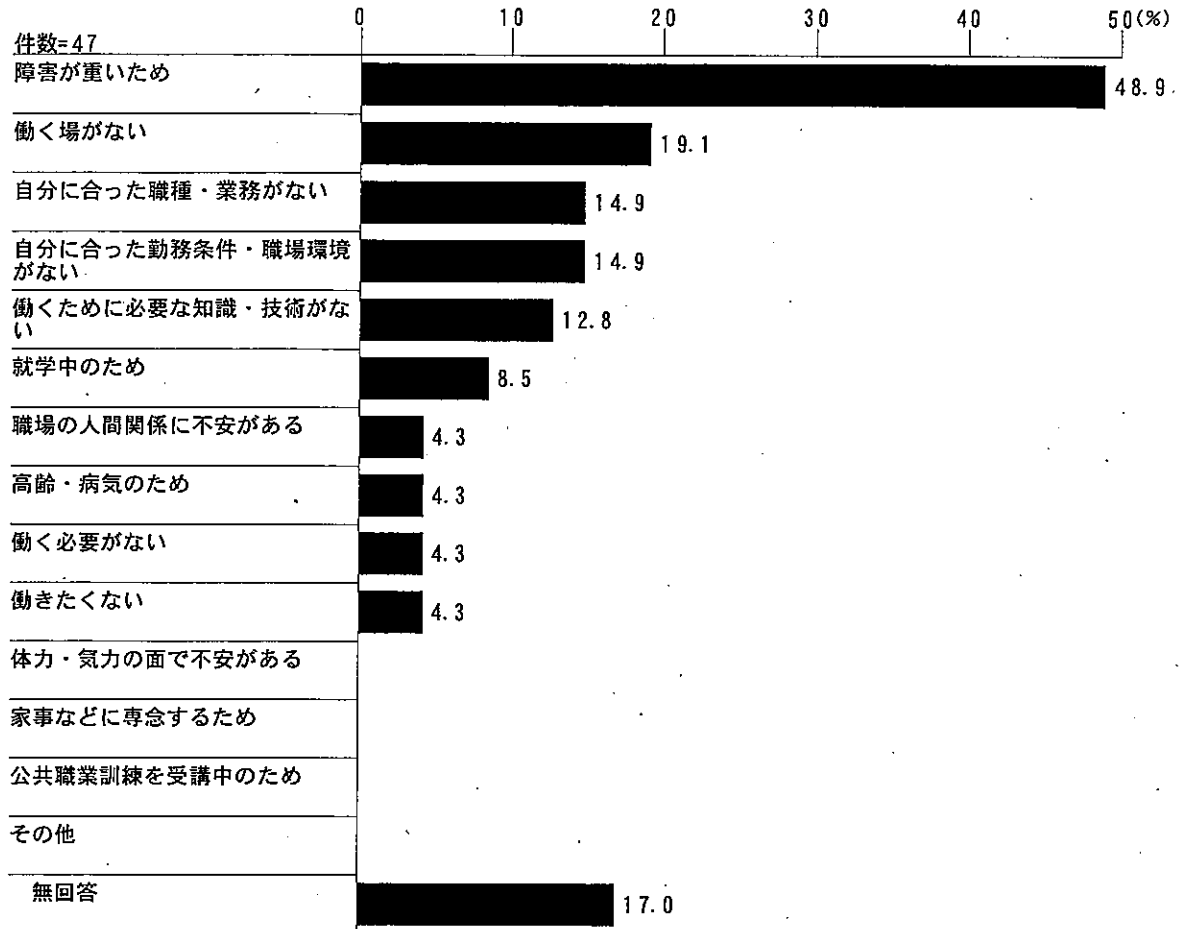


授産施設・小規模作業所・地域活動支援センターや旧福祉工場（就労継続支援A型）で働いている方の1か月の工賃は、「3千円まで」25.8%、「5千円まで」12.5%が多くなっている。

(4)働いていない理由

問 16 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについておたずねします。

(4) 現在働いていない方におたずねします。働いていない理由は、次のうちどれですか。（もともとはてはまる番号3つまでに○印）

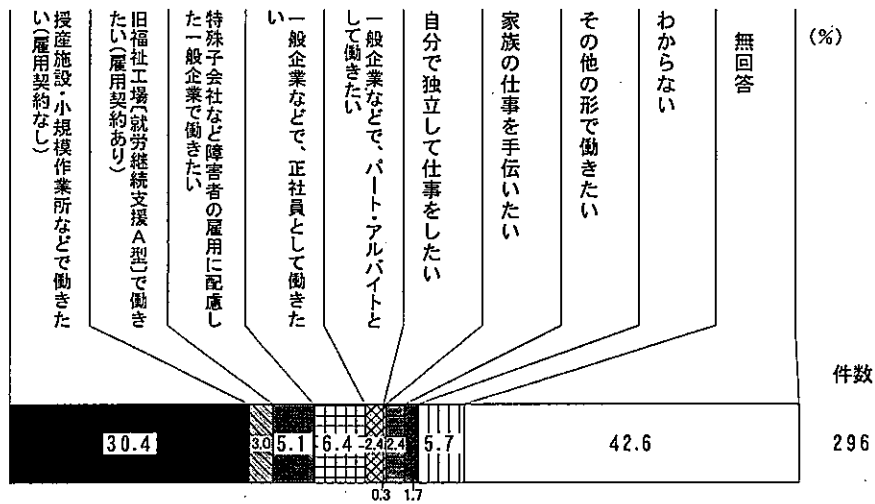


現在働いていない方のその理由は、「障害が重いため」が 48.9%と最も多く、以下「働く場がない」19.1%、「自分に合った職種・業務がない」14.9%、「自分に合った勤務条件・職場環境がない」14.9%、「働くために必要な知識・技術がない」12.8%などとなっている。

(5)就労形態の希望

問 17 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについて、あなたの今後のご希望をおたずねします。なお、この問いは、「働く必要がない」方・「働きたくない」方は、お答えいただかなくて結構です。

(1) あなたは今後、どのような形で働きたい〔または、働き続けたい〕ですか。（もっともあてはまる番号 1つ に○印）

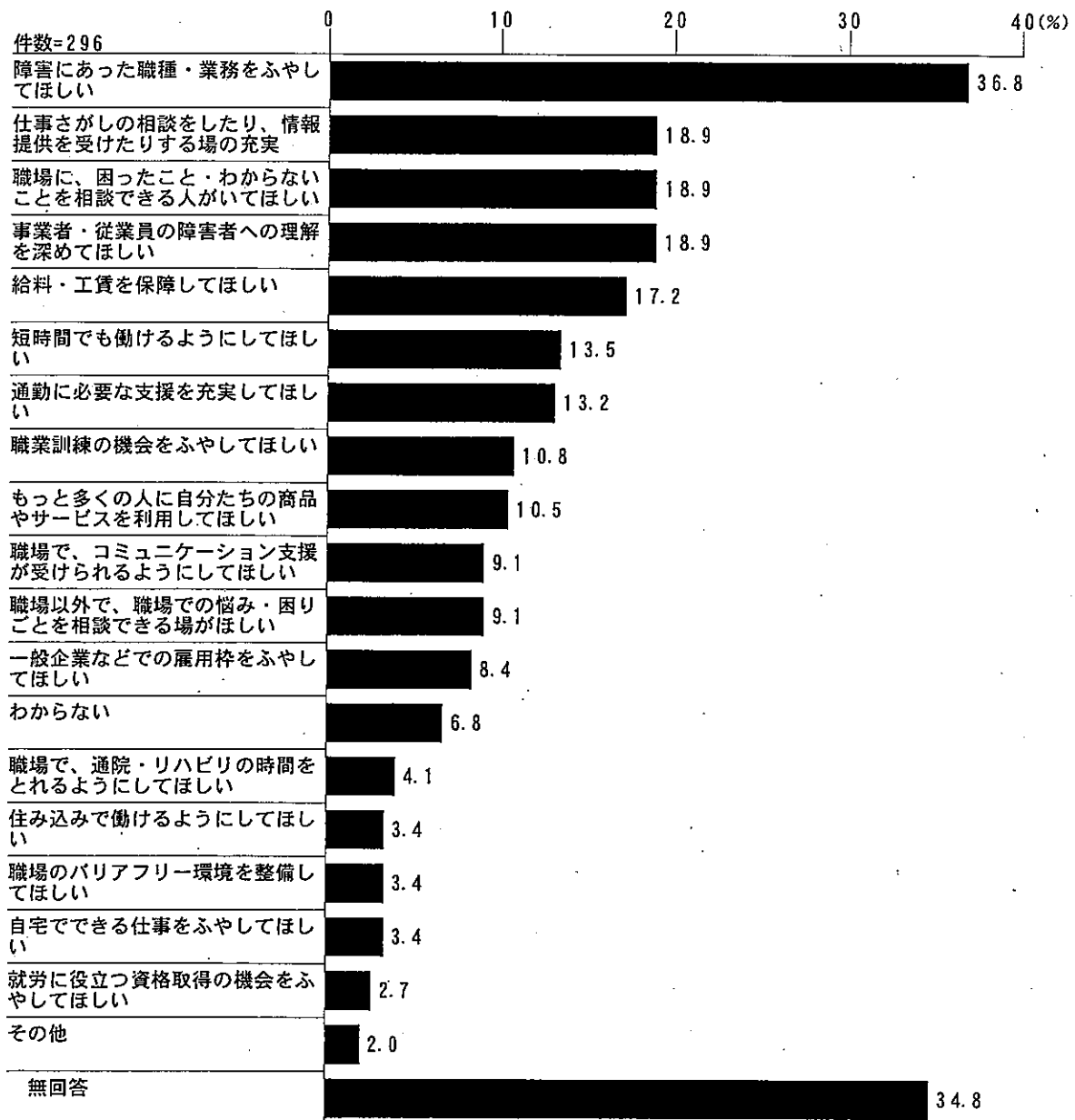


今後の就労形態の希望は、「授産施設・小規模作業所などで働きたい（雇用契約なし）」30.4%、「一般企業などで、正社員として働きたい」6.4%、「特例子会社など障害者の雇用に配慮した一般企業で働きたい」5.1%などとなっている。

(6)働くために必要なこと

問 17 中学校（特別支援学校中学部を含む）または高等学校（特別支援学校高等部を含む）卒業後の方に、働くことについて、あなたの今後のご希望をおたずねします。なお、この問いは、「働く必要がない」方・「働きたくない」方は、お答えいただくなくて結構です。

(2) あなたが今後、働き始めるためには〔または、もっとたくさん働くためには〕、どんなことが必要ですか。（もっともあてはまる番号5つまでに○印）



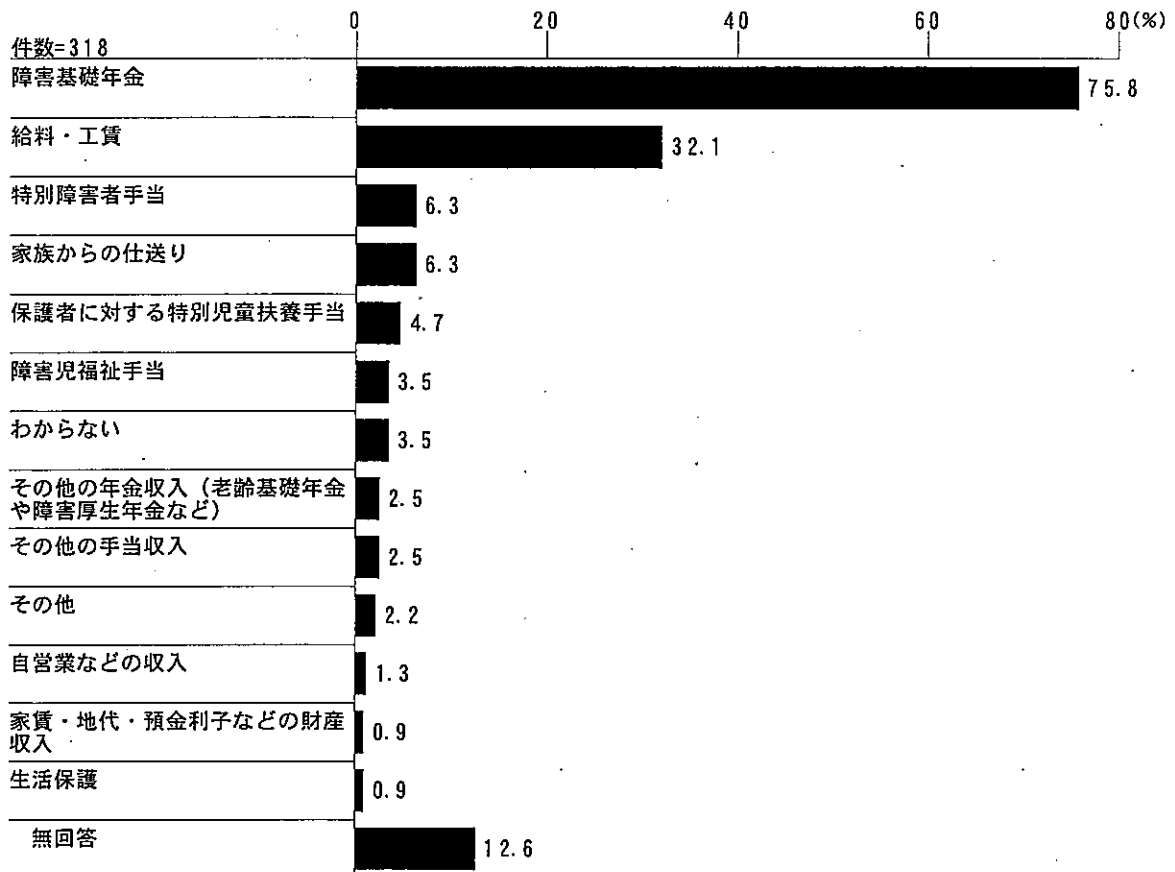
働くために必要なこととして、「障害にあった職種・業務をふやしてほしい」が36.8%と最も多く、以下「仕事さがしの相談をしたり、情報提供を受けたりする場の充実」18.9%、「職場に困ったこと・わからないことを相談できる人がいてほしい」18.9%、「事業者・従業員の障害者への理解を深めてほしい」18.9%、「給料・工賃を保障してほしい」17.2%などとなっている。

## 11 収入

### (1)収入の内訳

問 18 あなたご自身の収入についておたずねします。

(1) あなたご自身の収入の内訳は、次のうちどれにあたりますか。(あてはまる番号  に○印)

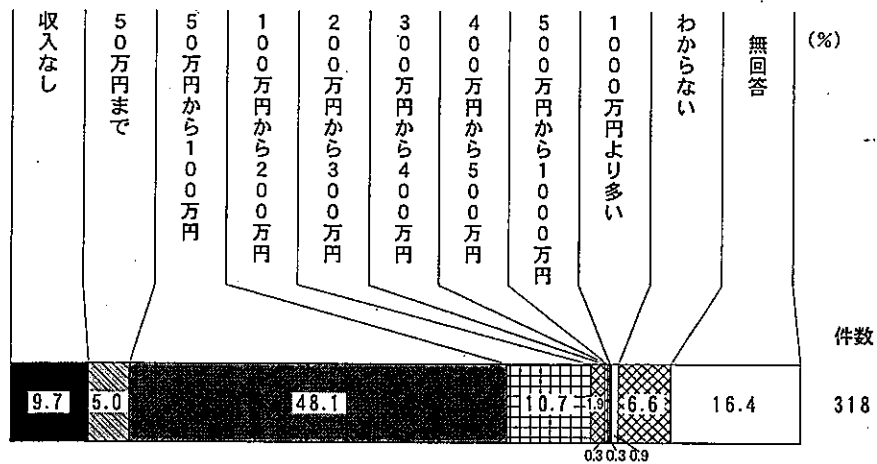


対象者自身の収入の内訳は、「障害基礎年金」75.8%、「給料・工賃」32.1%が突出して多く、以下「特別障害者手当て」6.3%、「家族からの仕送り」6.3%などとなっている。

## (2)年間収入

問 18 あなたご自身の収入についておたずねします。

(2) あなたご自身の年間収入（税引き前）は、給料・工賃や年金・手当を含めて、およそどれくらいですか。（もっともあてはまる番号 **1** つに○印）



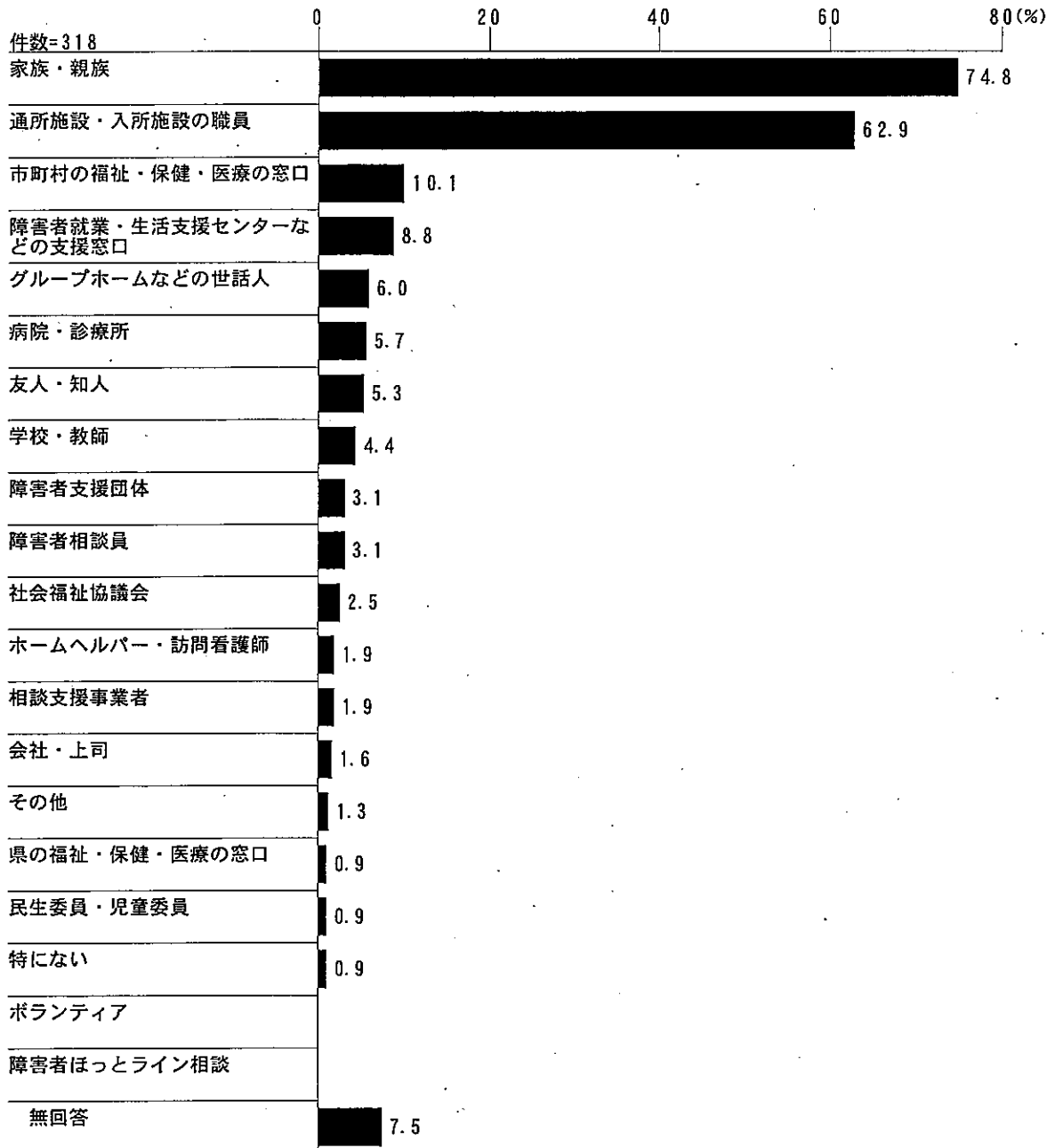
給料・工賃や年金・手当を含めた年間収入は、「50万円から100万円」48.1%、「100万円から200万円」10.7%で約6割を占めている。

## 12 相談

### (1) 主な相談先

問 19 あなたが困ったときの相談についておたずねします。

(1) あなたが困ったときの主な相談先は、次のうちどこですか。(もっともあてはまる番号  つまでに○印)



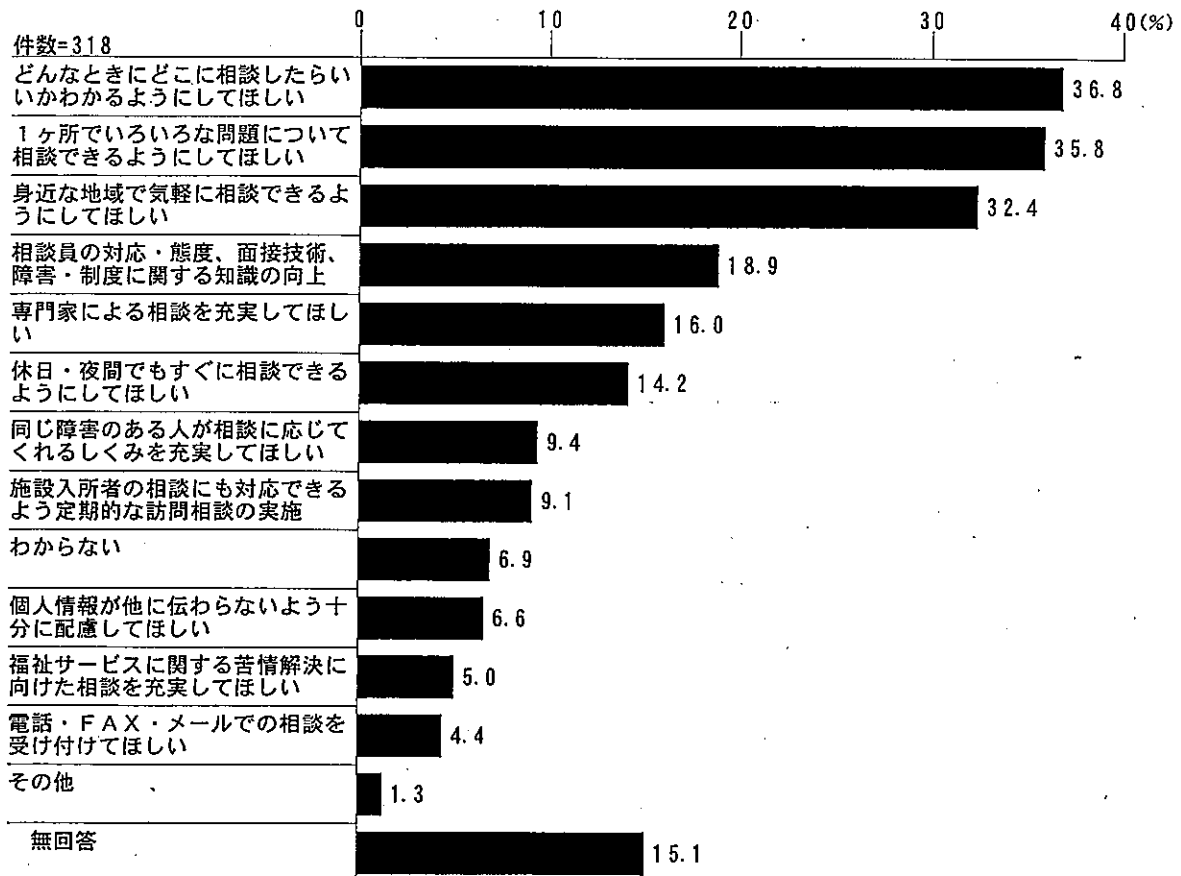
困ったときの主な相談先は、「家族・親族」が74.8%と最も多く、以下「通所施設・入所施設の職員」62.9%、「市町村の福祉・保健・医療の窓口」10.1%、「障害者就業・生活支援センターなどの支援窓口」8.8%、「グループホームなどの世話人」6.0%などとなっている。



## (2)福祉・生活に関する相談の希望

問19 あなたが困ったときの相談についておたずねします。

(2) あなたは、福祉・生活に関する相談に、どんなことを希望しますか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)

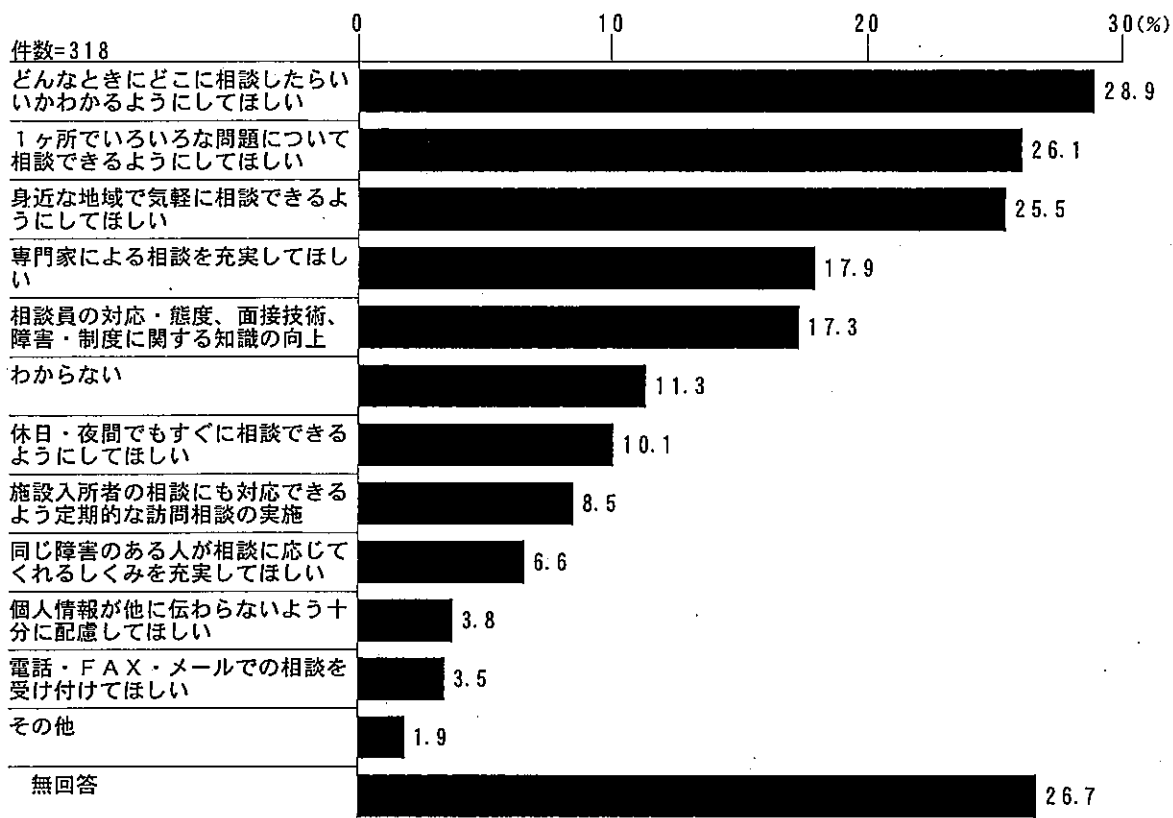


福祉・生活に関する相談の希望は、「どんなときにどこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」が36.8%と最も多く、以下「1ヶ所でいろいろな問題について相談できるようにしてほしい」35.8%、「身近な地域で気軽に相談できるようにしてほしい」32.4%、「相談員の対応・態度、面接技術、障害・制度に関する知識の向上」18.9%などとなっている。

### (3)就労・就業に関する相談の希望

問 19 あなたが困ったときの相談についておたずねします。

(3) あなたは、就労・就業に関する相談に、どんなことを希望しますか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)



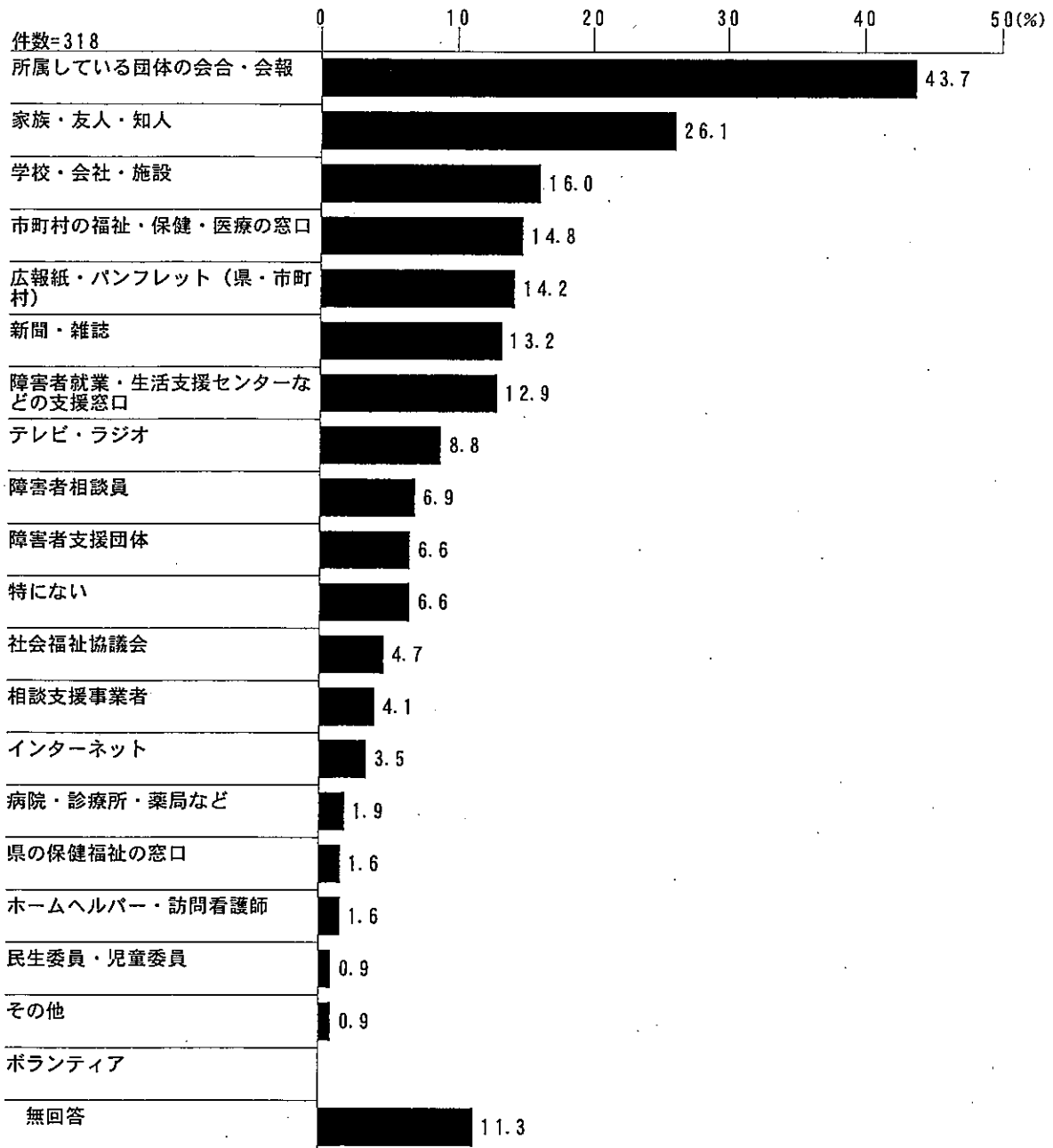
就労・就業に関する相談の希望は、「どんなときにどこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」が28.9%と最も多く、以下「1ヶ所でいろいろな問題について相談できるようにしてほしい」26.1%、「身近な地域で気軽に相談できるようにしてほしい」25.5%、「専門家による相談を充実してほしい」17.9%、「相談員の対応・態度、面接技術、障害・制度に関する知識の向上」17.3%などとなっている。

### 13 情報の入手方法

#### (1)情報の入手先

問 20 情報の入手方法についておたずねします。

(1) あなたは、福祉サービスなどに関する情報を、主にどこから得ていますか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)

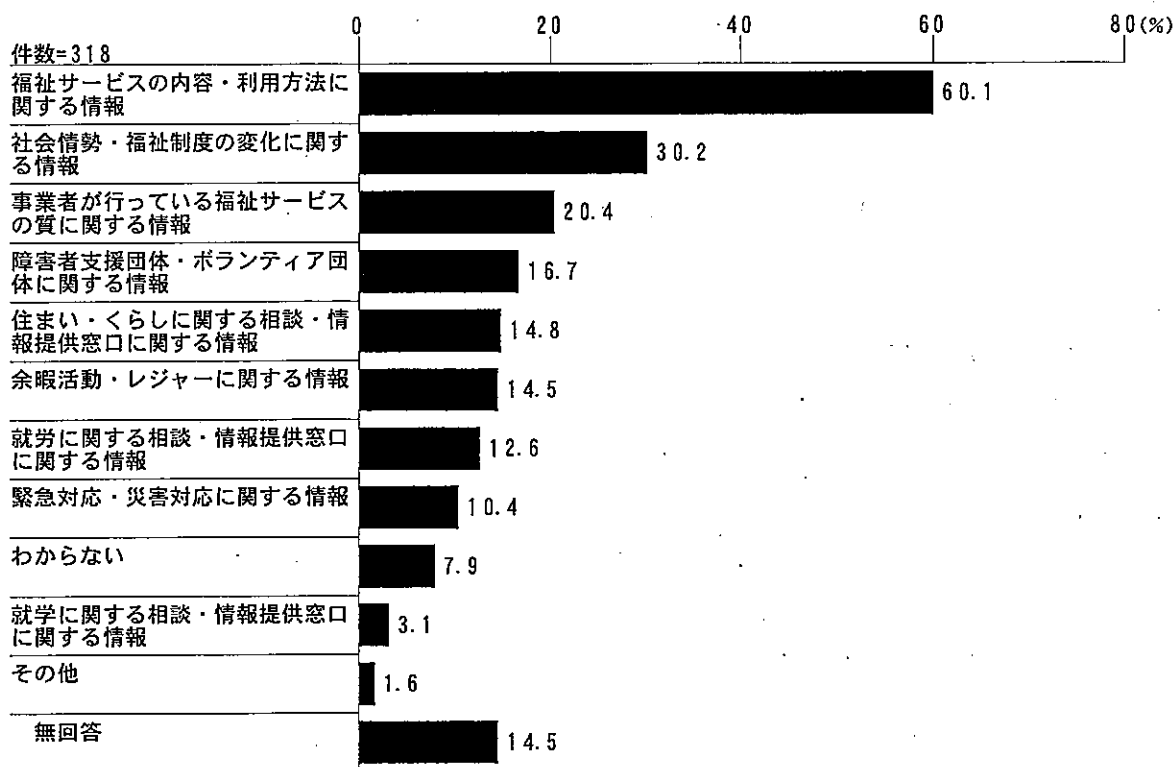


福祉サービスなどに関する情報の入手先は、「所属している団体の会合・会報」43.7%、「家族・友人・知人」26.1%、「学校・会社・施設」16.0%、「市町村の福祉・保健・医療の窓口」14.8%、「広報紙・パンフレット (県・市町村)」14.2%、「新聞・雑誌」13.2%、「障害者就業・生活支援センターなどの支援窓口」12.9%、「テレビ・ラジオ」8.8%、「障害者相談員」6.9%などとなっている。

## (2) 今後充実してほしい情報

問 20 情報の入手方法についておたずねします。

(2) あなたにとって、今後充実してほしい情報は、次のうちどれですか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)



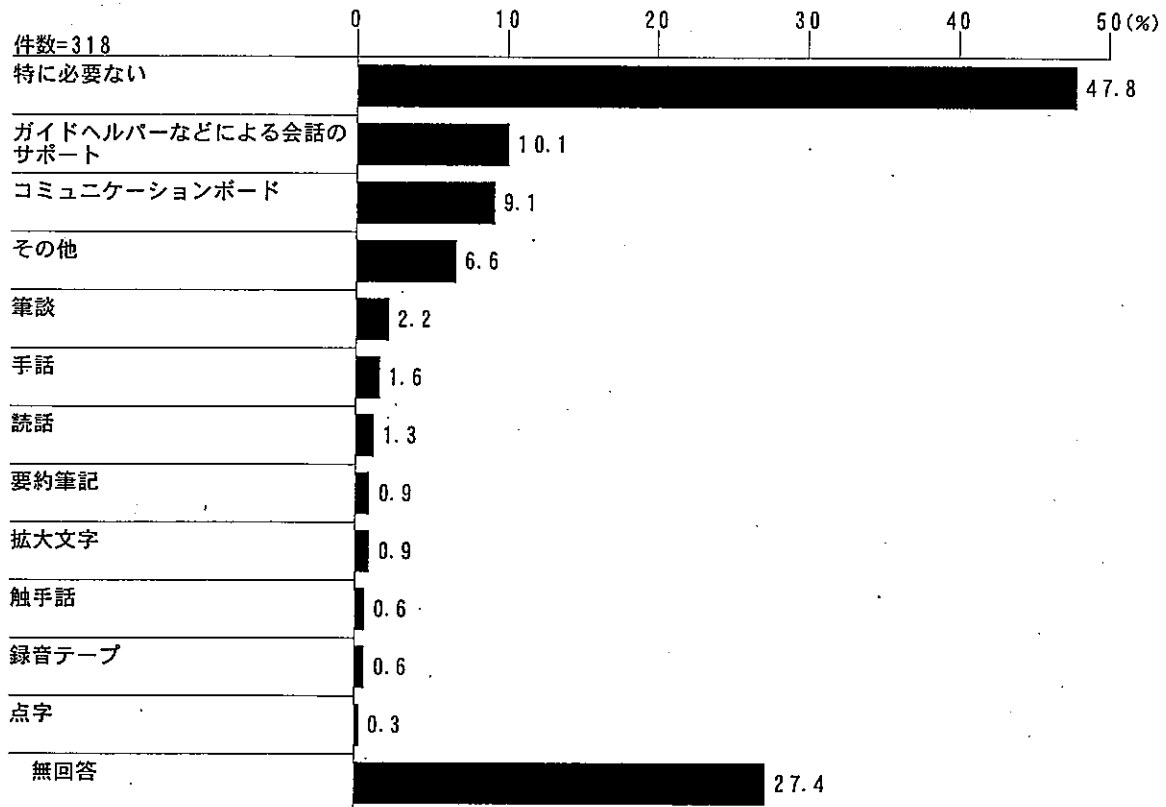
今後充実してほしい情報は、「福祉サービスの内容・利用方法に関する情報」が 60.1%と最も多く、以下「社会情勢・福祉制度の変化に関する情報」30.2%、「事業者が行っている福祉サービスの質に関する情報」20.4%、「障害者支援団体・ボランティア団体に関する情報」16.7%などとなっている。

## 14 コミュニケーション支援

### (1) 必要なコミュニケーション支援

問 21 コミュニケーション（意思疎通）支援についておたずねします。

(1) あなたに必要なコミュニケーション支援は、次のうちどれですか。（あてはまる番号すべてに○印）

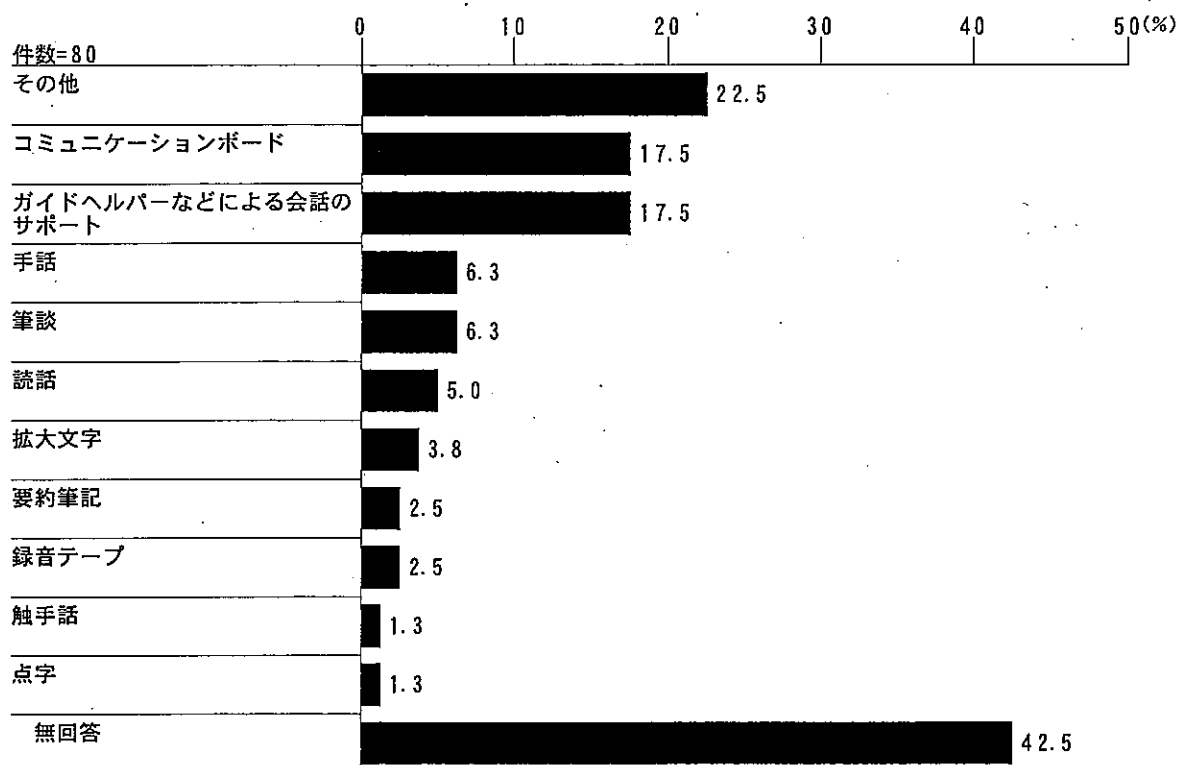


必要なコミュニケーション支援は、「特に必要なない」が47.8%を占めているものの、「ガイドヘルパーなどによる会話のサポート」10.1%、「コミュニケーションボード」9.1%、「筆談」2.2%などがあがっている。

## (2) 利用したことのあるコミュニケーション支援

問 21 コミュニケーション（意思疎通）支援についておたずねします。

(2) コミュニケーション支援が必要な方におたずねします。過去1年間に利用したことがあるコミュニケーション支援は、次のうちどれですか。（あてはまる番号すべてに○印）

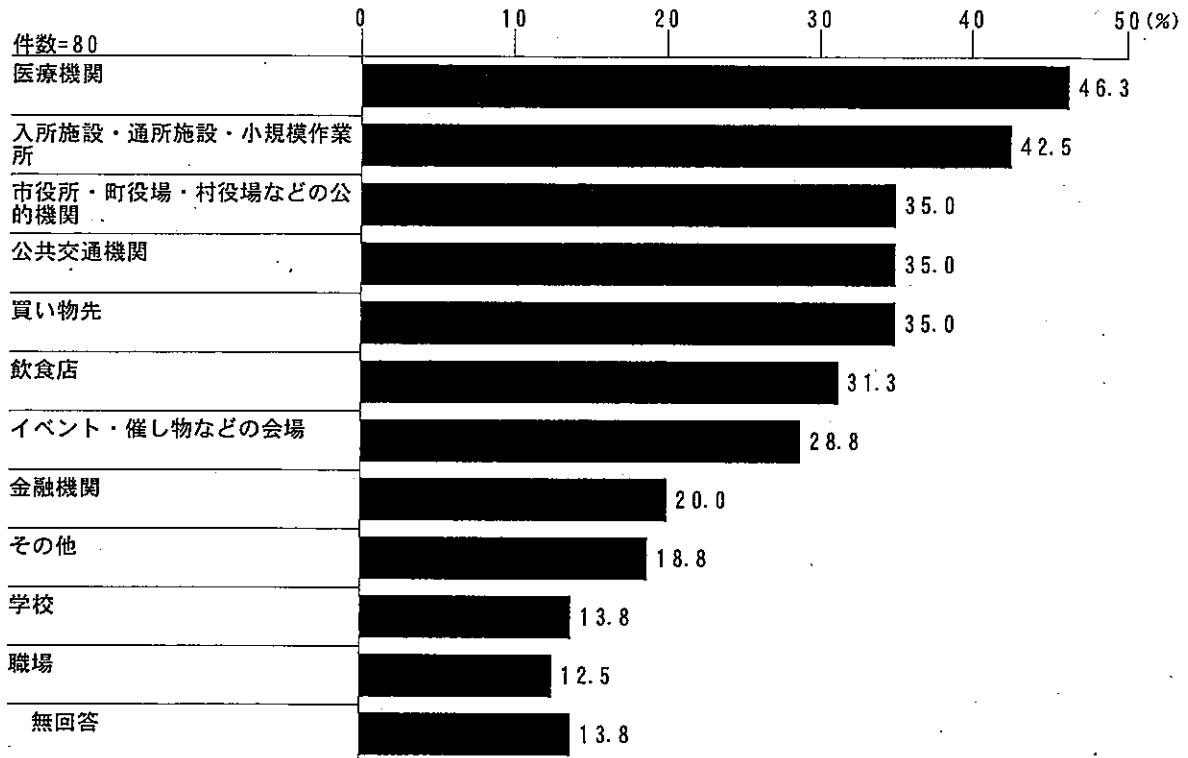


コミュニケーション支援が必要な方が利用したことがあるサービスは、「コミュニケーションボード」、「ガイドヘルパーなどによる会話のサポート」がそれぞれ17.5%と最も多く、以下「手話」6.3%、「筆談」6.3%、「読話」5.0%、「拡大文字」3.8%などとなっている。

(3)コミュニケーション支援を必要とする場所

問 21 コミュニケーション（意思疎通）支援についておたずねします。

(3) コミュニケーション支援が必要な方におたずねします。あなたがコミュニケーション支援を必要とする主な場所は、次のうちどれですか。（あてはまる番号すべてに○印）



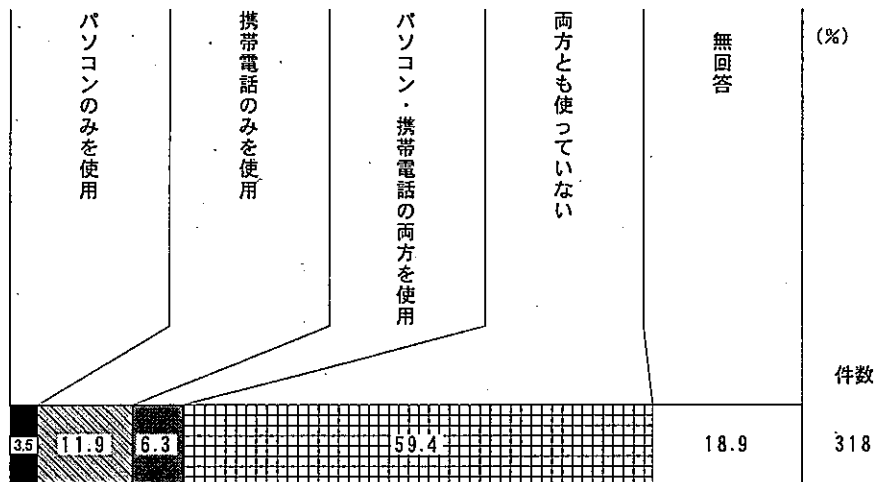
コミュニケーション支援を必要とする主な場所は、「医療機関」が46.3%と最も多く、以下「入所施設・通所施設・小規模作業所」42.5%、「市役所・町役場・村役場などの公的機関」35.0%、「公共交通機関」35.0%、「買い物先」35.0%、「公飲食店」31.3%などとなっている。

## 15 インターネット・電子メールの利用

### (1) パソコン・携帯電話の使用状況

問 22 パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの利用についておたずねします。

(1) あなたは、パソコン・携帯電話を使用していますか。(あてはまる番号 1つ に○印)

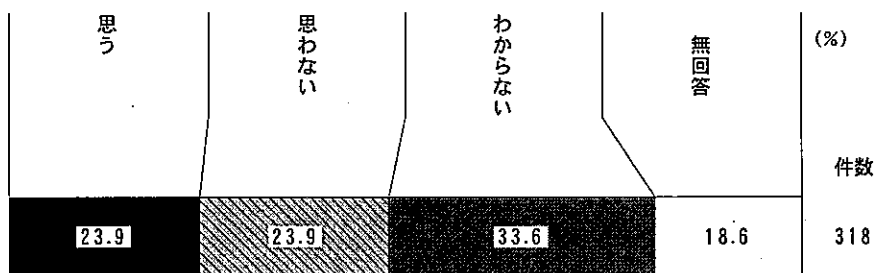


パソコン・携帯電話の使用状況は、「パソコンのみを使用」3.5%、「携帯電話のみを使用」11.9%、「パソコン・携帯電話の両方を使用」6.3%となっており、「両方とも使っていない」は59.4%となっている。

### (2) パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの活用意向

問 22 パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの利用についておたずねします。

(2) あなたは今後、パソコン・携帯電話を利用したインターネットや電子メールなどを活用してみたいと思いますか。(もっともあてはまる番号 1つ に○印)



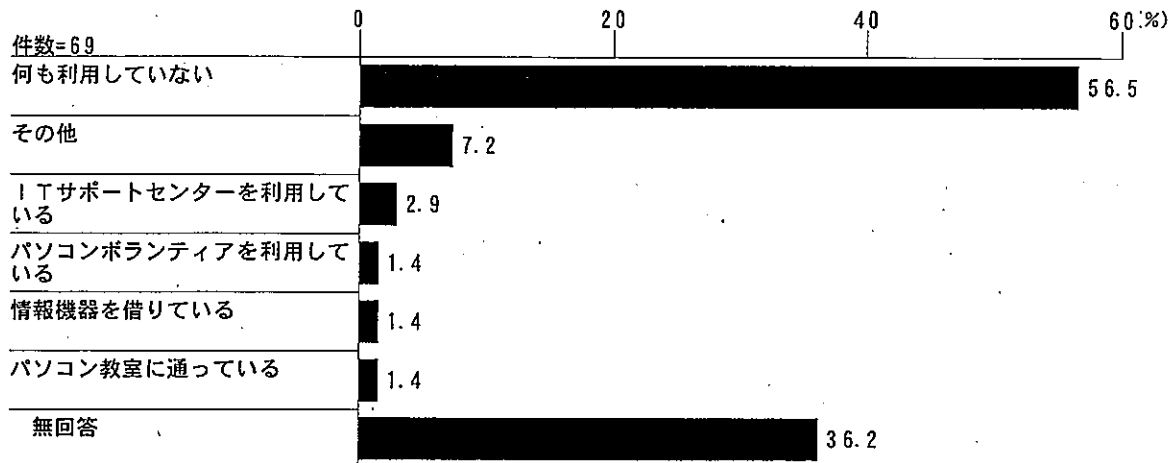
パソコン・携帯電話を利用したインターネットや電子メールなどを活用したいと「思う」、「思わない」ともに23.9%となっている。



### (3) インターネット・電子メールの活用にあたって受けている支援

問 22 パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの利用についておたずねします。

(3) パソコン・携帯電話を利用したインターネット・電子メールなどを活用されている方におたずねします。あなたはインターネットや電子メールの活用にあたり、何らかの支援を受けていますか。(あてはまる番号すべてに○印)

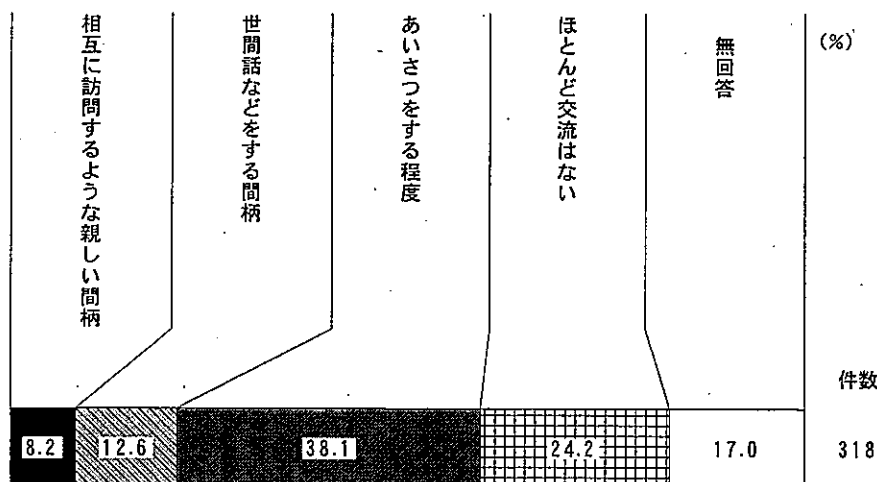


インターネットや電子メールの活用にあたって受けている支援は、「何も利用していない」が56.5%を占めているものの、「ITサポートセンターを利用している」2.9%、「パソコンボランティアを利用している」1.4%、「情報機器を借りている」1.4%、「パソコン教室に通っている」1.4%などがあがっている。

## 16 地域生活

### (1) 近所づきあいの程度

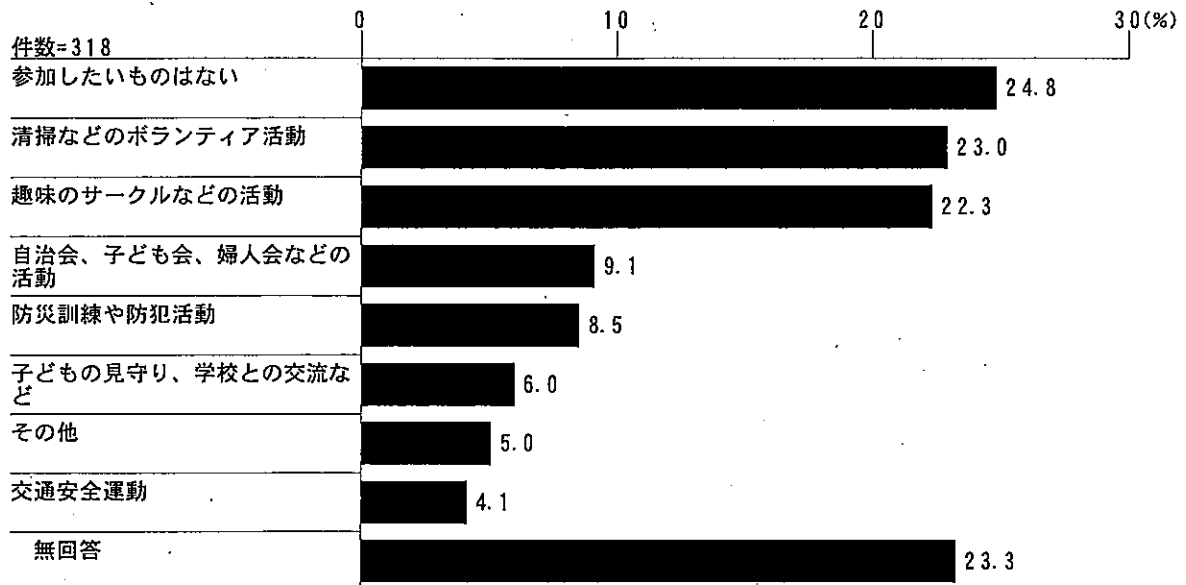
問 23 あなたの近所づきあい（向こう3軒両どなり程度。施設などに入所されている方は周囲の入所者の方とのつきあい）はどの程度ですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)



近所づきあいの程度は、「あいさつをする程度」38.1%、「世間話などをする間柄」12.6%で約5割を占めているものの、「ほとんど交流はない」も24.2%となっている。

## (2)地域活動への参加意向

問 24 あなたは今後、地域で行う行事や活動などで参加してみたい（参加したことのあるものを含む）と思うものはありますか。（あてはまる番号すべてに○印）



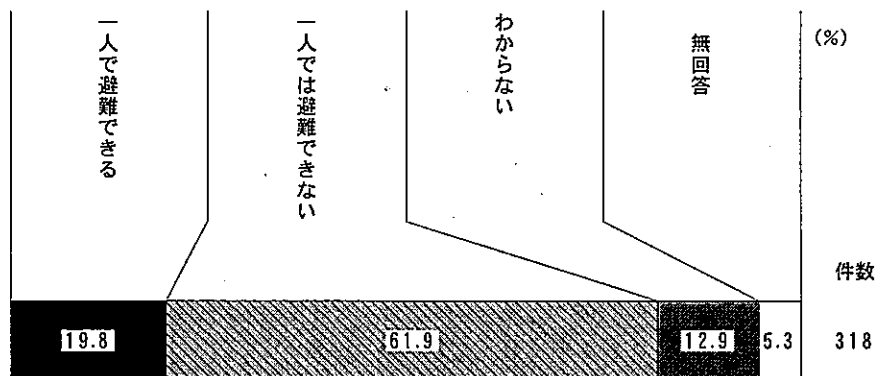
参加してみたい地域活動として、「清掃などのボランティア活動」が 23.0%と最も多く、以下「趣味のサークル活動」22.3%、「自治会、子ども会、婦人会などの活動」9.1%、「防災訓練や防犯活動」8.5%などとなっている。また「参加したいものはない」が 24.8%となっている。

## 17 災害時の対応

### (1)避難

問 25 災害が発生したときのことについておたずねします。

(1) あなたは、火事・地震・台風などの災害が発生したときに、一人で避難できますか。（あてはまる番号1つに○印）



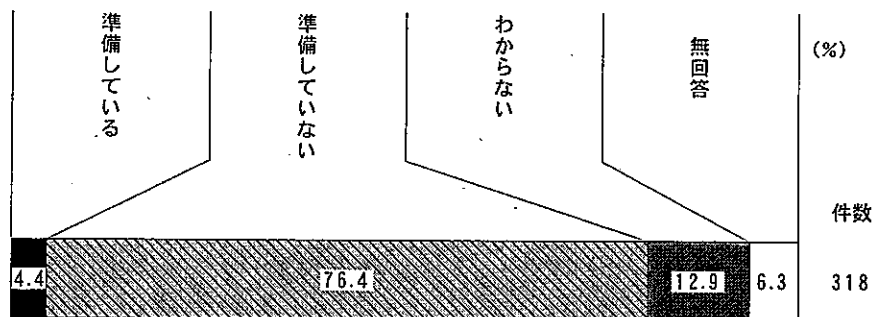
火事・地震・台風などの災害が発生したときに「一人で避難できる」が 19.8%、「一人では避難できない」が 61.9%となっている。

## (2)非常持ち出し品の準備

問 25 災害が発生したときのことについておたずねします。

(2) あなたは、災害の発生に備えて、医薬品や装具などの非常持ち出し品の準備をしていますか。

(あてはまる番号1つに○印)

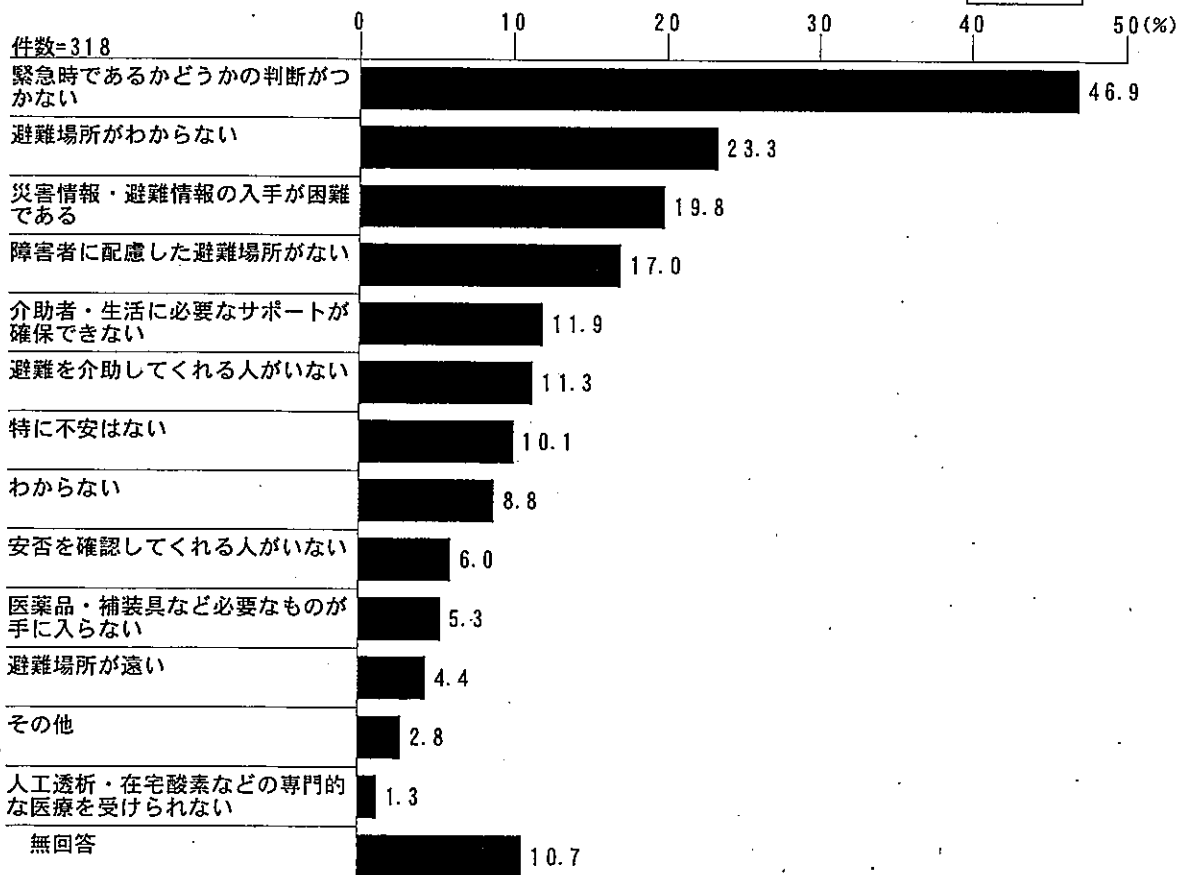


災害の発生に備えて、非常持ち出し品を「準備している」が 4.4%、「準備していない」が 76.4%となっている。

## (3)災害時の不安

問 25 災害が発生したときのことについておたずねします。

(3) 災害が発生したとき、あなたは何が不安ですか。(もっともあてはまる番号3つまでに○印)

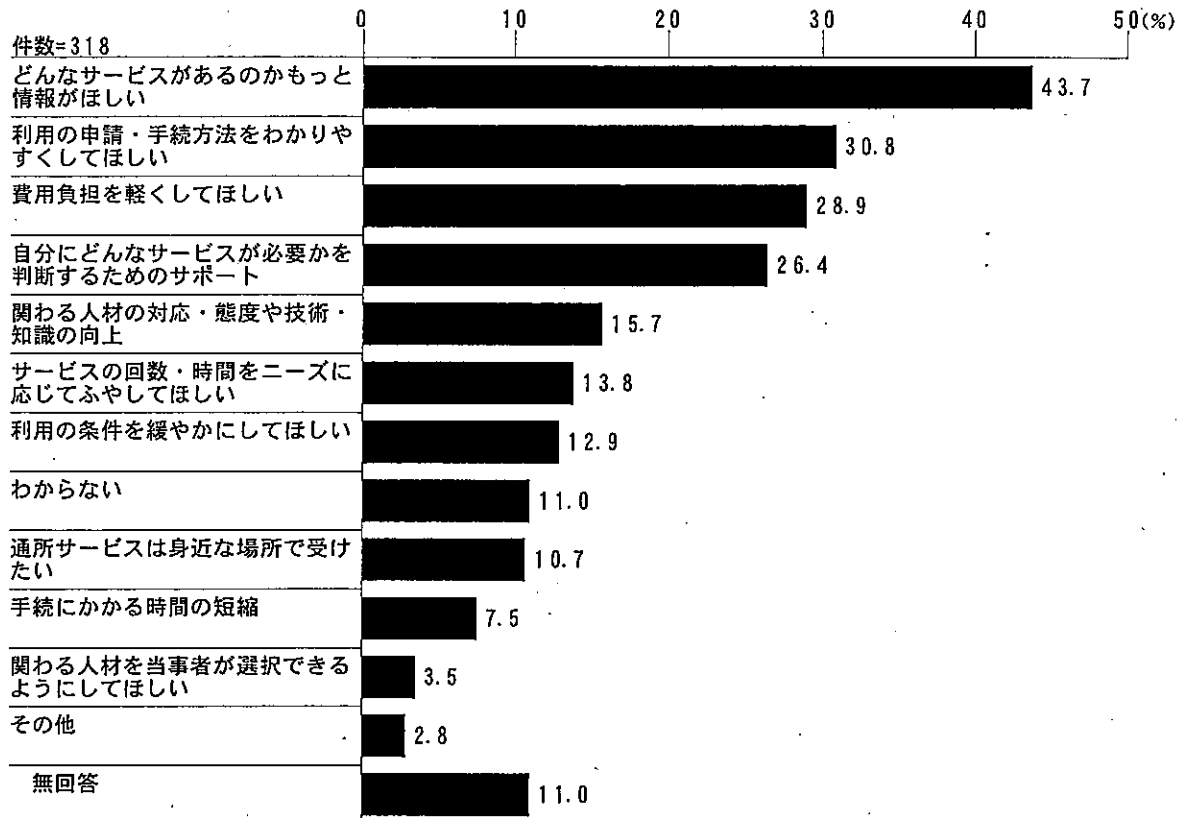


災害が発生した際の不安は、「緊急時であるかどうかの判断がつかない」が 46.9%と最も多く、以下「避難場所がわからない」23.3%、「災害情報・避難情報の入手が困難である」19.8%、「障害者に配慮した避難場所がない」17.0%、「介助者・生活に必要なサポートが確保できない」11.9%などとなっている。

## 18 行政サービス等への要望

### (1) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

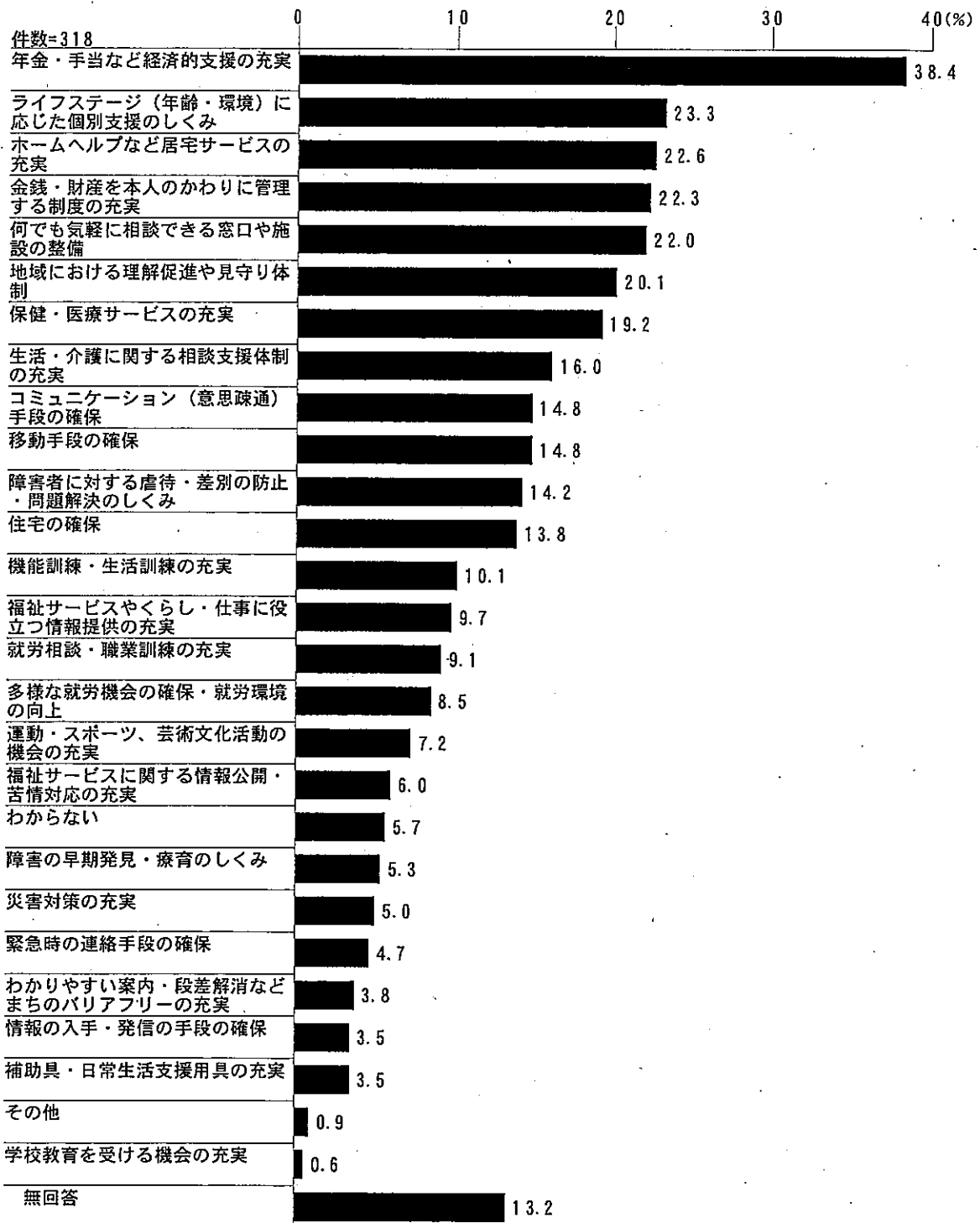
問 26 福祉サービスがもっと利用しやすくなるために、どんなことが必要だと思いますか。ただし、介護保険のサービスについては除きます。(もっともあてはまる番号 3 つまでに○印)



福祉サービスを利用しやすくするために必要なこととして、「どんなサービスがあるのかもっと情報がほしい」が43.7%と最も多く、以下「利用の申請・手続方法をわかりやすくしてほしい」30.8%、「費用負担を軽くしてほしい」28.9%、「自分にどんなサービスが必要かを判断するためのサポート」26.4%、「関わる人材の対応・態度や技術・知識の向上」15.7%などとなっている。

## (2)暮らしやすくするために必要なこと

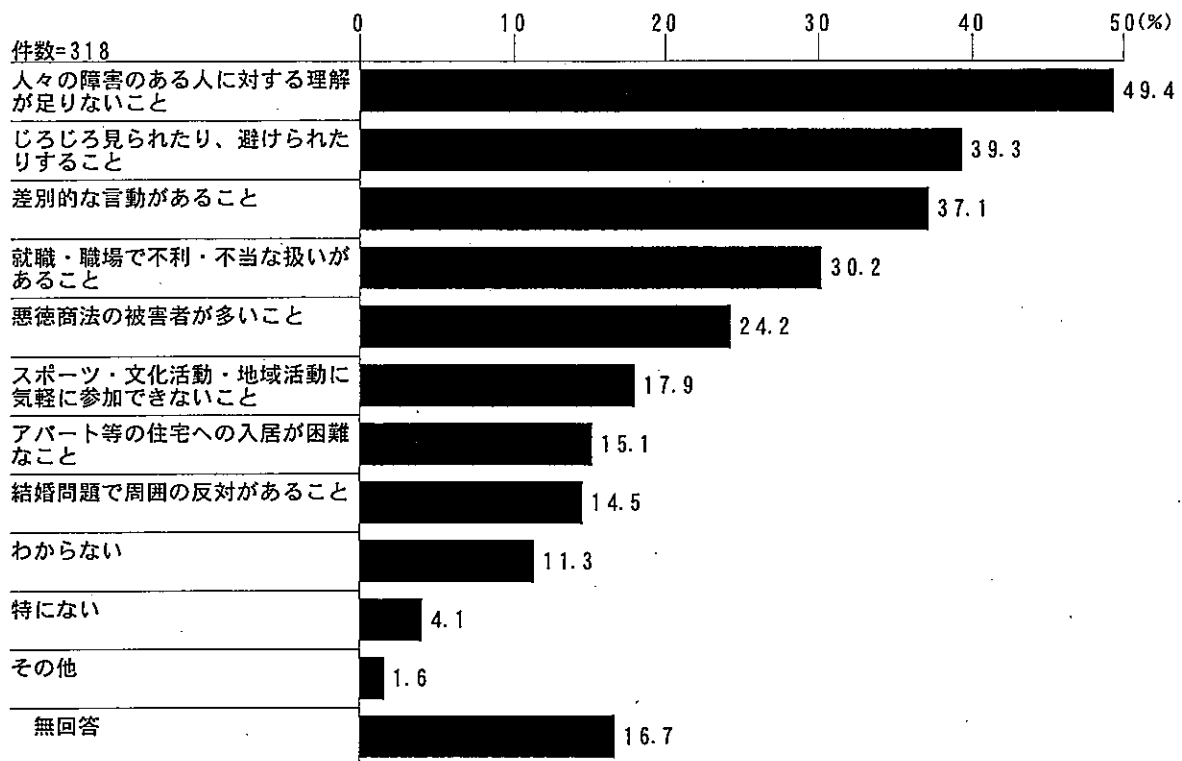
問 27 あなたが将来もっとくらしやすくなるために、どんなことが必要だと思いますか。(もともあてはまる番号5つまでに○印)



将来暮らしやすくなるために必要なこととして、「年金・手当など経済的支援の充実」が38.4%と最も多く、以下「ライフステージ(年齢・環境)に応じた個別支援のしくみ」23.3%、「ホームヘルプなど居宅サービスの充実」22.6%、「金銭・財産を本人のかわりに管理する制度の充実」22.3%、「何でも気軽に相談できる窓口や施設の整備」22.0%などとなっている。

## 19 人権問題

問 28 あなたは、障害のある人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。  
(あてはまる番号すべてに○印)



障害のある人に対する人権問題で起きていることとして、「人々の障害のある人に対する理解が足りないこと」が 49.4%と最も多く、以下「じろじろ見られたり、避けられたりすること」39.3%、「差別的な言動があること」37.1%、「就職・職場で不利・不当な扱いがあること」30.2%、「悪徳商法の被害者が多いこと」24.2%などとなっている。

## 20 自由意見

問 29 あなたが今後希望するサービスやご意見・ご要望がありましたら、次の欄にご記入ください。

【制度・サービスの見直し、支援体制の充実】
<p>身体に障害のある人は外見でわかるが、知的障害の場合は一見してわからないため、心ない暴言をはかれ傷つくことが多い。社会に出よ、働けと言われても我が子の状況はどういできるものではない。中学が終わり、高等部に進み社会へ将来を考えれば考えるほど暗礁たる思いです。子の将来を考えれば親は死にきれぬ思いです。自分の将来をどうすごしていきたいかどんなことをしてほしいのか親の私が子供に聞きたい。どんなことを思っているか、伝えることも考えているかどうかわからぬ子どもを抱えている親の気持ちになって制度やサービスを作っていただきたい。</p>
<p>家庭に居ます。できるだけサービスを受けたいです。介護度によってサービスができないようですが、出来ない子には十分な介護が受けれるようにしてほしいです。特に親なき後のサービスがもっとほしいですが、ヘルパーさんを利用する時間が限られ十分受けられません。</p>
<p>本人が入院時のヘルパー派遣をお願いします。家族だけではできません(親も高齢になるし、働かないと生活できません)。</p>
<p>強度行動障害のある人の受入れを(入所)してくれる施設が少ないので、もっと多くの施設で受け入れてほしい。</p>
<p>親が亡くなった後も安心して自分で生活出来る支援体制の充実を求めます。</p>
<p>医療に関して県南は少しづつ理解のある対応が出来ているが、県北では医療機関で面倒な事に関わらない態度が今でも現実に行われている。障害者が病気になった時、丁寧に対応出来る様、制度の見直しが必要と思います。医は人術、質術という医者が多いのは考えものです。障害をもった本人も家族も懸命に生きています。さも早く死ねといわんばかりの対応に憤りを感じます。好んで障害を持った人は一人もいません。</p>
<p>今は本人も親も元気ですし、親の送迎で通所施設にも通っていますが、この先親も子も年をとり、家から通うことができない、介助をすることができなくなる日は必ず来ます。その時にどうしたらよいか…今は入所施設もいっぱい県外の施設へと打診されることもあると聞き、不安でいっぱいです。どうか親も子も安心して暮らせる仕組みづくりをしていただきたいと思ます。</p>
<p>障害がわかってから生涯にわたって支援を継続してくれる制度を作ってほしい。障害者年金で生活費がまかなえる様、年金額を増やすか、利用料金を安価にするか、どちらかにしてほしい。</p>
<p>福祉全体を生まれて亡くなるまでを大きな流れでとらえ、将来図を描き、サービスの必要量と重点ポイントをはっきりさせ、その場しのぎに終わらないで欲しい。</p>
<p>親と同居(支援を受けている)障害者が独立するための支援体制を充実してほしい。(自宅→ホームに慣れるための練習→ケアホーム→終末ホーム)今は入所施設からの独立が多いように思う。・後見制度に対する支援の充実。制度を利用する為に費用を補助→安くすると後見人の質が下がる。後見人の質の確保。生活費の安定した確保。・支援員の質の確保→苦情などの解決方法の透明化。</p>
<p>知的障害の中でも、重度の寝たきりになると人数も少なくなることから、隅の方へ追いやられているように感じられる時があります。また医療行為が必要な為、通所したくても限られ、また親なき後のことを思うとどうなるのだろうと不安に思います。人数の少ない重度心身障害者(児)にも目を向けて頂き、地域で過ごせる態勢作り、サービスを考えて頂きたいと思ます。(入所型の施設では空き待ちです)</p>
<p>将来、自宅で生活していくうえで(言語、言語理解が不十分)必要な周囲からの手助けの仕組みが出来てほしい。</p>
<p>陸上をしたい(走ること)けれど、障害者の人たちが集まってしているところが近くにありません。自分で通える範囲の場所でこのような場があればと思っている。知的障害者にスポーツを教えていただける(休日)とすることも増えるので助かります。</p>

子どもに代わっての親の立場でアンケートに記入しました。今年になって山陽新聞の記事に岡山県は発達障害児の支援体制に遅れがあると載っていました。納得です。もう息子は25歳ですが、専門機関へ通院するようになったのは約10歳の頃でした。親の無知が対応を遅くしてしまったことを今でも子どもに申し訳なく思っています。あふれる情報、支援体制を整えて皆さんに後悔のない障害児教育などしていただけるよう願わずにはられません。まず小さな市町村からでも小さな意見を積み重ねて充実させていくことが岡山県全体に波及すると思います。都市部の充実ばかりではなく田舎の人も公平に住みやすい障害者支援を望みます。小さな意見は届きにくいでしょうが、同じ仲間と手を取り合って県全体が福祉の誇れる体制をと願ってやみません。

私達親が先に死んだとき、娘がいろいろな人といろいろなサポートを受けて生きていくためにと今やれる事をやっています。でも現状サポートが足りてない不安だけはずっと持っています。大変だとは思いますが障害をもっている立場の方もきちんと考えながらももっと充実したサポートが増え、暮らしやすくなる事を願い書きました。宜しくお願いします。

今後自分自身がサービスを受けていくため、自分が思ったサービスと違うサービス向上を図って就労に結びつけたい。

#### 【グループホーム、ケアホーム等の施設の増設】

家を出てグループホームで暮らしながら作業所で仕事を続けたいので、グループホームなどを増やしてほしい。ホームでの生活を手助けしてくれるサービスを充実してほしい。自立して生活できるだけの収入がほしい。

親なき後の生活がどうしても心配です。地域での生活が出来る人は少なく、ケアホームの数を増やして生活訓練をしながら、指導員の数を増やしていただき、目配りをして頂きながら生活できたらと思います。また、いろいろな情報をもっとみんなに知らせてもらい、利用できることがあったらさせてもらえるようにお願いします。

ショートステイが出来る施設を増やしてほしい(安心して預けられる場所)・放課後の学童があってほしい。

サービス事業所など十分に増やしてほしい。実現するまでに時間がかかりすぎる。

ケアホームの充実をお願いしたい。

将来、安心して生活できる様、ケアホームの数を増やしてほしい。

現在の自立支援法では親なき後の本人の生活が不安です。医療サービスの充実、就労先の確保、グループホーム等の増設等を実施して安定した生活が送れる様な環境を整備してほしい。現在、父兄の負担が多すぎる。年々負担が増えているので金銭的な負担を少なくしてほしい。

市内に仲間が気軽に出入り出来る場所がほしい。そこへ信頼できる支援者がいたら嬉しい。仲間と余暇活動をしたり、相談にのってくれる支援者がいたらいいな。支援者や仲間と親しくなって一緒に暮らせるグループホームやケアホームが市内にあったら安心出来るような気がする。

今は、市町村の対応も良いし、通所の人もよくしてくれるから特にはないです。自分の所はいいけれど、ある人が私の息子と同じ施設に入りたいが通所できないとか言っていて、人数が多いから通所に入れよう。もう少し人の手を増やして受入れができたらいいなと思いますが、大きくなったら大きくなったら別の問題があるようです。そのところはよくわからないのですが、人数に限りがあるというのは何でもそうですが、待っているということは辛いものがあります。新しい施設はとても難しいでしょうから今の施設の枠がもうちょっと大きくなれないかと思っています。

ケアホームを沢山つくってほしい。健常者の人たちと一緒に活動できる機会をたくさんつくって、参加しやすい行事などを行ってほしいです。

グループホームやケアホームの数を増やして下さい。県の方からどこにどのようなホームがあって、利用可能な現状かどうか等の情報を知らせて頂きたいと願っています。(手を繋ぐ親の会とかを通じるか何かの方法で)

#### 【親なき後の成年後見制度の充実】

本人が重度の知的障害のため、現在、市内の入所施設で暮らしている。従って、親の立場としての見解であったり、希望であったりとして答えた。私共、親も高齢なので、親なき後の成年後見の問題等をあまりお金がかからない方法、例えば育成会などの団体会見人を引き受けてもらえるとうり難いと思う。



知的障害者にはとても難しい問いでした。親として問 27-20 を切に望みます。そして療育手帳(本人の写真が貼付してあるにもかかわらず)が本人の身分証明書と認められないのは納得がいかない。是非、認めてもらえるようお願いします。
親なき後の問題として、住居、後見人制度の充実。
親が私の世話をすることができなくなった時に日常生活全般の世話や相談やいろいろの手続きを代行してもらえるようなサービスがあれば助かると思います。
現在は両親の元で日中は仕事をしていて、生活のリズムは保たれている。親なき後、仕事は確保されるのか。生活する場(衣食住)をどう確保するか、余暇をどう過ごすか、権利をどう保障するか等一つ一つ実況していきたい。また、行政でも実行してほしい。
親がいなくなっても安心して暮らしていける施設があると良い。
親なき後の生活をフルサポート出来る体制を作ってもらいたい。
通所施設への費用のかからないようにしてほしい。親なき後の行き場が心配です。
本人はアンケートに記入することが出来ません。親が元気な間はいいが親に何かあれば不安と心配で仕方ありません。障害者の人が安心出来る様な国になって欲しいです。
<b>【医療サービスの充実】</b>
成人しても医療費を無料にしてほしい。
障害者が地域で生活していくうえで依然として差別があり、生活の場である家を探す事も厳しい。その上、年金でも生活は厳しいものがある。せめて働く場所の確保、医療費、家賃の補助等、少しでもよりよい生活が出来るよう考慮してほしい。
医療費の無料化を希望します。
病院で障害者は待つのが困難なので、優先的に待たなくてもいいように見てほしい。
<b>【緊急時、土日、夜間利用できる施設の充実】</b>
グループホームやケアホームの入居者は昼間はお世話してくれる人がいても夜間はいなくなる場合が多い、不安である。24 時間誰か側に居る人がほしい。
障害の重い人が地域で生活するためには、家族だけでは負担が大きい。日中一時やショートステイのサービスは絶対に必要ですが、地域によっては利用できる施設が少ないのが実情です。平日は通所施設が利用できるのに、土日に利用できる施設やケアホームを是非増やしてほしいです。緊急の場合や家族の負担を少なくするために是非ナイトケアの充実を希望します。
家族が家を留守にする時などに、いつでもすぐに短期入所できる場所を増やしてほしい。
緊急時に子どもを預ける事のできる場所がほしい。各地域にほしい。地域の支援センターに各障害の専門家を配属してほしい。
<b>【安心して生活できる年金額の確保、各種の経済的支援】</b>
入所施設でお世話になることが続くと思う。収入がなく年金が頼りになるので、必要な額を支給してほしい。
安心して生活できる年金額。
親なき後も安心して託せる福祉サービス。住む所、日中活動の場と内容、世話人等々を保障する。年金と各種補助金等の充実。
<b>【情報の入手、発信手段の確保】</b>
今は両親と同居していますが、これから先両親がいなくなった時のことを考えると不安があります。いろいろな情報をもっとわかり易くなればよいと思います。
居宅サービスが受けられない状況にあります。家族で支えきれなくなった時の事を考えると、とても不安です。手一杯で新規は無理ではなく、事業所も他にどんな手段があるのか教えてもらえるようにしてほしいと思います。
どんな場所にどんなサービスが受けられるのかわかりやすいパンフレットがほしい。

<b>【気軽に相談できる窓口や施設の整備】</b>
結婚を前提として出会いの場がほしい。
本人の身になって寄り添ってくれる様な人が一人欲しい。
気軽に相談できる相手がほしい。
<b>【移動手段の確保、充実】</b>
今、私は移動支援を利用させてもらってますが、集合場所までは両親の送り迎えです。出来れば送迎をしていただくと両親がいないときでも利用できるの助かります。
交通が不便なところに住んでいます。買物等、自由に外出できる様な手段が欲しいと思います。(親の都合がつかないときは連れて行ってもらえない)。
以前通所していた作業所で辛い体験をしました。密室状態の中で指導員が怒鳴る叩くなど人権侵害と思われるものでした。色々なところへ相談しましたが、結局、信用してもらえず、傷ついて他の施設へ変わりました。その経験でこれから一般企業へ就職しても人間関係など理解してもらえないこと、(経験のある指導員でさえかえって特性を理解してくれなかった)のでその不安が強く、一般就労は考えないことにしました。障害基礎年金だけでは不安ですが、工賃とで暮らせたらと思います。不況で作業も少なく「お仕事大好き」な子ですので仕事をもっとあればと思います。安心して通える施設、またそれを外部から検証できる方法、指導員の質の向上、安心できる仕事量、また通所方法もバス便数がかなり減り困難で親が送迎している状況を解決できたらと思います。
<b>【就労の確保】</b>
今の仕事を続けられること。
現在、市のクリーンセンターで働いています。1年ごとの更新です。継続して働けるようにしてほしいです。
昔に比べると全てに理解戴け有り難い事と感謝しています。特に知的障害者は本人から自分の要望、希望が発言出来かね周囲の大人が変わって発言してやらないと駄目なのです。例:小規模作業所の相談員の方々の日々の利用者に対する熱意には保護者として頭が下がる思いがしています。保護者も日々勉強しています。特に建物も古くなり、人数も増加気味です。作業所がなくならない様、希望しています。今後共、今以上に忘れられる事なくご協力戴けますようお願い致します。
<b>【バリアフリーの充実】</b>
車椅子でも利用できる飲食店の確保、通路が狭い、トイレが利用しにくい。障害の「害」の字が問題となっているのに県の福祉の関係者が使われるのはどうかと思う。
支払いがわからないので、買物が一人で出来ません。中学3年生の時、1万円持たせて、一人でレジに行かせました。お金が出せず、レジの人は黙って待つこと2~3分、後に並んだ人が財布をのぞいて教えてくれましたがこのことがあって全く買物に行けなくなりました。・北海道伊達市では、財布の中から必要な額だけレジの人が取ってくれると読んだことがあります。こうした方がいれば安心して一人で買物が出来るのですが。・私は(母親)月一回程度、作業所で車椅子の方と箸入れをしています。今まで車椅子の方街で会っても見て見ぬふりでしたが、慣れるに従い車椅子の方に抵抗がなくなり、今では知らない方にも街で「手伝いましょうか」と声かけられるようになりました。一緒にいるからどうしてあげたらいいのかわかります。傷害をもった方がもっとも家から外に出られるように隔離でなく、健常者の慣れや理解が大切だと思います。
<b>【その他】</b>
社会の障害に対する理解は、少しずつですが進んでいるようには感じます。今後さらなる広報、啓蒙活動により社会で障害のある人を見守るようになって欲しいと思います。・ヘルパーの数が少なく、本人の障害特性の理解した方をお願いすることはなかなか難しく、急な日程への対応は困難です。福祉サービスの従事者が増え、そのサポート能力が向上することを願っています。・学校を卒業し、成人している人たちについても継続的な支援、見守り体制が充実することを願っています。・親亡き後の後見制度についても安心して任せられるよう、充実したものにしてほしいと思います。

療育手帳の利用の拡大。手帳をわかりやすくしてほしい。タクシーも手帳を使ってもいいようにしてほしい。
私は蒜山地区に住んでいますが、障害のある息子は現在高校1年生です。小学校6年生のころより、ショートステイや日中支援を利用していますが、利用しているのは県外の倉吉市(車で35分)の施設です。小中学生の利用できる施設はありません。名目的には地元の施設が受け入れるという形になっていましたが、面接を受けてみると受け入れていただける様子もなく、また見学をさせていただくとあまりの手薄さにこちらも預ける勇気がありませんでした。蒜山に小中高生が利用できる施設を希望します。(長期休暇中の日中支援)また、高校卒業後の入所施設を探してみましたが、蒜山にしろ、倉吉にしろ更生施設は満室状態です。更に高齢化がすすみ平均年齢がいくとも50歳を越えています。もう少し20~30歳代の年齢層を対象にしたところがないものかと思えます。また、施設サイドの経営も困難なようで、仕事のあまりのきつさに施設の職員が短期間でやめていく話も身近で度々聞いております。施設への金銭的支援をお願いします。施設の職員が余裕をもって働けてこそ預ける私達も安心して預けることができるというものです。宜しくお願いします。
保健福祉部の方々には大変お世話になります。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。希望としましては、通勤のための交通機関の回数が少なくなっています。仕事ですんで1時間位待ちます(バス)。これから先が心配です。ですが続けて工場へ行かせていただける事には有り難く感謝をしております。
入所型施設で生活しておりますが、高齢化が進んでも安心して入所継続できる施設体制の整備を希望します。
学校へ通っているうちはいいが、その後が不安。知的障害が重ければ施設へ入所できて個別にレクレーションなど楽しい行事が多く取り入れることのできる余裕のある生活ができるようにしてほしい。身体や病弱など、できることはたくさんあるし、意欲もあるのに短時間しか働けなかったり、施設の構造的に入入れが無理だったりします。社会人として有意義に普通に暮らせるようにしてほしい。官主導で仕事はわけて出来ると思うし、できる人たちが行くところがないと言っている。おかしい!!働く気の無い人へのサポートに頭を抱える前に個々の人たちをサポートして下さい。
国の方針によって、年々制度が変わっていることに大変不安を感じています。
障害者の加齢と共に機能低下が増しているが、これを減少させる方策。
特に知的障害者に対し、又は障害者の外出に対し各機関、または職員等も社会のルールを教える必要があるのではないのでしょうか。障害者も社会を出る以上はその後の心得は求められて当然と考えます。
もっと綺麗にして下さい。町中を綺麗にしてほしい。どこにでもゴミが散らばっている。
その子どもに合った教育や職業と福祉で言っていますが事実はなっていません。仕事をさせてみたらどうと手を差し伸べてくれない、見習いをしないでその親子に言ってくれない。何かをしてだめならわかりますがその場で断ったそうです。おかしいです。自分の子どもだったらすぐ話に乗るでしょうが他人の子どもはカットする、そういう事のない福祉の人たちがもっと眼を光らせてほしいです。

今後希望するサービスなどを自由意見としてたずねたところ、大別して、「制度・サービスの見直しや支援体制の充実」、「グループホーム、ケアホーム等の施設の増設」、「親なき後の成年後見制度の充実」などを求める意見が多かった。

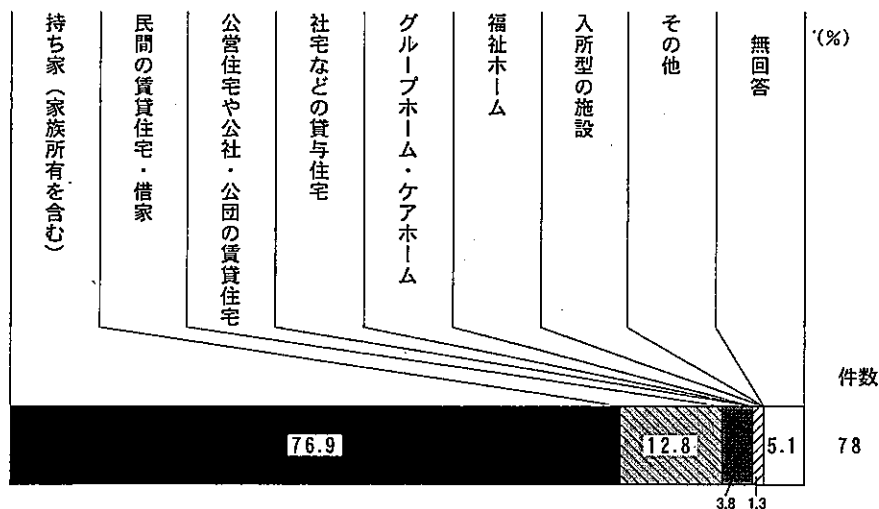
(注) 具体的な個人名、施設名等が記入されている場合は、一般的な名称に置き換えています。

# V 精神保健福祉に関する調査(在宅者調査)結果

## 1 住宅

### (1)住宅形態

問1 あなたがお住まいの住宅などは、次のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○印)



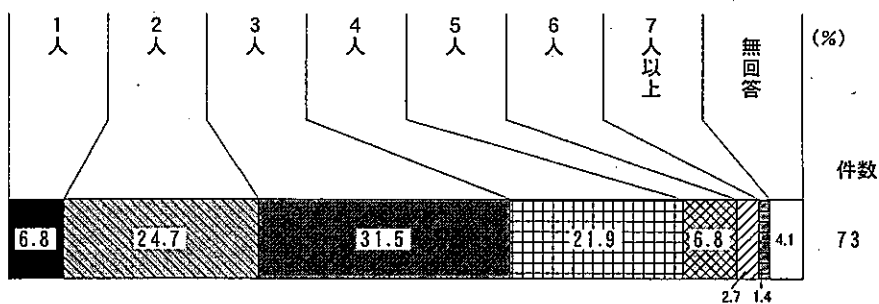
住宅の形態は、「持ち家 (家族所有を含む)」76.9%、「民間の賃貸住宅・借家」12.8%、でほとんどを占めており、他には「公営住宅や公社公団の賃貸住宅」3.8%、「福祉ホーム」1.3%となっている。

## 2 同居家族

### (1)同居人数

問2 あなたと同居されているご家族などについておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただかなくて結構です。

(1) あなたと同居されている方は、あなたを含めて何人ですか。(あてはまる番号1つに○印)

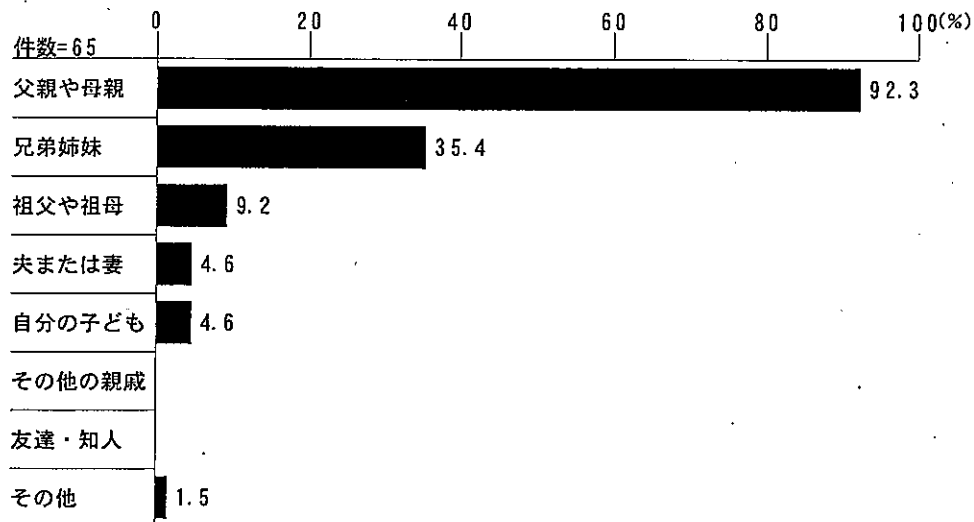


対象者自身を含めた同居家族の人数は、「2人」24.7%、「3人」31.5%、「4人」21.9%などとなり、「1人」は6.8%となっている。

## (2)同居家族

問2 あなたと同居されているご家族などについておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただかなくて結構です。

(2) あなたは、どなたと同居されていますか。なお、この問いは、「1人」でくらしている方は、お答えいただかなくて結構です。(あてはまる番号すべてに○印)



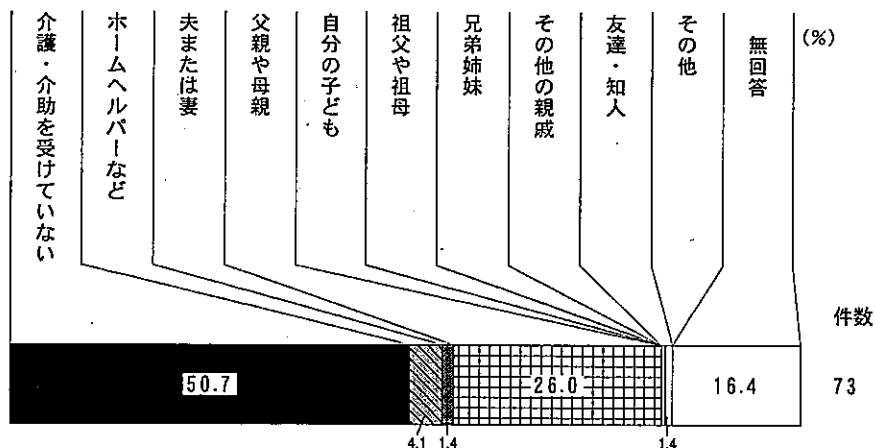
同居家族は「父親や母親」が92.3%と最も多く、以下「兄弟姉妹」35.4%、「祖父や祖母」9.2%、「夫または妻」4.6%、「自分の子ども」4.6%となっている。

## 3 介護・介助の状況

### (1)主な介護・介助者

問3 あなたを主に介護・介助している方についておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただかなくて結構です。

(1) あなたを主に介護・介助しているのはどなたですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

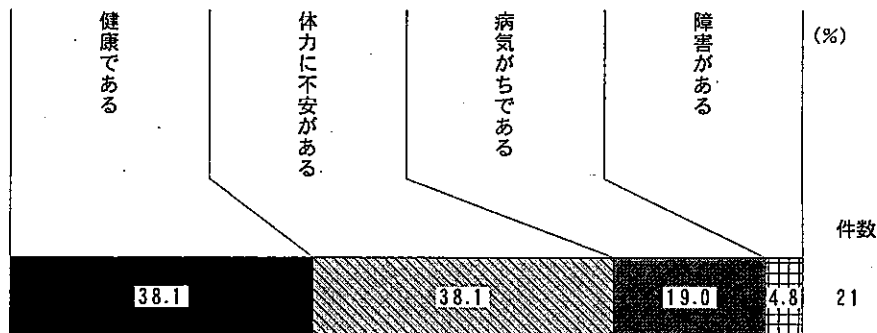


主な介護・介助者は「父親や母親」が26.0%と最も多く、以下「ホームヘルパーなど」4.1%、「夫または妻」1.4%、「友人・知人」1.4%などとなっており、「介護・介助を受けていない」が50.7%となっている。

## (2) 主な介護・介助者の健康状態

問3 あなたを主に介護・介助している方についておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしている方は、お答えいただくなくて結構です。

(2) あなたを主に介護・介助している方の健康状態はいかがですか。なお、この問いは、「特に介護・介助の必要はない」「ホームヘルパーなどが主に介護・介助している」方は、お答えいただくなくて結構です。(もっともあてはまる番号1つに○印)



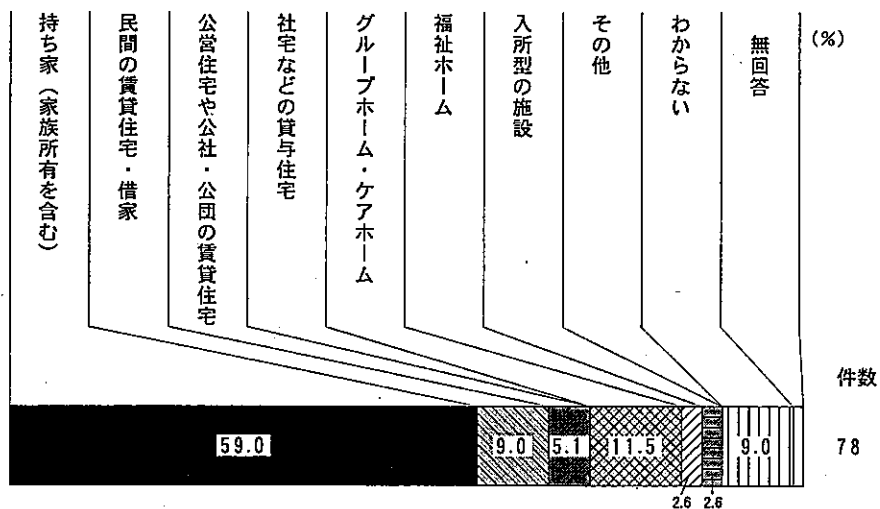
主な介護・介助者の健康状態は、「健康である」38.1%、「体力に不安がある」38.1%、「病気がちである」19.0%、「障害がある」4.8%となっている。

## 4 将来の暮らし

### (1) 住宅形態の希望

問4 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(1) あなたは将来、どんな住宅に住みたいですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

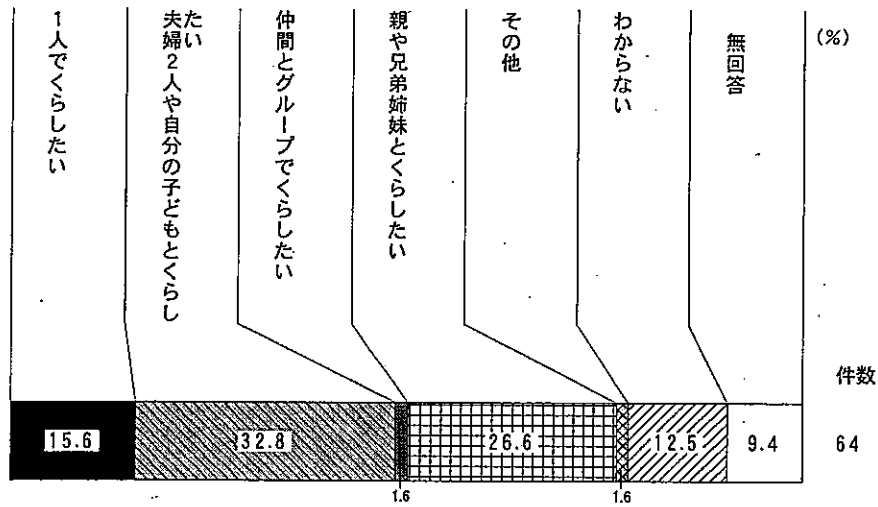


将来住みたい住宅は、「持ち家(家族所有を含む)」が59.0%と最も多く、以下「グループホーム・ケアホーム」11.5%、「民間の賃貸住宅・借家」9.0%、「公営住宅や公社・公団の賃貸住宅」5.1%などとなっている。

## (2) 将来の暮らし方

問4 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(2) あなたは将来、誰とくらしたいですか。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしたい方は、お答えいただけなくて結構です。(もっともあてはまる番号  に○印)

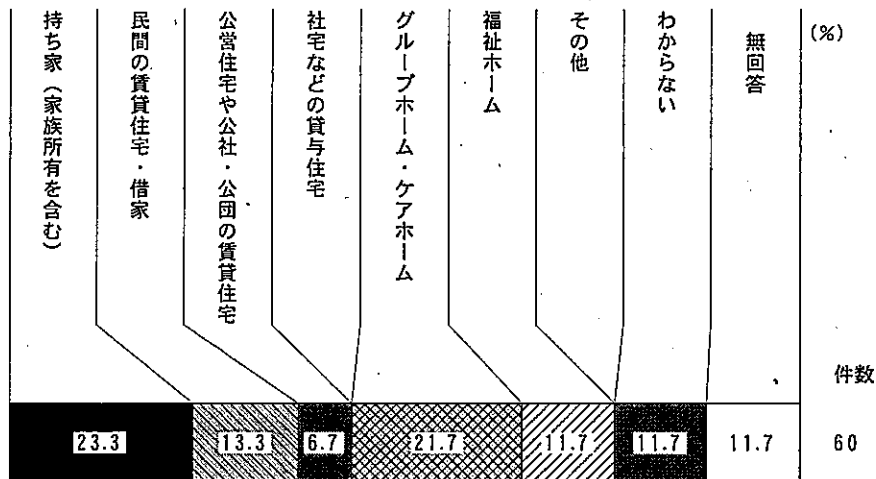


将来は「夫婦2人や自分の子どもとくらしたい」が32.8%と最も多く、以下「親や兄弟姉妹とくらしたい」が26.6%、「1人でくらしたい」15.6%、「仲間とグループでくらしたい」1.6%などとなっている。

### (3)独立して生活するのに必要な住宅

問4 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(3) 現在、「親・兄弟姉妹」とくらしている方や、「入所型の施設」でくらしている方におたずねします。あなたが将来、親・兄弟姉妹や入所型の施設から独立して生活するとすれば、どんな住宅が必要ですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)



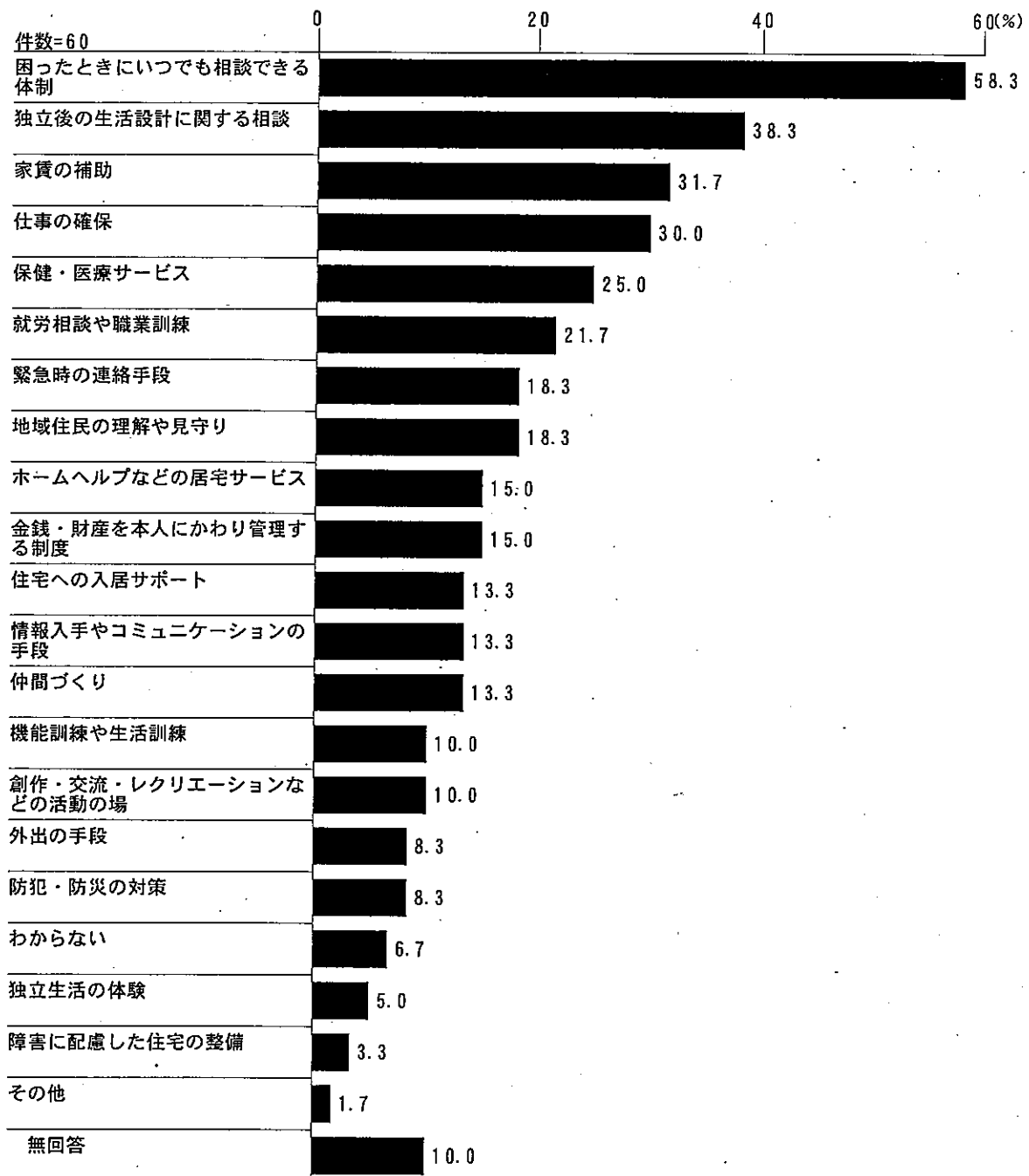
親・兄弟姉妹と暮らしている方や入所型の施設で暮らしている方が独立して生活するために必要な住宅は、「持ち家 (家族所有を含む)」が 23.3%と最も多く、以下「グループホーム・ケアホーム」21.7%、「民間の賃貸住宅・借家」13.3%などとなっている。



#### (4)独立して生活するのに必要なこと

問4 あなたの将来の暮らしについておたずねします。(子どもの方は、大人になったときにどんな暮らしをしたいかを選んでください。)

(4) 現在、「親・兄弟姉妹」とくらししている方や「入所型の施設」でくらししている方におたずねします。あなたが将来、親・兄弟姉妹や入所型の施設から独立して生活するとすれば、どんなことが必要ですか。(もっともあてはまる番号5つまでに○印)

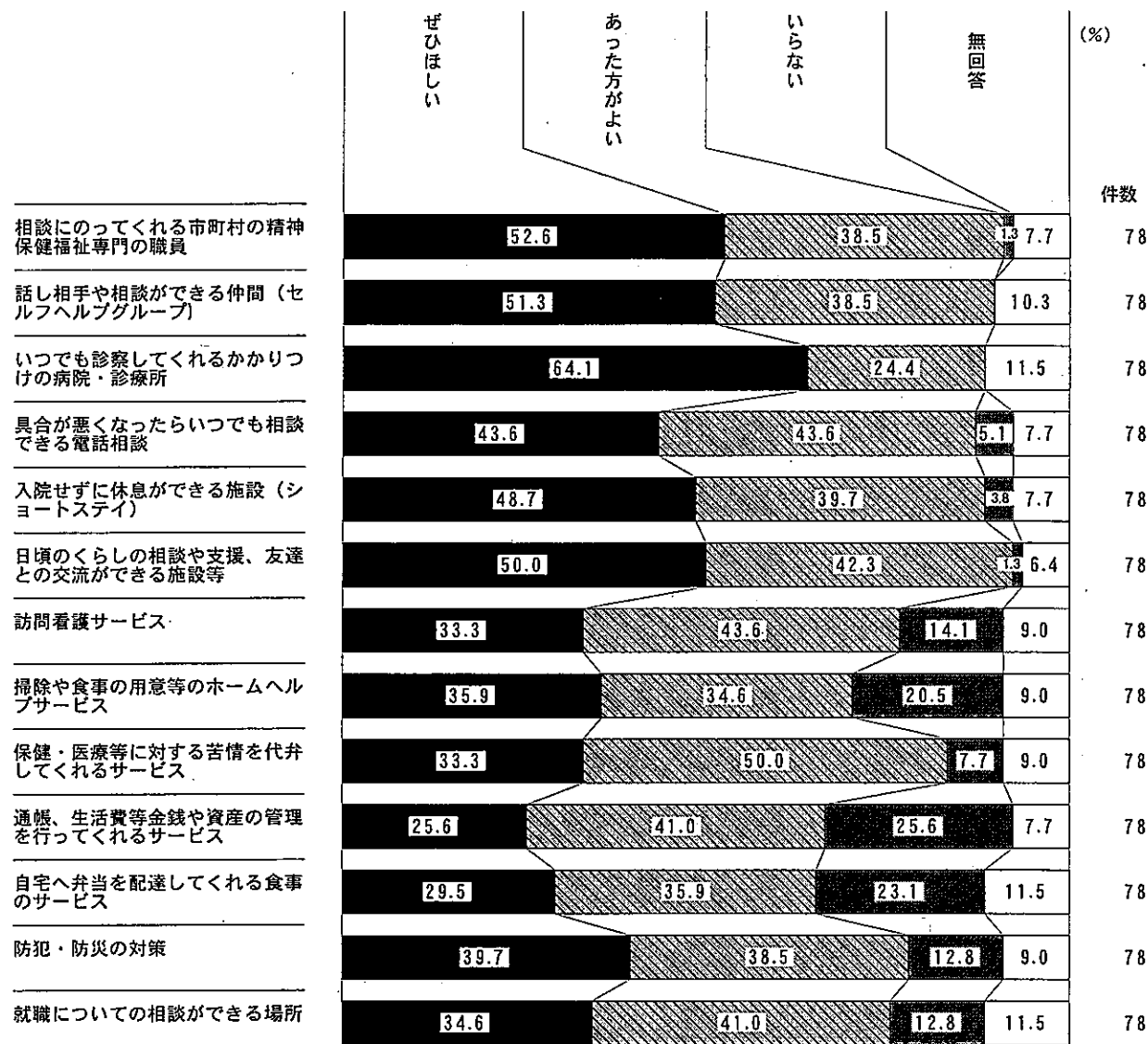


親・兄弟姉妹と暮らしている方や入所型の施設で暮らしている方が独立して生活するために必要なことは、「困ったときにいつでも相談できる体制」が58.3%と最も多く、以下「独立後の生活設計に関する相談」38.3%、「家賃の補助」31.7%、「仕事の確保」30.0%、「保健・医療サービス」25.0%などとなっている。

## 5 地域で生活する上で必要なこと

問5 あなたは、地域で生活していく上で、必要だと思うものは何ですか。

(それぞれについて、もっともあてはまる番号1つに○印)



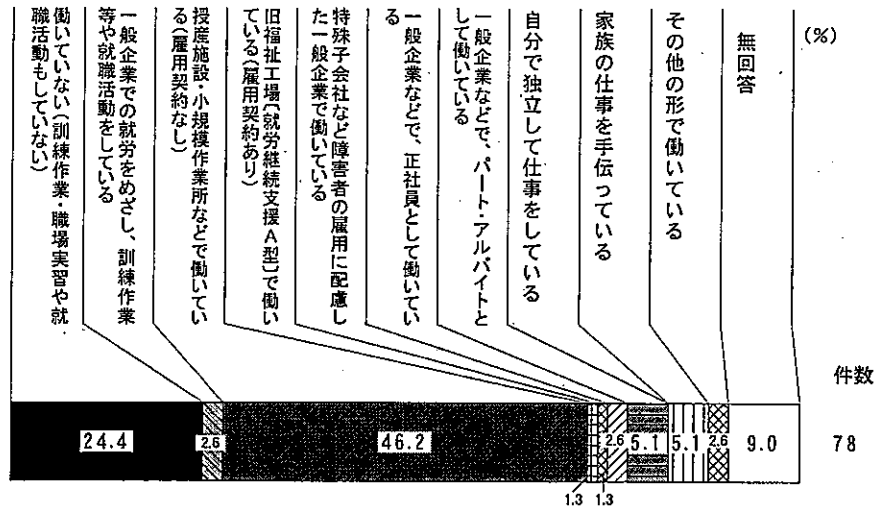
地域で生活していく上で、必要だと思うものについて、「ぜひほしい」の割合が高いものは、「いつでも診察してくれるかかりつけの病院・診療所」「相談にのってくれる市町村の精神保健福祉専門の職員」「話し相手や相談ができる仲間 (セルフヘルプグループ)」「日頃のくらしの相談や支援、友達との交流ができる施設等」「入院せずに休息ができる施設 (ショートステイ)」「具合が悪くなったらいつでも相談できる電話相談」「防犯・防災の対策」などの順となっている。

## 6 就労

### (1)現在の就労形態

問6 働くことについておたずねします。

(1) あなたは現在働いていますか。働いている場合はどんな形で働いていますか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

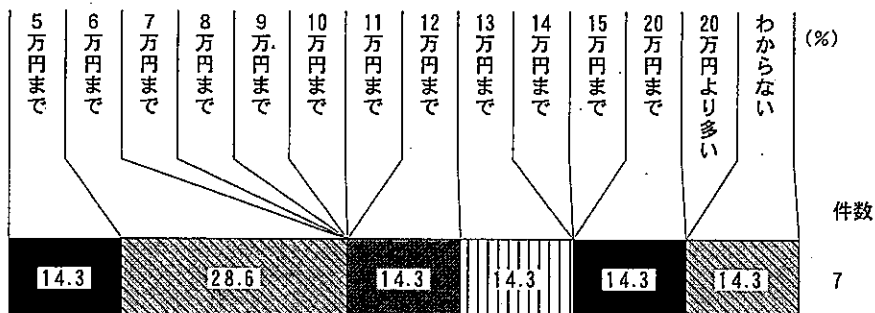


現在の就労形態は「授産施設・小規模作業所などで働いている(雇用契約なし)」46.2%、「一般企業などで、パート・アルバイトとして働いている」5.1%、「一般企業などで、正社員として働いている」2.6%となっており、一方で「働いていない(訓練作業・職場実習や就職活動もしていない)」24.4%、「一般企業での就労をめざし、訓練作業等や就職活動をしている」2.6%となっている。

### (2)1か月の給料

問6 働くことについておたずねします。

(2) 「特例子会社など障害者の雇用に配慮した一般企業で働いている」方、「一般企業などで正社員又はパート・アルバイトとして働いている」方、「自分で独立して仕事をしている」方などにおたずねします。1か月の給料(税引き前)は、どれくらいですか。(あてはまる番号1つに○印)

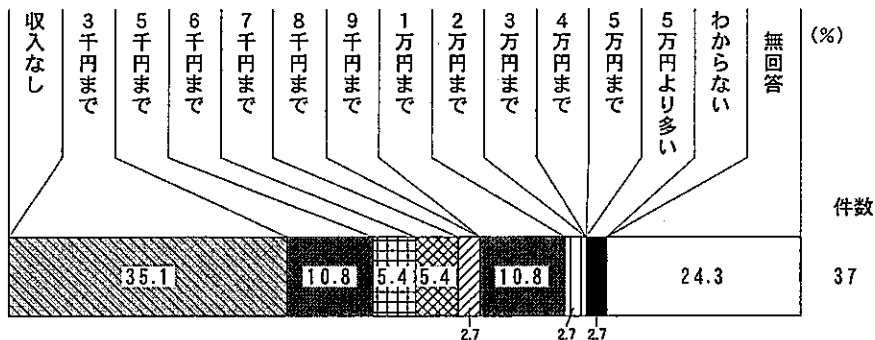


一般企業で働いている方や独立して仕事をしている方の1か月の給料は、「6万円まで」28.6%、「5万円まで」14.3%、「12万円まで」14.3%、「13万円まで」14.3%、「20万円まで」14.3%となっている。

(3)1か月の工賃

問6 働くことについておたずねします。

(3) 「授産施設・小規模作業所・地域活動支援センターなど」「旧福祉工場〔就労継続支援A型〕」で働いている方におたずねします。1か月の工賃(税引き前)は、どれくらいですか。(あてはまる番号1つに○印)

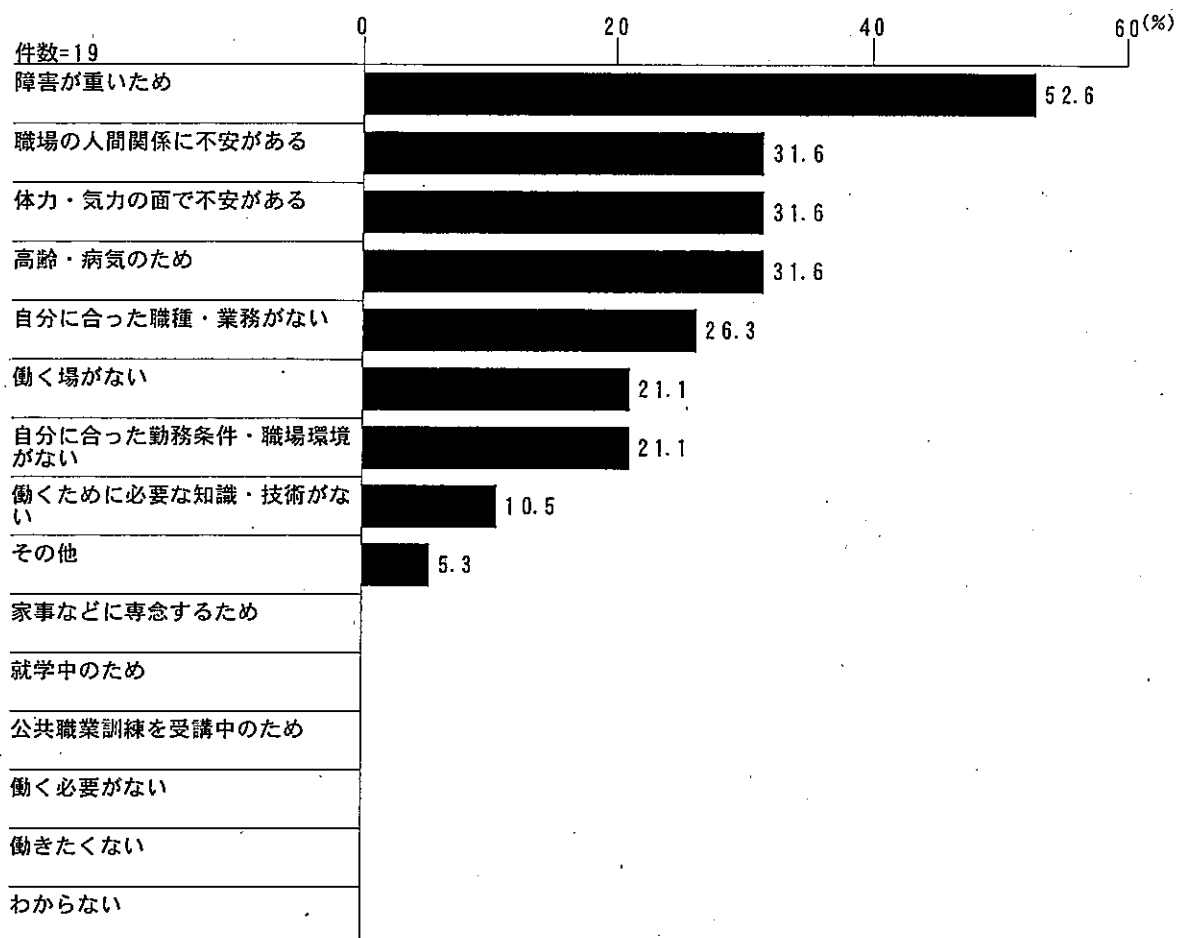


授産施設・小規模作業所・地域活動支援センターや旧福祉工場（就労継続支援A型）で働いている方の1か月の工賃は、「3千円まで」35.1%、「5千円まで」10.8%、「1万円まで」10.8%となっている。

#### (4)働いていない理由

問6 働くことについておたずねします。

(4) 現在働いていない方におたずねします。働いていない理由は、次のうちどれですか。(も  
っともあてはまる番号3つまでに○印)

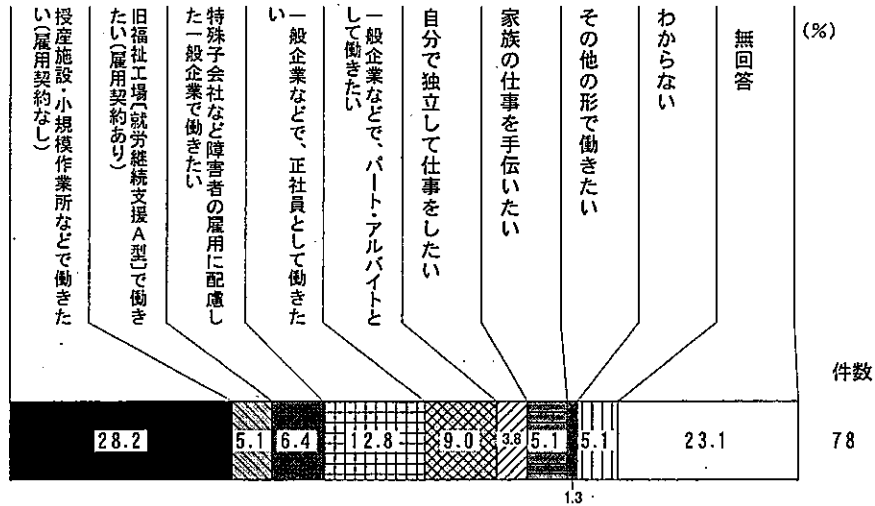


現在働いていない方のその理由は、「障害が重いため」が 52.6%と最も多く、以下「職場の人間関係に不安がある」31.6%、「体力・気力の面で不安がある」31.6%、「高齢・病気のため」31.6%、「自分に合った職種・業務がない」26.3%などとなっている。

## (5)就労形態の希望

問7 働くことについておたずねします。なお、この問いは、「働く必要がない」方・「働きたくない」方は、お答えいただかなくて結構です。

(1) あなたは今後、どのような形で働きたい [または、働き続けたい] ですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

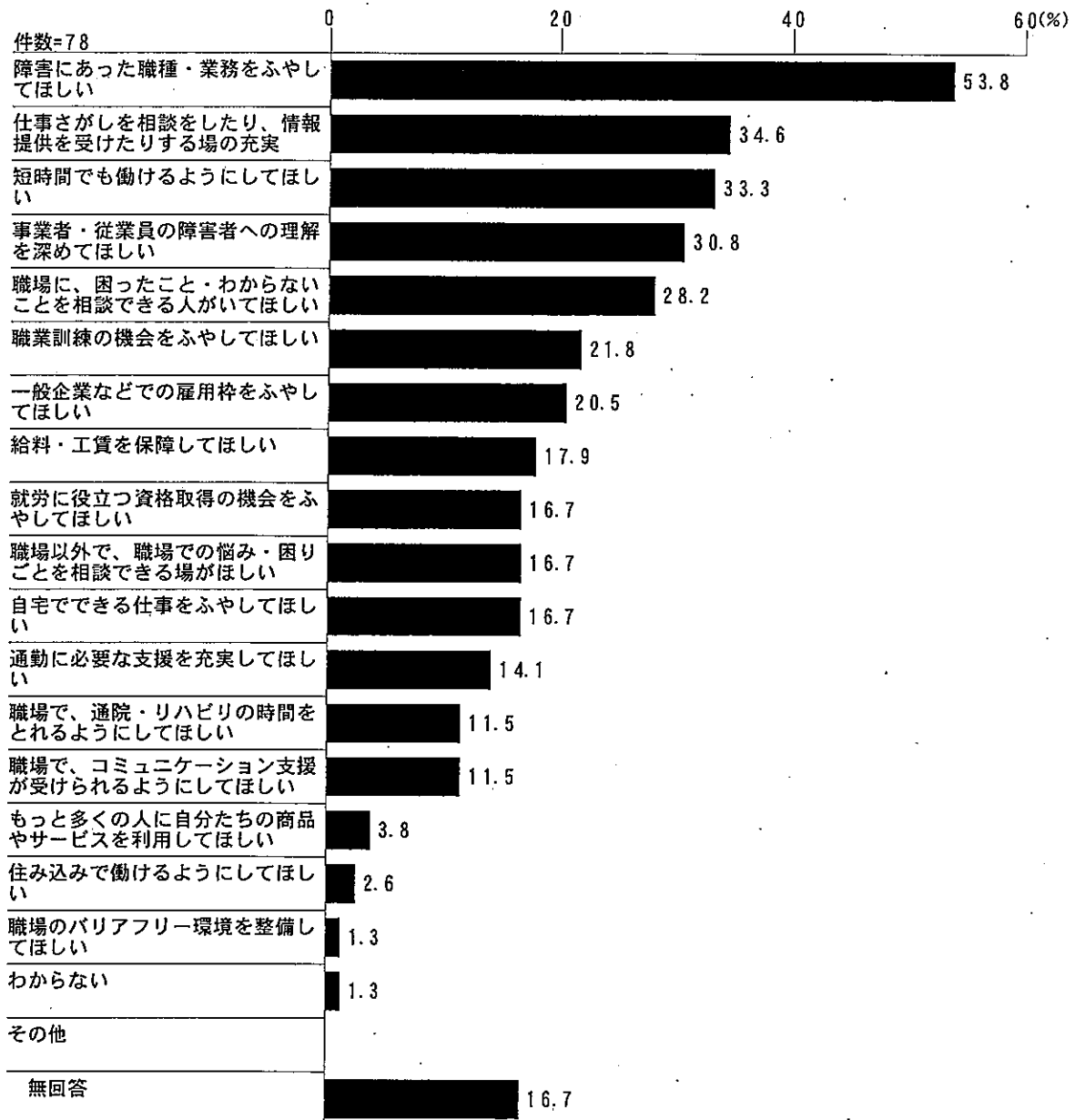


今後の就労形態の希望は、「授産施設・小規模作業所などで働きたい (雇用契約なし)」28.2%、「一般企業などで、正社員として働きたい」12.8%、「一般企業などで、パート・アルバイトとして働きたい」9.0%、「特例子会社など障害者の雇用に配慮した一般企業で働きたい」6.4%などとなっている。

## (6)働くために必要なこと

問7 働くことについておたずねします。なお、この問いは、「働く必要がない」方・「働きたくない」方は、お答えいただくなくて結構です。

(2) あなたが今後、働き始めるためには[または、もっとたくさん働くためには]、どんなことが必要ですか。(もっともあてはまる番号5つまでに○印)



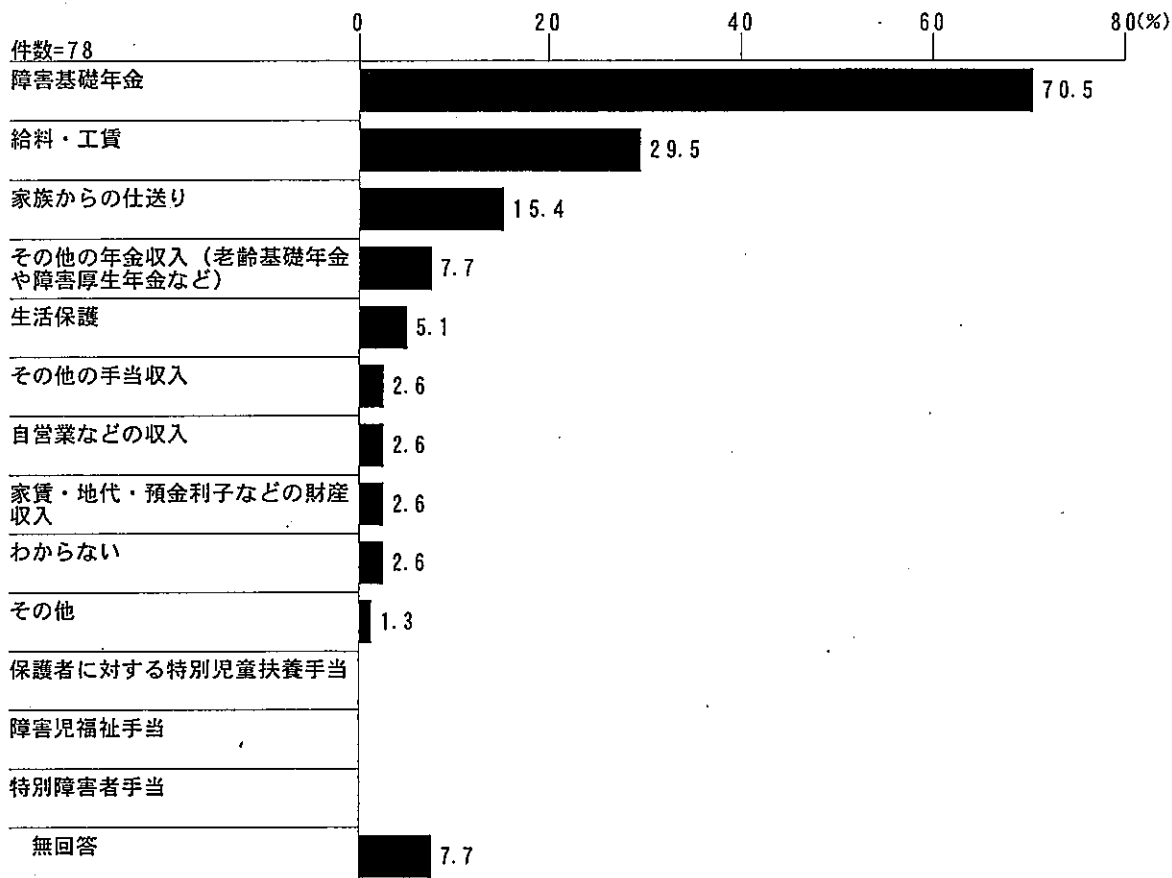
働くために必要なこととして、「障害にあった職種・業務をふやしてほしい」が53.8%と最も多く、以下「仕事さがしの相談をしたり、情報提供を受けたりする場の充実」34.6%、「短時間でも働けるようにしてほしい」33.3%、「事業者・従業員の障害者への理解を深めてほしい」30.8%、「職場に困ったこと・わからないことを相談できる人がいてほしい」28.2%、「職業訓練の機会を増やしてほしい」21.8%などとなっている。

## 7 収入

### (1)収入の内訳

問8 あなたご自身の収入についておたずねします。

(1) あなたご自身の収入の内訳は、次のうちどれにあたりますか。(あてはまる番号すべてに○印)



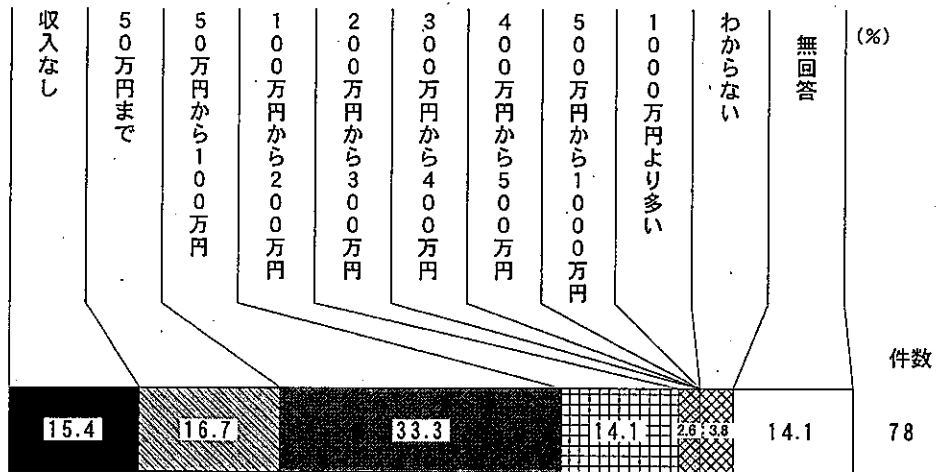
対象者自身の収入の内訳は、「障害基礎年金」70.5%、「給料・工賃」29.5%が突出して多く、以下「家族からの仕送り」15.4%、「その他の年金収入 (老齢基礎年金や障害厚生年金など)」7.7%などとなっている。



(2)年間収入

問8 あなたご自身の収入についておたずねします。

(2) あなたご自身の年間収入(税引き前)は、給料・工賃や年金・手当を含めて、およそどれくらいですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)



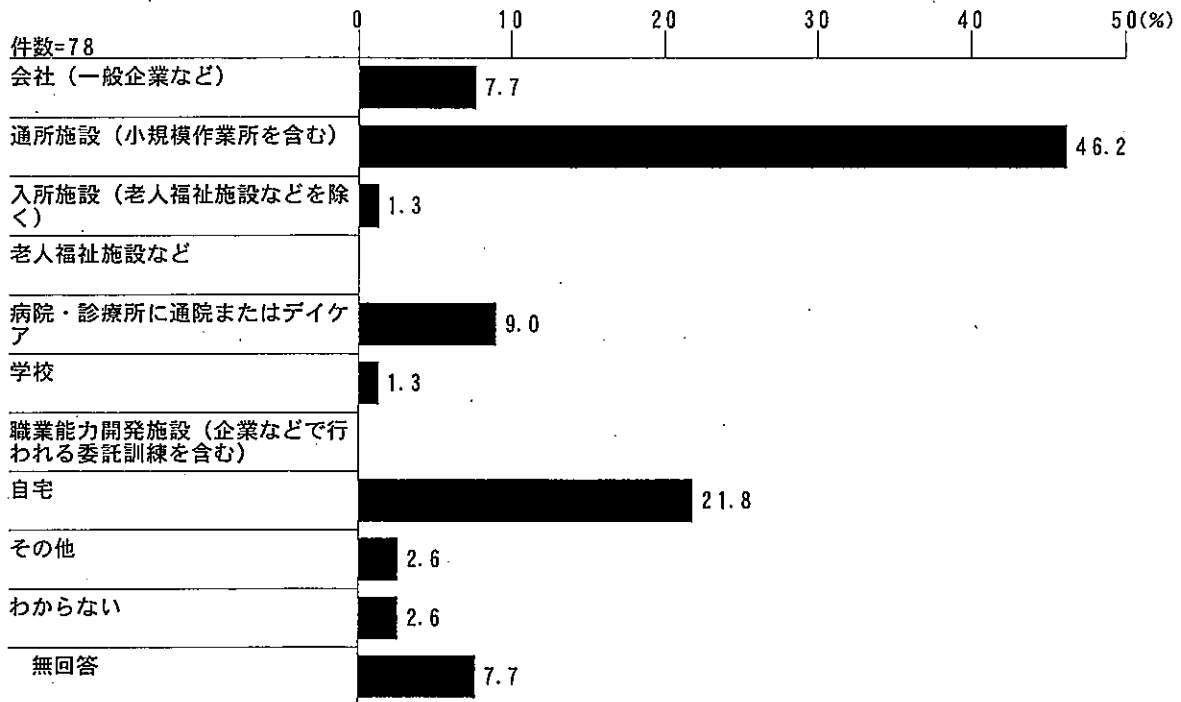
給料・工賃や年金・手当を含めた年間収入は、「50万円から100万円」33.3%、「50万円まで」16.7%で約5割を占めている。

## 8 昼間過ごす場所

### (1)現在の状況

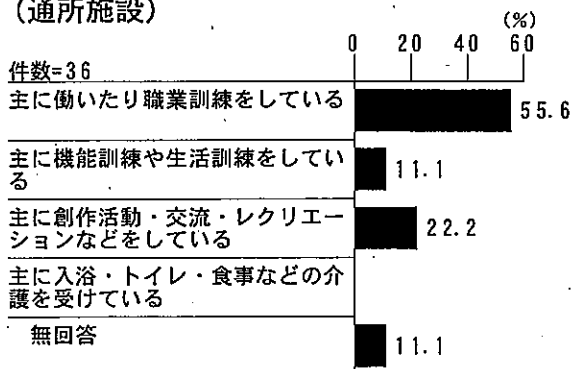
問9 あなたが、昼間を主に過ごす場所についておたずねします。

(1) あなたは、昼間を主にどこで過ごしていますか。(もっともあてはまる番号  に○印)

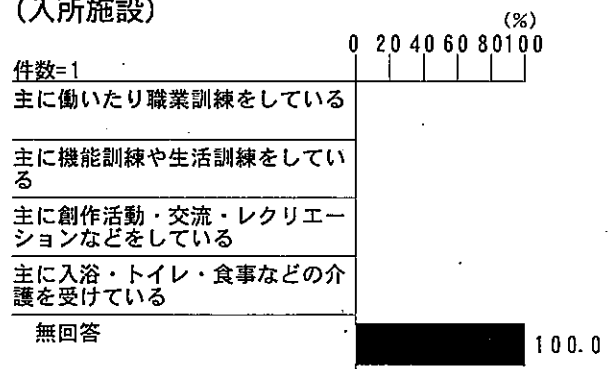


※通所施設・入所施設では主にどんな活動をされていますか。

(通所施設)



(入所施設)



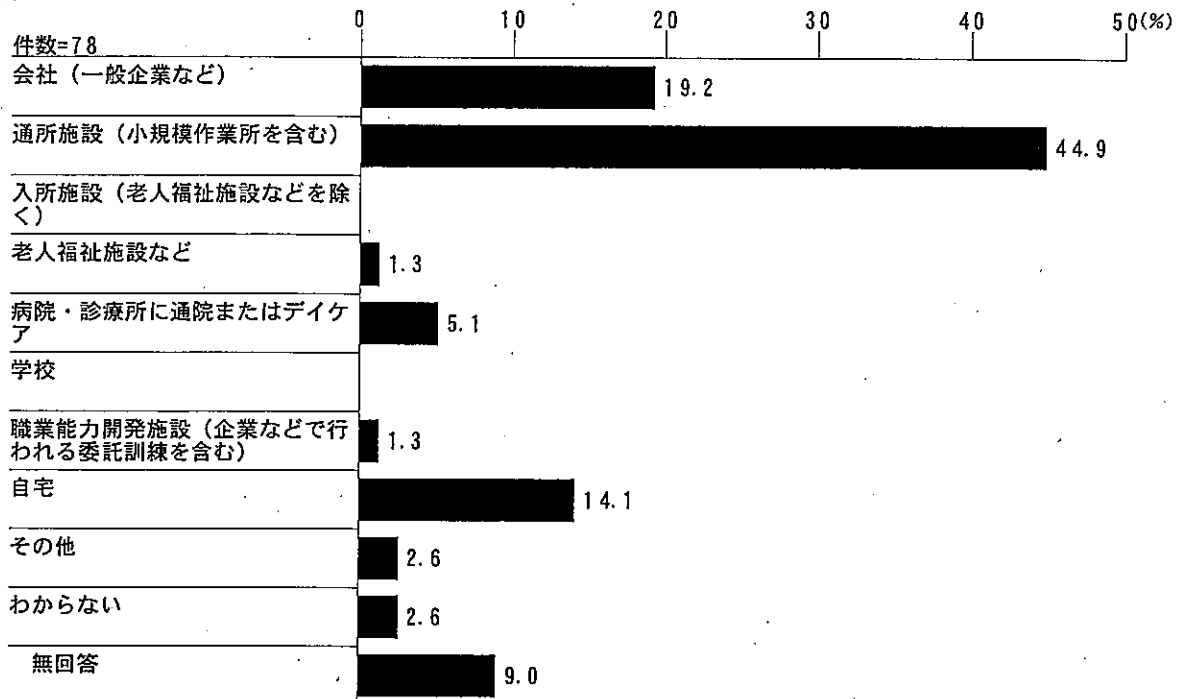
昼間を主に過ごす場所は、「通所施設 (小規模作業所を含む)」46.2%、「自宅」21.8%、「病院・診療所に通院またはデイケア」9.0%などとなっている。

通所施設の活動内容は、「主に働いたり職業訓練をしている」55.6%、「主に創作活動・交流・レクリエーションなどを行っている」22.2%などとなっている。

## (2) 将来の希望

問9 あなたが、昼間を主に過ごす場所についておたずねします。

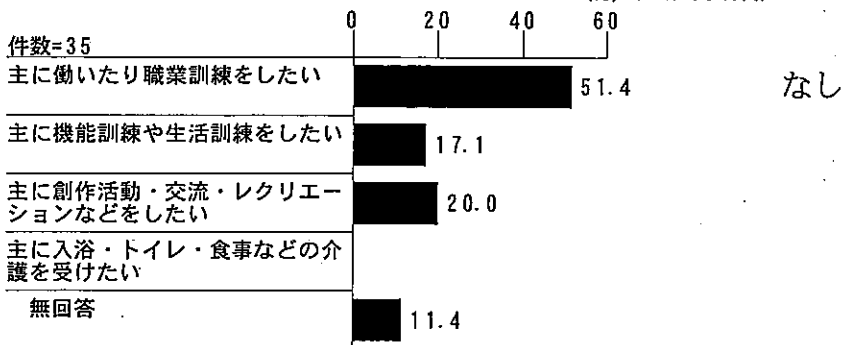
(2) あなたは、昼間を主にどこで過ごしたいと思いますか。(もっともあてはまる番号1つに○印)



※通所施設・入所施設では主にどんな活動をしたいですか。

(通所施設)

(%) (入所施設)



昼間を主に過ごしたい場所は、「通所施設 (小規模作業所を含む)」44.9%、「会社 (一般企業など)」19.2%、「自宅」14.1%などとなっている。

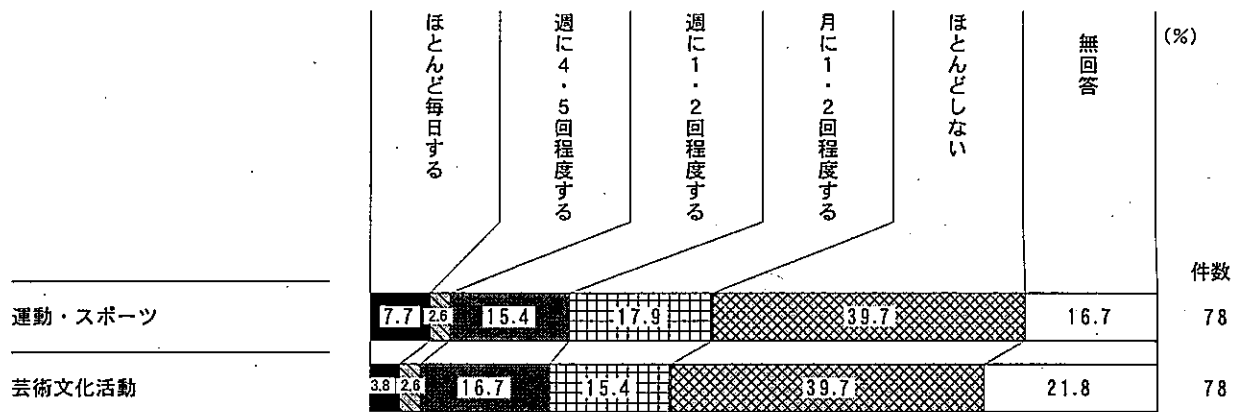
通所施設での希望する活動内容は、現在の状況と大きな差はみられない。

## 9 運動・スポーツや芸術文化活動

### (1)活動頻度

問 10 運動・スポーツや芸術文化活動（絵画・音楽・演劇・短歌など）についておたずねします。

(1) あなたは、運動・スポーツや芸術文化活動をどのくらい行いますか。（「運動・スポーツ」「芸術文化活動」それぞれについて、もっともあてはまる番号 **1つ** に○印）

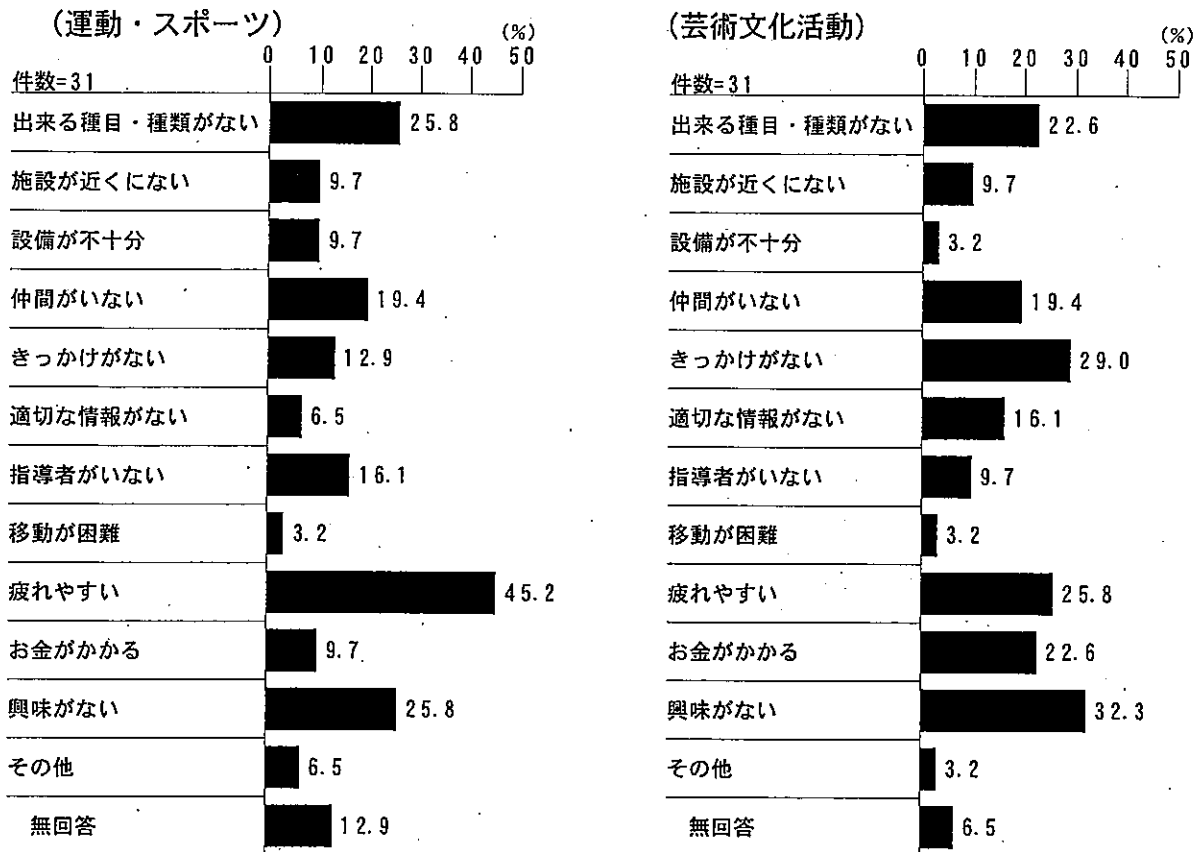


活動頻度について、運動・スポーツは「ほとんど毎日する」7.7%、「週に4・5回程度する」2.6%、「週に1・2回程度する」15.4%、芸術文化活動は「ほとんど毎日する」3.8%、「週に4・5回程度する」2.6%、「週に1・2回程度する」16.7%と、運動・スポーツの方が頻度が若干高くなっている。

## (2)活動しない理由

問 10 運動・スポーツや芸術文化活動（絵画・音楽・演劇・短歌など）についておたずねします。

(2) 運動・スポーツや芸術文化活動を「ほとんどしない」方におたずねします。あなたが、運動・スポーツや芸術文化活動をしな理由は何ですか。（「運動・スポーツ」「芸術文化活動」それぞれについて、もっともあてはまる番号3つまでに○印）



運動・スポーツをしな理由は、「疲れやすい」45.2%、「出来る種目・種類がない」25.8%、「興味がない」25.8%、「仲間がいない」19.4%、「指導者がいない」16.1%などの理由が多くなっている。

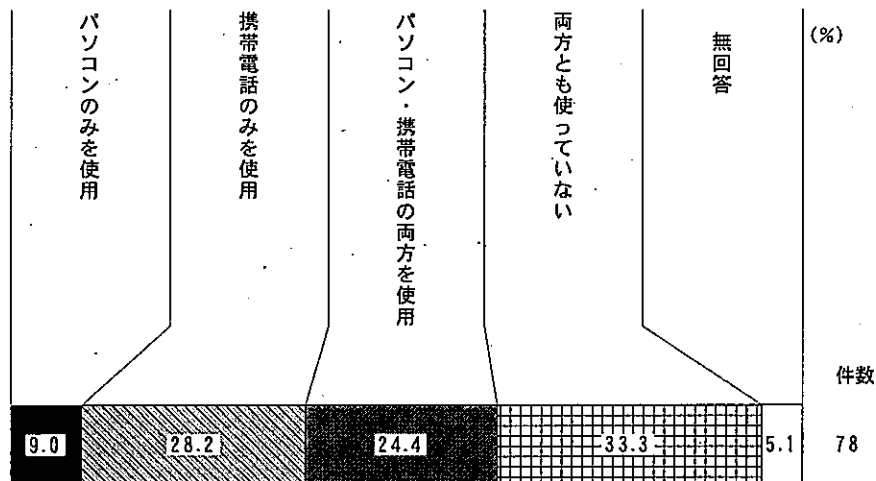
芸術文化活動をしな理由は、「興味がない」32.3%、「きっかけがない」29.0%、「疲れやすい」25.8%「出来る種目・種類がない」22.6%、「お金がかかる」22.6%などの理由が多くなっている。

## 10 インターネット・電子メールの利用

### (1) パソコン・携帯電話の使用状況

問 11 パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの利用についておたずねします。

(1) あなたは、パソコン・携帯電話を使用していますか。(あてはまる番号 1 に○印)

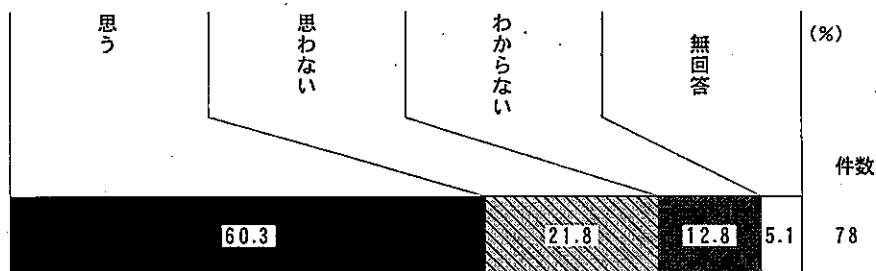


パソコン・携帯電話の使用状況は、「パソコンのみを使用」9.0%、「携帯電話のみを使用」28.2%、「パソコン・携帯電話の両方を使用」24.4%となっており、「両方とも使っていない」は33.3%となっている。

### (2) パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの活用意向

問 11 パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの利用についておたずねします。

(2) あなたは今後、パソコン・携帯電話を利用したインターネットや電子メールなどを活用してみたいと思いますか。(もっともあてはまる番号 1 に○印)

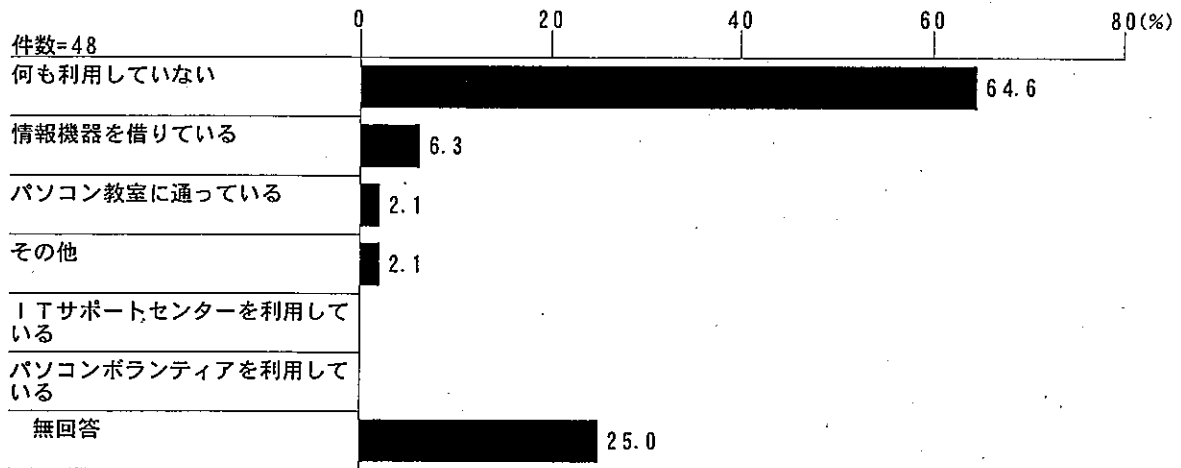


パソコン・携帯電話を利用したインターネットや電子メールなどを活用したいと「思う」60.3%、「思わない」21.8%となっている。

### (3)インターネット・電子メールの活用にあたって受けている支援

問 11 パソコン・携帯電話によるインターネット・電子メールの利用についておたずねします。

(3) パソコン・携帯電話を利用したインターネット・電子メールなどを活用されている方におたずねします。あなたはインターネットや電子メールの活用にあたり、何らかの支援を受けていますか。(あてはまる番号すべてに○印)

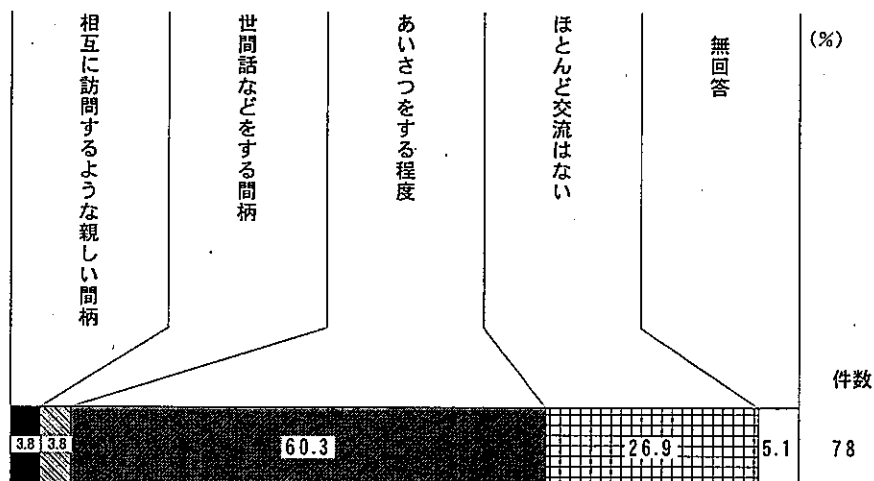


インターネットや電子メールの活用にあたって受けている支援は、「何も利用していない」が64.6%を占めているものの、「情報機器を借りている」6.3%、「パソコン教室に通っている」2.1%などがあがっている。

## 11 地域生活

### (1)近所づきあいの程度

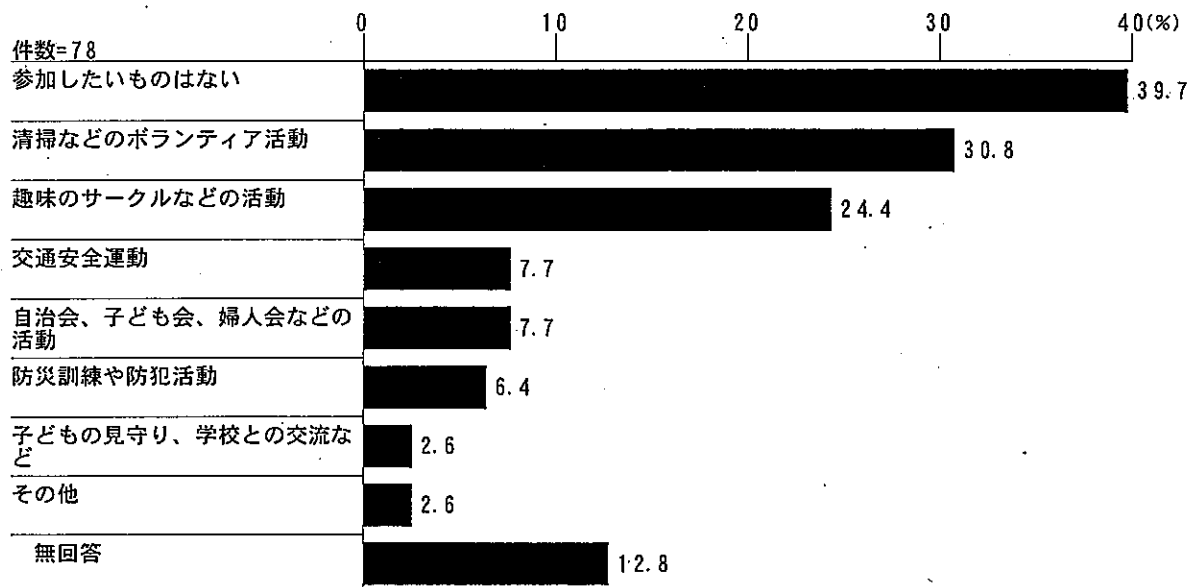
問 12 あなたの近所づきあい（向こう3軒両どなり程度。施設などに入所されている方は周囲の入所者の方とのつきあい）はどの程度ですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)



近所づきあいの程度は、「あいさつをする程度」60.3%、「相互に訪問するような親しい間柄」3.8%、「世間話などをする間柄」3.8%で約7割を占めているものの、「ほとんど交流はない」も26.9%となっている。

## (2)地域活動への参加意向

問 13 あなたは今後、地域で行う行事や活動などで参加してみたい（参加したことのあるものを含む）と思うものがありますか。（あてはまる番号すべてに○印）

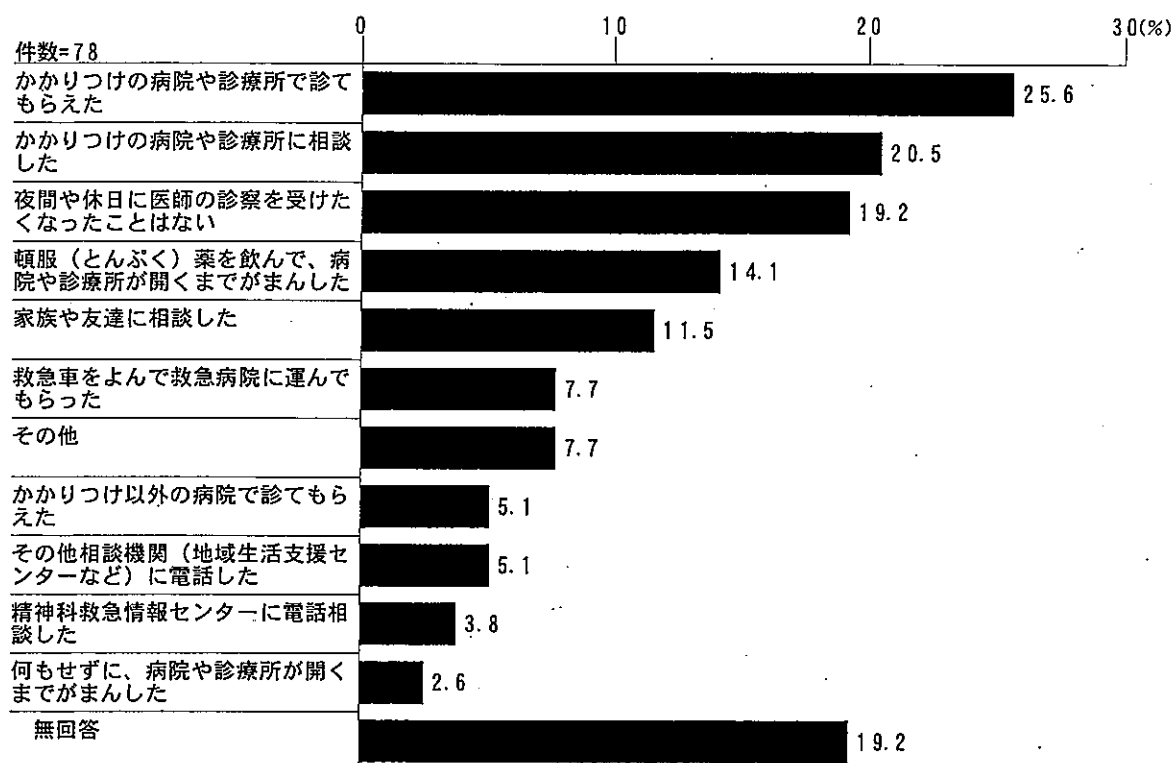


参加してみたい地域活動として、「清掃などのボランティア活動」が30.8%と最も多く、以下「趣味のサークル活動」24.4%、「交通安全運動」7.7%、「自治会、子ども会、婦人会などの活動」7.7%、「防災訓練や防犯活動」6.4%などとなっている。また「参加したいものはない」が39.7%となっている。



## 12 夜間や休日における診察の経験

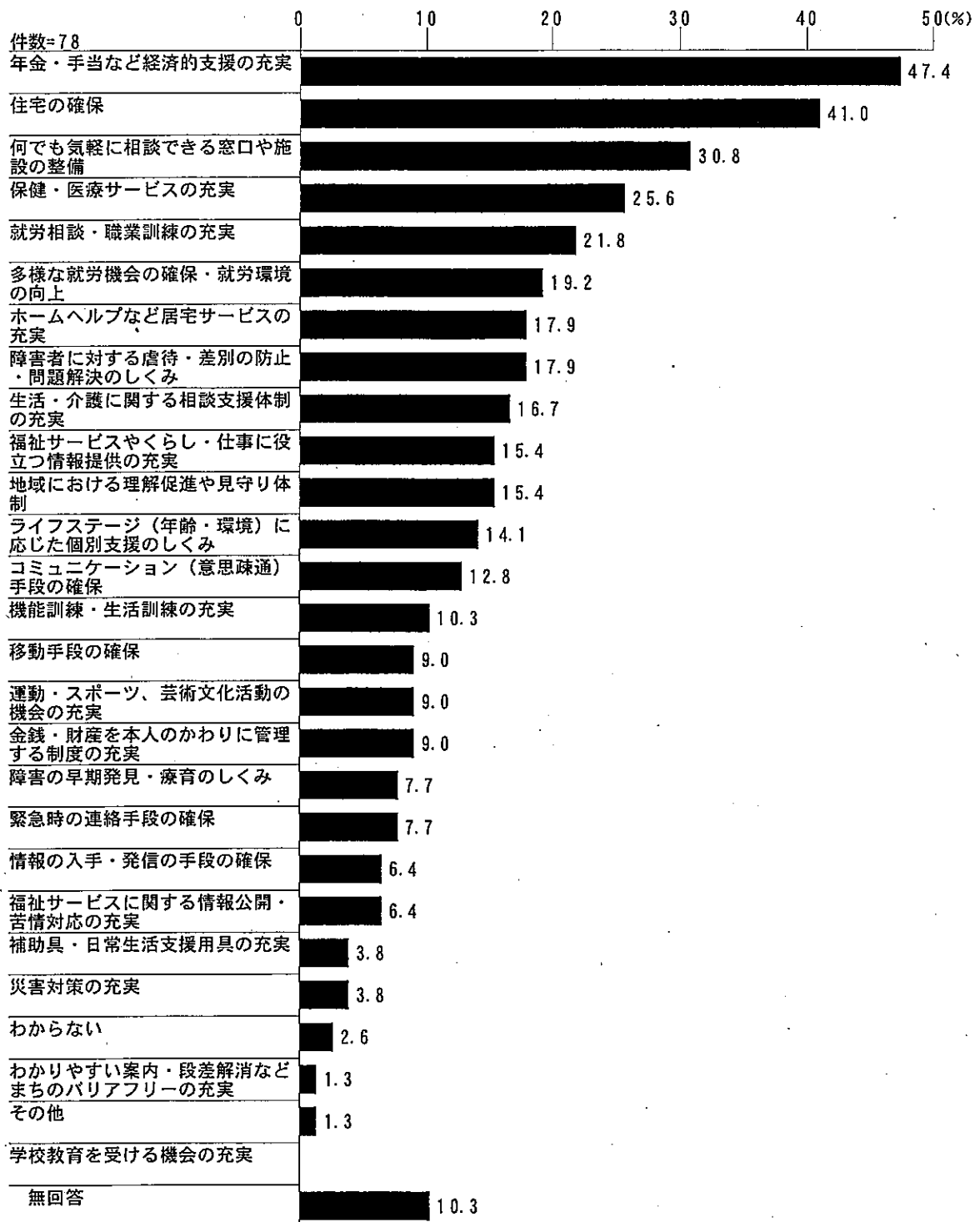
問 14 受診夜間や休日に、急に精神的にぐあいが悪くなったときや、てんかん発作にみまわれたときに、医師の診察を受けたくなくなったことがありますか。また、そのときに、あなたは どうされましたか。（あてはまる番号すべてに○印）



受診夜間や休日に、急に精神的にぐあいが悪くなったときや、てんかん発作にみまわれたときに「かかりつけの病院や診療所で診てもらえた」が25.6%、「かかりつけの病院や診療所に相談した」20.5%、「頓服（とんぷく）薬を飲んで、病院や診療所が開くまでがまんした」14.1%となっている。また、「夜間や休日に医師の診察を受けたくなくなったことはない」が19.2%となっている。

### 13 暮らしやすくするために必要なこと

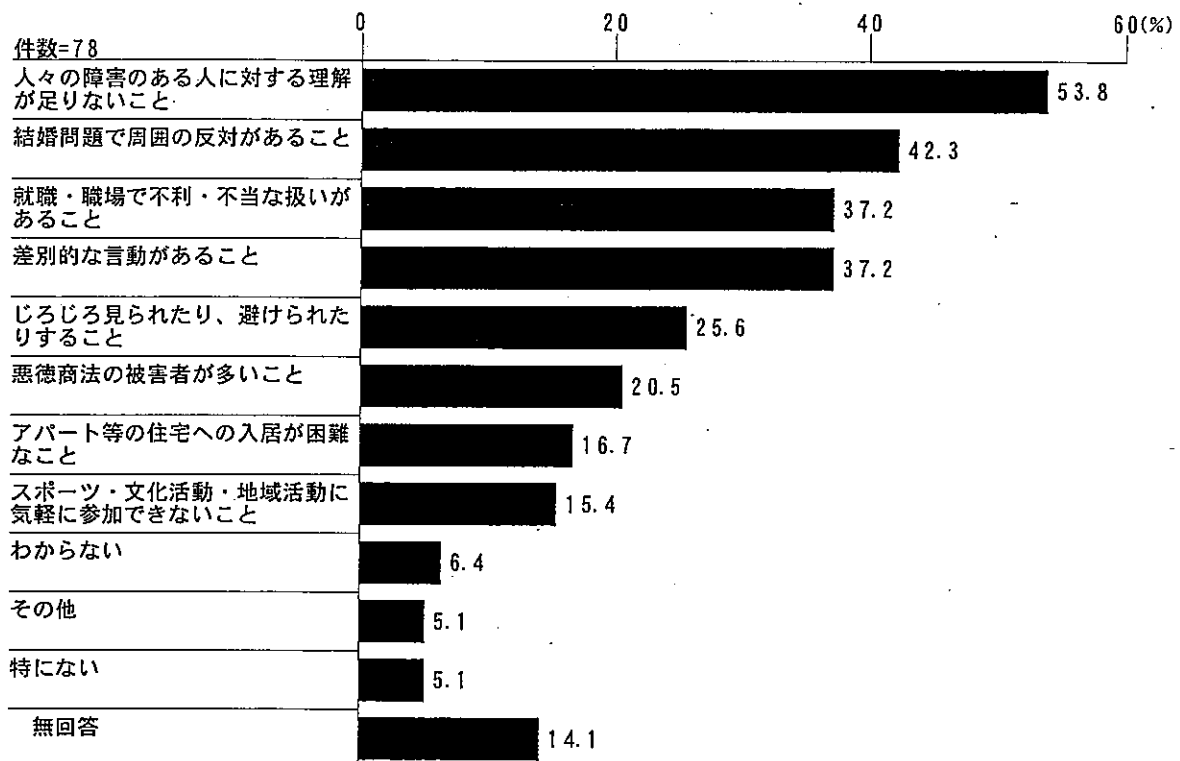
問 15 あなたが将来もっと暮らしやすくなるために、どんなことが必要だと思いますか。（もともとはあてはまる番号5つまでに○印）



将来暮らしやすくなるために必要なこととして、「年金・手当など経済的支援の充実」47.4%、「住宅の確保」41.0%が突出している。以下「何でも気軽に相談できる窓口や施設の整備」30.8%、「保健・医療サービスの充実」25.6%、「就労相談・職業訓練の充実」21.8%、「多様な就労機会の確保・就労環境の向上」19.2%などとなっている。

## 14 人権問題

問 16 あなたは、障害のある人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。  
(あてはまる番号すべてに○印)



障害のある人に対する人権問題で起きていることとして、「人々の障害のある人に対する理解が足りないこと」が53.8%と最も多く、以下「結婚問題で周囲の反対があること」42.3%、「就職・職場で不利・不当な扱いがあること」37.2%、「差別的な言動があること」37.2%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」25.6%などとなっている。

## 15 自由意見

問 17 あなたが今後希望するサービスやご意見・ご要望がありましたら、次の欄にご記入ください。

<b>【生活の安定を図るための経済的支援】</b>
障害者が独り暮らし出来るようにしてほしい。バスや電車の路線、便数を増やしてほしい。
家族を訪ね、家族以外の人で自分の様子を知ったり、聞いたりして気楽に病気の事や日常の話が出来る人があると普通に生活できるようになり、生きていくのが楽しくなり病気の回復にも繋がるような気がします。今は家族以外の人との関わりがなく楽しいことは何もない状態です。将来の自分の生活への不安、病気があっても安心して人間らしく暮らせる環境を整えてほしいと思います。精神の病気は頭の病気で大変困難な病気です。収入を得られない得にくいという点では経済的には他の障害と同じです。精神だけを別にするのではなく、三障害を同じ福祉制度にして欲しいと思います。年金も障害年金をもらっていたら、精神だけ65歳からは三分の一にしないで下さい。障害年金をもらいながら、その内から将来の為に精神障害者だけ掛け金を掛けないと普通に年金をもらえないのは何故でしょうか。掛け金を掛けると今が生活できません。偏見や差別がありますが、行政が偏見や差別をして本当に病気を理解していないのではないかと思います。経済的安心は精神の場合病気の安定に繋がります。
当事者は30代ですが、親は60代にさしかかります。これから先の事を考えますが、お金や財産の管理、住居など不安がいっぱいです。兄弟はおりますが、それぞれ独立すれば難しい問題です。親が急に病気にかかり入院という年齢になります。そのためにも、グループホームの様な住居が近くにあればと思います。
母が高齢になって、一人になった時、安心して生活できる場所が欲しい。
障害者の住みよい地域にしてほしい。支援活動をしてほしい。
貧乏な生活をなんとかしてほしい。
両親が活着ているうちは生活出来るが、その後のことが一番心配です。
親なき後が不安。・金銭的な面で生活できなくなる不安。・健康面で体調を崩しやすくなる。独りで暮らすと掃除、食事の面で心配で、なかなか一人で出来ない。
現在、母親(84歳)と障害者(息子)の二人暮らしです。母親亡き後の生活は、生活保護に頼るほかに生きていく道がないのです。しかし、現在、精神薬以外に市販の薬(咳、痰)エスエスブロン「カリュー」を7年前から飲み続けております。月、約6万円の支払いです。現在は母の年金で支払っておりますが母亡き後はどうしたらよいかわかりません。薬はやめられず、お金は無く、毎日悩み現在は体も悪く引きこもりをしています。生活保護費で最低生活が出来るのでしょうか。見通しがつけば毎日のいらした気持ちとうつ状態も少しよくなるのではないかと思う今日この頃です。何の為に活着ているのかわかりません。毎日、悩んでいます。年金手当等、経済的支援を充実して頂きたいです。
<b>【精神障害のある人への支援の充実】</b>
社会が身体障害者に接しているような対策を精神障害者にもしてほしい。精神障害者を差別しているように思っている。
精神障害者への周りの人への理解をもっと高めてほしいです。なかなか自分が精神障害者ということが話せずに隠していることが私だけでなく多くの方がいます。家族も大変苦しい思いをしています。外見は皆と変わらないですが、脳の病気なので苦しみをもっとわかってほしいです。他の障害(身体、知的)の方々と同じ様に同じサービスが受けれるようにして下さい。精神障害も一生のことで本当に切実に困り悩むことも多いのです。働く事や社会復帰も本当に一苦勞で大変です。社会が優しくなってほしいです。身体障害の方のサービスは充実しつつありますが、精神障害は規制があるので、そこも偏見だと思ってやみません。
<b>【障害のある人に対する理解】</b>
よく不審者と間違われるので、小さい子をもつ人や子ども見守り隊、警察などに障害者への理解を深めてほしい。そして、幼稚園や学校などにも理解を深めてほしい。

知的障害なのですが、もう少し理解できるところに行きたいです。いろいろな行事があつてとてもいい所です。これからも頑張つて行きたいです。宜しくお願いします。
<b>【医療費負担軽減】</b>
絵画を描いて過ごす作業所が近くにほしい。(今、真庭市若代にはありますが、真庭市久世あたりにできてほしい)現在、家族と一緒に暮らしているが、出て生活する場所がほしい。医療費・精神科1医院だけしか受給者証が使えないので二つの医院くらいは使えるようにしてほしい。・一般の医療費も一割負担にしてほしい。現在、糖尿病もあり、働けないものには厳しい。
<b>【移動手段の確保】</b>
支援センターへの移動手段の確保。
<b>【ともに暮らせるシェアハウスの設置】</b>
障害のある人、ない人がともに暮らしあえるシェアハウスを地域に設置してほしい。
<b>【相談できる窓口や施設の整備】</b>
家族に訪問してくれる人。話相手になってくれる人。時々、薬をやめている事を注意してくれる人。
<b>【障害者スポーツ環境の整備】</b>
毎年精神障害のソフトバレーボール大会にてバレーボール大会出場しています。毎年レベルが上がっています。しかし、私の住んでる総社市ではバレーボールの指導をしてくれる指導者がいません。正式な国体競技になっているのに・・・もっと上手になって国体出場を夢見っていますが、作業所と一般企業の就労でなかなか練習する時間がとれないのが悩みです。

今後希望するサービスなどを自由意見としてたずねたところ、大別して、「生活の安定を図るための経済的支援」などを求める意見が多かった。

(注) 具体的な個人名、施設名等が記入されている場合は、一般的な名称に置き換えています。

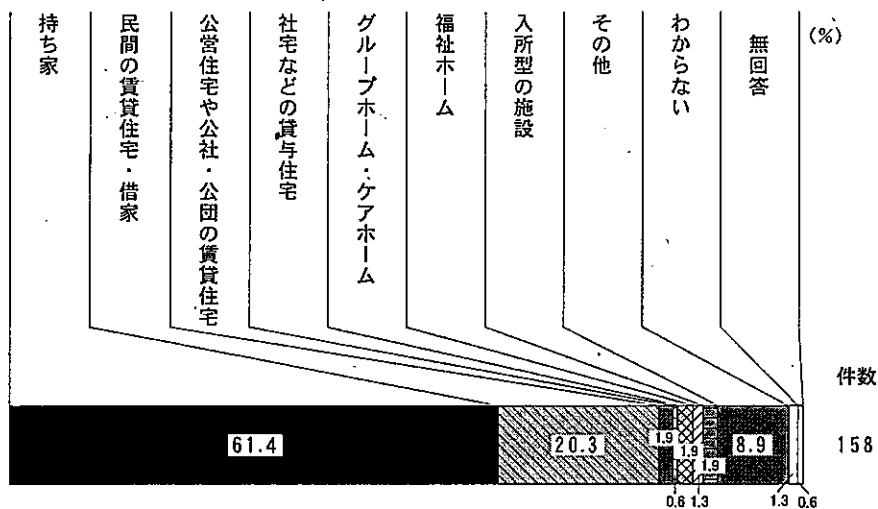
# VI 精神保健福祉に関する調査(入院患者調査)結果

## 1 住宅

### (1)住宅形態

問1 今回入院される前に、あなたがお住まいだった住宅などは、次のうちどれですか。

(あてはまる番号1つに○印)



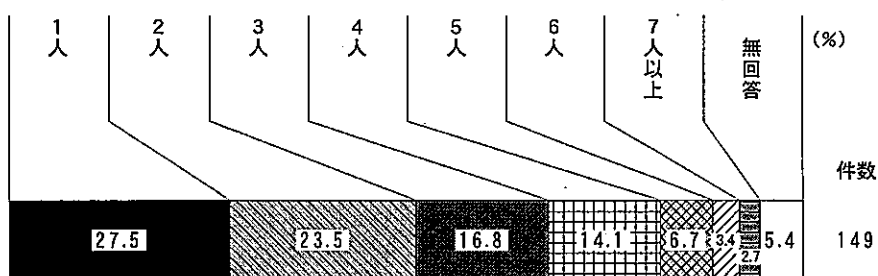
入院前の住宅の形態は、「持ち家 (家族所有を含む)」61.4%、「民間の賃貸住宅・借家」20.3%でほとんどを占めている。

## 2 同居家族

### (1)同居人数

問2 今回入院される前に、同居されていたご家族などについておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしていた方は、お答えいただくことなく結構です。

(1) あなたと同居されていた方は、あなたを含めて何人ですか。(あてはまる番号1つに○印)

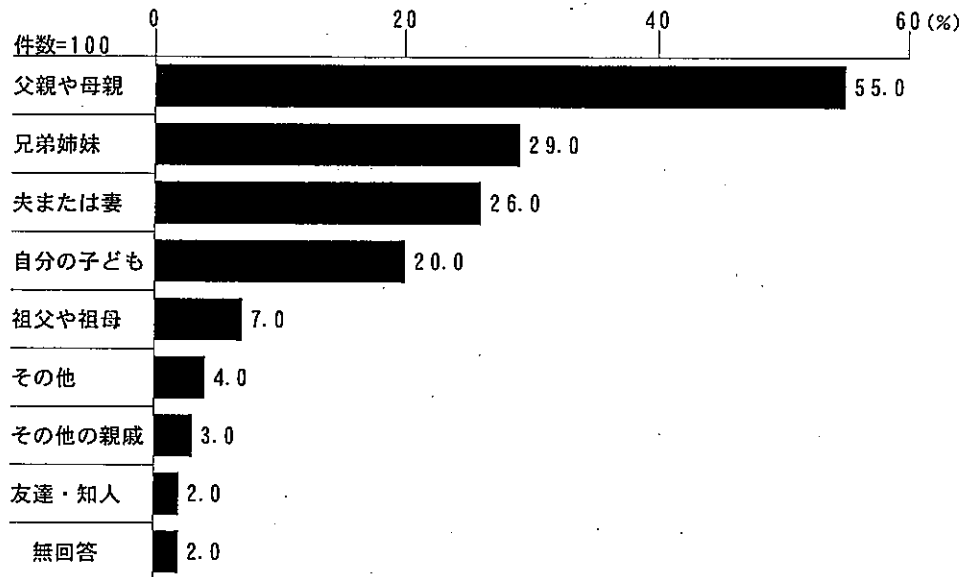


対象者自身を含めた入院前の同居家族の人数は、「2人」23.5%、「3人」16.8%、「4人」14.1%などとなっており、「1人」は27.5%となっている。

## (2)同居家族

問2 今回入院される前に、同居されていたご家族などについておたずねします。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしていた方は、お答えいただくことなく結構です。

(2) あなたは、どなたと同居されていましたか。「1人」でくらしていた方は、お答えいただくことなく結構です。(あてはまる番号すべてに○印)

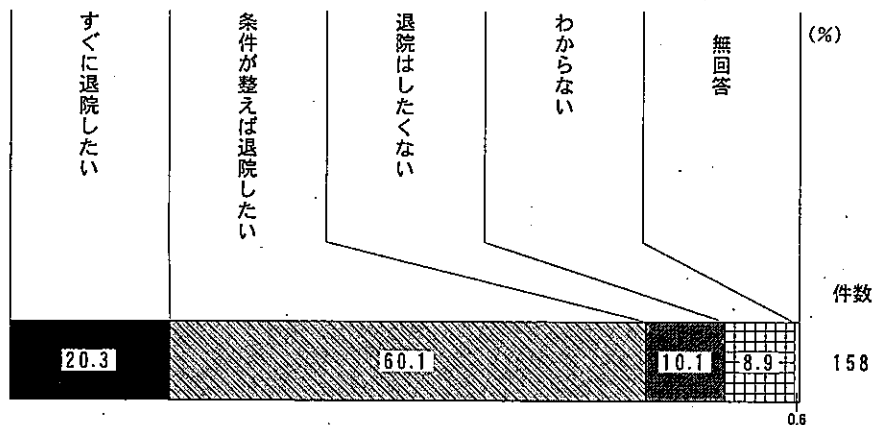


入院前の同居家族は「父親や母親」が55.0%と最も多く、以下「兄弟姉妹」29.0%、「夫または妻」26.0%、「自分の子ども」20.0%となっている。

## 3 退院の意向

### (1)退院の意向

問3 あなたは、退院したいと思いますか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

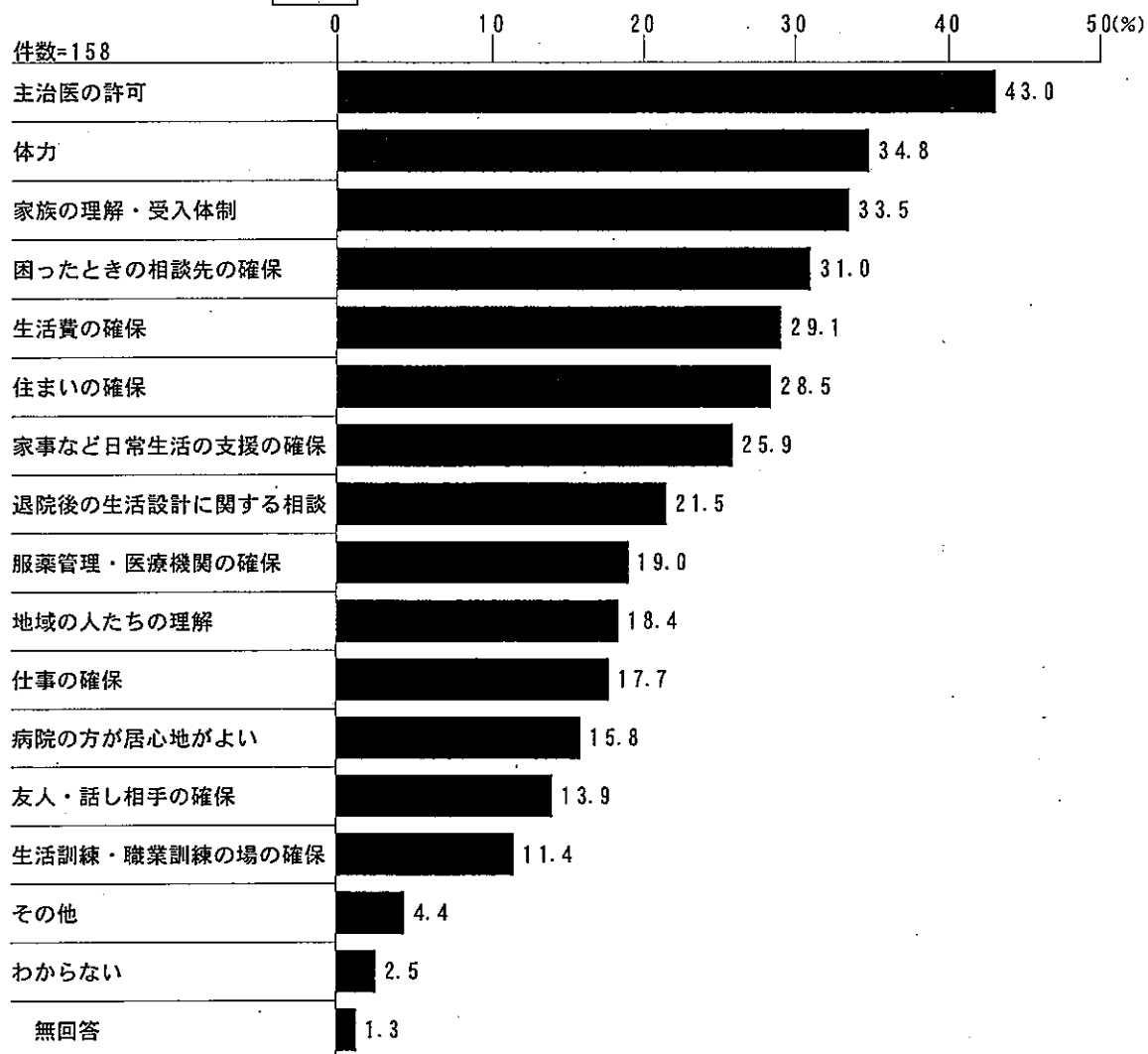


退院の意向については「すぐに退院したい」20.3%、「条件が整えば退院したい」60.1%と退院したい意向が8割を超えている。また「退院はしたくない」が10.1%となっている。

## (2)退院するために必要なこと

問4 あなたが今後、退院するために必要なこと（または、退院できない理由）は何ですか。

（あてはまる番号すべてに○印）



退院するために必要なことは、「主治医の許可」43.0%、「体力」34.8%、「家族の理解・受入体制」33.5%、「困ったときの相談先の確保」31.0%、「生活費の確保」29.1%、「住まいの確保」28.5%、「家事など日常生活の支援の確保」25.9%などとなっている。

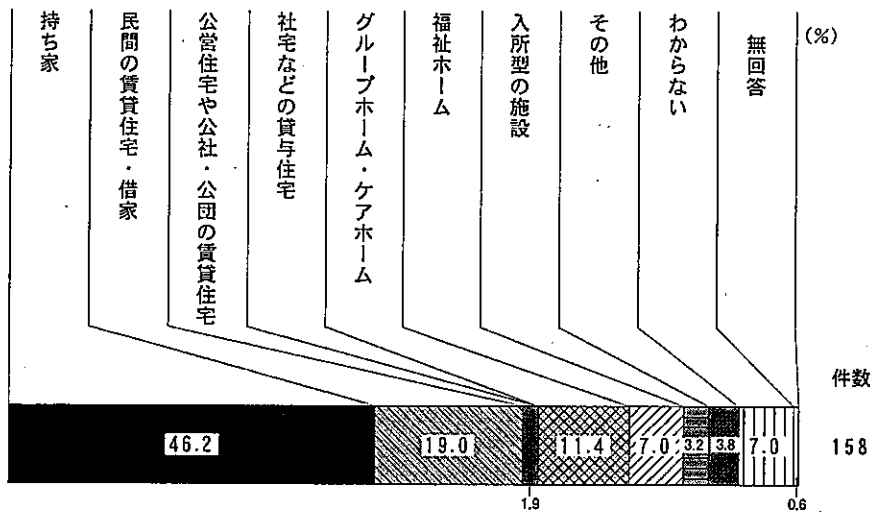


## 4 退院後の暮らし

### (1) 住宅形態の希望

問5 あなたが今後、退院された場合の暮らしについておたずねします。

(1) あなたは退院後に、どんな住宅に住みたいですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)

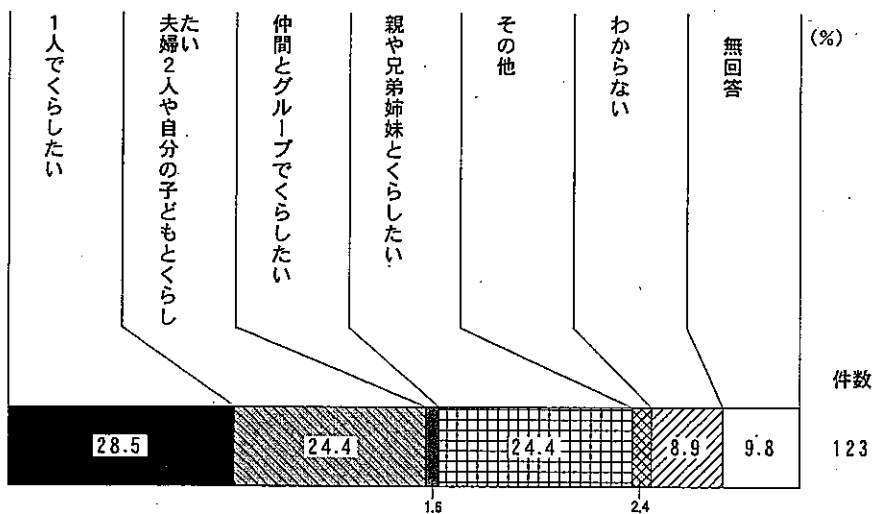


退院後に将来住みたい住宅は、「持ち家」が46.2%と最も多く、以下「民間の賃貸住宅・借家」19.0%、「グループホーム・ケアホーム」11.4%、「福祉ホーム」7.0%などとなっている。

### (2) 退院後の暮らし方

問5 あなたが今後、退院された場合の暮らしについておたずねします。

(2) あなたは退院後に、誰とくらしたいですか。なお、この問いは、「入所型の施設」「グループホームやケアホーム」「福祉ホーム」でくらしたい方は、お答えいただく必要は結構です。(もっともあてはまる番号1つに○印)

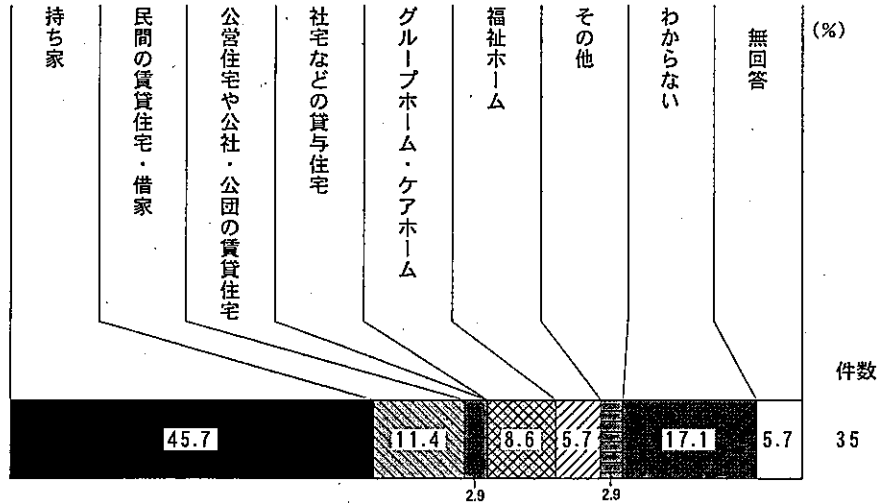


退院後は「1人でくらしたい」が28.5%と最も多く、以下「夫婦2人や自分の子どもとくらしたい」24.4%「親や兄弟姉妹とくらしたい」が24.4%、「仲間とグループでくらしたい」1.6%などとなっている。

### (3)退院後に独立して生活するのに必要な住宅

問5 あなたが今後、退院された場合の暮らしについておたずねします。

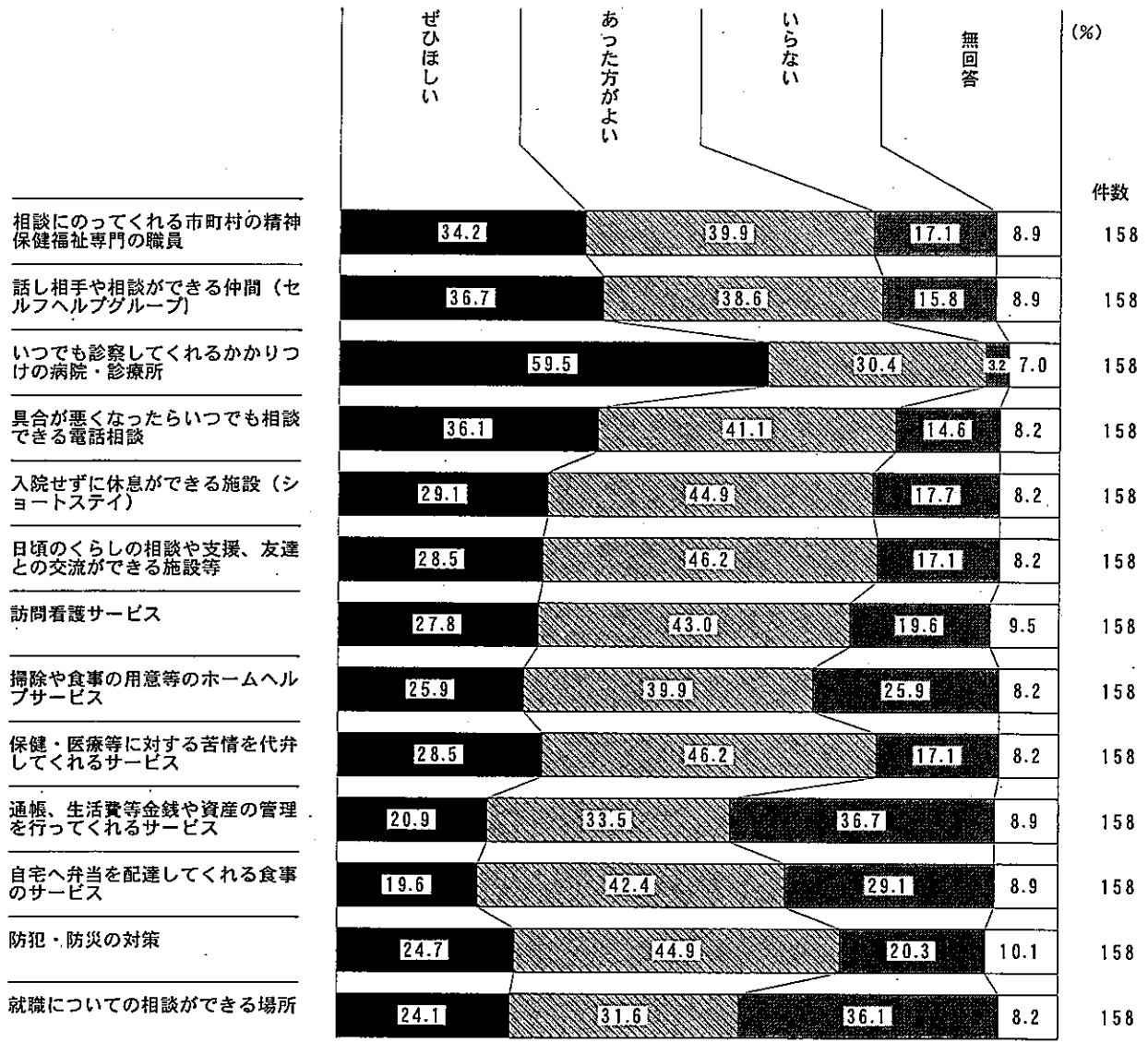
(3) 退院後に、「親・兄弟姉妹」とくらしたい方や「入所型の施設」でくらしたい方におたずねします。親・兄弟姉妹や入所型の施設から独立して生活するとすれば、どんな住宅が必要ですか。(もっともあてはまる番号1つに○印)



退院後に親・兄弟姉妹と暮らしたい方や入所型の施設で暮らしたい方が独立して生活するとすれば必要な住宅は、「持ち家」が45.7%と最も多く、以下「民間の賃貸住宅・借家」11.4%、「グループホーム・ケアホーム」8.6%などとなっている。

## 5 退院後に地域で生活する上で必要なこと

問6 あなたが今後、退院されるとしたら、地域で生活していく上で、必要だと思うものは何ですか。(ア～スのそれぞれについて、もっともあてはまる番号1つに○印)

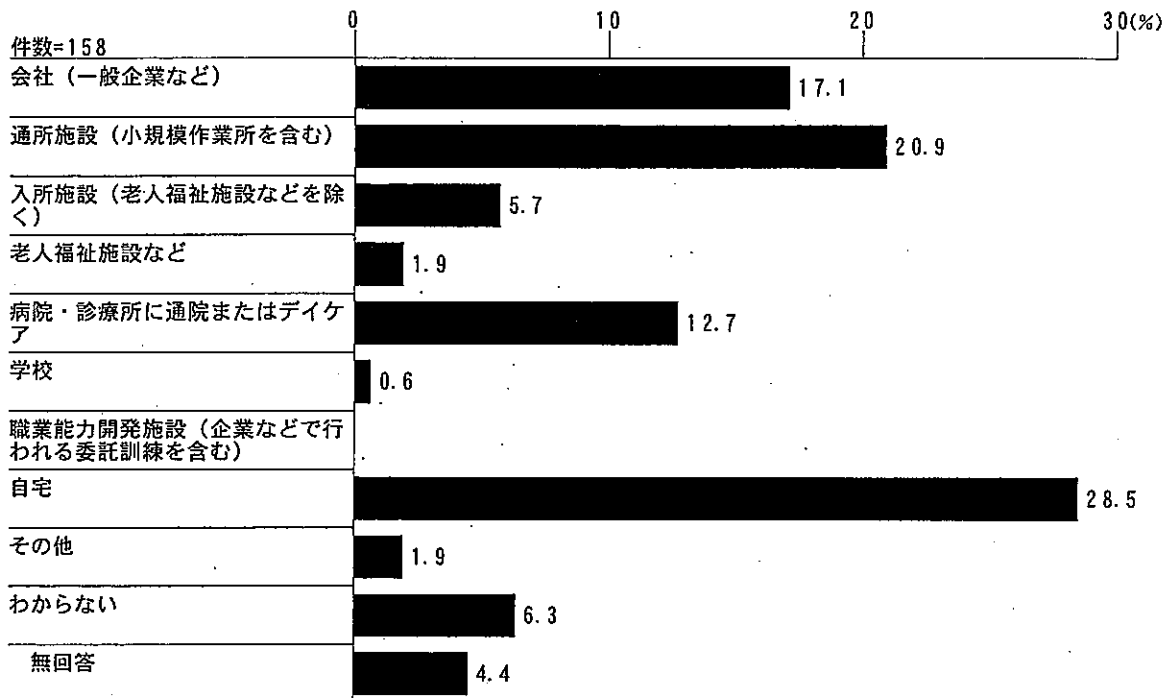


地域で生活していく上で、必要だと思うものについて、「ぜひほしい」の割合が高いものは、「いつでも診察してくれるかかりつけの病院・診療所」「具合が悪くなったらいつでも相談できる電話相談」「話し相手や相談ができる仲間 (セルフヘルプグループ)」「相談にのってくれる市町村の精神保健福祉専門の職員」「入院せずに休息ができる施設 (ショートステイ)」「日頃のくらしの相談や支援、友達との交流ができる施設等」「保健・医療等に対する苦情を代弁してくれるサービス」などの順となっている。

## 6 退院後に昼間過ごしたい場所

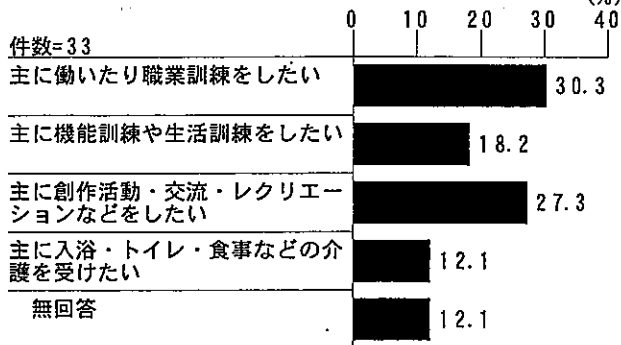
問7 あなたが今後、退院されるとしたら、昼間を主にどこで過ごしたいと思いますか。

(もっともあてはまる番号1つに○印)

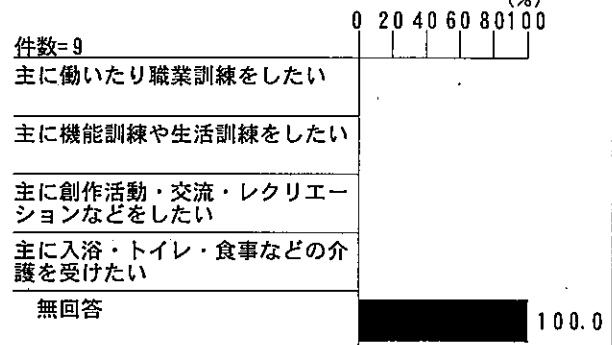


※通所施設・入所施設では主にどんな活動をしたいですか。

(通所施設)



(入所施設)

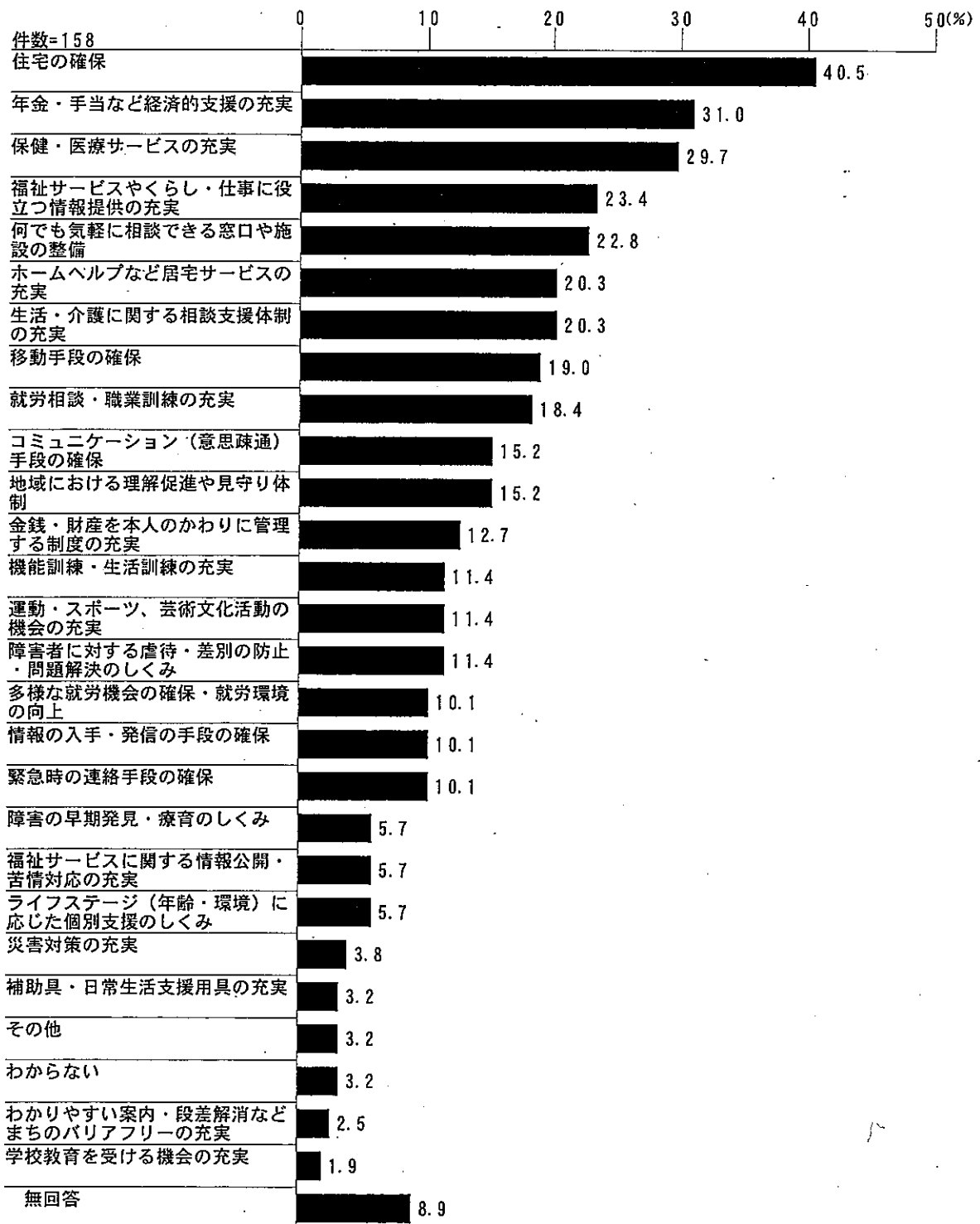


退院後に昼間を主に過ごしたい場所は、「自宅」28.5%、「通所施設 (小規模作業所を含む)」20.9%、「会社」17.1%、「病院・診療所に通院またはデイケア」12.7%などとなっている。

通所施設でしたい活動内容は、「主に働いたり職業訓練をしたい」30.3%、「主に創作活動・交流・レクリエーションなどをしたい」27.3%、「主に機能訓練や生活訓練をしたい」18.2%などとなっている。

## 7 暮らしやすくするために必要なこと

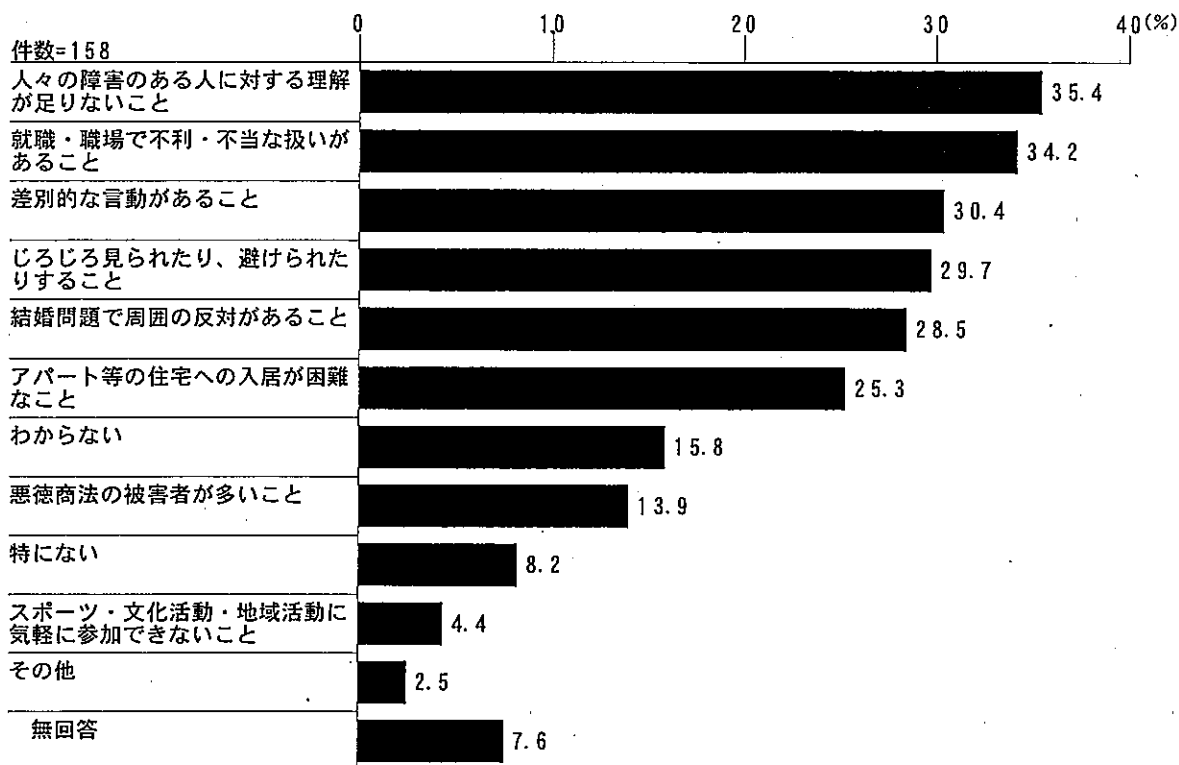
問8 あなたが将来もっと暮らしやすくなるために、どんなことが必要だと思いますか。(もっともあてはまる番号5つまでに○印)



将来暮らしやすくなるために必要なこととして、「住宅の確保」40.5%が突出している。以下「年金・手当など経済的支援の充実」31.0%、「保健・医療サービスの充実」29.7%、「福祉サービスや暮らし・仕事に役立つ情報提供の充実」23.4%、「何でも気軽に相談できる窓口や施設の整備」22.8%などとなっている。

## 8 人権問題

問9 あなたは、障害のある人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。  
(あてはまる番号すべてに○印)



障害のある人に対する人権問題で起きていることとして、「人々の障害のある人に対する理解が足りないこと」が 35.4%と最も多く、以下「就職・職場で不利・不当な扱いがあること」34.2%、「差別的な言動があること」30.4%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」29.7%、「結婚問題で周囲の反対があること」28.5%などとなっている。

## 9 自由意見

問 10 あなたが今後希望するサービスやご意見・ご要望がありましたら、次の欄にご記入ください。

<b>【生活の安定を図るための経済的支援】</b>
年金、2級の金をもっとたくさんもらえるようにしてほしい。
経済的支援、どこかに行くとき送迎、同伴等。
年金の額が沢山増えますように。統合失調症について理解してもらえるようになったらいいと思います。
障害者達の日々の生活、そして老後(要介護)の生活に対して多くの不安をかかえております。
社会に出てギャップがないようにわからないから生活の安定を計ってもらいたい。すぐに発病するので、きめ細かく診てもらいたい。
障害年金を増やして欲しい。
<b>【退院後の支援体制】</b>
一人で生活するにも入院生活が長く自信がない。ヘルパーのサービス充実も必要だが、病院からアパートへ移るための訓練できるところが県北にはない為、そういうところがあればよいと思います。
薬を飲むのに助けがいる。
家に帰りたいけど自信がないのです。夫や息子と一緒に生活ができるでしょうか。(生活体験ができるサービスが県北に必要)
退院したら話相手が欲しいと思います。季節季節どこかへ連れて行ってほしいと思います。
<b>【就労の確保】</b>
収容所主義による社会的スキルの低下が社会的入院に結び付く現実に対し、積極的な就労支援の為の包括的支援サービスの向上に期待する。
職場の確保。
・社会的入院にならぬように地域や兄弟姉妹の理解がほしい。・親なきあとのケア。・社会参加の場の充実。・同じ障害を持っている者同士の交流の場をもっと数多くほしい。〈自分の目標〉・・・頑張らないけどあきらめない。
就職の枠をもっと増やしてほしい。
<b>【食事・入浴の充実】</b>
ビールが飲みたい。刺身が食べたい。僕は不眠だから小さい電気も消してほしい。
早飯にして下さい(ご飯が少ない)。
食事、入浴の充実があること。
<b>【外出支援、外出の自由化】</b>
外出の際、一月に2万円にしてほしい。
家族が遠方にいるため、外泊の時の交通費(JR代、ガソリン代など)の負担を軽くしてほしい。
外出したい時に気軽にOKがほしいです。ボランティアでなくても少しでも代金を取ってほしいです。これくらいとして公に決定して下さい。
<b>【介護サービスや福祉相談体制】</b>
ヘルパーさんの希望やタクシーのサービスをもっとしてほしい。介護のサービスや福祉の相談体制の充実など。
<b>【生活の場の確保】</b>
アパートが自由に借りられる様になつたらいい。
<b>【日中活動の場の充実】</b>
今は昼間過ごすところがデイケア、作業所、支援センターと限られている。もう少し選べると有り難い。

今後希望するサービスなどを自由意見としてたずねたところ、大別して、「生活できるだけの年金額、安定を図れる経済的支援」、「退院後の支援体制」、「就労の確保」などを求める意見が多かった。

(注) 具体的な個人名、施設名等が記入されている場合は、一般的な名称に置き換えています。

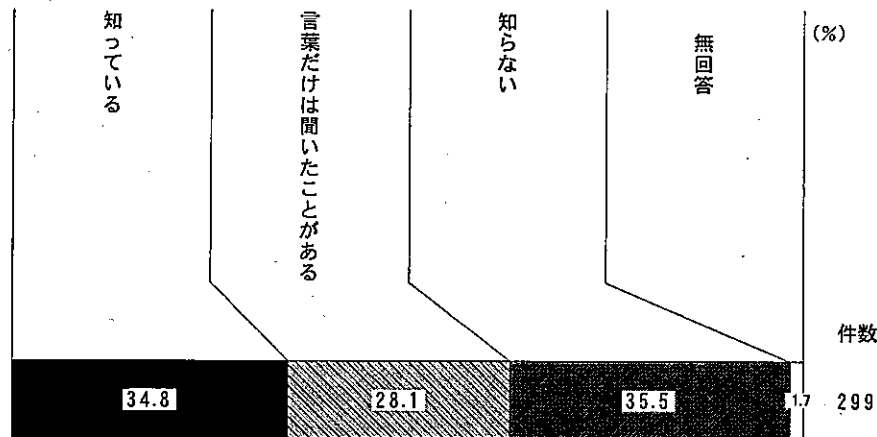


## VII 第2期岡山県障害者計画(仮称)策定に関する県民意識調査結果

### 1 「共生社会」又は「ノーマライゼーション」

#### (1) 認知度

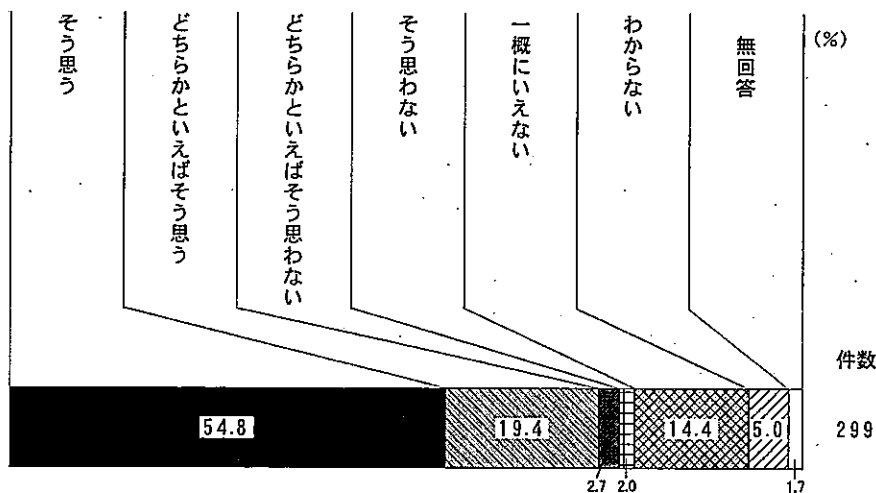
問1 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」又は「ノーマライゼーション」という考え方を知っていますか。



「共生社会」又は「ノーマライゼーション」の考え方を「知っている」34.8%、「言葉だけは聞いたことがある」28.1%、「知らない」35.5%となっている。

#### (2) 「共生社会」又は「ノーマライゼーション」についての考え

問2 国や地方公共団体では、「共生社会」又は「ノーマライゼーション」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活できるための環境作りを進めています。あなたは、この「障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方について、どう思いますか。この中から1つだけお答えください。

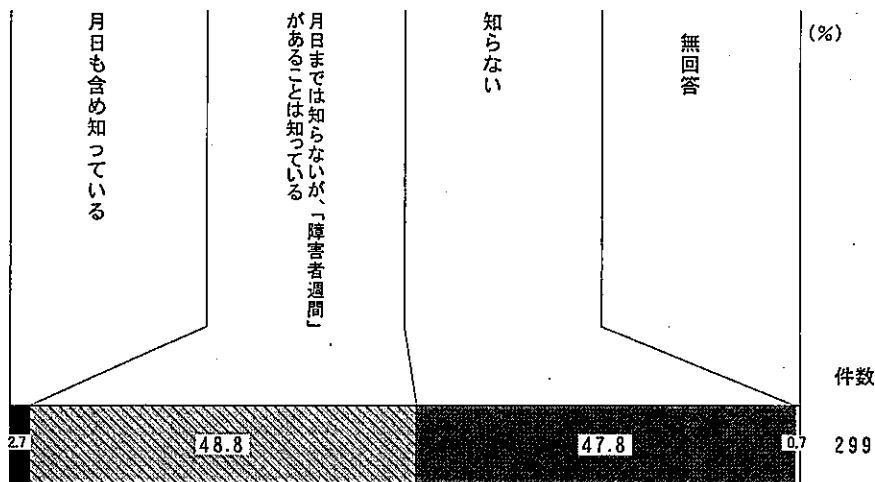


「障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方について、「そう思う」54.8%、「どちらかといえばそう思う」19.4%と肯定意見が74.2%、一方「そう思わない」2.0%、「どちらかといえばそう思わない」2.7%と否定意見が4.7%、「一概にいえない」が14.4%となっている。

## 2 「障害者週間」

### (1) 認知度

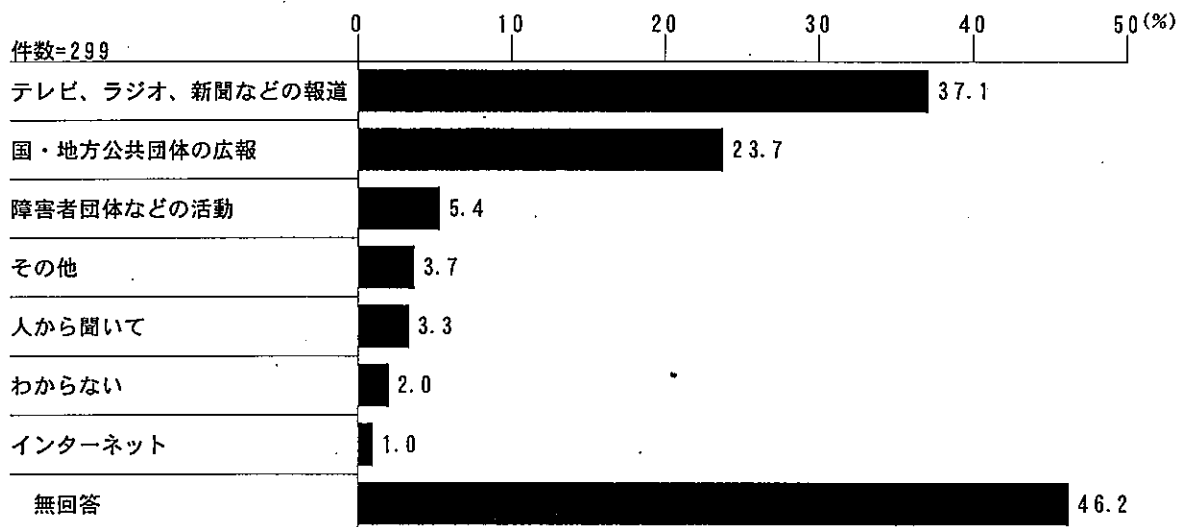
問3 国は、障害や障害のある人に関する理解と関心を深め、障害のある人の社会参加への意欲を高めるために、毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と決めて、さまざまな取り組みを行っています。あなたは、「障害者週間」を知っていますか。



「障害者週間」について、「月日も含め知っている」2.7%、「月日までは知らないが、「障害者週間」があることは知っている」48.8%、「知らない」47.8%となっている。

### (2) 認知したきっかけ

問4 (ア) (イ) と答えた方に伺います。それは何によって知りましたか。この中からいくつでもあげてください。

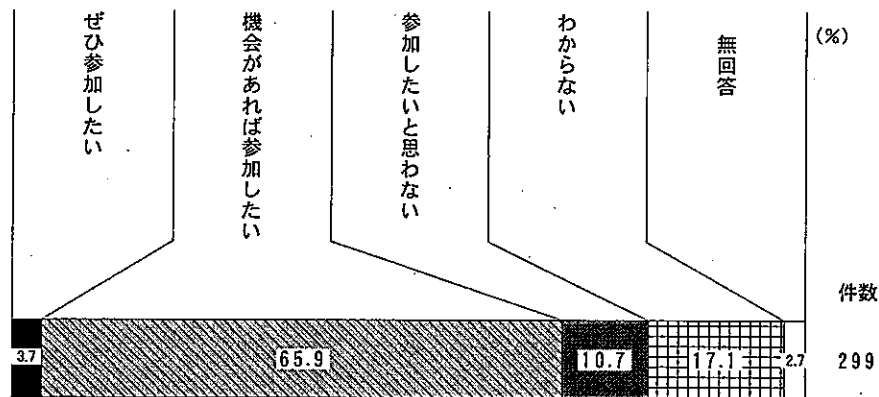


「障害者週間」を知ったきっかけは、「テレビ、ラジオ、新聞などの報道」が37.1%と最も多く、以下「国・地方公共団体の広報」23.7%、「障害者団体などの活動」5.4%、「人から聞いて」3.3%などとなっている。

### (3)行事や催しへの参加意向

問5 国や地方公共団体では、「障害者週間」を中心に障害のある人に対する理解を深めるために、次のようなさまざまな行事や催しを行っています。あなたは、このような行事や催しに今後参加してみたいと思いますか。

- ・ 障害のある人のことをテーマとしたセミナーやシンポジウム
- ・ 障害のある人による演劇・コンサート
- ・ 障害のある人とともに行うスポーツ
- ・ 障害のある人が作成した絵画等展示会・作品展
- ・ 福祉バザー

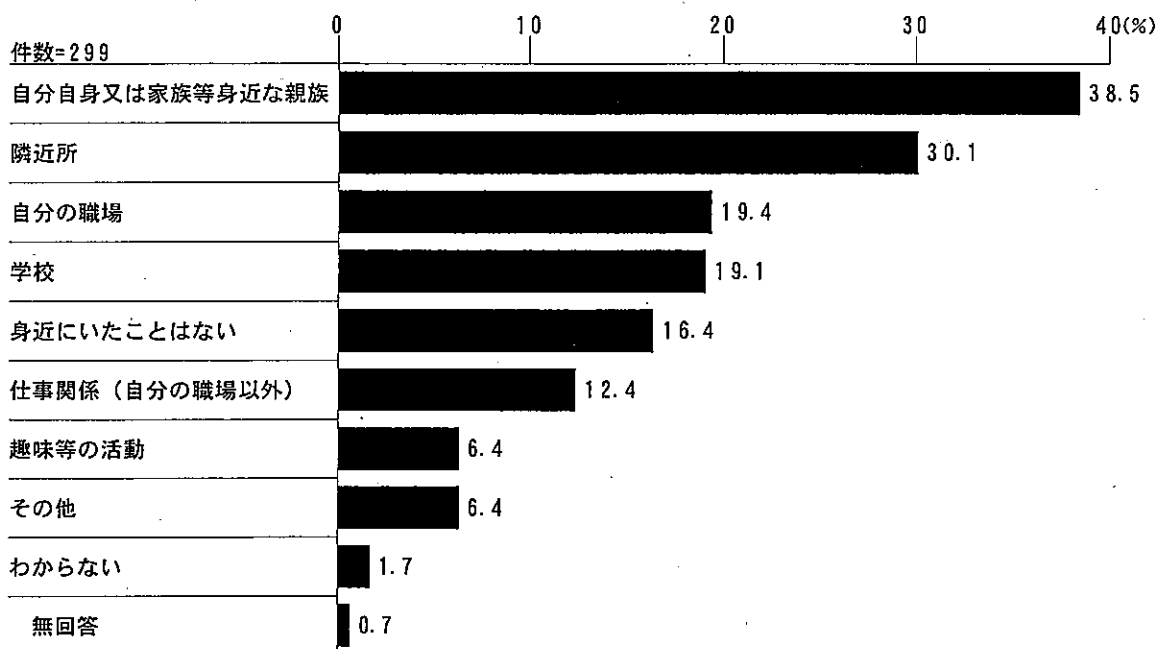


障害のある人に対する理解を深めるための行事や催しに「ぜひ参加したい」3.7%、「機会があれば参加したい」65.9%、「参加したいと思わない」10.7%、「わからない」17.1%となっている。

### 3 障害のある人とのふれあい

#### (1) 周囲の状況

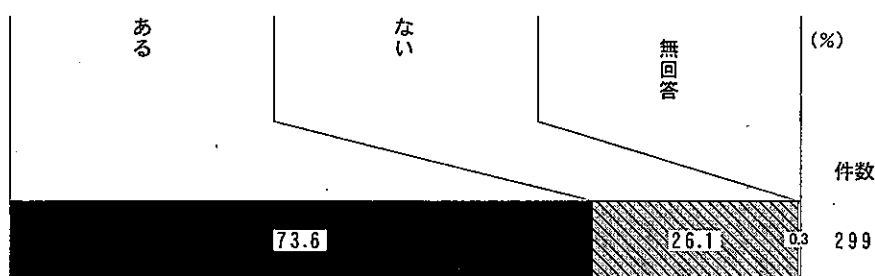
問6 あなたの身近に障害のある人がいますか、または、これまでいたことがありますか。この中からいくつかあげてください。



身近に障害のある人がいたかについて、「自分自身又は家族等身近な親族」が 38.5%と最も多く、以下「隣近所」30.1%、「自分の職場」19.4%、「学校」19.1%、「仕事関係（自分の職場以外）」12.4%などとなっており、「身近にいたことはない」が 16.4%となっている。

#### (2) 交流の有無

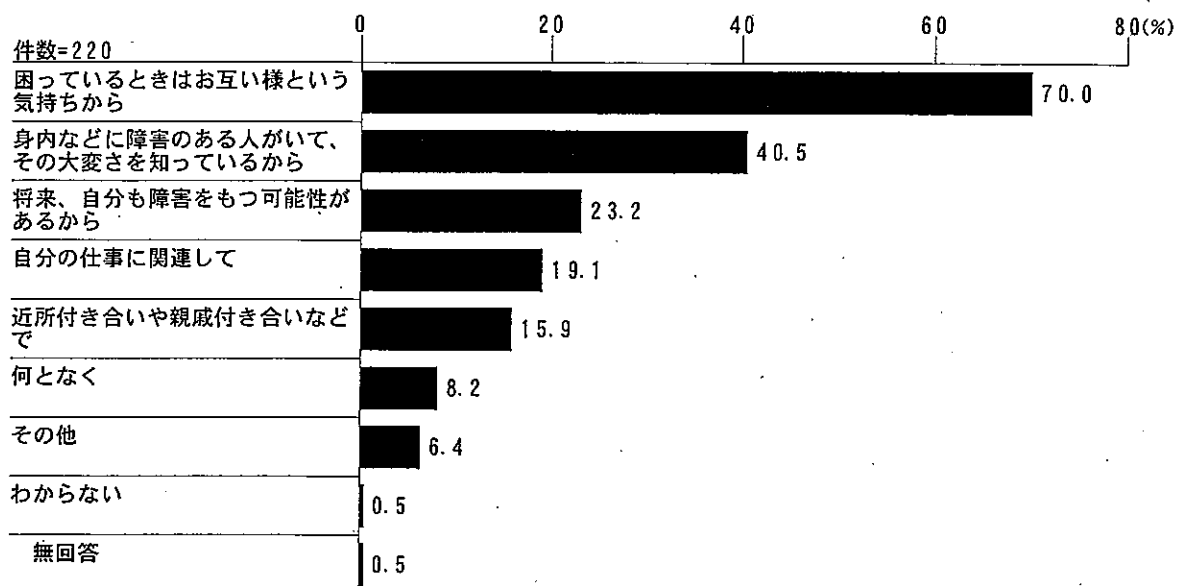
問7 あなたは、障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたりしたことがありますか。



障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたりしたことが「ある」73.6%、「ない」26.1%となっている。

### (3)交流する際の気持ち

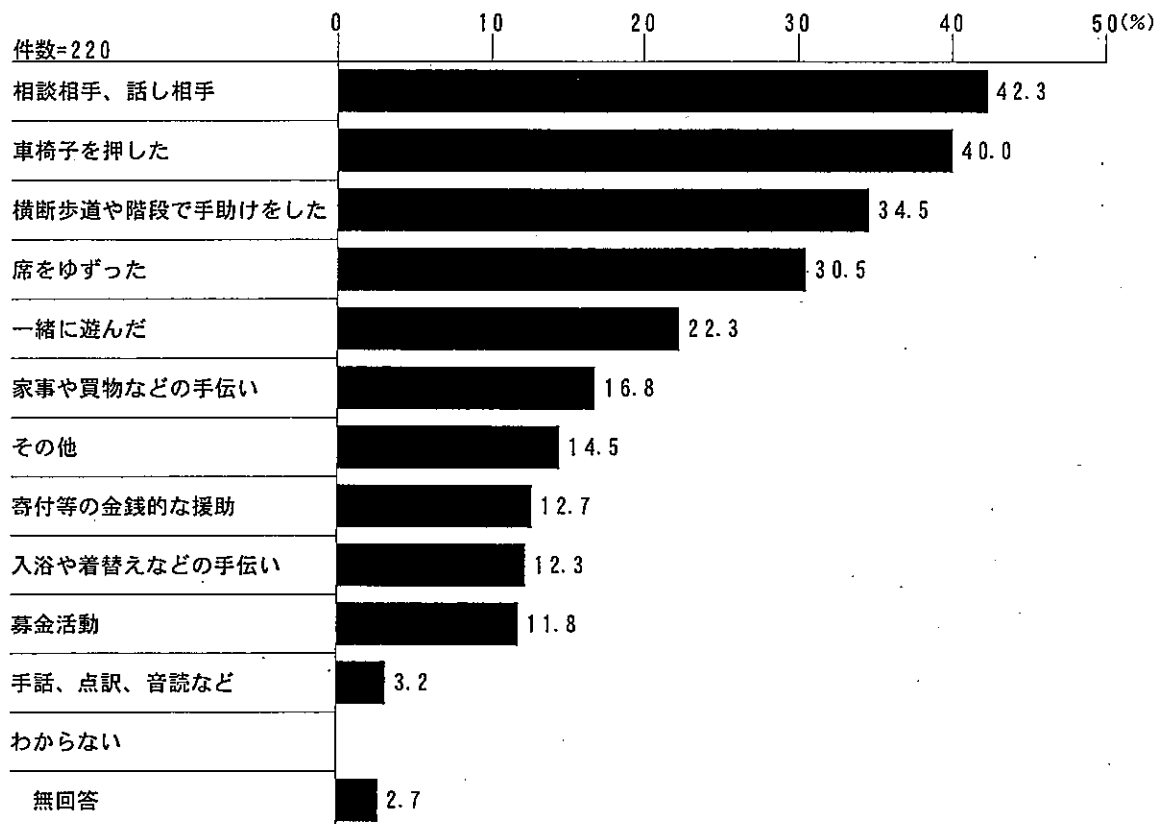
問8 問7で「ある」と答えた方に伺います。それはどのような気持ちからでしょうか。この中からいくつかもあげてください。(ないと答えた場合は問10へ)



障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたことに対しては、「困っているときはお互い様という気持ちから」が70.0%と最も多く、以下「身内などに障害のある人がいて、その大変さを知っているから」40.5%、「将来、自分も障害をもつ可能性があるから」23.2%、「自分の仕事に関連して」19.1%などとなっている。

#### (4)交流の内容

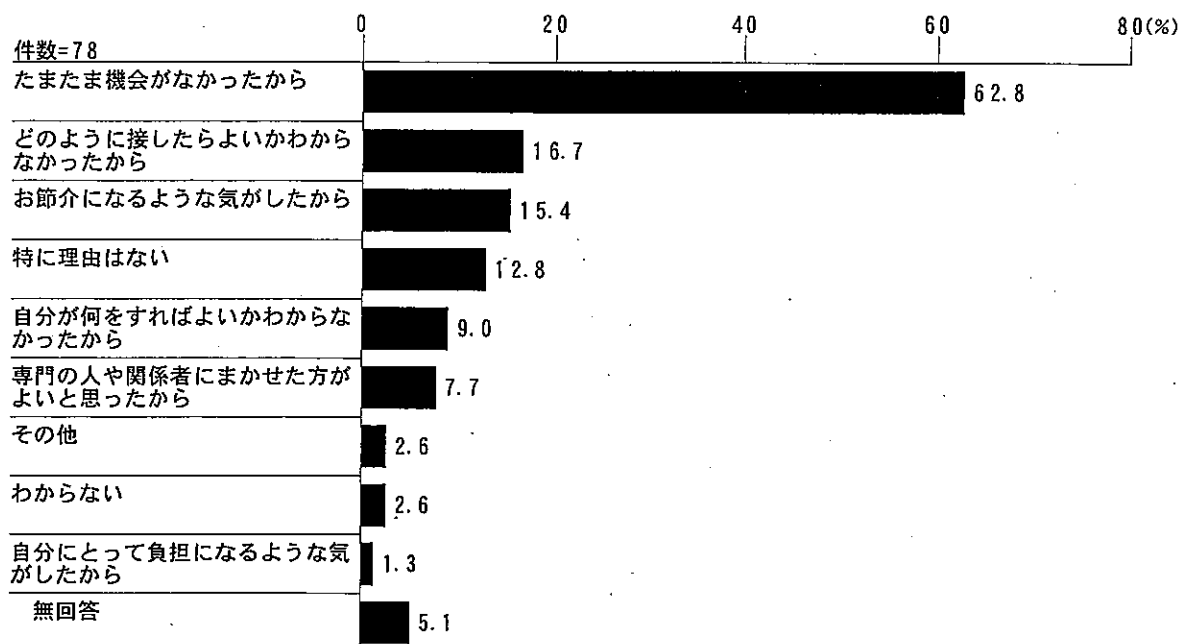
問9 問7で「ある」と答えた方に伺います。それはどのような話や手助けでしたか。この中からいくつかもあげてください。



障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをした内容は、「相談相手、話し相手」が42.3%と最も多く、以下「車椅子を押した」40.0%、「横断歩道や階段で手助けをした」34.5%、「席をゆずった」30.5%、「一緒に遊んだ」22.3%、「家事や買物などの手伝い」16.8%などとなっている。

## (5)交流がなかった理由

問 10 問7で「ない」と答えた方に伺います。なかったのはどうしてでしょうか。この中からいくつかもあげてください。

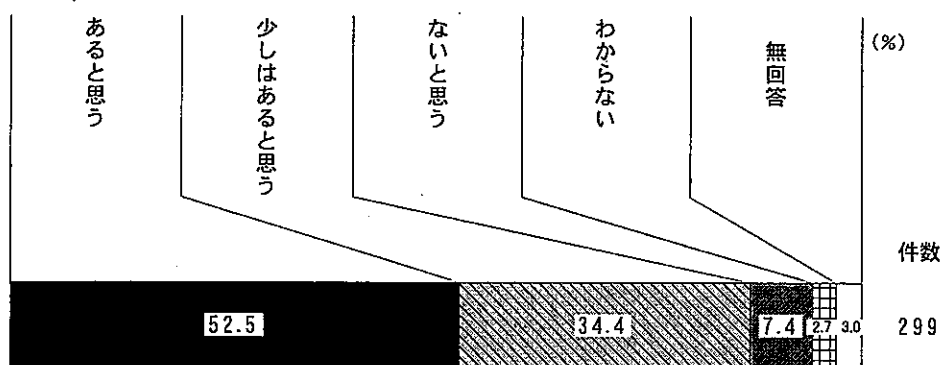


障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたことがなかった理由は、「たまたま機会がなかったから」が62.8%と突出しており、以下「どのように接したらよいかわからなかったから」16.7%、「お節介になるような気がしたから」15.4%、「自分が何をすればよいかわからなかったから」9.0%、「専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから」7.7%などとなっている。

## 4 障害のある人に対する差別

### (1)差別の有無

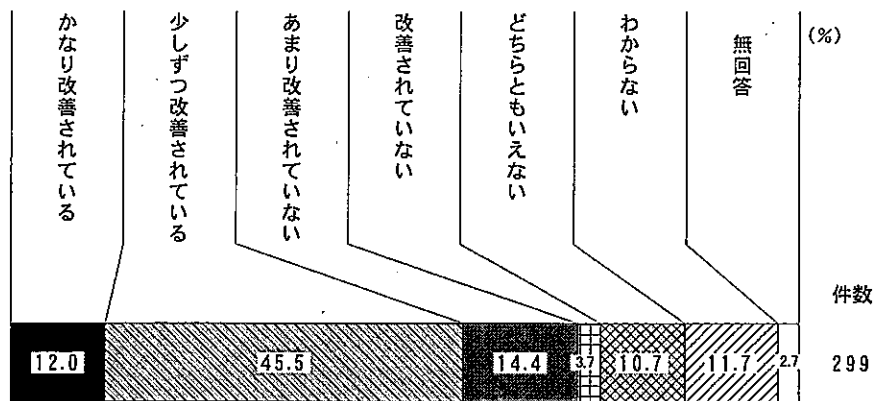
問 11 あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする偏見や差別があると思いますか。



世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする偏見や差別が「あると思う」52.5%、「少しはあると思う」34.4%、「ないと思う」7.4%、「わからない」2.7%となっている。

## (2)5年前と比べた差別の改善状況

問 12 あなたは、5年前と比べて障害のある人に対する偏見や差別は改善されたと思いますか。

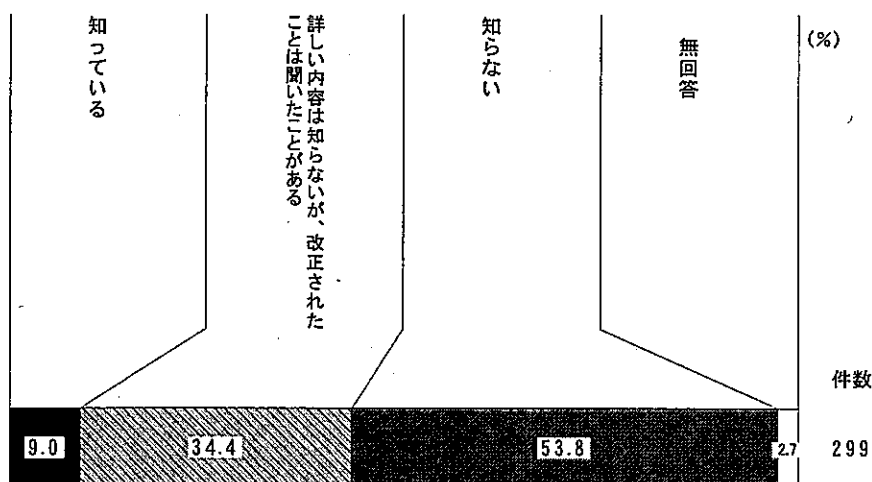


5年前と比べて障害のある人に対する偏見や差別は改善されたかについて、「かなり改善されている」12.0%、「少しずつ改善されている」45.5%と肯定意見が57.5%、一方「改善されていない」3.7%、「あまり改善されていない」14.4%と否定意見が18.1%、「どちらともいえない」10.7%、「わからない」11.7%となっている。

## 5 障害者基本法・障害者計画

### (1)「障害者基本法」改正の認知度

問 13 あなたは、平成16年に障害者基本法が改正され、「障害者に対して、障害を理由として、差別することその他権利利益を侵害する行為をしてはならない」ことが法律の基本的理念として明示されたことを知っていますか。

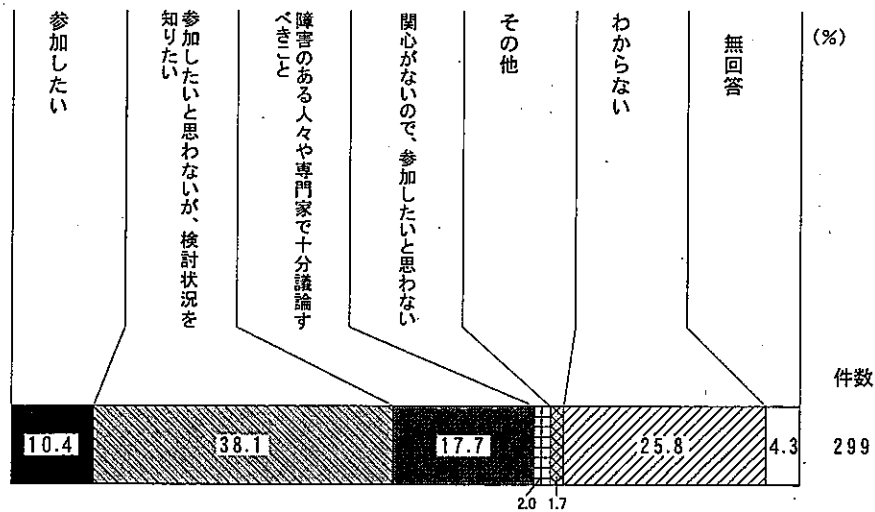


平成16年に障害者基本法が改正され、「障害者に対して、障害を理由として、差別することその他権利利益を侵害する行為をしてはならない」ことが法律の基本的理念として明示されたことを「知っている」9.0%、「詳しい内容は知らないが、改正されたことは聞いたことがある」34.4%、「知らない」53.8%となっている。



## (2)「障害者計画」策定のための委員会への参加意向

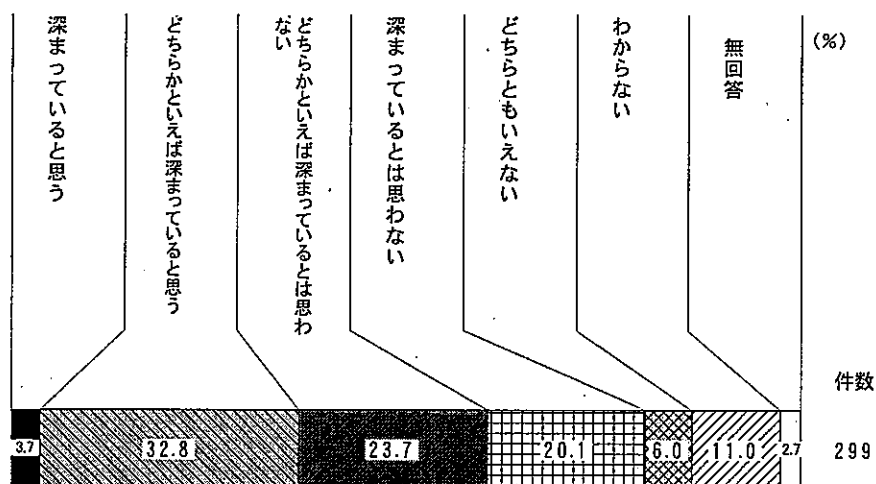
問 14 「障害者基本法」では、都道府県や市町村が、障害のある人への支援や社会参加を進めるための基本的な計画（障害者計画）をつくることとなっています。この計画をつくるに当たって、意見や要望を出すことができる場が設けられるとしたら、あなたは参加したいと思いますか。



障害者計画をつくるに当たって、意見や要望を出すことができる場が設けられるとしたら、参加したいかについて、「参加したい」10.4%、「参加したいと思わないが、検討状況を知りたい」38.1%、「障害のある人々や専門家で十分議論すべきこと」17.7%、「関心がないので、参加したいと思わない」2.0%となっている。

## 6 発達障害への理解

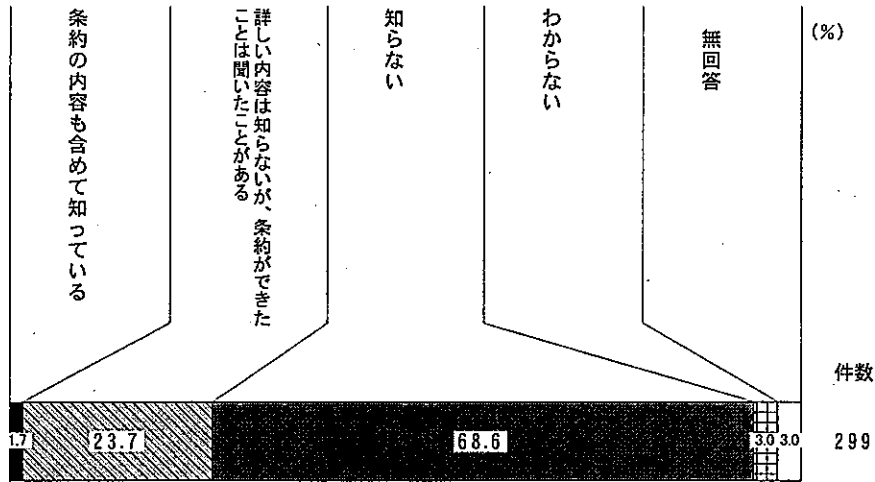
問 15 平成17年4月に、新たに発達障害者支援法が施行され、学習障害（LD）や注意欠陥／多動性障害（ADHD）、自閉症などの発達障害を持つ本人やその家族に対する支援が求められています。そのためには、発達障害についてまわりの理解が重要ですが、あなたは、発達障害について社会の理解は深まっていると思いますか。



発達障害について社会の理解は「深まっていると思う」3.7%、「どちらかといえば深まっていると思う」32.8%と肯定意見が36.5%、一方「深まっているとは思わない」20.1%、「どちらかといえば深まっているとは思わない」23.7%と否定意見が43.8%、「どちらともいえない」6.0%、「わからない」11.0%となっている。

## 7 「障害者権利条約」採択の認知度

問 16 国連は、平成18年12月、障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を包括的に定める「障害者権利条約」を採択しましたが、あなたはこのことを知っていますか。



「障害者権利条約」について、「条約の内容も含めて知っている」1.7%、「詳しい内容は知らないが、条約ができたことは聞いたことがある」23.7%、「知らない」68.6%となっている。

## 8 障害者のための配慮や工夫

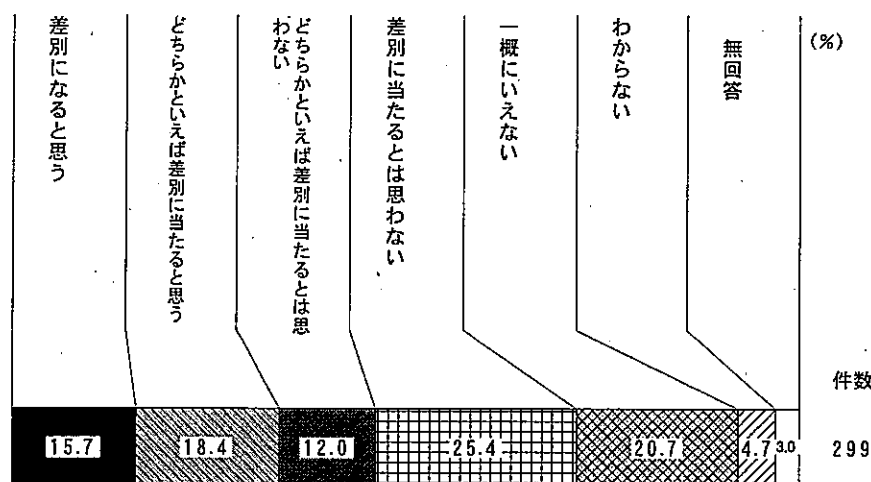
### (1) 配慮や工夫を行わないことが「障害を理由とする差別」にあたるか

問 17 障害のある人とない人が同じように生活するためには、例えば、

- ・ 車椅子が利用できるように商店やレストランの入り口のスロープやトイレを整備
- ・ 目の不自由な人や耳の不自由な人が地域の集会や会社の会議に参加できるように、点字資料の用意や手話通訳者の配置

などいろいろな配慮や工夫が必要になることがあります。

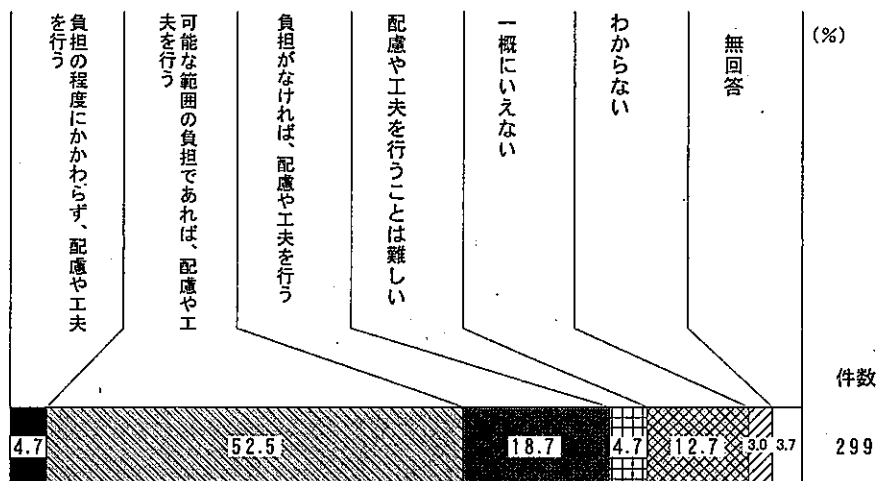
あなたは、こうした配慮や工夫を行わないことが「障害を理由とする差別」だと思いますか。



障害のある人とない人が同じように生活するためにいろいろな配慮や工夫を行わないことが「障害を理由とする差別」と思うかについて、「差別になると思う」15.7%、「どちらかといえば差別に当たると思う」18.4%と肯定意見が34.1%、一方「差別に当たるとは思わない」25.4%、「どちらかといえば差別に当たるとは思わない」12.0%と否定意見が37.4%、「一概にいえない」20.7%、「わからない」4.7%となっている。

## (2) 配慮や工夫を求められた場合の経済的な負担

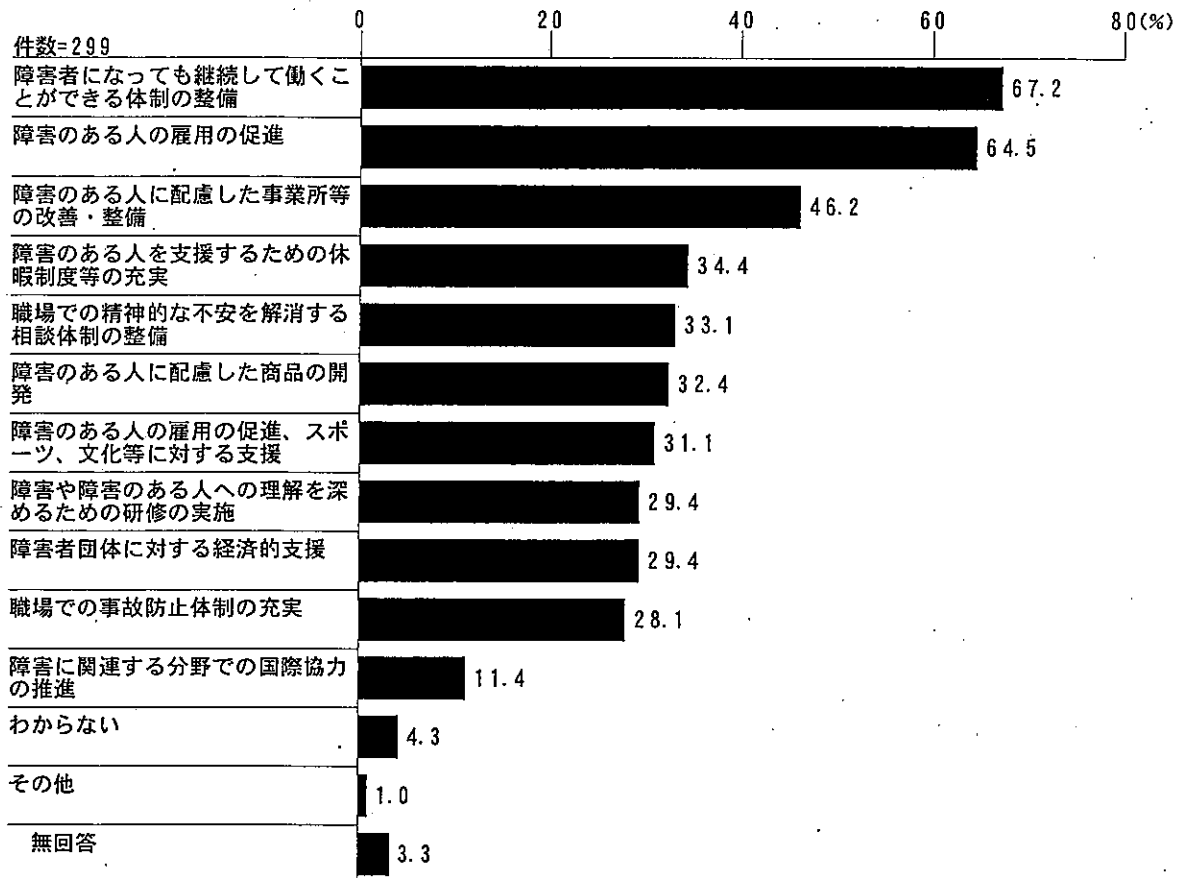
問 18 障害のある人とない人が同じように生活していくために必要とされるこうした配慮や工夫を行うことをあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うこともあります。あなたはどうしますか。



障害のある人とない人が同じように生活していくために必要とされるこうした配慮や工夫を行うことをあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うことについて、「負担の程度にかかわらず、配慮や工夫を行う」4.7%、「可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を行う」52.5%と肯定意見が57.2%、一方「配慮や工夫を行うことは難しい」4.7%、「負担がなければ、配慮や工夫を行う」18.7%と否定意見が23.4%、「一概にいえない」が12.7%となっている。

## 9 民間団体が行う活動に対する希望

問 19 あなたは、障害のある人のために企業などの民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか。この中からいくつでもあげてください。



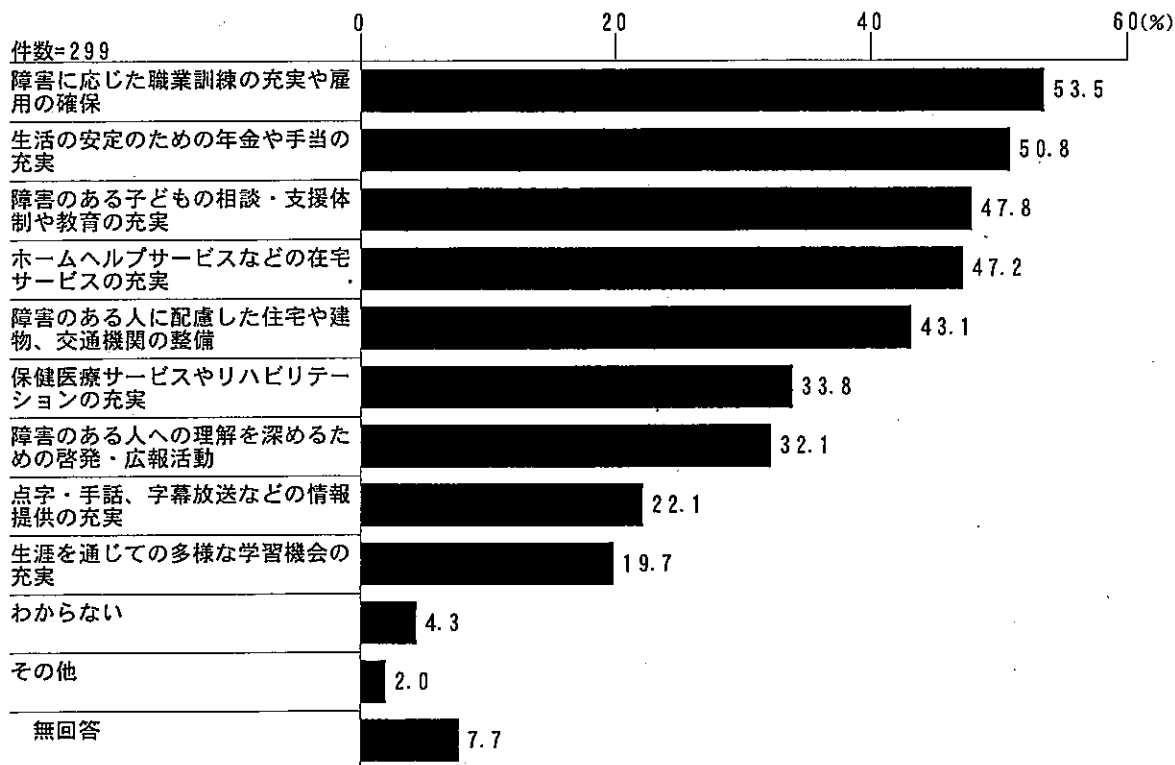
障害のある人のために企業などの民間団体が行う活動への希望について、「障害者になっても継続して働くことができる体制の整備」・67.2%、「障害のある人の雇用の促進」64.5%が突出しており、以下「障害のある人に配慮した事業所等の改善・整備」46.2%、「障害のある人を支援するための休暇制度等の充実」34.4%、「職場での精神的な不安を解消する相談体制の整備」33.1%、「障害のある人に配慮した商品の開発」32.4%、「障害のある人の雇用の促進、スポーツ、文化等に対する支援」31.1%などとなっている。

問 20 問 19 でその他と答えた方は、希望する活動について御記入をお願いします。

意見	件数
障害である事の価値を広める活動(障害はマイナスではないので)。	2
車椅子の方が利用できるトイレが少なすぎます。車椅子の為のスロープがあっても狭すぎて利用できない。(車椅子の友人がいつも言っています)	1

## 10 行政の施策

問 21 障害のある人に関する国や地方公共団体の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものをこの中からいくつかあげてください。



障害のある人に関する国や地方公共団体の施策のうち、力を入れる必要があると思うものについて、「障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保」が53.5%と最も多く、以下「生活の安定のための年金や手当の充実」50.8%、「障害のある子どもの相談・支援体制や教育の充実」47.8%、「ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実」47.2%、「障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備」43.1%などとなっている。

問 22 問 21 でその他と答えた方は、もっと力を入れる必要があると思うものについて御記入をお願いします。

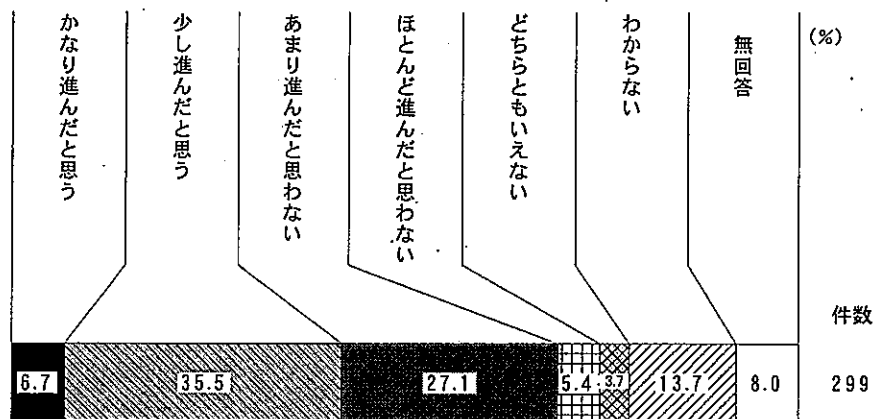
1. 障害者に生活の安定 2. 障害者に医療サービス 3. 障害者に教育を与える
学校の充実。
障害の人を受け入れる職業の人たちへの教育(親を含め)型ばかりでなく心のあり方を教育してほしい。
物理的なノーマライゼーションのみではなく、障害のある人が「差別されている」と思わなくなるような思想レベルでのノーマライゼーションの実現。
障害年金(手当)の使い方が的確ではないのではと思われます。遊技場で遊ぶ程、余裕があるかと思うかどうかと思う。そうなら無年金者(年金不受理者)が沢山いるので年金を掛けているだけでは受給すべきだと思うし、必要年数以上掛ける必要が無いのではないかと。雇用者は事業主負担と合わせるとべらぼうな金額を毎月掛ける！もらう歳もだんだん遅くなるしおかしい。職員が多すぎるのでは、障害者に払いすぎてはないかと良く調べてほしい。

障害を持つ子の兄弟、家族へのサポート体制(親が障害を持つ子の方に重点を置きがちで周囲の兄弟まで手が届かない)。たまには、障害を持つ子から母親を離して、他の兄弟と触れ合う時間を作ってあげる。親だけでなく、兄弟も正しい障害のある子への対応法を学んで、家族全員で支えあえる様にする。家族自身がひと休みできる様にするなどして欲しい。

障害者なりに、出来ることがあると思う。障害者の目線で障害者しか出来ず大衆に受け入れられることを考えれば良い。

## 11 5年前と比べた障害者施策の進捗状況

問 23 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障害者施策は進んだと思いますか。



5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障害者施策は進んだと思うかについて、「かなり進んだと思う」6.7%、「少し進んだと思う」35.5%と肯定意見が42.2%、「ほとんど進んだと思わない」5.4%、「あまり進んだと思わない」27.1%と否定意見が32.5%、「どちらともいえない」3.7%、「わからない」13.7%となっている。

